

# 工 事 仕 様 書

工事名称	三原小学校長寿命化改修工事(建築主体工事)
工事場所	三原市館町二丁目
工事内容	次のとおり、三原小学校校舎棟等の長寿命化改修工事を行う。 【工事概要】 1 校舎棟 1)防水改修 塗膜防水 平場X-1, 立上りX-2 2)外壁改修 打放し面表面劣化処理, 防水形複層塗材E吹付 3)建具改修 鋼製学校間仕切, 建具廻りシーリング打替え 4)内装改修 複合フローリング張り, 長尺塩ビシート張り 2 屋内運動場 1)防水改修 塗膜防水 平場X-1, 立上りX-2 2)外壁改修 打放し面表面劣化処理, 防水形複層塗材E吹付 3)建具改修 アルミ製・鋼製・軽量鋼製建具, 建具廻りシーリング打替え 4)内装改修 複合フローリング張り, コートライン引き
準 則	公共建築工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事偏・機械設備工事偏)最新版, 公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編・電気設備工事偏・機械設備工事偏)最新版, 建築物解体工事共通仕様書・最新版(国土交通省官房官庁営繕部監修)に基づき施工する。
関係法令等	本工事については、次の関係法令その他の規定等に基づき施工すること。 ・建築基準法, 同施行令, 同施行規則 ・消防法, 同施行令 ・廃棄物の処理及び清掃に関する法律, 同法施行令, 同法施行規則 ・労働安全衛生法, 同法施行令, 同法施行規則 ・建設工事公衆災害防止対策要綱 ・石綿障害予防規則 ・大気汚染防止法, 振動規制法及び土壌汚染対策法 ・その他関係法令
疑義変更	本設計図書は、設計の大意を示すものであり、詳細部等について技術的必要事項は明記なくとも完全に施工すること。 施工に際して疑義を生じた場合、または軽微な変更を必要とする場合には、速やかに監理者と協議し、監督員の指示により施工すること。ただし、これらに於いて請負金額の増減はなきものとする。
提出書類	施工に先立ち、工事工程表、仮設計画図及び監督員の指示する書類を提出し、監督員の承認を受けること。商品名及び製造者名が記載された材料については、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督員の承諾を受けるものとする。また、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料を提出して監督員の承諾を受けるものとする。

工 期 本工事は請負契約締結の後、令和7年3月3日をもって工期とする。このうち検査期間として13日間を見込んでいる。

#### 留意事項

- ・ 行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）に定める行政機関の休日に工事の施工を行わない。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合は、この限りではない。
- ・ 入札に先立ち現地調査を十分に行い、質疑がある場合は入札前に確認すること。
- ・ 本工事は居ながら工事を基本とし、必要に応じて生徒等の通路の制限を行う。ただし、事前に学校へ説明を行い、承諾を得るものとする。
- ・ 学校の所有物に養生や移動を行う場合は、事前に学校に連絡すること。
- ・ 校舎棟3階郷土資料室及び2階図工室内工事の際に大型備品を移動（復旧含む。）する。
- ・ 解体工事、アンカー工事等の騒音、振動及び粉塵等の発生が予想される工種については、施工時間及び施工方法等、学校へ最大限配慮した計画のもと行うこと。
- ・ 施工箇所周囲の備品、機器等については、粉塵対策として養生及び清掃等を確実にを行うこと。
- ・ 工事中に粉じんの発生が予想される工種については、粉じん抑制等、周辺環境対策のため散水を行うこと。
- ・ 工事期間中は付近の交通の安全を図ると共に、必要に応じて誘導員を常時配置し、危険防止に努めること。
- ・ 第三者災害防止及び飛散防止対策のため、必要に応じて監督員の指示する範囲に、バリケード等を設置すること。
- ・ 工事に支障となる雨水、湧水、洗浄水等の排水については、適切に排水すること。
- ・ 石綿含有建材の調査について、工事着手前までに書面及び目視調査を、一般建築物石綿含有建材調査者、特定建築物石綿含有建材調査者、またはこれらの者と同等以上の能力を有すると認められる者が行うこと。また、含有建材の調査結果を工事着手前までに発注者に対し説明を行うこと。
- ・ その他石綿の飛散防止等については、改正大気汚染防止法及び施行令（令和3年4月1日施行）に基づくこと。
- ・ 施工面積（外構工事含む）が3,000㎡以上の場合、土壌汚染対策法第4条第1項に規定する届け出を工事着手30日前までに所轄官庁へ提出すること。
- ・ 本敷地内の別途工事及び近隣で行われる工事について、取り合い工事及び工程等の調整を行うこと。
- ・ 仮設内部足場は建築主体工事に見込んでおり、本工事業者は無償で使用できるものとする。（維持管理上必要な費用は、各業者で協議の上分担すること。）
- ・ 足場、交通誘導員、工事関係者駐車場用地は、建築主体工事に見込んでいるが、本工事受注者も使用できるものとする。
- ・ 官公庁その他への手続きは、受注者の負担により遅滞なく行うこと。
- ・ 工事に伴い各種申請手数料等が発生した場合は受注者の負担とする。
- ・ 周辺道路については常時、監視を行い、工事車両等により汚損させた場合は、速やかに清掃及び補修を行うこと。
- ・ 台風や豪雨など自然災害の発生が予測される場合は、必要な対策を施すこと。また、現場巡視と災害防止対策を必要に応じて行うこと。
- ・ 受注者事務所、休憩所及び便所等は関係法令に従って設けること。
- ・ 工事に係る電気、水道及び下水道料金等は受注者の負担とする。
- ・ 本工事の外注資材、労務等の調達については、極力、市内に主たる営業所を有する業者に発注すること。困難な場合は、あらかじめ、理由を添えて発注者の承認を受けること。
- ・ 広島県工事中情報共有システムを利用すること。なお、本工事にシステム利用料金を見込む。
- ・ 工事完了後、完成図として製本図面（二つ折り・A3縮小判）を3部提出すること。

# 三原小学校長寿命化改修工事(建築主体工事)

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A - 01	表紙・目次		【屋内運動場】		
A - 02	建築改修工事特記仕様書(1)	00 - 01	外壁改修工事特記仕様書(1)		
A - 03	建築改修工事特記仕様書(2)	00 - 02	外壁改修工事特記仕様書(2)		
A - 04	建築改修工事特記仕様書(3)	00 - 03	外壁改修工事特記仕様書(3)		
A - 05	建築改修工事特記仕様書(4)	00 - 04	外部仕上表		
A - 06	建築改修工事特記仕様書(5)	00 - 05	内部仕上表		
A - 07	建築改修工事特記仕様書(6)	00 - 06	1階平面図(改修前・後)		
A - 08	建築改修工事特記仕様書(7)	00 - 07	2階平面図(改修前・後)		
A - 09	建築改修工事特記仕様書(8)	00 - 08	屋根伏図(改修前・後)		
A - 10	工事概要・付近見取図・配置図	00 - 09	立面図(1)(改修前・後)		
A - 11	仮設計画図(参考図)	00 - 10	立面図(2)(改修前・後)		
		00 - 11	立面図(3)(改修前・後)		
	【校舎棟】	00 - 12	矩計図(1)(改修前・後)		
KD - 01	外壁改修工事特記仕様書(1)	00 - 13	矩計図(2)(改修前・後)		
KD - 02	外壁改修工事特記仕様書(2)	00 - 14	建具表		
KD - 03	外壁改修工事特記仕様書(3)	00 - 15	部分詳細図(改修前・後)		
KD - 04	仕上表(1)	00 - 16	外壁劣化調査図(1)		
KD - 05	仕上表(2)	00 - 17	外壁劣化調査図(2)		
KD - 06	仕上表(3)				
KD - 07	1階平面図(改修前・後)				
KD - 08	2階平面図(改修前・後)				
KD - 09	3階平面図(改修前・後)				
KD - 10	R階平面図(改修前・後)				
KD - 11	PHR階平面図(改修前・後)				
KD - 12	立面図(1)(改修前・後)				
KD - 13	立面図(2)(改修前・後)				
KD - 14	断面図(改修前・後)				
KD - 15	矩計図(改修前・後)				
KD - 16	階段詳細図(改修前・後)				
KD - 17	普通教室平面詳細図(改修前・後)				
KD - 18	普通教室展開図(改修前・後)				
KD - 19	食堂平面詳細図・展開図(改修前)・仮設改修図				
KD - 20	食堂平面詳細図・展開図(改修後)・仮設改修図				
KD - 21	家庭科室平面詳細図(改修前・後)				
KD - 22	図工室・郷土資料室平面詳細図(改修前・後)				
KD - 23	家庭科室・図工室・郷土資料室展開図(改修前・後)				
KD - 24	1階天井伏図(改修前・後)				
KD - 25	2階天井伏図(改修前・後)				
KD - 26	3階天井伏図(改修前・後)				
KD - 27	R階天井伏図(改修前・後)				
KD - 28	建具表(1)				
KD - 29	建具表(2)				
KD - 30	家具詳細図				
KD - 31	部分詳細図				
KD - 32	仮設計画ステップ図(1)				
KD - 33	仮設計画ステップ図(2)				
KD - 34	受水槽基礎詳細図				
KD - 35	外壁劣化調査図(1)				
KD - 36	外壁劣化調査図(2)				
KD - 37	外壁劣化調査図(3)				



I. 工事概要
1. 工事名称: 三原小学校長寿命化改修工事(建築主体工事)
2. 工事場所: 三原市館町二丁目3番1号
3. 敷地面積: 14,733.844 m<sup>2</sup>
4. 構造規模: 校舎 RC造 延べ面積 2,564.20m<sup>2</sup> 屋内運動場 RC造 延べ面積 871.00m<sup>2</sup>
5. 工事種目: 長寿命化改修工事(防水・外壁改修工事及びその他工事)
6. 別途工事: 電気・機械設備工事
7. 調査協力について
8. 公衆災害防止措置
9. 現状復旧
10. 主要資材等

7 建設発生土
※場外指示の場所に処分・場外搬出適切処理
※場内指示の場所に堆積
※当該工事により発生する建設発生土は、次の公の関与する埋立地に搬出するものとする
※当該工事により発生する建設発生土は、「建設発生土処分先一覧表」に掲載されている施設のいずれかに搬出するものとする。
8 環境への配慮
9 材料の品質等

1 一般共通事項
1-4 化学物質の濃度測定
1-5 中間技術検査
1-6 工事写真等
1-7 完成時の提出図書
1-8 電子納品
1-9 工事情報共有システム
2-0 施工図及び施工計画書
2-1 設備工事との取合い
2-2 撤去部分
2-3 適用区分
2-4 騒音・振動の防止
2-5 施工中の安全確保
2-6 実施工程表
2-7 工程報告
2-8 保証書

環境配慮改修工事
2-6 実施工程表
2-7 工程報告
2-8 保証書
別紙様式による期間別工事工程報告書を毎月2回1部提出すること

1 一般共通事項
1-1 適用基準等
1-2 電気保安技術者
1-3 工事実績情報の登録
1-4 施工条件
1-5 工事安全計画書
1-6 発生材の処理等

10 特別な材料の工法
11 施工数量調査
12 調査のための破壊部分の補修
13 技能士
14 技能士
15 技能士

16 技能士
17 技能士
18 技能士
19 技能士
20 技能士
21 技能士
22 技能士
23 技能士
24 技能士
25 技能士
26 技能士
27 技能士
28 技能士

29 技能士
30 技能士
31 技能士
32 技能士
33 技能士
34 技能士
35 技能士
36 技能士
37 技能士
38 技能士
39 技能士
40 技能士







18	ガラス	(16.9.7.14.2~4)(表16.14.1) 下記ガラス以外の品種、厚さの呼びによる種類等 ※ 建具表による 合わせガラスの材料ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ及び特性による種類 ※ 下記以外は建具表による 材料ガラスの種類、組合せ フロート板、フロート板合わせガラス 強化ガラスの形状による種類、材料ガラスの種類による名称及び特性による種類 ※ 下記以外は建具表による 材料ガラスによる種類による名称 フロート強化ガラス 熱線吸収ガラスの板ガラスによる種類、厚さによる種類及び性能による種類 ※ 下記以外は建具表による 材料ガラスによる種類 熱線吸収フロート板ガラス 熱線吸収入り磨き板ガラス 複層ガラスの材料ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ※ 下記以外は建具表による 断熱性による区分 日射取得性、日射遮蔽性による区分 熱線反射ガラスの材料ガラスの種類及び厚さによる種類 ※ 下記以外は建具表による 材料ガラスによる種類 反射皮膜面 ガラスの留め材及び溝の大きさ アルミニウム製 鋼製及び鋼製軽量 ステンレス製 防火戸のガラス留め材は、建築基準法に基づく防火性能の認定を受けた条件による	6 内装 改修 工事	1 他 の 部 位 と の 取 り 合 い 等 [ 6 . 1 . 3 ] ※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※ 壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う 既存天井の撤去に伴う取り合い部の壁面の改修 ※ 既存のまま	7 造 作 用 単 板 積 層 材 ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外	「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 「複層積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 「直交集成板 (CLT)」 ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外	10 軽 量 鉄 骨 天 井 下 地 野縁等の種類 既設の埋込みインサート あ と 施 工 前 の 確 認 試 験 ・ 行 う ( 試 験 機 種 等 ※ 登 録 内 の 場 合 、 当 該 機 種 に 関 連 し た 機 種 試 験 ( 確 認 強 度 ※ 改 修 準 準 仕 様 書 6.6.4(1)(f) に よ る ) ・ 行 わ ない								
		2 既 存 床 の 撤 去 及 び 下 地 補 修 ビニル床シート等の撤去 ※ 仕上材のみ (接着剤とも) 合成樹脂塗床材の除去工法 既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外装改修工事による。 改修後の床の清掃範囲 ※ 改修部の端部より1m程度		3 既 存 壁 の 撤 去 及 び 下 地 補 修 開仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※ 改修標準仕様書4.4.9によるモルタル塗り (仕上げ厚又は全塗厚25mmを超える場合の処置)		4 木 下 地 の 表 面 仕 上 げ 「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 (乾燥) 「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 (接着) 「製材の日本農林規格」による天然木化粧合板 「製材の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 「パーティクルボード」 「構造用パネル」 「ミディアムデンシティファイバーボード (MDF)」		5 装 材 「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材 (乾燥) 「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材 (接着) 「合板の日本農林規格」による化粧びり構造用合板 「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 「パーティクルボード」 「構造用パネル」 「ミディアムデンシティファイバーボード (MDF)」	6 造 作 用 集 成 材 ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 「集成材の日本農林規格」による化粧びり構造用集成材 「集成材の日本農林規格」による化粧びり構造用集成柱 「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 「集成材の日本農林規格」以外の化粧びり造作用集成材 「集成材の日本農林規格」以外の化粧びり構造用集成柱	8 床 張 り 用 合 板 等 ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 普通合板 構造用合板 パーティクルボード 構造用パネル ミディアムデンシティファイバーボード (MDF)	9 防 腐 ・ 防 蟻 処 理 防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材 薬剤の加圧注入による防腐、防蟻処理 薬剤の塗布等による防腐、防蟻処理 薬剤の接着剤への混入による防腐、防蟻処理	11 軽 量 鉄 骨 壁 下 地 スタッド、ランナーの種類 スタッドの高さが5.0mを超える場合 出入口及びこれに準ずる開口部の補強	12 ビ ニ ル 床 シ ー ト 種類 帯電防止 帯電防止 帯電防止 帯電防止	13 ビ ニ ル 床 タ イ ル 種類 帯電防止 帯電防止 帯電防止	14 接 着 剤 接着剤は可塑性 (難揮発性の可塑性を除く) が添加されていないものとする。 ホルムアルデヒド放散量 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類
19	ガラスブロック積み	5.13.5 表面形状 ・ 正方形 ・ 長方形	6 内装 改修 工事	20 ガラス用フィルム 種 類 ・ 日射調整フィルム ・ 低放射フィルム ・ 衝撃破壊対応ガラス 飛散防止フィルム ・ 相関変位破壊対応ガラス 飛散防止フィルム ・ ガラス貫通防止フィルム	7 造 作 用 集 成 材 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 「集成材の日本農林規格」による化粧びり構造用集成材 「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材	8 防 腐 ・ 防 蟻 処 理 防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材 薬剤の加圧注入による防腐、防蟻処理 薬剤の塗布等による防腐、防蟻処理 薬剤の接着剤への混入による防腐、防蟻処理	9 防 腐 ・ 防 蟻 処 理 防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材 薬剤の加圧注入による防腐、防蟻処理 薬剤の塗布等による防腐、防蟻処理 薬剤の接着剤への混入による防腐、防蟻処理	10 軽 量 鉄 骨 壁 下 地 スタッド、ランナーの種類 スタッドの高さが5.0mを超える場合 出入口及びこれに準ずる開口部の補強	11 軽 量 鉄 骨 壁 下 地 スタッド、ランナーの種類 スタッドの高さが5.0mを超える場合 出入口及びこれに準ずる開口部の補強	12 ビ ニ ル 床 シ ー ト 種類 帯電防止 帯電防止 帯電防止	13 ビ ニ ル 床 タ イ ル 種類 帯電防止 帯電防止 帯電防止	14 接 着 剤 接着剤は可塑性 (難揮発性の可塑性を除く) が添加されていないものとする。 ホルムアルデヒド放散量 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類	15 ビ ニ ル 幅 木 材質の種類 高さ (mm) 厚さ (mm)	16 ゴ ム 床 タ イ ル 種類 色柄 厚さ (mm) 寸法 (mm)	17 カーベツト敷き ・ 織じゅうたん ・ ニードルパンチカーベツト ・ タイルカーベツト
20	ガラス用フィルム	目地幅 (mm) ・ 80 ・ 95 ・ 125		6 内装 改修 工事	20 ガラス用フィルム 種 類 ・ 日射調整フィルム ・ 低放射フィルム ・ 衝撃破壊対応ガラス 飛散防止フィルム ・ 相関変位破壊対応ガラス 飛散防止フィルム ・ ガラス貫通防止フィルム	7 造 作 用 集 成 材 「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 「集成材の日本農林規格」による化粧びり構造用集成材 「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材	8 防 腐 ・ 防 蟻 処 理 防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材 薬剤の加圧注入による防腐、防蟻処理 薬剤の塗布等による防腐、防蟻処理 薬剤の接着剤への混入による防腐、防蟻処理	9 防 腐 ・ 防 蟻 処 理 防腐、防蟻処理を省略できる樹種による製材 薬剤の加圧注入による防腐、防蟻処理 薬剤の塗布等による防腐、防蟻処理 薬剤の接着剤への混入による防腐、防蟻処理	10 軽 量 鉄 骨 壁 下 地 スタッド、ランナーの種類 スタッドの高さが5.0mを超える場合 出入口及びこれに準ずる開口部の補強	11 軽 量 鉄 骨 壁 下 地 スタッド、ランナーの種類 スタッドの高さが5.0mを超える場合 出入口及びこれに準ずる開口部の補強	12 ビ ニ ル 床 シ ー ト 種類 帯電防止 帯電防止 帯電防止	13 ビ ニ ル 床 タ イ ル 種類 帯電防止 帯電防止 帯電防止	14 接 着 剤 接着剤は可塑性 (難揮発性の可塑性を除く) が添加されていないものとする。 ホルムアルデヒド放散量 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類	15 ビ ニ ル 幅 木 材質の種類 高さ (mm) 厚さ (mm)	16 ゴ ム 床 タ イ ル 種類 色柄 厚さ (mm) 寸法 (mm)



18 合成樹脂塗料 [6.1.0.2、3]
種類 仕工程所 工法 仕上げの種類
厚膜型塗料材 ※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ
弾性ウレタン樹脂系塗料 ※ つや消し仕上げ
厚膜型塗料材 ・ 厚膜流しのべ工法 ・ 平滑仕上げ
エポキシ樹脂系塗料 ・ 厚膜流しのべ工法 ・ 防汚仕上げ
・ 樹脂モルタル工法
薄膜型塗料材 ※ 平滑仕上げ
塗料のホルムアルデヒド放数量 ※ 規制対象外

19 防じん用塗料
材料 水性アクリル系樹脂塗料とし、製造所の指定する製品とする
工法 製造所の指定する工法とする
なお、上塗りは2回塗りとし、総塗布量は0.25kg/m2以上とする
仕上げの種類 (※ 平滑仕上げ ・ 防汚仕上げ) (※ 標準色)
JIS K 5970に基づく塗料のホルムアルデヒド放数量 ※ 規制対象外

20 フローリング張り [6.1.1.2~6]
種類 工法 樹種 厚さ (mm) 間伐材等の適用
フローリング ・ 釘留め工法 (根太張り) ※ なら ・ 15 ・
ボード1等 ・ 釘留め工法 (重張り) ※ なら ・ 12 ・
・ 接着工法 ※ なら ・ 8 ・
フローリング ・ 接着工法 ※ なら ・ 15 ・
ブロック1等
フローリングボードの大きさ ※ 改修標準仕様書表6.11.1.3、5による
複合フローリング
種類 工法 樹種 種別 厚さ (mm) 間伐材等の適用
天然木化粧複合フローリング
釘留め工法 (根太張り) ※ なら ・ A種 ・ 15 ・
釘留め工法 (重張り) ※ なら ・ B種 ・ 12 ・
※ C種 ・ 12
接着工法 ※ なら ・ A種 ・ 15 ・
釘留め工法 ※ なら ・ B種 ・ 12 ・
※ C種 ・ 12
フローリングの大きさ ※ 改修標準仕様書表6.11.2.4、6による
フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※ 規制対象外
接着工法の場合は裏面樹脂材 ※ 合成樹脂発泡シート
現場塗装仕上げ ○ 行う (屋内運動場)
※ ウレタン樹脂ワニス塗り ○ 1液湿気型ウレタン塗料3回塗り
※ オイルステインの上、ワックス塗り
※ 生地のままワックス塗り
○ 行わない (校舎、工場塗装品)

21 塗敷き [6.1.2.2]
種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ※ D種 (塗料: KT-I ・ KT-II ※ KT-III ・ KT-K ・ KT-N)
下地の種類 ・ 標準仕様書表12.6.1による床組
・ ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロン)
表裏及び貫床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを含有しないか、発散量が極めて少ない材料を使用したものとする。
22 セッコウボードその他ボード及び合板張り [6.1.3.2、3]
種類 JISの記号 厚さ (mm)、規格等
硬質木毛セメント板 HW ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・
中質木毛セメント板 MW ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・
普通木毛セメント板 NW ・ 15 ・ 20 ・ 25 ・
硬質木片セメント板 HF ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・
普通木片セメント板 NF ・ 30 ・
けい酸カルシウム板 0.8FK 1.0FK タイプ2 (無石棉) ・ 6 ・ 8
ロックウール化粧吸音板 DR ・ フラットタイプ (・ 9 (不燃) ・ 12 (不燃) ・ )
・ 凹凸タイプ (・ 12 (不燃) ・ 15 (不燃) ・ )
ロックウール吸音ボード1号 RW-B ・ 25 ・
グラスウール吸音ボード32K GW-B ・ 25 (ガラスクロス包) ・
セッコウボード GB-R ※ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃) ・ 9.5
不燃積層セッコウボード GB-NC 9.5 (不燃) 化粧面 (地下張り用)
化粧面 (トラバーチン模様)
セージングセッコウボード GB-S 12.5 (※不燃 ・ 準不燃)
強化セッコウボード GB-F ・ 12.5 (不燃) ○ 15 (不燃)
セッコウラスボード GB-L 9.5
化粧セッコウボード (木目) GB-D 12.5 (不燃) 幅 440mm 程度
模様 (・ 柾目 ・ 板目) 専用下地材有り
化粧セッコウボード (トラバーチン模様) GB-D 9.5 (準不燃)
表板の樹種名
生地、透明塗料塗り (※ ラワン程度)
不透明塗料塗り (※ しな程度)
樹種の品質 ( )
厚さ (mm) ( )
接着の程度 (・ 1類 ・ 2類)
防虫処理 (・ 行う ・ 行わない)
天然木化粧合板
樹種名 ( )
接着の程度 (・ 1類 ・ 2類)
厚さ (mm) ( )
防虫処理 (・ 行う ・ 行わない)
特殊加工化粧合板
化粧加工の方法 (・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装)
表面性能 ( ) タイプ
接着の程度 (・ 1類 ・ 2類)
厚さ (mm) ( )
防虫処理 (・ 行う ・ 行わない)
メラミン樹脂化粧板 JIS K 6903 以上による厚さ (※ 1.2)
ポリエステル樹脂化粧板
メディアムデンシティファイバーボード MDF ・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12 ・
単板張り
パーティクルボード ・ 無研削板 VN ・ 研削板 VS
・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18 ・

Table with columns for measurement methods and standards. Includes sections for '測定方法' (Measurement Methods) and '測定名称' (Measurement Names) with sub-sections for different materials and their testing procedures.

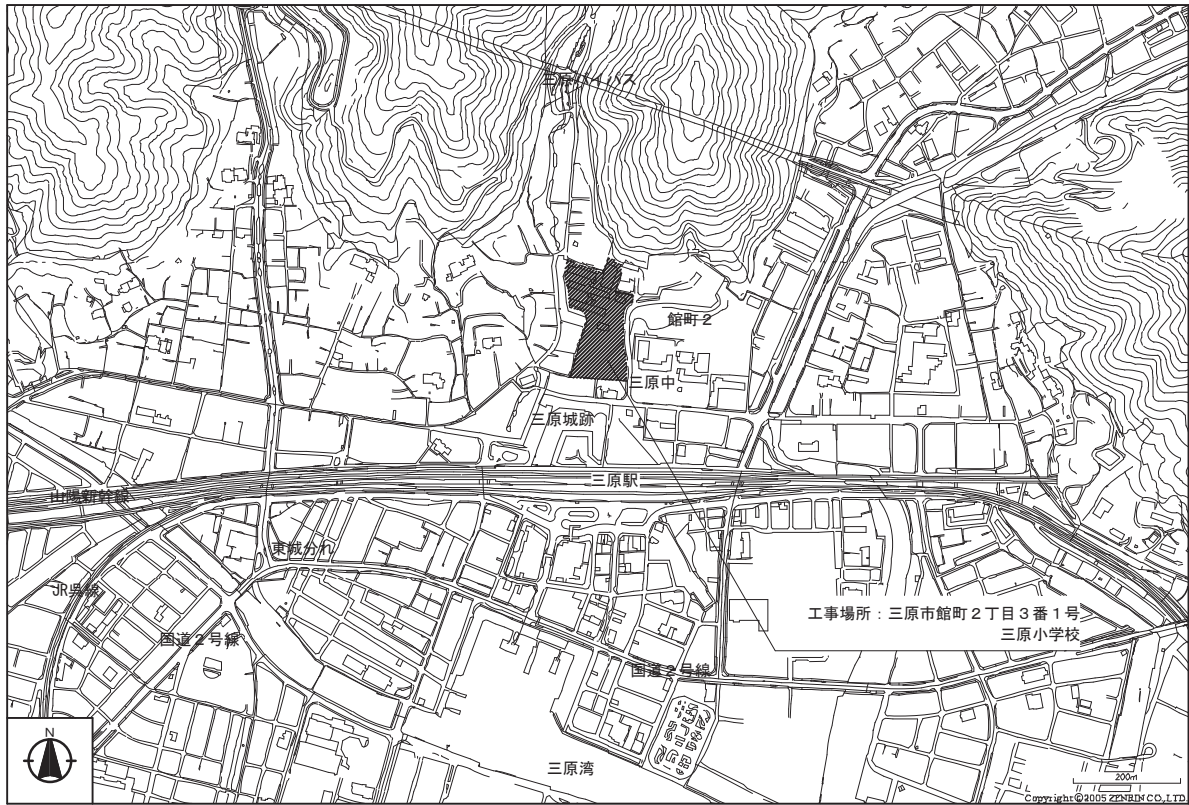
Table detailing construction work items. Columns include '作業名称' (Work Name), '数量' (Quantity), and '仕様' (Specifications). It lists various tasks like glass replacement, insulation, and waterproofing.

Table for material specifications and testing methods. Columns include '項目' (Item), '仕様' (Specification), and '試験方法' (Test Method). It provides detailed technical requirements and testing protocols for various materials.

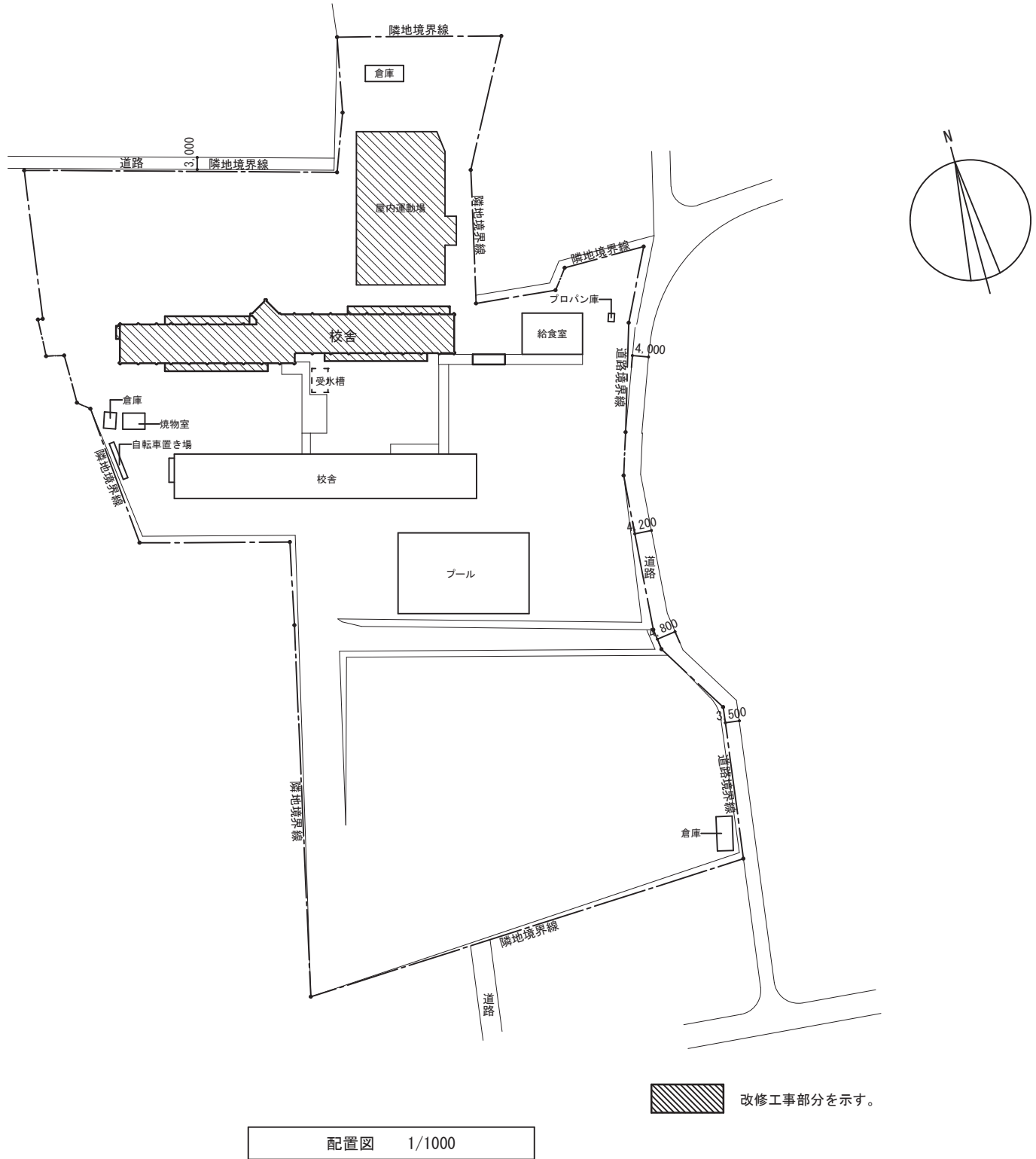
Table for product specifications and identification. Columns include '表示' (Labeling), '仕様' (Specification), and '試験方法' (Test Method). It lists various materials and their corresponding labeling and testing requirements.

9	床点検口	材種	寸法 (mm)	形式	備考	
		・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ※600×600	・一般形 ・密閉形	・屋内外用 ・屋内用	・鍵付き
		密閉部とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとす。 (品質・性能)				
		部材名	材質	屋内外用	屋内用	
		受枠材 蓋枠材	アルミニウム及びアルミニウム合金押出型材	JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15		
			ステンレス製	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又はZB 仕上げ程度	JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又はZB 仕上げ程度	
			鋼製	-	標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの	
		二重蓋の中蓋	鋼鉄	JIS G 5501のFC150、FC200		
		その他	塩化ビニル樹脂製等			
		目地材	黄銅	JIS H 3100のC2600、C2720、C2801 JIS H 3250のC3602、C3604		
ステンレス	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304					
底板材コーナー ピース底板補強材	ステンレス鋼板	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 JIS G 4308のSUS304	JIS G 4305のSUS430			
	アルミニウム板	JIS H 4000(A1100P H24) 表面処理：陽極酸化塗液被 合被膜 JIS H 8601(AA15) JIS H 8602(B)	-			
	鋼材	-	鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの			
パッキン材		塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等種の材質、形状に適した弾力性、密着性、気密性を有するもの				
アンカー材 取手		鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの 黄銅鋼鉄製、黄銅製、アルミニウム押出型材・合金 鋼鉄製、ステンレス鋼製品、ステンレス製等 ステンレス鋼材、アルミニウム押出型材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする				
鍵		黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする 施設・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする				
蓋の耐荷重性能		蓋中央部が荷重Pn=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPnの2倍以上であること。				
受け枠寸法の許容差 ±0.5mm以下 蓋付寸法の許容差 ±0.5mm以下 受け枠と蓋枠のクリアランス 片側2.0mm以内 (試験方法) 耐荷重試験 試験体は、強物用とし、600mm角程度、枠見込みは、40mm以下とする。 試験は、蓋枠の四角を支持させ、蓋の中央部にφ50mmの加圧板を設置し、加圧する。 本試験前に200Nを加圧した後、本試験を行う。 本試験は、1,000Nで加圧、荷重除去を3回繰り返した後、その後試験体が破壊する(終局荷重)まで加圧する。 測定は、蓋中央部にかかる加圧を200N増す毎にたわみと受け枠の変形その他の異常について1,000Nまで3回繰り返す。						
10	手すり	材質	表面仕上げ	直径 (mm)	取付箇所	
		・集成材 ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニル製ハンドル	・クリアラッカー ・HL程度 ・SOP ・EP-G	・35 ・45		
11	天井見切り縁等	壁及び下がり壁と天井の取合いの見切縁(天井見切縁、下がり壁見切縁)の材種 ※アルミニウム既製品 ○ビニル既製品				
12	視覚障害者用床 タイル (視覚障害者誘導 用ブロック)	(11.2.2、19.2.2)				
		施工箇所	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	
		屋内	・塩化ビニル製 ・セラミックタイル ・レジンコンクリート製 ・コンクリート製	※300×300 ※300×300 ※300×300	・7.0 ・ ・	
屋外	・セラミックタイル ・レジンコンクリート製 ・コンクリート製	※300×300 ※300×300	・ ・			
突起の形状、配列及び寸法は JIS T 92511による						
13	鉄筋	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.1)(表5.2.1)				
		種類の記号	呼び名	備考		
		※SD295A	※D16以下	受水槽基礎		
※SD345	※D19以上					
14	溶接金網	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.2.2)				
		種類	網目寸法、鉄筋の径 (mm)	備考		
		※溶接金網 ○鉄筋格子	100×100 D10	校舎土間		
15	鉄筋の継手及び定着	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (5.3.4)				
		鉄筋の継手の方法等 ※重ね継ぎ手				
		鉄筋の重ね継ぎ手の長さ ※40dと標準仕様書表5.3.2の重ね継ぎ手の長さのうち大きい値とする 鉄筋の定着長さ ※柱に取り付ける梁の引張り鉄筋の直線定着長さは40d以上とし、それ以外は標準仕様書表5.3.4による				

16	コンクリートの気乾 単位容積質量による 種類及び強度等	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.2.1~4)		
		※普通コンクリート	設計基準強度 (Fc) [N/mm2]	スランブ (cm)
		※24 ○21		※標準仕様書表6.2.2による ※コンクリート全て (無筋コンクリートを除く) ○校舎土間、受水槽基礎
17	セメント	種類 (6.3.1)		
		※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又は フライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種		
18	型枠	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.8.2)		
		せき板の材料 ※合板 厚さ (※12mm) ・メッシュ型枠 ・断熱材を兼用した型枠 厚さ25mm以下かつ熱抵抗値1m <sup>2</sup> h <sup>2</sup> ℃/kCa1以上		
19	無筋コンクリート	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (6.14.1)		
		種類	設計基準強度 (Fc) [N/mm2]	スランブ (mm)
		※普通コンクリート	※18 ・	※15 ・
20	床コンクリート 直均し仕上げ	8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による (8.1.4)(表8.1.5)		
		仕上げの平坦さは、図示以外は下記による	改修標準仕様書表8.1.5に よる平坦さの種類	
		a種	合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、床コンクリート直均し仕上げ、 フリーアクセスフロア (置敷式) ( )	施工箇所
b種	カーベット張り、防水下地、セルフベリング材塗り ( )			
c種	タイル張り、モルタル塗り、フリーアクセスフロア (支柱調整式) ( )			
21	あと施工アンカー	(14.1.3)		
		6章内装改修工事 軽量鉄骨天井下地及び8章耐震改修工事にかかる部分は除き、下記による あと施工アンカーの確認試験 ※行う 確認強度 ( ) ・行わない		

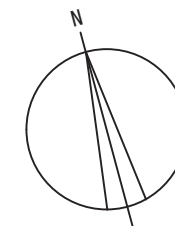
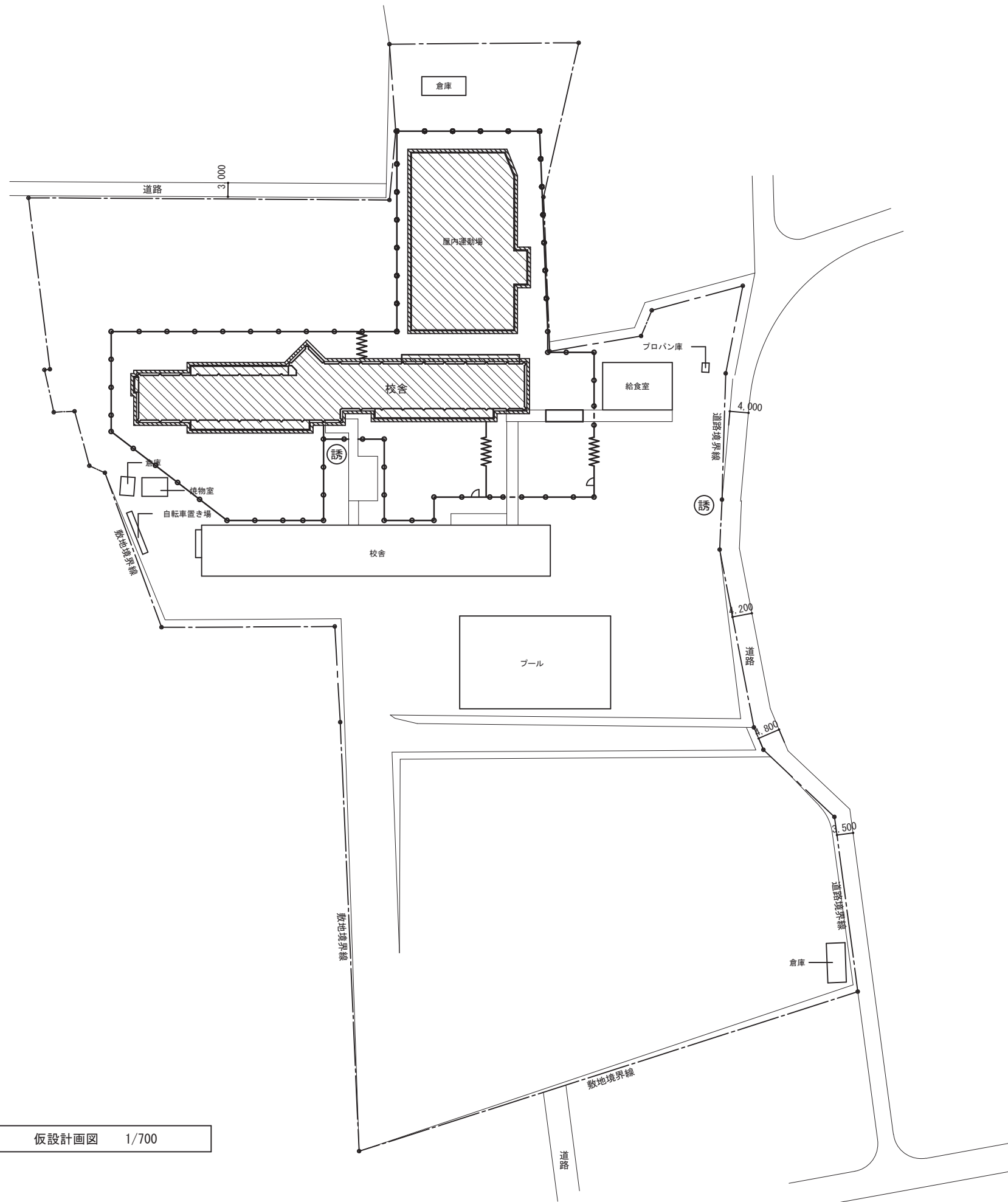


付近見取図 1/10000



配置図 1/1000

工事概要
長寿命化改修工事
【校舎棟】
・防水改修工事
・外壁改修工事
・建具改修工事
・内装改修工事
【屋内運動場】
・防水改修工事
・屋根改修工事
・外壁改修工事
・内装改修工事(アリーナ床)



仮設計画図 1/700

凡例	
	仮囲い (成形鋼板 H3000) L=203m
	パネルゲート (W7200 H4500) 1ヶ所
	通用口 (内開き)
	交通誘導警備員
	カラーコーン設置
	枠組み本足場 (W=900) 先行足場

改修工事部分を示す。



名称	A 表面劣化部処理		B ひび割れ部処理		C 錆鉄筋部処理	
記号・仕様	A-1 打放し面表面劣化部処理 [サンダー工法]		A-2 モルタル面表面劣化部処理 [サンダー工法]		B-1 打放し面樹脂注入工法 [標仕4.3.4] ひび割れ幅 0.2~1.0mm	
改修前						
改修後						
工程	①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (*全面・部分) ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> ) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)  参考数量: 200㎡		①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (*全面・部分) ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> ) ③セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)  参考数量: 一般外壁 (モルタル面) 1540㎡ アウトフレーム (コンクリート打放し面) 504㎡		①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> ) ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し (ポリマーセメントモルタル) ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)  ※A-1工法を行う場合は、②⑤の工程はA-1工法に含む。 参考数量: 153m	
名称	B ひび割れ部処理		C 錆鉄筋部処理		D 浮き部処理	
記号・仕様	B-4 モルタル面樹脂注入工法 [共仕4.4.5] ひび割れ幅 0.2~1.0mm		B-5 モルタル面躯体部樹脂注入工法 [標仕4.4.5] ひび割れ幅 0.2~1.0mm		B-6 モルタル面Uカット樹脂注入工法 ひび割れ幅 1.0mm以上	
改修前						
改修後						
工程	①サンダーケレン ②ひび割れ部シール ③エポキシ樹脂注入 ④セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)  ※A-2工法を行う場合は、①、④の工程はA-2工法に含む。 参考数量: ひび割れ幅 0.2~0.5mm ( ) ひび割れ幅 0.5~1.0mm ( ) ( )内は挙動ひび割れ数量を示す		①ひび割れ周囲モルタルカッター切り ②モルタル除去 ③ひび割れ部シール ④エポキシ樹脂注入 ⑤埋戻し ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)  ※A-2工法を行う場合は、⑥の工程はA-2工法に含む。 参考数量:		①ひび割れ部Uカット ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> ) ③シーリング材打設 ④Uカット部埋戻し (ポリマーセメントモルタル) ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)  ※A-2工法を行う場合は、②⑤の工程はA-2工法に含む。 参考数量: 188m	
名称	C 錆鉄筋部処理		D 浮き部処理		E アンカーピン部処理	
記号・仕様	C-2 モルタル面錆鉄筋部処理		D-1 モルタル面はつり		D-2 モルタル面アンカーピン部エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.10] D-2' タイル面アンカーピン部エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.5.9]	
改修前						
改修後						
工程	①カッター縁切り ②浮き部はつり ③錆落とし ④高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> ) ⑤防錆処理 ⑥はつり部埋戻し整形 ⑦セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)  ※A-2工法を行う場合は、④⑦の工程はA-2工法に含む。 参考数量:		①カッター縁切り ②浮き部はつり ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> ) ④はつり部埋戻し整形 ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)  ※A-2工法を行う場合は、③⑤の工程はA-2工法に含む。 参考数量:		①穿孔 ②穿孔内エアークリーニング ③エポキシ樹脂注入 ④ステンレスピン挿入  ⑤穿孔跡埋戻し [パテ状エポキシ樹脂] ⑥サンダーケレン ⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> ) ⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)  ※A-2工法を行う場合は、⑥⑦⑧の工程はA-2工法に含む。 参考数量: ①一般部分: 16ヶ所 ②指定部分: 25ヶ所 ③幅幅部:	

<b>名称</b> <b>D 浮き部処理</b>		<b>記号・仕様</b> D-3 モルタル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.11] D-3' タイル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.5.10]																																									
改修前	改修後																																										
<b>工程</b>		<table border="0"> <tr> <td>①ピン固定部穿孔</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑥注入口穿孔</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> <tr> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑦孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> <tr> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③エポキシ樹脂注入</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑧エポキシ樹脂注入</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> <tr> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④ステンレスピン挿入</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> <tr> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑩サンダーケレン</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> <tr> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> </tr> </table>	①ピン固定部穿孔	一般部 13ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 12ヶ所	指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所		②孔内エアークリーニング	一般部 13ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 12ヶ所	指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所		③エポキシ樹脂注入	一般部 13ヶ所	⑧エポキシ樹脂注入	一般部 12ヶ所	指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所		④ステンレスピン挿入	一般部 13ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 12ヶ所	指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所		⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 13ヶ所	⑩サンダーケレン	一般部 12ヶ所	指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所		<p>⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部：</p>
①ピン固定部穿孔	一般部 13ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 12ヶ所																																								
指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																									
②孔内エアークリーニング	一般部 13ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 12ヶ所																																								
指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																									
③エポキシ樹脂注入	一般部 13ヶ所	⑧エポキシ樹脂注入	一般部 12ヶ所																																								
指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																									
④ステンレスピン挿入	一般部 13ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 12ヶ所																																								
指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																									
⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 13ヶ所	⑩サンダーケレン	一般部 12ヶ所																																								
指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																									
<b>名称</b> <b>D 浮き部処理</b>		<b>記号・仕様</b> D-4 モルタル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4.4.12] D-4' タイル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4.5.11]																																									
改修前	改修後																																										
<b>工程</b>		<table border="0"> <tr> <td>①ピン固定部穿孔</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑥注入口穿孔</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> <tr> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑦孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> <tr> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ポリマーセメントスラリー注入</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑧ポリマーセメントスラリー注入</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> <tr> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④ステンレスピン挿入</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑨穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> <tr> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑩サンダーケレン</td> <td>一般部 12ヶ所</td> </tr> <tr> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> </tr> </table>	①ピン固定部穿孔	一般部 13ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 12ヶ所	指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所		②孔内エアークリーニング	一般部 13ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 12ヶ所	指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所		③ポリマーセメントスラリー注入	一般部 13ヶ所	⑧ポリマーセメントスラリー注入	一般部 12ヶ所	指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所		④ステンレスピン挿入	一般部 13ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]	一般部 12ヶ所	指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所		⑤穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]	一般部 13ヶ所	⑩サンダーケレン	一般部 12ヶ所	指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所		<p>⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③峽幅部：</p>
①ピン固定部穿孔	一般部 13ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 12ヶ所																																								
指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																									
②孔内エアークリーニング	一般部 13ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 12ヶ所																																								
指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																									
③ポリマーセメントスラリー注入	一般部 13ヶ所	⑧ポリマーセメントスラリー注入	一般部 12ヶ所																																								
指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																									
④ステンレスピン挿入	一般部 13ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]	一般部 12ヶ所																																								
指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																									
⑤穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]	一般部 13ヶ所	⑩サンダーケレン	一般部 12ヶ所																																								
指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																									
<b>名称</b> <b>D 浮き部処理</b>		<b>記号・仕様</b> D-5 モルタル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.13] D-5' タイル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.5.12]																																									
改修前	改修後																																										
<b>工程</b>		<table border="0"> <tr> <td>①穿孔</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td> <td>一般部 9ヶ所</td> </tr> <tr> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑥サンダーケレン</td> <td>一般部 9ヶ所</td> </tr> <tr> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td>⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm<sup>2</sup>)</td> <td>一般部 9ヶ所</td> </tr> <tr> <td>③ステンレスピン (注入口付) 挿入</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</td> <td>一般部 9ヶ所</td> </tr> <tr> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④エポキシ樹脂注入</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	①穿孔	一般部 9ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 9ヶ所	指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所		②孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所	⑥サンダーケレン	一般部 9ヶ所	指定部 16ヶ所		⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> )	一般部 9ヶ所	③ステンレスピン (注入口付) 挿入	一般部 9ヶ所	⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)	一般部 9ヶ所	指定部 16ヶ所				④エポキシ樹脂注入	一般部 9ヶ所			指定部 16ヶ所				<p>※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量：①一般部分：540m<sup>3</sup> ②指定部分：38.4m<sup>3</sup> ③峽幅部：</p>								
①穿孔	一般部 9ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 9ヶ所																																								
指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所																																									
②孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所	⑥サンダーケレン	一般部 9ヶ所																																								
指定部 16ヶ所		⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> )	一般部 9ヶ所																																								
③ステンレスピン (注入口付) 挿入	一般部 9ヶ所	⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)	一般部 9ヶ所																																								
指定部 16ヶ所																																											
④エポキシ樹脂注入	一般部 9ヶ所																																										
指定部 16ヶ所																																											

名称		D 浮き部処理											
記号・仕様		D-6 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 14] D-6' タイル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 5. 13]											
改修前	改修後												
		<p>①ピン固定部穿孔 一般部 9ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ] 一般部 9ヶ所 ⑩サンダーケレン 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm<sup>2</sup>) 指定部 16ヶ所 ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度) 指定部 16ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 ⑥注入口穿孔 一般部 9ヶ所 ⑬セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度) 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所 ③ステンレスピン (注入口付) 挿入 一般部 9ヶ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所 ④エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 ⑧エポキシ樹脂注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所</p> <p>※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③狭幅部：</p>											
工程		<p>③狭幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所) ④エポキシ樹脂注入 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所) ⑤エポキシ樹脂注入 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所)</p> <p>● 注入口付アンカーピン固定部 ○ 注入口</p>											

名称		D 浮き部処理											
記号・仕様		D-7 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 4. 15] D-7' タイル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 5. 14] ※標準グリッド等は、D-6、D-6'と同じ						D-8 タイル面注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法 (小口タイル以上) [標仕4. 5. 15]					
改修前	改修後												
		<p>①ピン固定部穿孔 一般部 9ヶ所 ⑥注入口穿孔 一般部 9ヶ所 ⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度) 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所 ②孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 ⑦孔内エアークリーニング 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所 ③ステンレスピン (注入口付) 挿入 一般部 9ヶ所 ⑧ポリマーセメントスラリー注入 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所 ④ポリマーセメントスラリー注入 一般部 9ヶ所 ⑨穿孔跡埋戻し [※リマセメントパテ] 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑤穿孔跡埋戻し [※リマセメントパテ] 一般部 9ヶ所 ⑩サンダーケレン 一般部 9ヶ所 指定部 16ヶ所 指定部 16ヶ所 ⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm<sup>2</sup>) 指定部 16ヶ所</p> <p>※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③狭幅部：</p>											
工程		<p>①穿孔 ②孔内エアークリーニング ③ステンレスピン (注入口付) 挿入 ④エポキシ樹脂注入 ⑤穿孔跡埋戻し [化粧キャップもしくは調色樹脂パテ]</p> <p>参考数量：</p>											

名称		E 欠損部処理											
記号・仕様		E-1 打抜き面充填工法 [標仕4. 3. 7]			E-2 打抜き面欠損部処理 [標仕4. 3. 3]			E-3 モルタル面欠損部処理 [標仕4. 4. 3]			F 外壁複合改修工法		
改修前	改修後												
		<p>①欠損部はつり等での整形 ②高圧水洗浄 (150~200kg/cm<sup>2</sup>) ③欠損はつり部埋戻し [※リマセメントパテ・エポキシ樹脂モルタル] ④セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-1工法を行う場合、②、④の工程はA-1工法に含む 参考数量：</p> <p>①欠損部・錆鉄筋周辺はつり等での整形 ②錆落とし ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm<sup>2</sup>) ④防錆処理 ⑤欠損はつり部埋戻し [※リマセメントパテ・エポキシ樹脂モルタル] ⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-1工法を行う場合、③、⑥の工程はA-1工法に含む 参考数量：</p> <p>①カッター縁切り ②欠損部はつり等での整形 ③高圧水洗浄 (150~200kg/cm<sup>2</sup>) ④欠損はつり部埋戻し [※リマセメントパテ・エポキシ樹脂モルタル] ⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度) (鉄筋の露出部がある場合はE-2による)</p> <p>※A-2工法を行う場合、③、⑤の工程はA-2工法に含む 参考数量：</p> <p>下地補修後 ①プライマー下塗り ②ポリマーペースト中塗り ③三軸ネット張り ④ワッシャー付アンカーピン打ち込み ⑤ポリマーペースト中塗り ⑥アルミ水切り取付け (L-30×15×2.0 ステンレスビス止@450) ⑦シーリング打設 (MS-2)</p>											
工程		<p>参考数量：</p> <p>参考数量：</p> <p>参考数量：</p>											
		参考数量			参考数量			参考数量			参考数量		
		ネット張り			水切			m <sup>2</sup>			m		




外部仕上表													
部位	部分	改修前仕上	改修工法	改修内容	改修後仕上	備考	部位	部分	改修前仕上	改修工法	改修内容	改修後仕上	備考
屋根	屋上 1・2・3	保護モルタル下地 加硫ゴム系ルーフィングシート防水(t=1.5)立上り共 (S-M1)	撤去	下地処理のうえ新設	塗膜防水 (X-1)		庇	天端・鼻：モルタル下地 ウレタン塗膜防水 (X-2)	水洗い	下地処理のうえ新設	塗膜防水		
	パラベットの立上り・柱型	手摺：アルミ製(縦格子、アルミ笠木付) 天端：コンクリート下地 ウレタン塗膜防水 (X-2)	重ね塗り	手摺：既存のまま 下地処理のうえ新設	塗膜防水 (X-2)			ドレイン	裏：モルタル刷毛引(t=25)下地 外装薄塗材E 錆鉄製 75φ	A-2 塗装改修	下地処理のうえ新設 下地調整のうえ新設	外装薄塗材E タールエポキシ樹脂塗装	
外壁	壁・柱型	モルタル刷毛引(t=25)下地 複層仕上塗材E	A-2	劣化部処理、下地調整のうえ新設	防水形複層塗材E		縦樋	カラーVP管 75φ (SUS支持金物共@1200) カラーVP管 100φ (SUS支持金物共@1200)	洗浄	高圧水洗浄	既存のまま		
	根廻	モルタル刷毛引(t=25)下地 セメント系下地調整材コテ塗り (C-2)	A-2	劣化部処理、下地調整のうえ新設	防水形複層塗材E			ポーチ・犬走	コンクリート下地 モルタルコテ押え	洗浄	高圧水洗浄	既存のまま	
							出入口スロープ	床：綿鋼板 手摺：ｽﾌﾟﾙﾊﾞｲﾌﾞ 50φOP 手摺柱：ｽﾌﾟﾙﾊﾞｲﾌﾞ 50φOP	塗装改修	下地調整のうえ新設	DP		

内部仕上表																					
階	室名	床		巾木		腰壁		壁		天井		梁型		廻縁	天井高	ｶｰﾈｰﾝｸﾞｽｶｰﾁﾝ取付板	環境測定 (特記1-14)	備考			
		下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上								
1	家庭科室	改修前	W 合板(T1)(t=15)下地 [床組下地共撤去] 長尺塩ビシート(t=2.5)貼り	-	-	-	-	M EP [下地調整]	LGS GB-D(t=9.5) [一部撤去]	M EP [外壁側下地調整]	塩ビ [一部撤去]	3000	-	-				7M製ｶｰﾈｰﾝｸﾞｽ、黒板 [既設のまま] 教室後方棚、窓下棚、学校間仕切 [撤去] 調理台(7台) [取外し]			
		改修後	C+S 構造用合板(T1)(t=15)下地 [床組下地共新設] 複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ 張り(t=15)(表層ｶﾊﾞ t=3) ｺﾝｸﾘｰﾄ土間+防湿ｼｰﾄ [新設]	-	-	-	-	M EP [塗装改修]	LGS GB-D(t=9.5) [一部新設]	M EP [外壁側塗装改修]	塩ビ [一部新設]	3000	-	-				教室後方棚、窓下棚、学校間仕切 [新設] 調理台(7台) [再取付け]			
普通教室1-1 普通教室1-2 普通教室1-3	普通教室	改修前	W 合板(T1)(t=15)下地 [床組下地共撤去] 長尺塩ビシート(t=2.5)貼り	-	-	-	-	-	LGS GB-D(t=9.5) [一部撤去]	M EP [外壁側下地調整]	塩ビ [一部撤去]	3000	-	-				7M製ｶｰﾈｰﾝｸﾞｽ、黒板 [既設のまま] 教室後方棚、窓下棚、学校間仕切 [撤去]			
		改修後	C+S 構造用合板(T1)(t=15)下地 [床組下地共新設] 複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ 張り(t=15)(表層ｶﾊﾞ t=3) ｺﾝｸﾘｰﾄ土間+防湿ｼｰﾄ [新設]	M	ビコム巾木H=100 [棚撤去部新設]	-	-	-	LGS GB-D(t=9.5) [一部新設]	M EP [外壁側塗装改修]	塩ビ [一部新設]	3000	-	-				教室後方棚、窓下棚、学校間仕切 [新設]			
会議室	会議室	改修前	W 合板(T1)(t=15)下地 [床組下地共撤去] 長尺塩ビシート(t=2.5)貼り	-	-	-	-	-	LGS GB-D(t=9.5) [一部撤去]	M EP [外壁側下地調整]	塩ビ [一部撤去]	3000	-	-				7M製ｶｰﾈｰﾝｸﾞｽ、黒板 [既設のまま] 教室後方棚、窓下棚、学校間仕切 [撤去]			
		改修後	C+S 構造用合板(T1)(t=15)下地 [床組下地共新設] 複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ 張り(t=15)(表層ｶﾊﾞ t=3) ｺﾝｸﾘｰﾄ土間+防湿ｼｰﾄ [新設]	M	ビコム巾木H=100 [棚撤去部新設]	-	-	-	LGS GB-D(t=9.5) [一部新設]	M EP [外壁側塗装改修]	塩ビ [一部新設]	3000	-	-				教室後方棚、窓下棚、学校間仕切 [新設]			
保健室	保健室	改修前	W 合板(T1)(t=15)下地 [床組下地共撤去] 長尺塩ビシート(t=2.5)貼り	-	-	-	-	-	LGS GB-D(t=9.5) [一部撤去]	M EP [外壁側下地調整]	塩ビ [一部撤去]	3000	-	-				7M製ｶｰﾈｰﾝｸﾞｽ、黒板 [既設のまま] 教室後方棚、学校間仕切 [撤去] 流し台 [取外し]			
		改修後	C+S 構造用合板(T1)(t=15)下地 [床組下地共新設] 長尺塩ビシート(t=2.5)貼り ｺﾝｸﾘｰﾄ土間+防湿ｼｰﾄ [新設]	M	ビコム巾木H=100 [棚撤去部新設]	-	-	-	LGS GB-D(t=9.5) [一部新設]	M EP [外壁側塗装改修]	塩ビ [一部新設]	3000	-	-				教室後方棚、学校間仕切 [新設] 流し台 [再取付け]			
略号凡例									防火材料認定番号			特記事項									
下地		塗装		SOP		UC		LE		OS		WP		GW							
C	コンクリート	GB-R	石こうボード	SOP	合成樹脂調合ペイント	UC	ウレタン樹脂ワニス	LE	石こうボード(12.5)	OS	ロックウール化粧吸音板(12)	WP	木材保護塗料	GW	グラスウール	※既存の仕上(シート類、塗装、壁紙等)のみを撤去した後、新たに仕上を新設する場合、 既存の下地(モルタル面、ボード面等)の凹凸や接着剤等は、スクレーパー及びディスクサンダー等を用い、 新規仕上げの施工に支障のないよう、適切な下地補修を行うこと					
CB	コンクリートブロック	GB-D	化粧石こうボード	CL	クリヤラッカー	LE	ラッカーエナメル	OS	化粧石こうボード(9.5)	OS	オイルステイン	WP	耐候性塗料	GW		※表中の「一部〇〇」の範囲は、図示による					
M	モルタル金ゴテ押え	GB-S	シーリング石こうボード	NAD	アクリル樹脂系非水分散系塗料	UC	ウレタン樹脂ワニス	LE	ロックウール化粧吸音板(12)	OS	オイルステイン	WP	耐候性塗料	GW		※図中(〇〇)は下地を示す					
M'	モルタル刷毛引き	GB-F	強化石こうボード	DP	耐候性塗料	UC	ウレタン樹脂ワニス	LE		OS	オイルステイン	WP	耐候性塗料	GW		※内装材・塗装材については、F☆☆☆☆を使用すること					
W	木造	DR	ロックウール化粧吸音板	EP-G	つや有り合成樹脂エマルジョンペイント	UC	ウレタン樹脂ワニス	LE		OS	オイルステイン	WP	耐候性塗料	GW		※床下地の合板は針葉樹構造用合板(t=15)、複合ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ はｽﾌﾟﾙﾊﾞｲﾌﾞ(t=15)(表層ｶﾊﾞ t=3)×90×909塗装品(ﾊﾞｯﾄ樹脂ｺｰﾃｲﾝｸﾞ) 接着+釘留工法とする。					
LGS	軽量鉄骨下地	AB	吸音板	EP	合成樹脂エマルジョンペイント	UC	ウレタン樹脂ワニス	LE		OS	オイルステイン	WP	耐候性塗料	GW		※化学物質の濃度測定は、1階家庭科室、保健室、2階図工室、普通教室3-1、3階普通教室4-1、通級指導教室とする。					
C+S	土間コンクリート+鋼製床組	FK	けい酸カルシウム板	EP-T	合成樹脂エマルジョン模様塗料	UC	ウレタン樹脂ワニス	LE		OS	オイルステイン	WP	耐候性塗料	GW							

内 部 仕 上 表

階	室 名		床		巾 木		腰 壁		壁		天 井		梁 型		廻縁	天井高	カーボックス カーブ取付板	環境 測定 (特記1-14)	備 考	
			下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上						
1	食堂1・2	改修前	W	合板(T1)(t=15)下地 [床組下地共撤去] 長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [廊下W2500は仕上のみ撤去]	-	-	-	-	-	-	LGS	GB-D(t=9.5) [一部撤去]	M	EP [外壁側下地調整]	塩ビ [一部撤去]	3000	-	-	7mm製カーボックス、黒板(食堂1) [既設のまま]	
		改修後	C+S	構造用合板(T1)(t=15)下地 [床組下地共新設] 長尺塩ビシート(t=2.5)貼り コンクリート土間+防湿シート [廊下W2500を除き新設]	-	-	-	-	-	-	LGS	GB-D(t=9.5) [一部新設]	M	EP [外壁側塗装改修]	塩ビ [一部新設]	3000	-	-	学校間仕切、17通り開口閉塞、黒板(食堂2) 、窓下棚、教室後方棚 [仮設利用時新設]	
	廊下1・2	改修前	M	長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [撤去]	-	-	-	-	M	EP [下地調整]	LGS	GB-D(t=9.5) [一部撤去]	-	-	塩ビ [一部撤去]	3000	-	-	手洗い場、シャッターボックス [既設のまま] 傘・雑巾掛、雨受け [撤去] 鏡 200×300 5か所 [取外し]	
		改修後	M	長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [新設]	-	-	-	-	M	EP [塗装改修]	LGS	GB-D(t=9.5) [一部新設]	-	-	塩ビ [一部新設]	3000	-	-	鏡 200×300 5か所 [再取付け]	
2	図工室	改修前	M	長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部撤去]	-	-	-	-	-	-	LGS	GB-D(t=9.5) [一部撤去]	M	EP [外壁側下地調整]	塩ビ [一部撤去]	3000	-	-	7mm製カーボックス、黒板 [既設のまま] 学校間仕切 [撤去]	
		改修後	M	長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部新設]	M	ビニル巾木H=100 [棚撤去部新設]	-	-	-	-	LGS	GB-D(t=9.5) [一部新設]	M	EP [外壁側塗装改修]	塩ビ [一部新設]	3000	-	-	学校間仕切 [新設]	
	普通教室2-1 2-2 2-3	改修前	M	長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部撤去]	-	-	-	-	-	-	LGS	GB-D(t=9.5) [一部撤去]	M	EP [外壁側下地調整]	塩ビ [一部撤去]	3000	-	-	7mm製カーボックス、黒板、OHPスクリーン [既設のまま] 教室後方棚、窓下棚、学校間仕切 [撤去]	
		改修後	M	長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部新設]	M	ビニル巾木H=100 [棚撤去部新設]	-	-	-	-	LGS	GB-D(t=9.5) [一部新設]	M	EP [外壁側塗装改修]	塩ビ [一部新設]	3000	-	-	教室後方棚、窓下棚、学校間仕切 [新設]	
	図書室1・2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	廊下1・2	改修前	M	長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [撤去]	-	-	-	-	M	EP [下地調整]	LGS	GB-D(t=9.5) [一部撤去]	-	-	塩ビ [一部撤去]	3000	-	-	手洗い場、シャッターボックス [既設のまま] 傘・雑巾掛、雨受け [撤去]	
		改修後	M	長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [新設]	-	-	-	-	M	EP [塗装改修]	LGS	GB-D(t=9.5) [一部新設]	-	-	塩ビ [一部新設]	3000	-	-	-	
	3	郷土資料室	改修前	M	長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部撤去]	-	-	-	-	-	-	LGS	GB-D(t=9.5) [一部撤去] スラブ下：現場発泡ウレタンt25 [既存のまま]	M	EP [外壁側下地調整]	塩ビ [一部撤去]	3000	-	-	7mm製カーボックス、黒板 [既設のまま] 教室後方棚、窓下棚、学校間仕切 [撤去]
			改修後	M	長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部新設]	M	ビニル巾木 [棚撤去部新設]	-	-	-	-	LGS	GB-D(t=9.5) [一部新設]	M	EP [外壁側塗装改修]	塩ビ [一部新設]	3000	-	-	教室後方棚、窓下棚、学校間仕切 [新設]
活動室1・2		改修前	M	長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部撤去]	-	-	-	-	-	-	LGS	GB-D(t=9.5) [一部撤去] スラブ下：現場発泡ウレタンt25 [既存のまま]	M	EP [外壁側下地調整]	塩ビ [一部撤去]	3000	-	-	7mm製カーボックス、黒板、OHPスクリーン [既設のまま] 教室後方棚、窓下棚、学校間仕切 [撤去]	
		改修後	M	長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部新設]	M	ビニル巾木 [棚撤去部新設]	-	-	-	-	LGS	GB-D(t=9.5) [一部新設]	M	EP [外壁側塗装改修]	塩ビ [一部新設]	3000	-	-	教室後方棚、窓下棚、学校間仕切 [新設]	





略号凡例										防火材料認定番号				特記事項		
下 地				塗 装												
C	コンクリート	GB-R	石こうボード	SOP	合成樹脂調合ペイント	UC	ウレタン樹脂ワニス	石こうボード(9.5)		準不燃 QM-9828		※既存の仕上(シート類、塗装、壁紙等)のみを撤去した後、新たに仕上を新設する場合、				
CB	コンクリートブロック	GB-D	化粧石こうボード	CL	クリヤラッカー	LE	ラッカーエナメル	石こうボード(12.5)		不燃 NM-8619		既存の下地(モルタル面、ボード面等)の凹凸や接着剤等は、スクレーパー及びディスクサンダー等を用い、				
M	モルタル金ゴテ押え	GB-S	シーキング石こうボード	NAD	アクリル樹脂系非水分散系塗料	OS	オイルステイン	化粧石こうボード(9.5)		準不燃 QM-9824		新規仕上げの施工に支障のないよう、適切な下地補修を行うこと				
M'	モルタル刷毛引き	GB-F	強化石こうボード	DP	耐候性塗料	WP	木材保護塗料	ロックウール化粧吸音板(12)		不燃 NM-8599		※表中の[一部〇〇]の範囲は、図示による				
W	木造	DR	ロックウール化粧吸音板	EP-G	つや有り合成樹脂エマルジョンペイント	そ の 他						※図中(〇〇)は下地を示す				
LGS	軽量鉄骨下地	AB	吸音板	EP	合成樹脂エマルジョンペイント	≡ シーリング(種別は特記仕様書による)						※内装材・塗装材については、F☆☆☆☆を使用のこと				
C+S	土間コンクリート+鋼製床組	FK	けい酸カルシウム板	EP-T	合成樹脂エマルジョン模様塗料	GW	グラスウール					※化学物質の濃度測定は、1階家庭科室、保健室、2階図工室、普通教室3-1、3階普通教室4-1、通級指導教室とする。				

 <b>有限会社 元廣建築設計事務所</b> 一級建築士事務所 第 223245 号 一級建築士事務所 広島県登録 18(1) 第 0951 号 <b>元 廣 匡 伸</b>	工事名: <b>三原小学校長寿命化改修工事(建築主体工事)</b>	図面名: <b>仕上表(2)</b>	縮尺: <b>—</b> A2版: 100% A3版: 70%	査図: <b>部長: 課長: 主任: 担当:</b>	日付: <b>R04年</b>	図番: <b>KD - 05</b>
---	-----------------------------------	--------------------	---------------------------------------	----------------------------	-----------------	--------------------

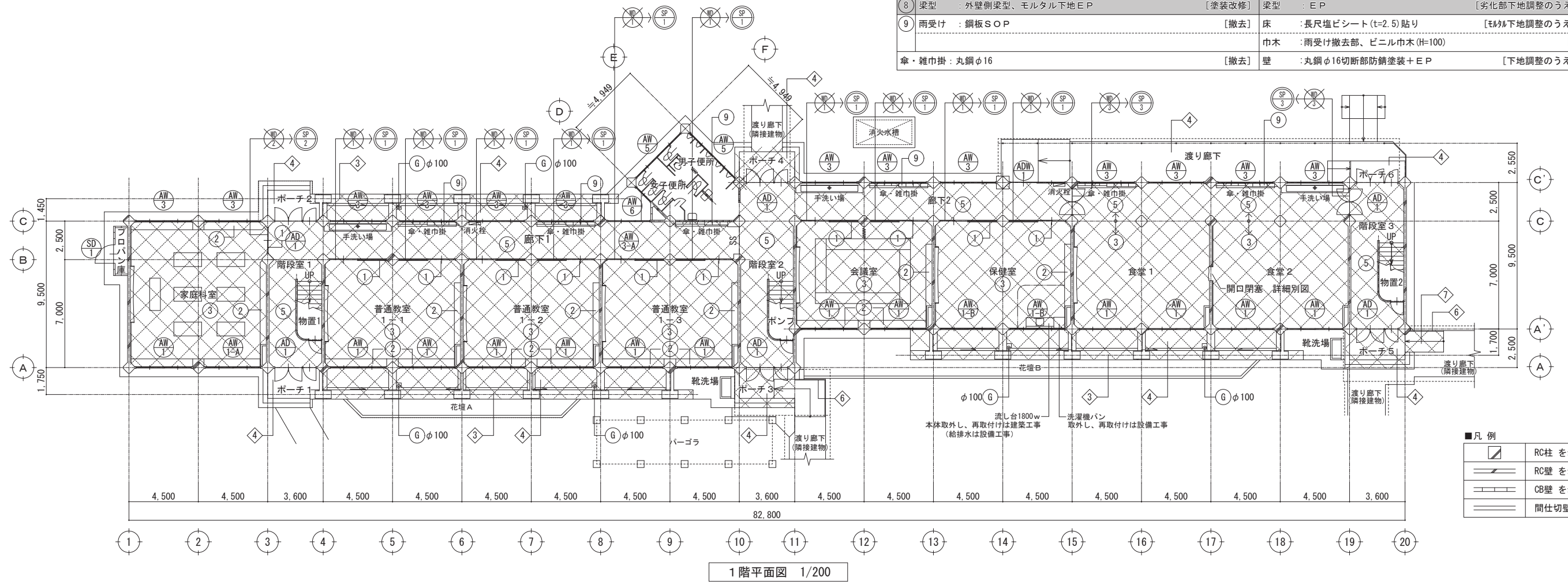
内 部 仕 上 表

階	室 名	改修前	床		巾 木		腰 壁		壁		天 井		梁 型		廻縁	天井高	カーボックス カーン取付板	環境 測定 (特記1-14)	備 考		
			下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上	下地	仕 上							
3	普通教室4-1	改修前	M	長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部撤去]	-	-	-	-	-	-	LGS	GB-D(t=9.5) [一部撤去]	M	EP	[外壁側下地調整]	塩ビ	3000	-	-	アルミ製カーボックス、黒板、OHPスクリーン [既設のまま]	
	4-2	改修後	M	長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部新設]	M	ビニル巾木H=100 [欄撤去部新設]	-	-	-	-	LGS	GB-D(t=9.5) [一部新設]	M	EP	[外壁側塗装改修]	塩ビ	3000	-	-	教室後方棚、窓下棚、学校間仕切 [新設]	
	5-1	改修前	M	長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部撤去]	-	-	-	-	-	-	LGS	GB-D(t=9.5) [一部撤去]	M	EP	[外壁側下地調整]	塩ビ	3000	-	-	パーテーション、アルミ製カーボックス、黒板 [既設のまま]	
	5-2	改修後	M	長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部新設]	M	ビニル巾木H=100 [欄撤去部新設]	-	-	-	-	LGS	GB-D(t=9.5) [一部新設]	M	EP	[外壁側塗装改修]	塩ビ	3000	-	-	窓下棚、学校間仕切 [新設]	
通級指導教室1	改修前	M	長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部撤去]	-	-	-	-	-	-	LGS	GB-D(t=9.5) [一部撤去]	M	EP	[外壁側下地調整]	塩ビ	3000	-	-	パーテーション、アルミ製カーボックス、黒板 [既設のまま]		
通級指導教室2	改修後	M	長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部新設]	M	ビニル巾木H=100 [欄撤去部新設]	-	-	-	-	LGS	GB-D(t=9.5) [一部新設]	M	EP	[外壁側塗装改修]	塩ビ	3000	-	-	窓下棚、学校間仕切 [新設]		
廊下1・2	改修前	M	長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [撤去]	-	-	-	-	M	EP	[下地調整]	LGS	GB-D(t=9.5) [一部撤去]	-	-		塩ビ	3000	-	-	手洗い場、シャッターボックス [既設のまま]	
共通	階段1・2・3	改修後	M	長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [新設]	-	-	-	-	M	EP	[塗装改修]	LGS	GB-D(t=9.5) [一部新設]	-	-		塩ビ	3000	-	-	各階段両面：アルミ芯材樹脂被覆手摺φ40 [新設]





略号凡例										防火材料認定番号				特記事項			
下 地			塗 装				防火材料認定番号				特記事項						
C	コンクリート	GB-R	石こうボード	SOP	合成樹脂調合ペイント	UC	ウレタン樹脂ワニス	石こうボード(9.5)	準不燃	QM-9828	※既存の仕上(シート類、塗装、壁紙等)のみを撤去した後、新たに仕上を新設する場合、						
CB	コンクリートブロック	GB-D	化粧石こうボード	CL	クリヤラッカー	LE	ラッカーエナメル	石こうボード(12.5)	不燃	NM-8619	既存の下地(モルタル面、ボード面等)の凹凸や接着剤等は、スクレーパー及びディスクサンダー等を用い、						
M	モルタル金ゴテ押え	GB-S	シーリング石こうボード	NAD	アクリル樹脂系非水分散系塗料	OS	オイルステイン	化粧石こうボード(9.5)	準不燃	QM-9824	新規仕上げの施工に支障のないよう、適切な下地補修を行うこと						
M'	モルタル刷毛引き	GB-F	強化石こうボード	DP	耐候性塗料	WP	木材保護塗料	ロックウール化粧吸音板(12)	不燃	NM-8599	※表中の【一部〇〇】の範囲は、図示による						
W	木造	DR	ロックウール化粧吸音板	EP-G	つや有り合成樹脂エマルジョンペイント	そ の 他			※図中(〇〇)は下地を示す								
LGS	軽量鉄骨下地	AB	吸音板	EP	合成樹脂エマルジョンペイント	≡	シーリング(種別は特記仕様書による)		※内装材・塗装材については、F☆☆☆☆を使用のこと								
C+S	土間コンクリート+鋼製床組	FK	けい酸カルシウム板	EP-T	合成樹脂エマルジョン模様塗料	GW	グラスウール		※化学物質の濃度測定は、1階家庭科室、保健室、2階図工室、普通教室3-1、3階普通教室4-1、通級指導教室とする。								

-  改修箇所を示す
-  建具周囲シーリング打替え  
変成シリコン系(MS-2、10×10)
-  撤去建具を示す。
-  新設建具を示す。

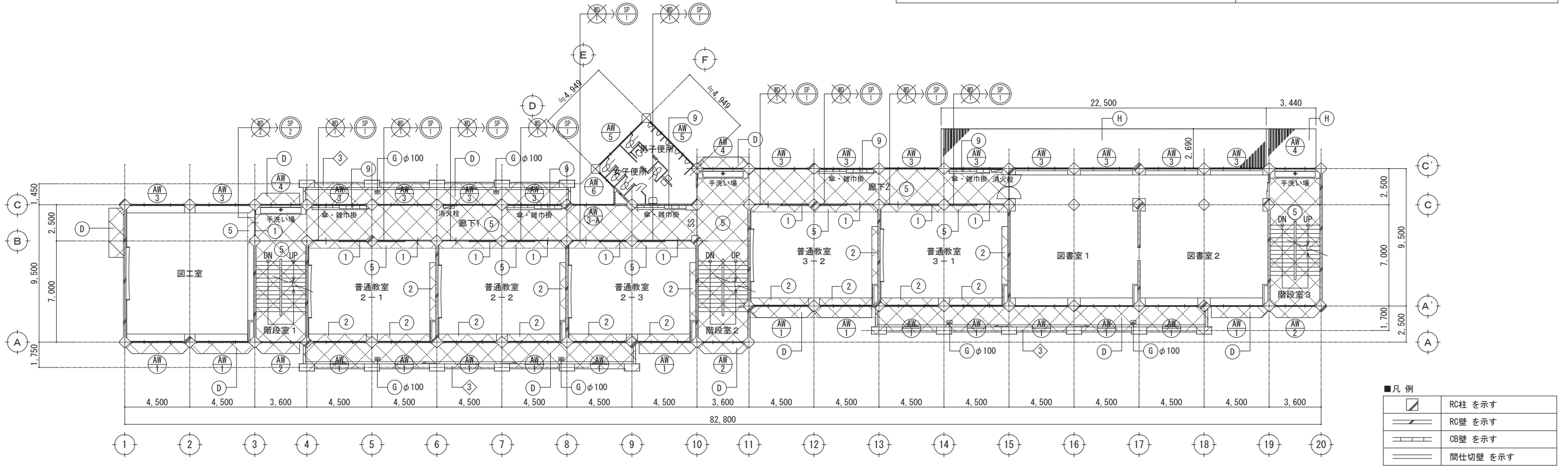
記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）
<b>【防水改修工事】</b>		
A	屋根：保護モルタル下地 加硫ゴム系ルーフシート防水(t=1.5)立上り共 [撤去]	屋根：塗膜防水、平場X-1、立上りX-2 [下地処理のうえ新設]
B	パラペット：コンクリート下地 珪藻土塗膜防水(X-2) [重ね塗り]	パラペット：塗膜防水 X-2 [下地処理のうえ新設]
C	手摺：アルミ製(縦格子、アルミ笠木付) [既存のまま]	
D	庇天端・鼻：モルタル下地 ウレタン塗膜防水(X-2) [水洗い]	庇天端：塗膜防水 X-2 [下地処理のうえ新設]
E	庇裏：モルタル刷毛引(t=25)下地 外装薄塗材E [高压洗浄]	庇裏：防水形複層塗材RE [下地調整のうえ新設]
F	RD：鑄鉄製φ75、φ100 [塗装改修]	RD：タールエポキシ樹脂塗装 [下地調整のうえ新設]
G	縦樋：カラーVP管φ75、φ100 [高压洗浄のみ]	
<b>【外壁改修工事】</b>		
1	根廻り：モルタル刷毛引(t=25)下地 [既存仕上撤去+高压洗浄] セメント系下地調整材コテ塗り(C-2)	根回り：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
2	壁・柱型：モルタル刷毛引(t=25)下地 複層仕上塗材E [既存仕上撤去+高压洗浄]	壁・柱型：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
3	外フレーム：コンクリート打放下地 複層仕上塗材E [既存仕上撤去+高压洗浄]	外フレーム：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
4	ホーチ・犬走：コンクリート下地 モルタルコテ押え [高压洗浄のみ]	
5	床下換気口：鋼製格子SOP [塗装改修]	床下換気口：DP 19か所 [下地調整のうえ新設]
6	手摺：鉄製φ50φOP 支柱：鉄製φ75φOP [塗装改修]	手摺：DP [新設]
7	出入口スロープ床：縞鋼板 [塗装改修]	出入口スロープ床：DP [新設]
<b>【内装改修工事】</b>		
1	建具：木製間仕切り撤去 [木製枠共撤去]	建具：鋼製学校間仕切 [新設]
2	棚：教室後方棚、窓下棚 [撤去]	棚：教室後方棚、窓下棚(木製) [新設] 巾木：棚撤去部：ビニル巾木 [新設]
3	床：合板(T1)(t=15)下地、長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [床組下地共撤去]	床：構造用合板(T1)(t=15)下地 [床組下地共新設] 複合フローリング張り(t=15)(表層加t=3) (食堂1、2：長尺塩ビシート(t=2.5)貼り)
4	土間：土	土間：コンクリート土間+防湿シート [新設]
5	床：長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部撤去(教室)・撤去(廊下)]	床：長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部新設(教室)・新設(廊下)]
6	天井：GB-D(t=9.5) [一部撤去]	天井：GB-D(t=9.5) [一部新設]
7	壁：モルタル下地EP [塗装改修]	壁：EP [下地調整のうえ新設]
8	梁型：外壁側梁型、モルタル下地EP [塗装改修]	梁型：EP [劣化部下地調整のうえ新設]
9	雨受け：鋼板SOP [撤去]	床：長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [モルタル下地調整のうえ新設] 巾木：雨受け撤去部、ビニル巾木(H=100) [新設] 壁：丸鋼φ16切断部防錆塗装+EP [下地調整のうえ新設]







1階平面図 1/200

-  改修箇所を示す
-  建具周囲シーリング打替え  
変成シリコン系(MS-2、10×10)
-  撤去建具を示す。
-  新設建具を示す。

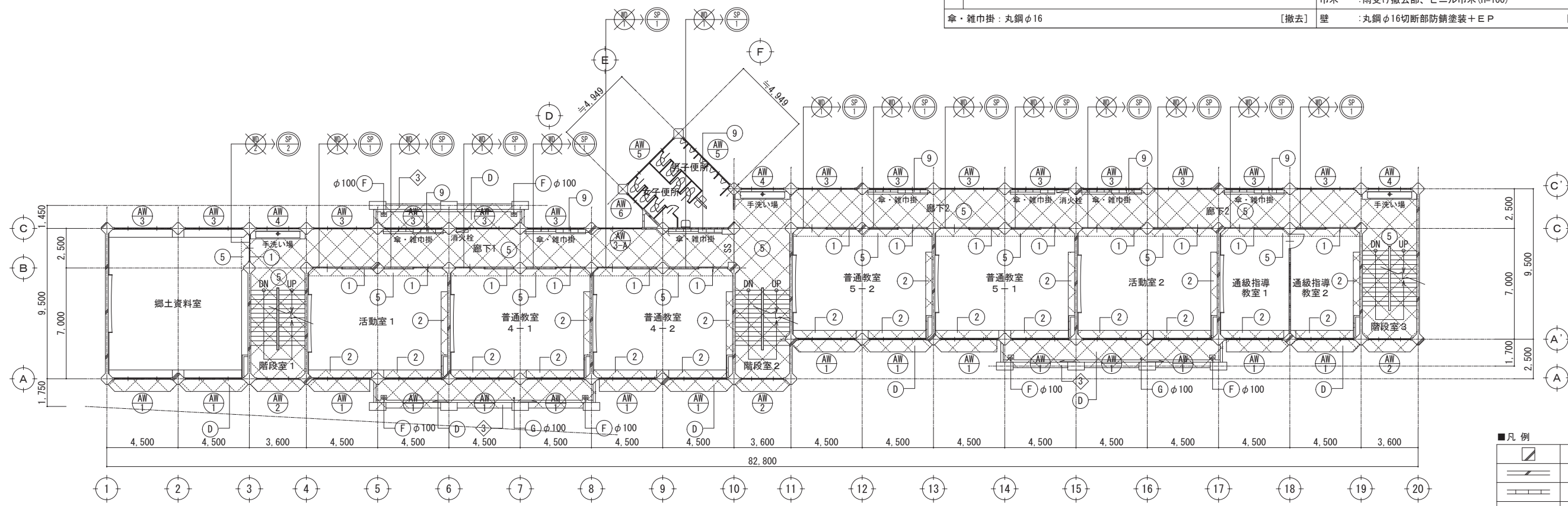
記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）
<b>【防水改修工事】</b>		
A	屋根：保護モルタル下地 加硫ゴム系 $\mu$ -フィンゲシート防水(t=1.5)立上り共 [撤去]	屋根：塗膜防水、平場X-1、立上りX-2 [下地処理のうえ新設]
B	パラペット：コンクリート下地 珪藻土塗膜防水(X-2) [重ね塗り]	パラペット：塗膜防水 X-2 [下地処理のうえ新設]
C	手摺：アルミ製（縦格子、アルミ笠木付） [既存のまま]	
D	庇天端・鼻：モルタル下地 ウレタン塗膜防水(X-2) [水洗い]	庇天端：塗膜防水 X-2 [下地処理のうえ新設]
E	庇裏：モルタル刷毛引(t=25)下地 外装薄塗材E [高压洗浄]	庇裏：防水形複層塗材RE [下地調整のうえ新設]
F	RD：鋳鉄製 $\phi$ 75、 $\phi$ 100 [塗装改修]	RD：タールエポキシ樹脂塗装 [下地調整のうえ新設]
G	縦樋：カラーVP管 $\phi$ 75、 $\phi$ 100 [高压洗浄のみ]	
H	ルーフパネル：カラー鋼板 [高压洗浄のみ]	
<b>【外壁改修工事】</b>		
1	根廻り：モルタル刷毛引(t=25)下地 [既存仕上撤去+高压水洗] セメント系下地調整材コテ塗り(C-2)	根回り：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
2	壁・柱型：モルタル刷毛引(t=25)下地 複層仕上塗材E [既存仕上撤去+高压水洗]	壁・柱型：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
3	外フレーム：コンクリート打放下地 複層仕上塗材E [既存仕上撤去+高压水洗]	外フレーム：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
4	窓・扉・犬走：コンクリート下地 モルタルコテ押え [高压洗浄のみ]	
5	床下換気口：鋼製格子SOP [塗装改修]	床下換気口：DP 19か所 [下地調整のうえ新設]
<b>【内装改修工事】</b>		
1	建具：木製間仕切り撤去 [木製枠共撤去]	建具：鋼製学校間仕切 [新設]
2	棚：教室後方棚、窓下棚 [撤去]	棚：教室後方棚、窓下棚（木製） [新設]
		巾木：棚撤去部：ビニル巾木 [新設]
3	床：合板(T1)(t=15)下地、長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [床組下地共撤去]	床：構造用合板(T1)(t=15)下地 [床組下地共新設] 複合フローリング張り(t=15)(表層 $\phi$ t=3)
4	土間：土	土間：コンクリート土間+防湿シート [新設]
5	床：長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部撤去(教室)・撤去(廊下)]	床：長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部新設(教室)・新設(廊下)]
6	天井：GB-D(t=9.5) [一部撤去]	天井：GB-D(t=9.5) [一部新設]
7	壁：モルタル下地EP [塗装改修]	壁：EP [下地調整のうえ新設]
8	梁型：外壁側梁型、モルタル下地EP [塗装改修]	梁型：EP [劣化部下地調整のうえ新設]
9	雨受け：鋼板SOP [撤去]	床：長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [モルタル下地調整のうえ新設] 巾木：雨受け撤去部、ビニル巾木(H=100) [新設]
	傘・雑巾掛：丸鋼 $\phi$ 16 [撤去]	壁：丸鋼 $\phi$ 16切断部防錆塗装+EP [下地調整のうえ新設]



2階平面図 1/200

-  改修箇所を示す
-  建具周囲シーリング打替え  
変成シリコン系 (MS-2、10×10)
-  撤去建具を示す。
-  新設建具を示す。



記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）
<b>【防水改修工事】</b>		
A	屋根：保護モルタル下地 加硫ゴム系 $\beta$ -フィン $\gamma$ シート防水 (t=1.5) 立上り共 [撤去]	屋根：塗膜防水、平場X-1、立上りX-2 [下地処理のうえ新設]
B	パレット：コンクリート下地 ウレタン塗膜防水 (X-2) [重ね塗り]	パレット：塗膜防水 X-2 [下地処理のうえ新設]
C	手摺：アルミ製 (縦格子、アルミ笠木付) [既存のまま]	
D	庇天端・鼻：モルタル下地 ウレタン塗膜防水 (X-2) [水洗い]	庇天端：塗膜防水 X-2 [下地処理のうえ新設]
E	庇裏：モルタル刷毛引 (t=25) 下地 外装薄塗材E [高圧洗浄]	庇裏：防水形複層塗材RE [下地調整のうえ新設]
F	R D：鋼鉄製 $\phi$ 75、 $\phi$ 100 [塗装改修]	R D：タールエポキシ樹脂塗装 [下地調整のうえ新設]
G	壁樋：カラーVP管 $\phi$ 75、 $\phi$ 100 [高圧洗浄のみ]	
<b>【外壁改修工事】</b>		
1	根廻り：モルタル刷毛引 (t=25) 下地 [既存仕上撤去+高圧水洗] セメント系下地調整材コテ塗り (C-2)	根回り：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
2	壁・柱型：モルタル刷毛引 (t=25) 下地 複層仕上塗材E [既存仕上撤去+高圧水洗]	壁・柱型：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
3	外フレーム：コンクリート打放下地 複層仕上塗材E [既存仕上撤去+高圧水洗]	外フレーム：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
4	ボーチ・犬走：コンクリート下地 モルタルコテ押え [高圧洗浄のみ]	
5	床下換気口：鋼製格子SOP [塗装改修]	床下換気口：DP 19か所 [下地調整のうえ新設]
<b>【内装改修工事】</b>		
1	建具：木製間仕切り撤去 [木製枠共撤去]	建具：鋼製学校間仕切 [新設]
2	棚：教室後方棚、窓下棚 [撤去]	棚：教室後方棚、窓下棚 (木製) [新設] 巾木：棚撤去部：ビニル巾木 [新設]
3	床：合板 (T1) (t=15) 下地、長尺塩ビシート (t=2.5) 貼り [床組下地共撤去]	床：構造用合板 (T1) (t=15) 下地 [床組下地共新設] 複合フローリング <sup>※</sup> 張り (t=15) (表層 <sup>※</sup> t=3)
4	土間：土	土間：コンクリート土間+防湿シート [新設]
5	床：長尺塩ビシート (t=2.5) 貼り [一部撤去 (教室)・撤去 (廊下)]	床：長尺塩ビシート (t=2.5) 貼り [一部新設 (教室)・新設 (廊下)]
6	天井：GB-D (t=9.5) [一部撤去]	天井：GB-D (t=9.5) [一部新設]
7	壁：モルタル下地EP [塗装改修]	壁：EP [下地調整のうえ新設]
8	梁型：外壁側梁型、モルタル下地EP [塗装改修]	梁型：EP [劣化部下地調整のうえ新設]
9	雨受け：鋼板SOP [撤去]	床：長尺塩ビシート (t=2.5) 貼り [モルタル下地調整のうえ新設] 巾木：雨受け撤去部、ビニル巾木 (H=100) [新設] 壁：丸鋼 $\phi$ 16切断部防錆塗装+EP [下地調整のうえ新設]

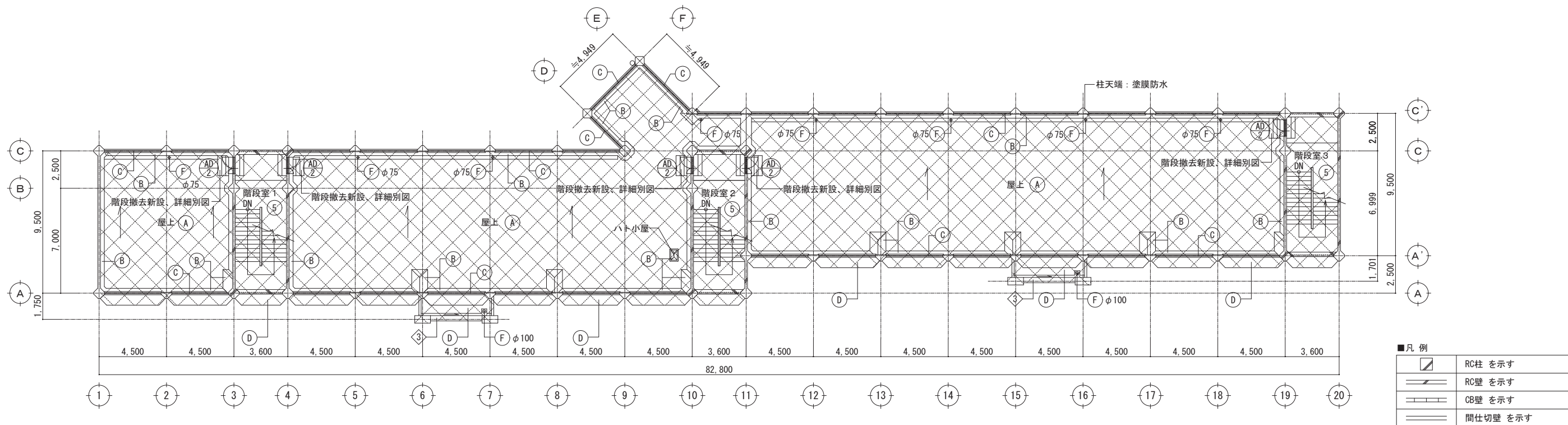


3階平面図 1/200

凡例	
	RC柱を示す
	RC壁を示す
	CB壁を示す
	間仕切り壁を示す

記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）
<b>【防水改修工事】</b>		
A	屋根：保護モルタル下地 加硫ゴム系シート防水(t=1.5)立上り共 [撤去]	屋根：塗膜防水、平場X-1、立上りX-2 [下地処理のうえ新設]
B	パレット：コンクリート下地 ウレタン塗膜防水(X-2) [重ね塗り]	パレット：塗膜防水 X-2 [下地処理のうえ新設]
C	手摺：アルミ製(縦格子、アルミ笠木付) [既存のまま]	
D	庇天端・鼻：モルタル下地 ウレタン塗膜防水(X-2) [水洗い]	庇天端：塗膜防水 X-2 [下地処理のうえ新設]
E	庇裏：モルタル刷毛引(t=25)下地 外装薄塗材E [高圧洗浄]	庇裏：防水形複層塗材RE [下地調整のうえ新設]
F	R D：錆鉄製φ75、φ100 [塗装改修]	R D：タールエポキシ樹脂塗装 [下地調整のうえ新設]
G	縦樋：カラーVP管φ75、φ100 [高圧洗浄のみ]	
<b>【外壁改修工事】</b>		
1	根廻り：モルタル刷毛引(t=25)下地 [既存仕上撤去+高圧水洗] セメント系下地調整材コテ塗り(C-2)	根回り：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
2	壁・柱型：モルタル刷毛引(t=25)下地 複層仕上塗材E [既存仕上撤去+高圧水洗]	壁・柱型：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
3	外フレーム：コンクリート打放下地 複層仕上塗材E [既存仕上撤去+高圧水洗]	外フレーム：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
4	窓・犬走：コンクリート下地 モルタルコテ押え [高圧洗浄のみ]	
5	床下換気口：鋼製格子SOP [塗装改修]	床下換気口：DP 19か所 [下地調整のうえ新設]
<b>【内装改修工事】</b>		
1	建具：木製間仕切り撤去 [木製枠共撤去]	建具：鋼製学校間仕切 [新設]
2	棚：教室後方棚、窓下棚 [撤去]	棚：教室後方棚、窓下棚(木製) [新設]
		巾木：棚撤去部：ビニル巾木 [新設]
3	床：合板(T1)(t=15)下地、長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [床組下地共撤去]	床：構造用合板(T1)(t=15)下地 [床組下地共新設] 複合フローリング張り(t=15)(表層がt=3)
4	土間：土	土間：コンクリート土間+防湿シート [新設]
5	床：長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部撤去(教室)・撤去(廊下)]	床：長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部新設(教室)・新設(廊下)]
6	天井：GB-D(t=9.5) [一部撤去]	天井：GB-D(t=9.5) [一部新設]
7	壁：モルタル下地EP [塗装改修]	壁：EP [下地調整のうえ新設]
8	梁型：外壁側梁型、モルタル下地EP [塗装改修]	梁型：EP [劣化部下地調整のうえ新設]

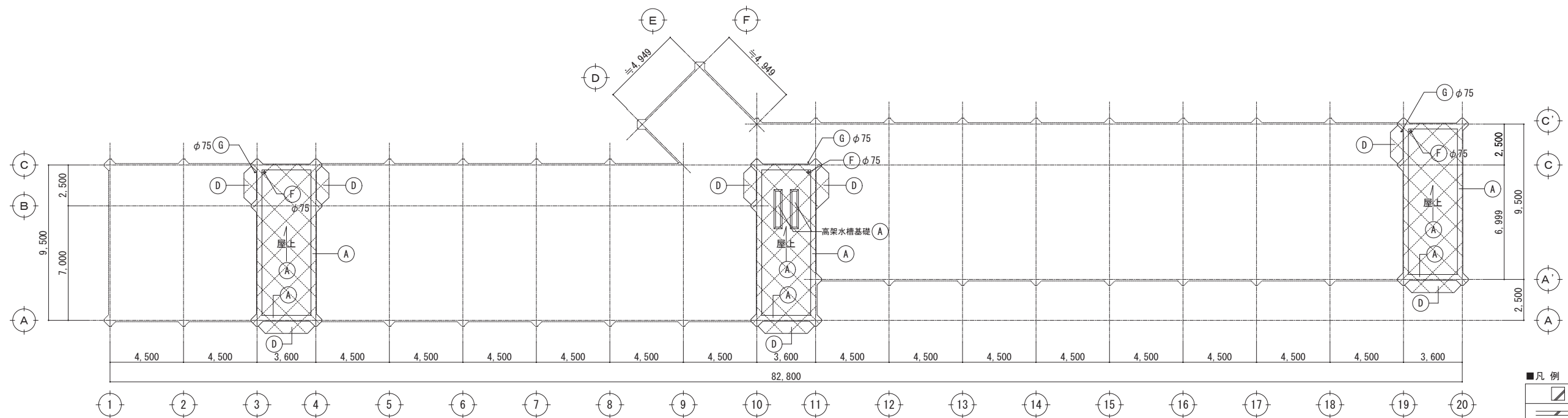
-  改修箇所を示す
-  建具周囲シーリング打替え 変成シリコン系(MS-2、10×10)



R階平面図 1/200

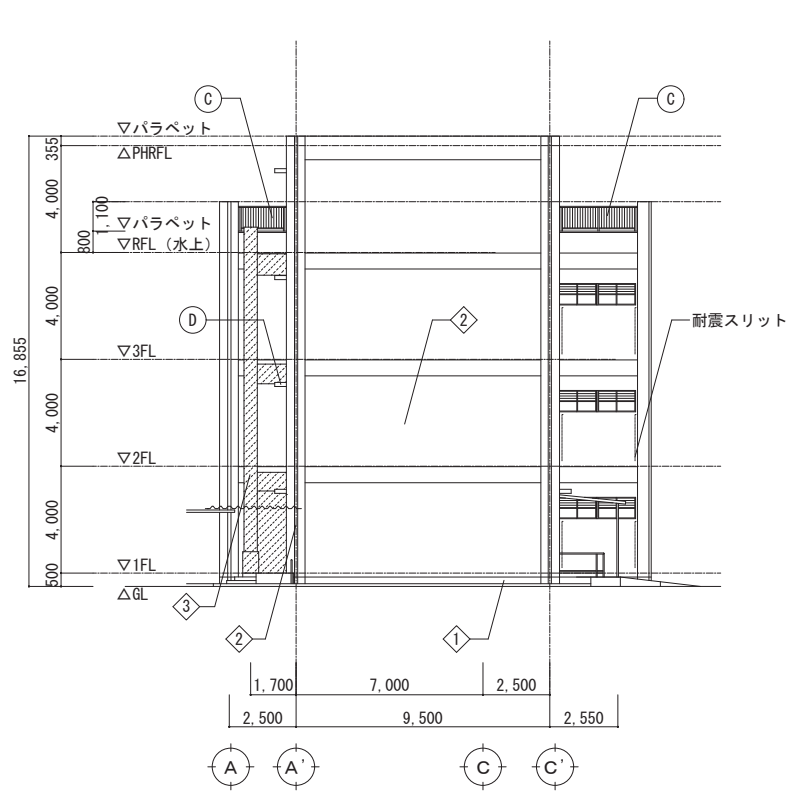
記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）
<b>【防水改修工事】</b>		
A	屋根：保護モルタル下地 加硫ゴム系「フイック」シート防水(t=1.5)立上り共 [撤去]	屋根：塗膜防水、平場X-1、立上りX-2 [下地処理のうえ新設]
B	パレット：コンクリート下地 ウレタン塗膜防水(X-2) [重ね塗り]	パレット：塗膜防水 X-2 [下地処理のうえ新設]
C	手摺：アルミ製（縦格子、アルミ笠木付） [既存のまま]	
D	庇先端・鼻：モルタル下地 ウレタン塗膜防水(X-2) [水洗い]	庇先端：塗膜防水 X-2 [下地処理のうえ新設]
E	庇裏：モルタル刷毛引(t=25)下地 外装薄塗材E [高圧洗浄]	庇裏：防水形複層塗材RE [下地調整のうえ新設]
F	R/D：錆鉄製φ75 [塗装改修]	R/D：タールエポキシ樹脂塗装 [下地調整のうえ新設]
G	壁樋：カラーVP管φ75、φ100 [高圧洗浄のみ]	
<b>【外壁改修工事】</b>		
1	根廻り：モルタル刷毛引(t=25)下地 [既存仕上撤去+高圧水洗] セメント系下地調整材コテ塗り(C-2)	根回り：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
2	壁・柱型：モルタル刷毛引(t=25)下地 複層仕上塗材E [既存仕上撤去+高圧水洗]	壁・柱型：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
3	外フレーム：コンクリート打放下地 複層仕上塗材E [既存仕上撤去+高圧水洗]	外フレーム：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
4	お・ち・犬走：コンクリート下地 モルタルコテ押え [高圧洗浄のみ]	
5	床下換気口：鋼製格子SOP [塗装改修]	床下換気口：DP 19か所 [下地調整のうえ新設]
<b>【内装改修工事】</b>		
1	建具：木製間仕切り撤去 [木製枠共撤去]	建具：鋼製学校間仕切 [新設]
2	棚：教室後方棚、窓下棚 [撤去]	棚：教室後方棚、窓下棚（木製） [新設]
		巾木：棚撤去部：ビニル巾木 [新設]
3	床：合板(T1)(t=15)下地、長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [床組下地共撤去]	床：構造用合板(T1)(t=15)下地 [床組下地共新設] 複合フローリング張り(t=15)(表層加 t=3)
4	土間：土	土間：コンクリート土間+防湿シート [新設]
5	床：長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部撤去(教室)・撤去(廊下)]	床：長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部新設(教室)・新設(廊下)]
6	天井：GB-D(t=9.5) [一部撤去]	天井：GB-D(t=9.5) [一部新設]
7	壁：モルタル下地EP [塗装改修]	壁：EP [下地調整のうえ新設]
8	梁型：外壁側梁型、モルタル下地EP [塗装改修]	梁型：EP [劣化部下地調整のうえ新設]

☒ 改修箇所を示す



PHR階平面図 1/200

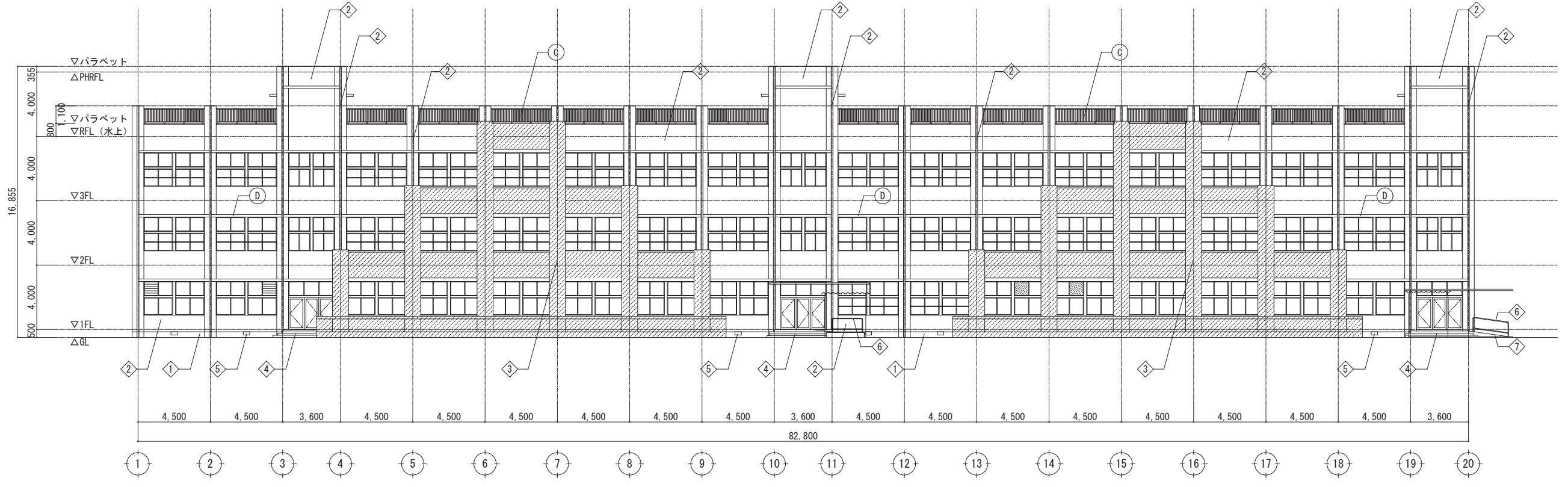




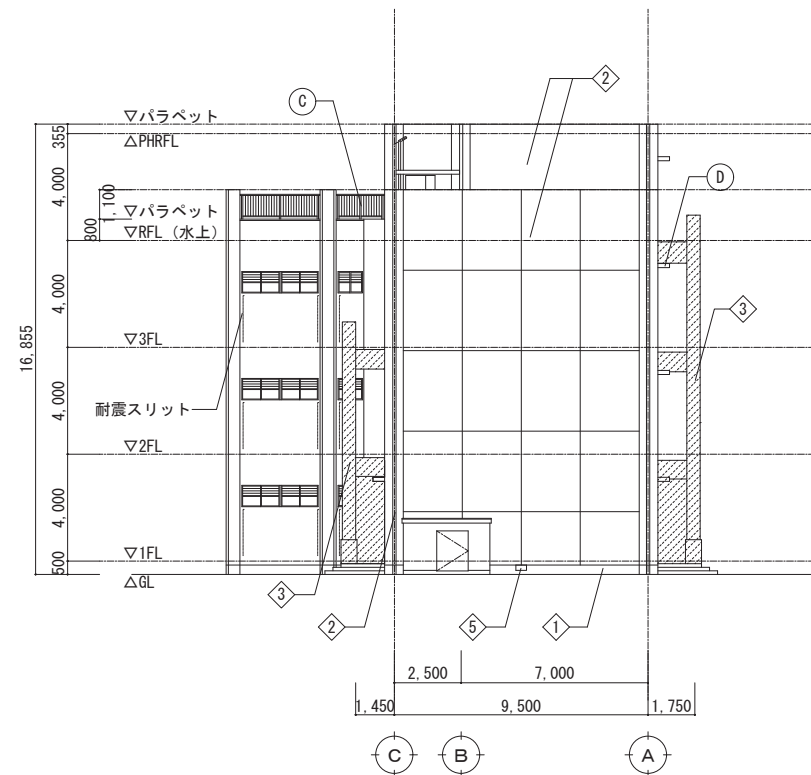
東側立面図 1/200

P C a 部分を示す  
 耐震スリット打替え  
 変成シリコン系 (MS-2、30×10)

記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）
<b>【防水改修工事】</b>		
A	屋根：保護モルタル下地 加硫ゴム系膜防水（t=1.5）立上り共 [撤去]	屋根：塗膜防水、平場×-1、立上り×-2 [下地処理のうえ新設]
B	パラペット：コンクリート下地 ウレタン塗膜防水（X-2） [重ね塗り]	パラペット：塗膜防水 X-2 [下地処理のうえ新設]
C	手摺：アルミ製（縦格子、アルミ笠木付） [既存のまま]	
D	庇先端・鼻：モルタル下地 ウレタン塗膜防水（X-2） [水洗い]	庇先端：塗膜防水 X-2 [下地処理のうえ新設]
E	庇裏：モルタル刷毛引（t=25）下地 外装薄塗材E [高圧洗浄]	庇裏：防水形複層塗材RE [下地調整のうえ新設]
F	R D：鉄製φ75 [塗装改修]	R D：タールエポキシ樹脂塗装 [下地調整のうえ新設]
G	縦樋：カラーVP管φ75、φ100 [高圧洗浄のみ]	
<b>【外壁改修工事】</b>		
①	根廻り：モルタル刷毛引（t=25）下地 セメント系下地調整材コテ塗り（C-2） [既存仕上撤去+高圧水洗]	根廻り：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
②	壁・柱型：モルタル刷毛引（t=25）下地 複層仕上塗材E [既存仕上撤去+高圧水洗]	壁・柱型：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
③	外フェーム：コンクリート打放し下地 複層仕上塗材E [既存仕上撤去+高圧水洗]	外フェーム：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
④	ボーチ・犬走：コンクリート下地 モルタルコテ押え [高圧洗浄のみ]	
⑤	床下換気口：鋼製格子S O P [塗装改修]	床下換気口：D P 19か所 [下地調整のうえ新設]
⑥	手摺：鉄製φ50φOP 支柱：鉄製φ50φOP [塗装改修]	手摺：D P [新設]
⑦	出入口スロープ床：鋼板 [塗装改修]	出入口スロープ床：D P [新設]
<b>【内装改修工事】</b>		
①	建具：木製間仕切り撤去 [木製枠共撤去]	建具：鋼製学校間仕切 [新設]
②	棚：教室後方棚、窓下棚 [撤去]	棚：教室後方棚、窓下棚（木製） [新設]
		巾木：棚撤去部：ビニル巾木 [新設]
③	床：合板（T1）（t=15）下地、長尺塩ビシート（t=2.5）貼り [床組下地共撤去]	床：構造用合板（T1）（t=15）下地 複合フローリング張り（t=15）（表層が t=3） [床組下地共新設]
④	土間：土	土間：コンクリート土間+防湿シート [新設]
⑤	床：長尺塩ビシート（t=2.5）貼り [一部撤去（教室）・撤去（廊下）]	床：長尺塩ビシート（t=2.5）貼り [一部新設（教室）・新設（廊下）]
⑥	天井：GB-D（t=9.5） [一部撤去]	天井：GB-D（t=9.5） [一部新設]
⑦	壁：モルタル下地E P [塗装改修]	壁：E P [下地調整のうえ新設]
⑧	梁型：外壁側梁型、モルタル下地E P [塗装改修]	梁型：E P [劣化部下地調整のうえ新設]



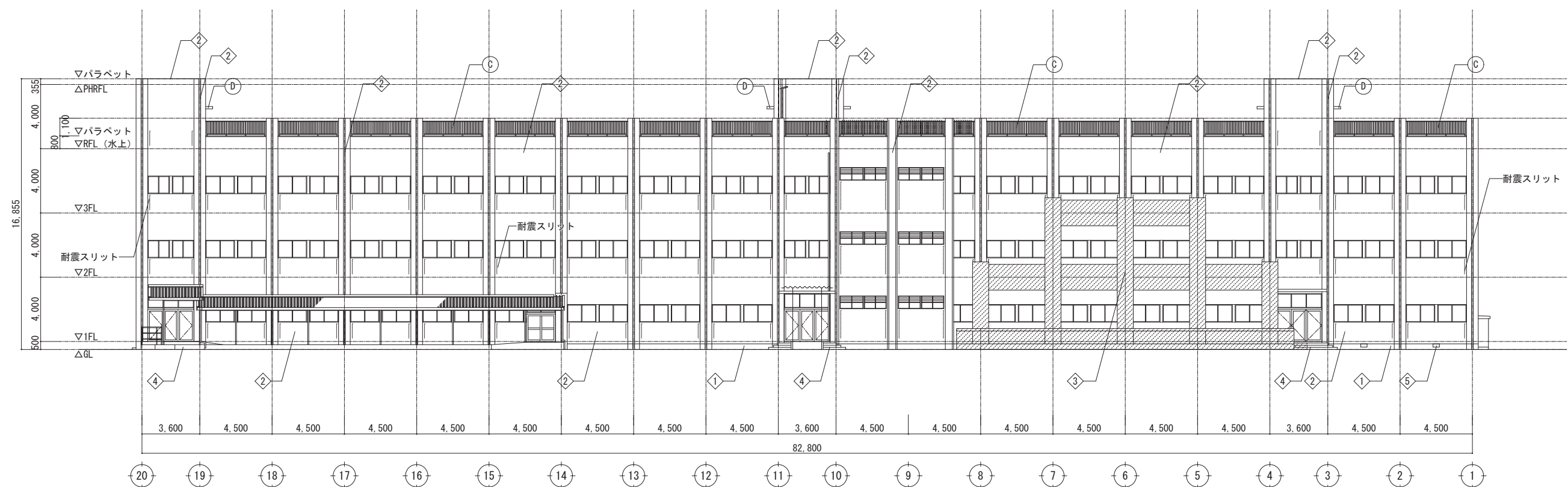
南側立面図 1/200



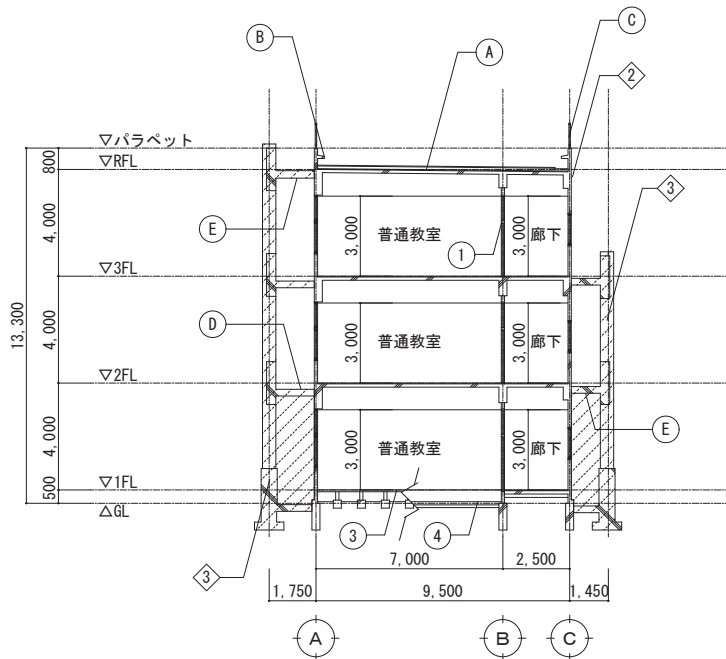
西側立面図 1/200

P C a 部分を示す  
 耐震スリット打替え  
 変成シリコン系 (MS-2、30×10)

記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）
<b>【防水改修工事】</b>		
A	屋根：保護モルタル下地 加硫ゴム系L-フィンクシート防水 (t=1.5) 立上り共 [撤去]	屋根：塗膜防水、平場X-1、立上りX-2 [下地処理のうえ新設]
B	パラペット：コンクリート下地 ウレタン塗膜防水 (X-2) [重ね塗り]	パラペット：塗膜防水 X-2 [下地処理のうえ新設]
C	手摺：アルミ製（縦格子、アルミ笠木付） [既存のまま]	
D	庇天端・鼻：モルタル下地 ウレタン塗膜防水 (X-2) [水洗い]	庇天端：塗膜防水 X-2 [下地処理のうえ新設]
E	庇裏：モルタル刷毛引 (t=25) 下地 外装薄塗材E [高圧洗浄]	庇裏：防水形複層塗材RE [下地調整のうえ新設]
F	R D：錆鉄製75φ [塗装改修]	R D：タールエポキシ樹脂塗装 [下地調整のうえ新設]
G	縦樋：カラーVP管φ75、φ100 [高圧洗浄のみ]	
<b>【外壁改修工事】</b>		
①	根廻り：モルタル刷毛引 (t=25) 下地 [既存仕上撤去+高圧水洗] セメント系下地調整材コテ塗り (C-2)	根廻り：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
②	壁・柱型：モルタル刷毛引 (t=25) 下地 複層仕上塗材E [既存仕上撤去+高圧水洗]	壁・柱型：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
③	外フレーム：コンクリート打放下地 複層仕上塗材E [既存仕上撤去+高圧水洗]	外フレーム：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
④	ボーチ・犬走：コンクリート下地 モルタルコテ押え [高圧洗浄のみ]	
⑤	床下換気口：鋼製格子SOP [塗装改修]	床下換気口：DP 19か所 [下地調整のうえ新設]
<b>【内装改修工事】</b>		
①	建具：木製間仕切り撤去 [木製枠共撤去]	建具：鋼製学校間仕切 [新設]
②	棚：教室後方棚、窓下棚 [撤去]	棚：教室後方棚、窓下棚 (木製) [新設]
		巾木：棚撤去部：ビニル巾木 [新設]
③	床：合板 (T1) (t=15) 下地、長尺塩ビシート (t=2.5) 貼り [床組下地共撤去]	床：構造用合板 (T1) (t=15) 下地 [床組下地共新設] 複合フローリング張り (t=15) (表層が t=3)
④	土間：土	土間：コンクリート土間+防湿シート [新設]
⑤	床：長尺塩ビシート (t=2.5) 貼り [一部撤去 (教室)・撤去 (廊下)]	床：長尺塩ビシート (t=2.5) 貼り [一部新設 (教室)・新設 (廊下)]
⑥	天井：GB-D (t=9.5) [一部撤去]	天井：GB-D (t=9.5) [一部新設]
⑦	壁：モルタル下地EP [塗装改修]	壁：EP [下地調整のうえ新設]
⑧	梁型：外壁側梁型、モルタル下地EP [塗装改修]	梁型：EP [劣化部下地調整のうえ新設]



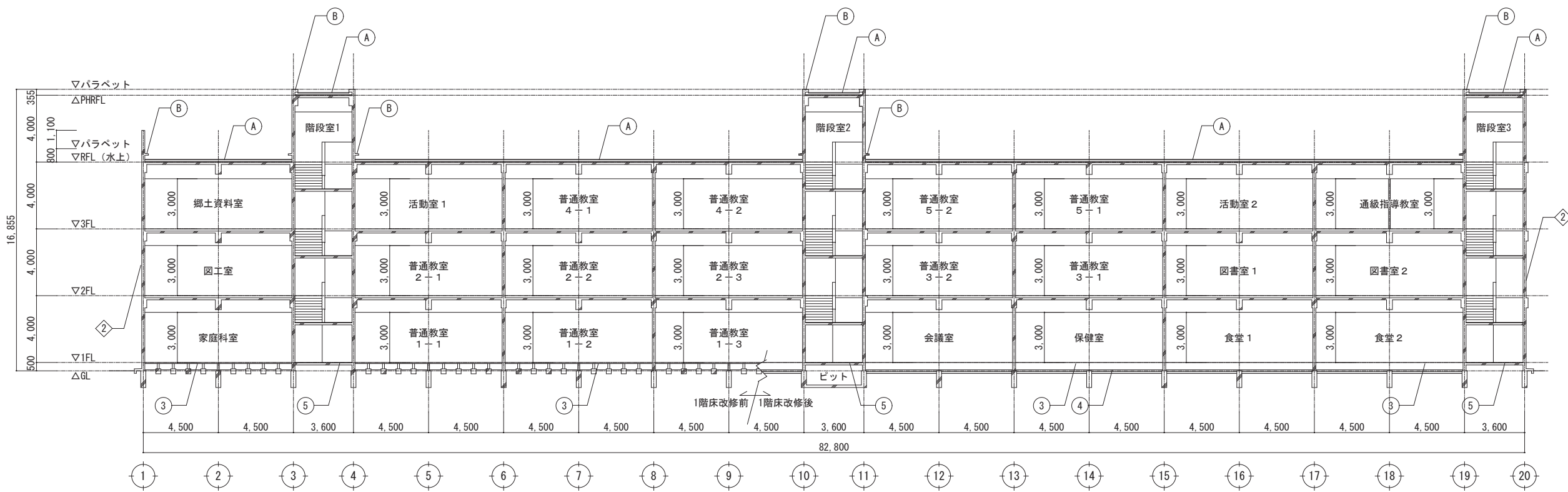
北側立面図 1/200



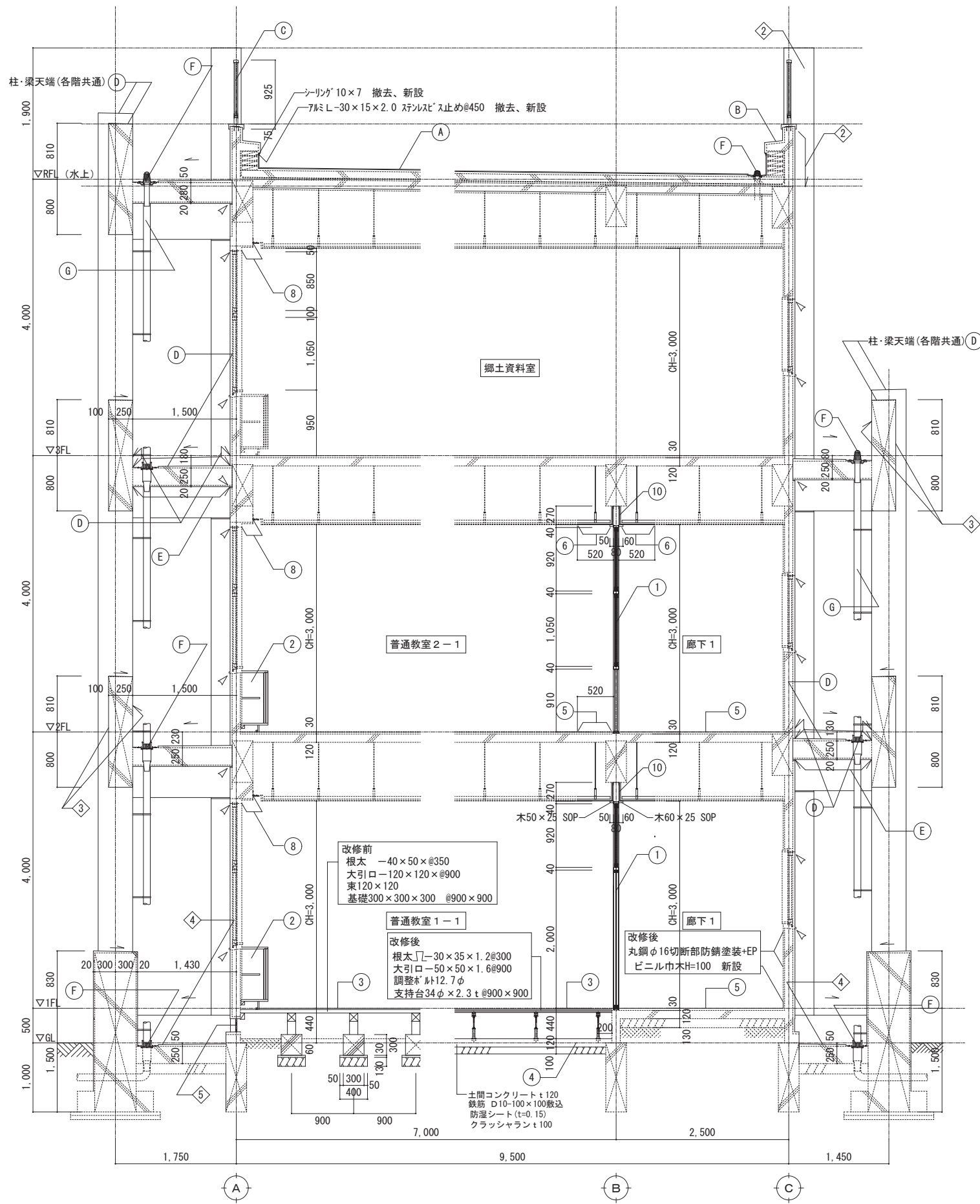
断面図 (1) 1/200

P C a 部分を示す  
 耐震スリット打替え  
 変成シリコン系 (MS-2、30×10)

記号	部位：仕上げ材 (下地) (改修前)	部位：仕上げ材 (下地) (改修後)
<b>【防水改修工事】</b>		
A	屋根 : 保護モルタル下地 加硫ゴム系「フイック」シート防水 (t=1.5) 立上り共 [撤去]	屋根 : 塗膜防水、平場 X-1、立上り X-2 [下地処理のうえ新設]
B	パラペット : コンクリート下地 ウレタン塗膜防水 (X-2) [重ね塗り]	パラペット : 塗膜防水 X-2 [下地処理のうえ新設]
C	手摺 : アルミ製 (縦格子、アルミ笠木付) [既存のまま]	
D	庇天端・鼻 : モルタル下地 ウレタン塗膜防水 (X-2) [水洗い]	庇天端 : 塗膜防水 X-2 [下地処理のうえ新設]
E	庇裏 : モルタル刷毛引 (t=25) 下地 外装薄塗材E [高圧洗浄]	庇裏 : 防水形複層塗材RE [下地調整のうえ新設]
F	R D : 錆鉄製φ75 [塗装改修]	R D : タールエポキシ樹脂塗装 [下地調整のうえ新設]
G	壁柱 : カラーVP管φ75、φ100 [高圧洗浄のみ]	
<b>【外壁改修工事】</b>		
①	根廻り : 外装刷毛引 (t=25) 下地 [既存仕上撤去+高圧水洗] セメント系下地調整材コテ塗り (C-2)	根廻り : 防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
②	壁・柱型 : 外装刷毛引 (t=25) 下地 複層仕上塗材E [既存仕上撤去+高圧水洗]	壁・柱型 : 防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
③	外フレーム : コンクリート打放し下地 複層仕上塗材E [既存仕上撤去+高圧水洗]	外フレーム : 防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
④	お・ち・犬走 : コンクリート下地 モルタルコテ押え [高圧洗浄のみ]	
⑤	床下換気口 : 鋼製格子 SOP [塗装改修]	床下換気口 : DP 19か所 [下地調整のうえ新設]
<b>【内装改修工事】</b>		
①	建具 : 木製間仕切り撤去 [木製枠共撤去]	建具 : 鋼製学校間仕切 [新設]
②	棚 : 教室後方棚、窓下棚 [撤去]	棚 : 教室後方棚、窓下棚 (木製) [新設]
		巾木 : 棚撤去部 : ビニル巾木 [新設]
③	床 : 合板 (T1) (t=15) 下地、長尺塩ビシート (t=2.5) 貼り [床組下地共撤去]	床 : 構造用合板 (T1) (t=15) 下地 [床組下地共新設] 複合フローリング 張り (t=15) (表層加 t=3)
④	土間 : 土	土間 : コンクリート土間+防湿シート [新設]
⑤	床 : 長尺塩ビシート (t=2.5) 貼り [一部撤去 (教室)・撤去 (廊下)]	床 : 長尺塩ビシート (t=2.5) 貼り [一部新設 (教室)・新設 (廊下)]
⑥	天井 : GB-D (t=9.5) [一部撤去]	天井 : GB-D (t=9.5) [一部新設]
⑦	壁 : モルタル下地 EP [塗装改修]	壁 : EP [下地調整のうえ新設]
⑧	梁型 : 外壁側梁型、モルタル下地 EP [塗装改修]	梁型 : EP [劣化部下地調整のうえ新設]

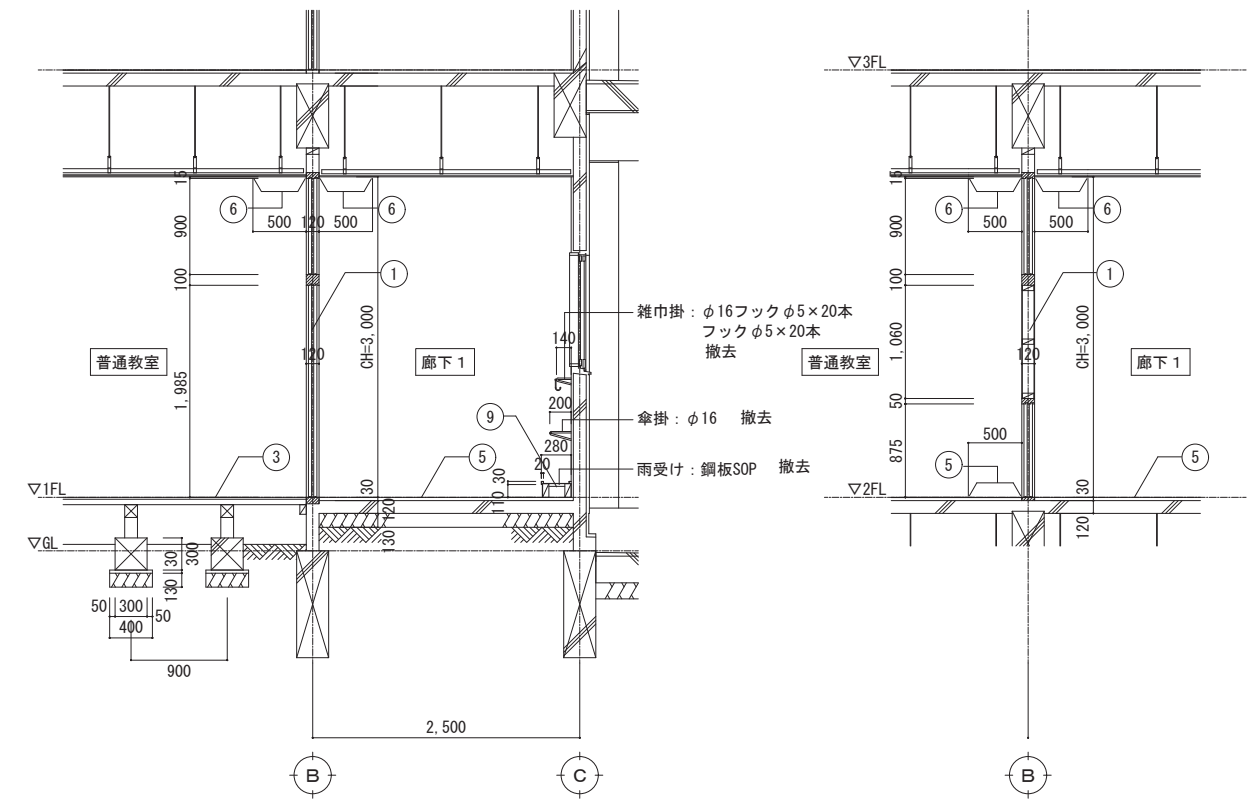


断面図 (2) 1/200

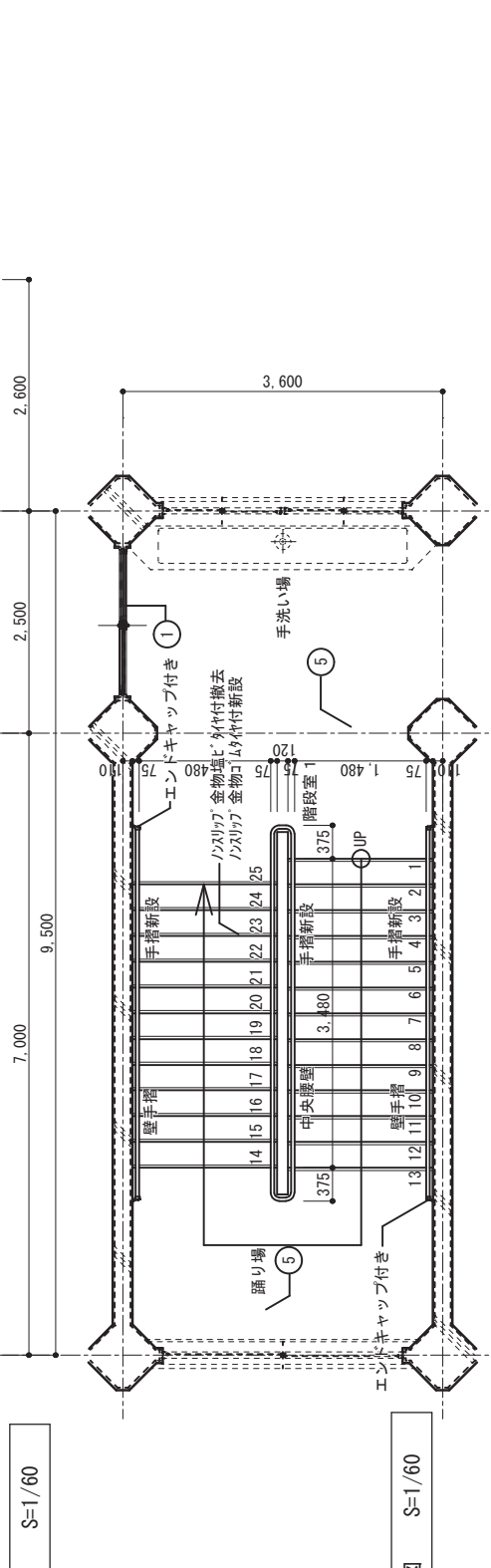
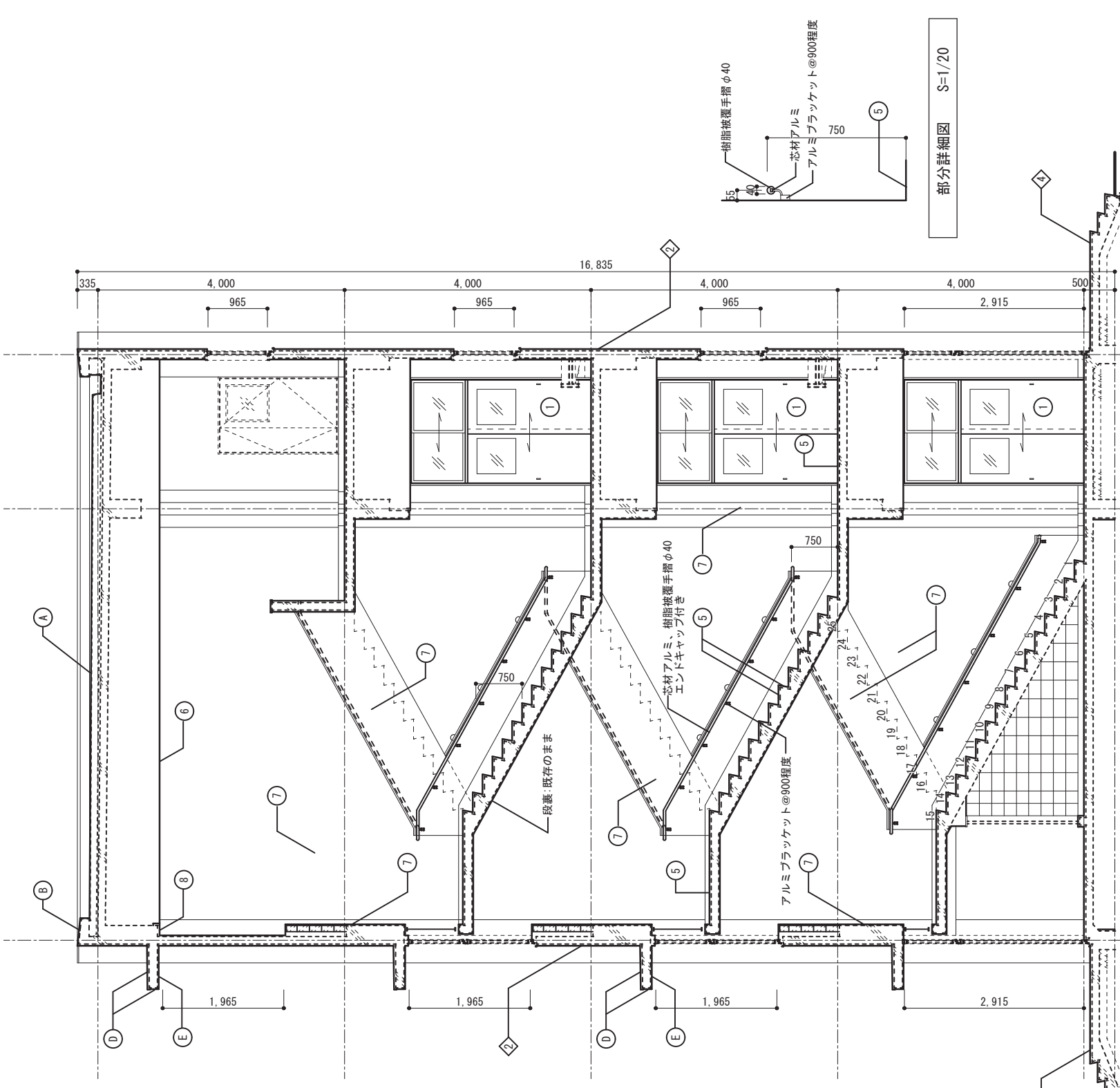


■凡例  
△ シーリング15×10 新設

記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）
<b>【防水改修工事】</b>		
A	屋根：保護モルタル下地 加硫ゴム系「フイック」シート防水(t=1.5)立上り共 [撤去]	屋根：塗膜防水、平場X-1、立上りX-2 [下地処理のうえ新設]
B	パレット：コンクリート下地 ウレタン塗膜防水(X-2) [重ね塗り]	パレット：塗膜防水 X-2 [下地処理のうえ新設]
C	手摺：アルミ製(縦格子、アルミ笠木付) [既存のまま]	
D	庇天端・鼻：モルタル下地 ウレタン塗膜防水(X-2) [水洗い]	庇天端：塗膜防水 X-2 [下地処理のうえ新設]
E	庇裏：モルタル刷毛引(t=25)下地 外装薄塗材E [高圧洗浄]	庇裏：外装薄塗材E [下地調整のうえ新設]
F	R D：鑄鉄製75φ [塗装改修]	R D：タールエポキシ樹脂塗装 [下地調整のうえ新設]
G	壁樋：カラーVP管φ75、φ100 [高圧洗浄のみ]	
<b>【外壁改修工事】</b>		
①	根廻り：モルタル刷毛引(t=25)下地 [既存仕上撤去+高圧水洗]	根廻り：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
	セメント系下地調整材コテ塗り(C-2)	
②	壁・柱型：モルタル刷毛引(t=25)下地 複層仕上塗材E [既存仕上撤去+高圧水洗]	壁・柱型：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
③	外フェーム：コンクリート打放下地 複層仕上塗材E [既存仕上撤去+高圧水洗]	外フェーム：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
④	ボーチ・犬走：コンクリート下地 モルタルコテ押え [高圧洗浄のみ]	
⑤	床下換気口：鋼製格子SOP [塗装改修]	床下換気口：DP 19か所 [下地調整のうえ新設]
<b>【内装改修工事】</b>		
①	建具：木製間仕切り撤去 [木製枠共撤去]	建具：鋼製学校間仕切 [新設]
②	棚：教室後方棚、窓下棚 [撤去]	棚：教室後方棚、窓下棚(木製) [新設]
		巾木：棚撤去部：ビニル巾木 [新設]
③	床：合板(T1)(t=15)下地、長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [床組下地共撤去]	床：構造用合板(T1)(t=15)下地 [床組下地共新設]
		複合フローリング張り(t=15)(表層加 <sup>α</sup> t=3)
④	土間：土	土間：コンクリート土間+防湿シート [新設]
⑤	床：長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部撤去(教室)・撤去(廊下)]	床：長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部新設(教室)・新設(廊下)]
⑥	天井：GB-D(t=9.5) [一部撤去]	天井：GB-D(t=9.5) [一部新設]
⑦	壁：モルタル下地EP [塗装改修]	壁：EP [下地調整のうえ新設]
⑧	梁型：外壁側梁型、モルタル下地EP [塗装改修]	梁型：EP [劣化部下地調整のうえ新設]
⑨	雨受け：鋼板SOP [撤去]	床：長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [モルタル下地調整の上、新設]
⑩	区画壁：なし	区画壁：LGS90下地 GB-F(t=15)二枚張り(両面張) [防火改修新設]



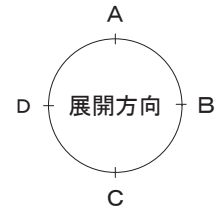
断面図(改修前) 1/50



階段	階段工事内容	撤去	新設
階段1	設置無し	芯材アルミ、樹脂被覆手摺φ40 エンドキャップ付き	新設
階段2	中央壁壁・金属手摺φ40 壁手摺・設置なし	アルミブラケット@900程度 芯材アルミ、樹脂被覆手摺φ40	撤去
階段3	設置無し	アルミブラケット@900程度 芯材アルミ、樹脂被覆手摺φ40 エンドキャップ付き	新設

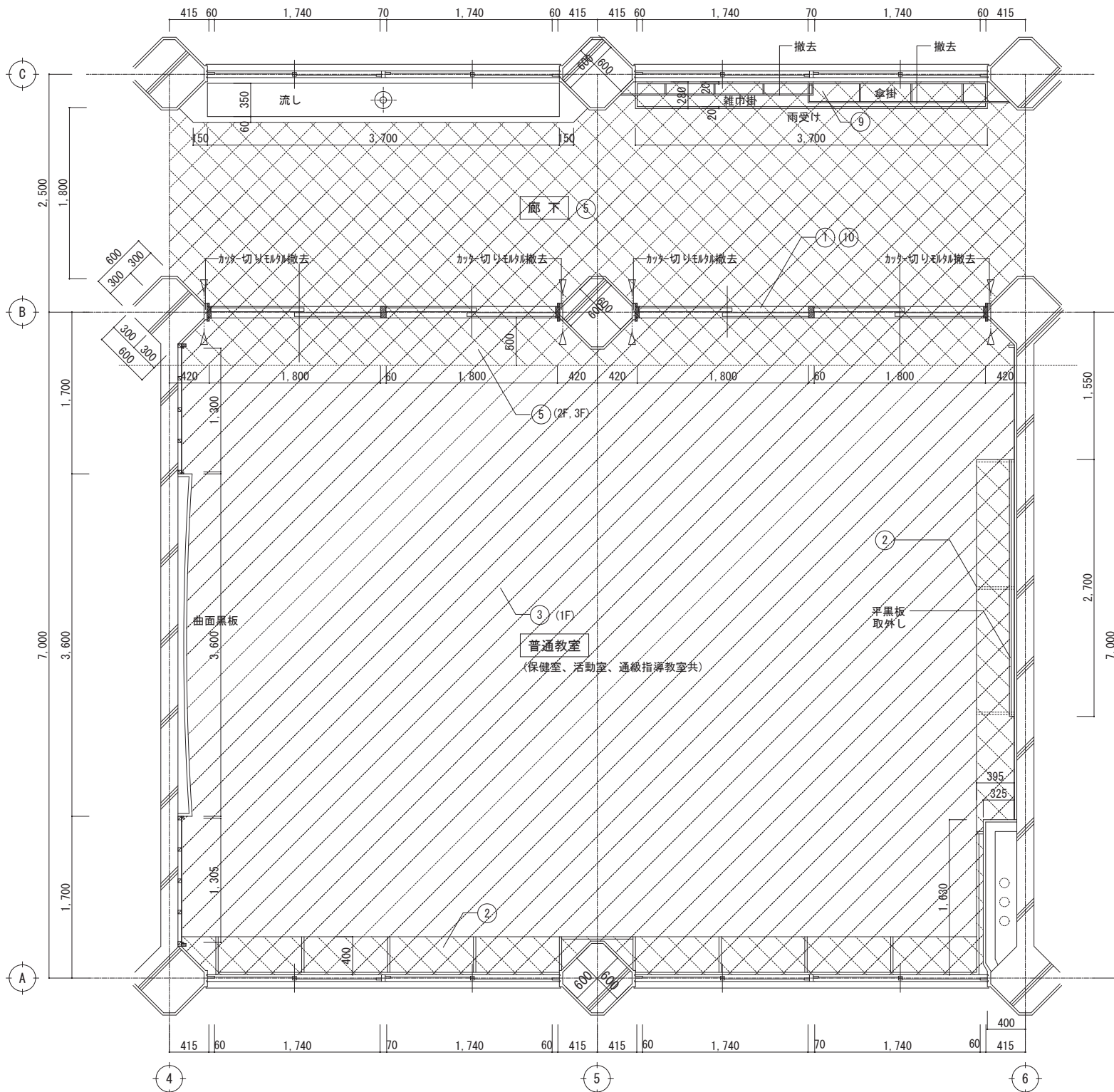
記号	部位	仕様	工種	備考
<b>【防水改修工事】</b>				
A	屋根	保護材下地 加硫ゴム系シート防水(t=1.5)立上り共	撤去	[撤去] 屋根
B	ハチマツ	防水	撤去	[撤去] ハチマツ
C	手摺	アルミ製(縦格子、アルミ笠木付)	撤去	[撤去] 手摺
D	庇天端・鼻	モルタル下地 ウレタン塗膜防水(X-2)	撤去	[撤去] 庇天端・鼻
E	庇裏	モルタル剛毛引(t=25)下地 外装薄塗材E	撤去	[撤去] 庇裏
F	RD	鉄製75φ	撤去	[撤去] RD
G	空欄	カラーVP管φ75、φ100	撤去	[撤去] 空欄
<b>【外壁改修工事】</b>				
①	根廻り	モルタル剛毛引(t=25)下地	撤去	[撤去] 根廻り
②	壁・柱型	モルタル剛毛引(t=25)下地 複層仕上塗材E	撤去	[撤去] 壁・柱型
③	外フレーム	コンクリート打放下地 複層仕上塗材E	撤去	[撤去] 外フレーム
④	ホーチ・大建	コンクリート下地 モルタルコロネ押え	撤去	[撤去] ホーチ・大建
⑤	床下換気口	鋼製格子SOP	撤去	[撤去] 床下換気口
<b>【内装改修工事】</b>				
①	建具	木製間仕切り撤去	撤去	[撤去] 建具
②	床	合板(T1)(t=15)下地 厚尺塩ビシート(t=2.5)貼付	撤去	[撤去] 床
③	土間	コンクリート土間+防湿シート	撤去	[撤去] 土間
④	床	厚尺塩ビシート(t=2.5)貼付	撤去	[撤去] 床
⑤	天井	68-D(t=9.5)	撤去	[撤去] 天井
⑥	壁	モルタル下地EP	撤去	[撤去] 壁
⑦	梁型	外壁側梁型、モルタル下地EP	撤去	[撤去] 梁型

記号	部位	仕様	工種	備考
<b>【防水改修工事】</b>				
A	屋根	保護材下地 加硫ゴム系シート防水(t=1.5)立上りX-2	撤去	[撤去] 屋根
B	ハチマツ	防水	撤去	[撤去] ハチマツ
C	手摺	アルミ製(縦格子、アルミ笠木付)	撤去	[撤去] 手摺
D	庇天端・鼻	モルタル下地 ウレタン塗膜防水(X-2)	撤去	[撤去] 庇天端・鼻
E	庇裏	モルタル剛毛引(t=25)下地 外装薄塗材E	撤去	[撤去] 庇裏
F	RD	鉄製75φ	撤去	[撤去] RD
G	空欄	カラーVP管φ75、φ100	撤去	[撤去] 空欄
<b>【外壁改修工事】</b>				
①	根廻り	モルタル剛毛引(t=25)下地	撤去	[撤去] 根廻り
②	壁・柱型	モルタル剛毛引(t=25)下地 複層仕上塗材E	撤去	[撤去] 壁・柱型
③	外フレーム	コンクリート打放下地 複層仕上塗材E	撤去	[撤去] 外フレーム
④	ホーチ・大建	コンクリート下地 モルタルコロネ押え	撤去	[撤去] ホーチ・大建
⑤	床下換気口	鋼製格子SOP	撤去	[撤去] 床下換気口
<b>【内装改修工事】</b>				
①	建具	木製間仕切り撤去	撤去	[撤去] 建具
②	床	合板(T1)(t=15)下地 厚尺塩ビシート(t=2.5)貼付	撤去	[撤去] 床
③	土間	コンクリート土間+防湿シート	撤去	[撤去] 土間
④	床	厚尺塩ビシート(t=2.5)貼付	撤去	[撤去] 床
⑤	天井	68-D(t=9.5)	撤去	[撤去] 天井
⑥	壁	モルタル下地EP	撤去	[撤去] 壁
⑦	梁型	外壁側梁型、モルタル下地EP	撤去	[撤去] 梁型

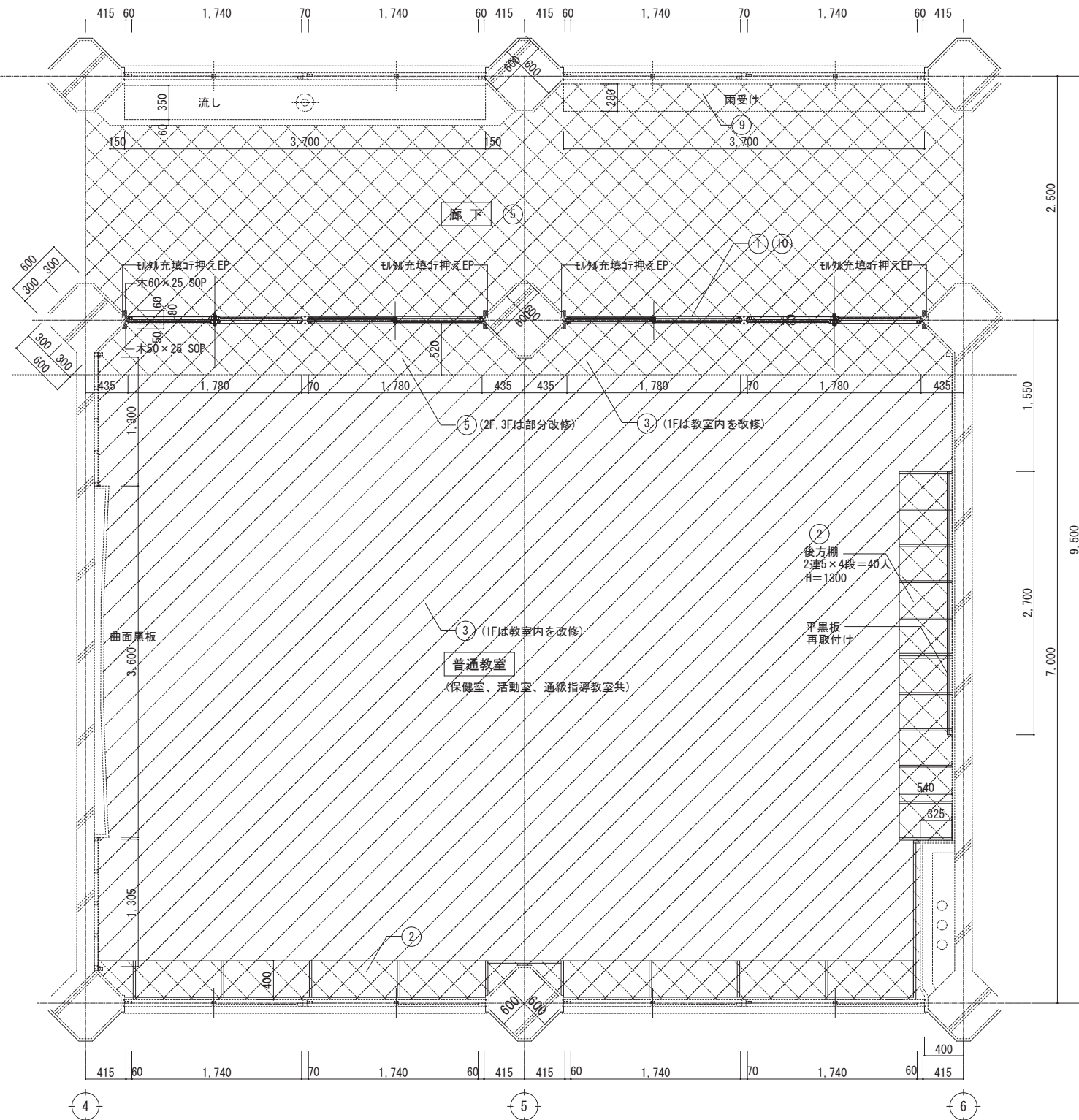


記号	部位：仕上材（下地）（改修前）	部位：仕上材（下地）（改修後）	記号	部位：仕上材（下地）（改修前）	部位：仕上材（下地）（改修後）
【内装改修工事】			【内装改修工事】		
①	建具：木製間仕切り撤去	【木製枠共撤去】	⑥	天井：GB-D(t=9.5)	【一部撤去】
②	棚：教室後方棚、窓下棚	【撤去】	⑦	壁：モルタル下地EP	【塗装改修】
③	床：合板(T1)(t=15)下地、長尺塩ビシート(t=2.5)貼り	【床組下地共撤去】	⑧	梁型：外壁側梁型、モルタル下地EP	【塗装改修】
④	土間：土		⑨	雨受け：鋼板SOP	【撤去】
⑤	床：長尺塩ビシート(t=2.5)貼り	【一部撤去(教室)・撤去(廊下)】	⑩	区画壁：なし	

1階～3階改修箇所を示す
  1階改修箇所を示す
  建具周囲シーリング打替え 変成シリコン系(MS-2、10×10)
  カッター入れを示す



改修前平面詳細図 1/40

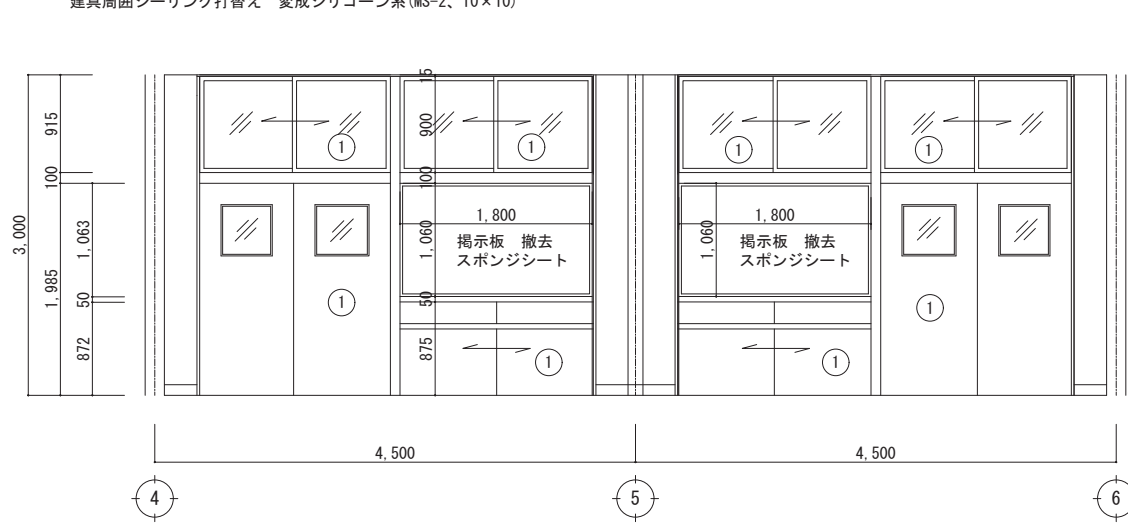


改修後平面詳細図 1/40

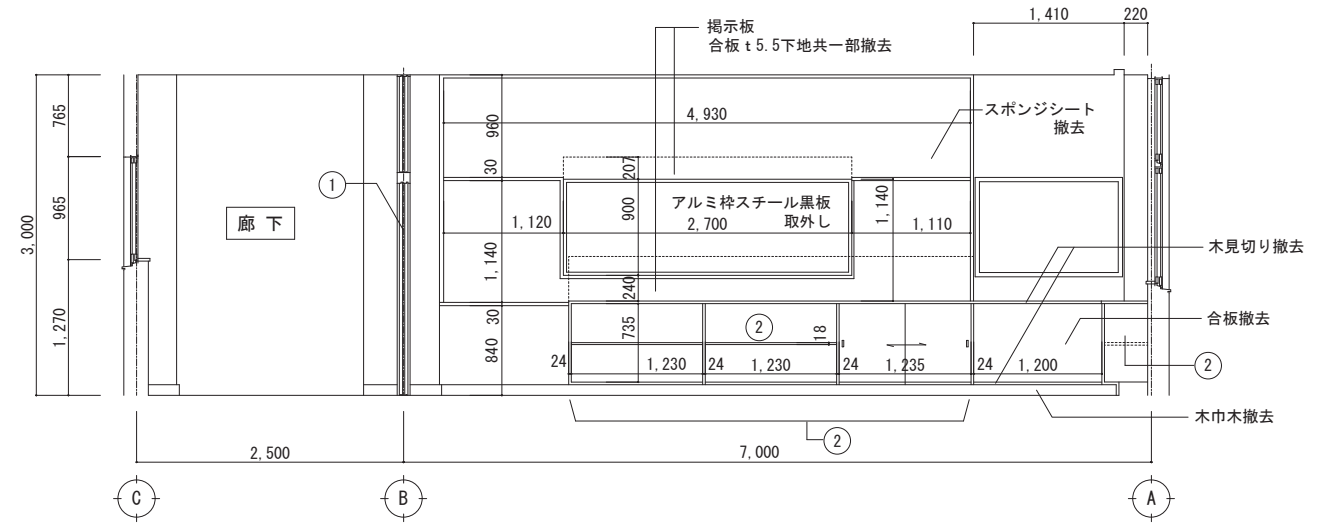
記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）
【内装改修工事】		
①	建具：木製間仕切り撤去 [木製枠共撤去]	建具：鋼製学校間仕切 [新設]
②	棚：教室後方棚、窓下棚 [撤去]	棚：教室後方棚、窓下棚（木製） [新設]
③	床：合板(T1) (t=15) 下地、長尺塩ビシート (t=2.5) 貼り [床組下地共撤去]	床：構造用合板(T1) (t=15) 下地 [床組下地共新設] 複合フロリング張り (t=15) (表層加 t=3)
④	土間：土	土間：コンクリート土間+防湿シート [新設]
⑤	床：長尺塩ビシート (t=2.5) 貼り [一部撤去(教室)・撤去(廊下)]	床：長尺塩ビシート (t=2.5) 貼り [一部新設(教室)・新設(廊下)]

記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）
【内装改修工事】		
⑥	天井：GB-D(t=9.5) [一部撤去]	天井：GB-D(t=9.5) [一部新設]
⑦	壁：モルタル下地EP [塗装改修]	壁：EP [下地調整のうえ新設]
⑧	梁型：外壁側梁型、モルタル下地EP [塗装改修]	梁型：EP [劣化部下地調整のうえ新設]
⑨	雨受け：鋼板SOP [撤去]	床：長尺塩ビシート (t=2.5) 貼り [モルタル下地調整の上、新設]

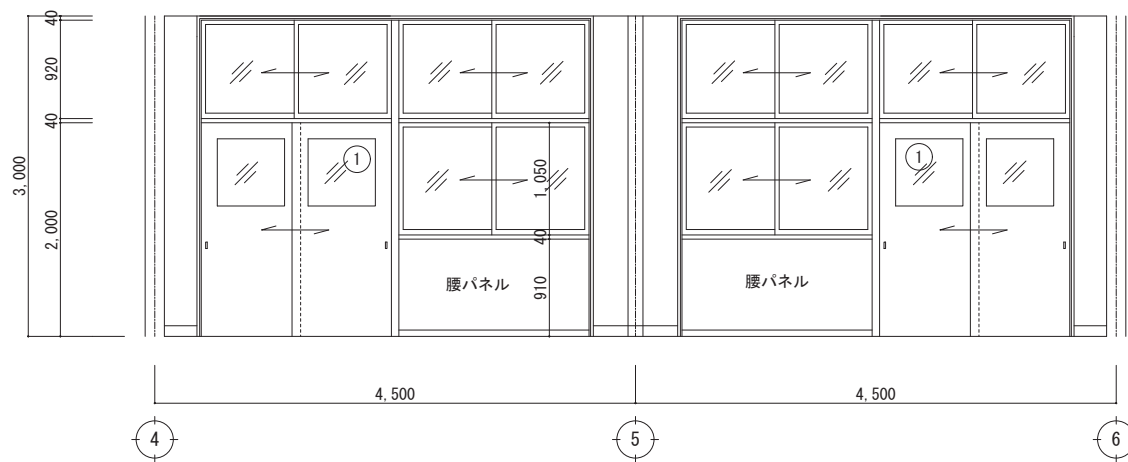
建具周囲シーリング打替え 変成シリコン系(MS-2、10×10)



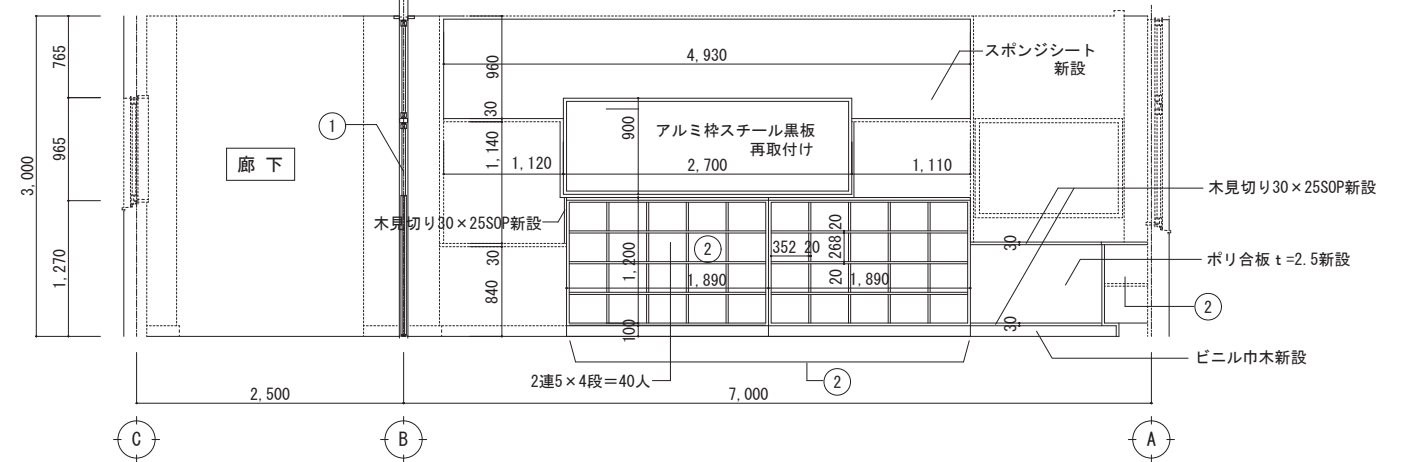
教室A面（改修前）1/50



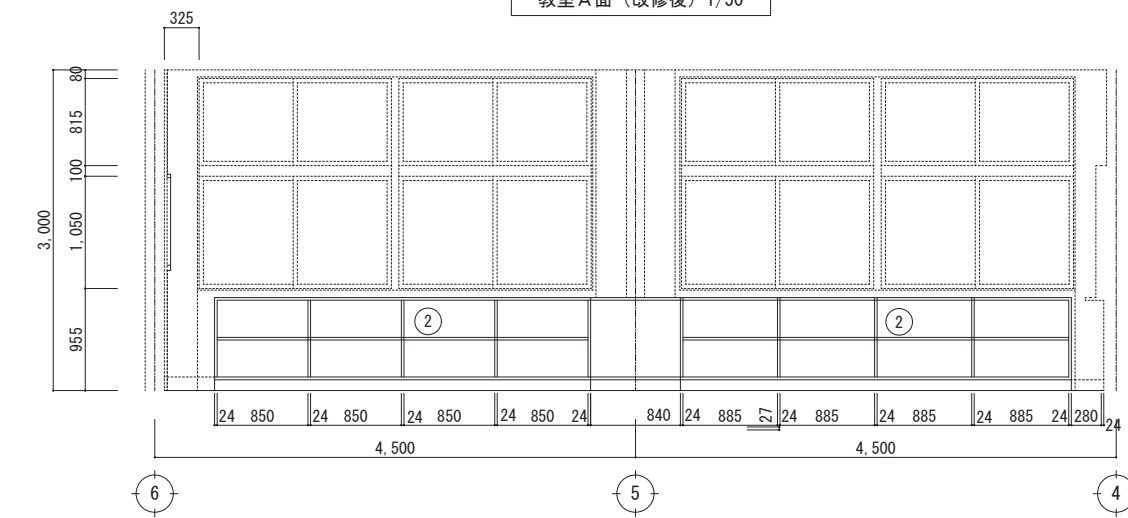
教室B面（改修前）1/50



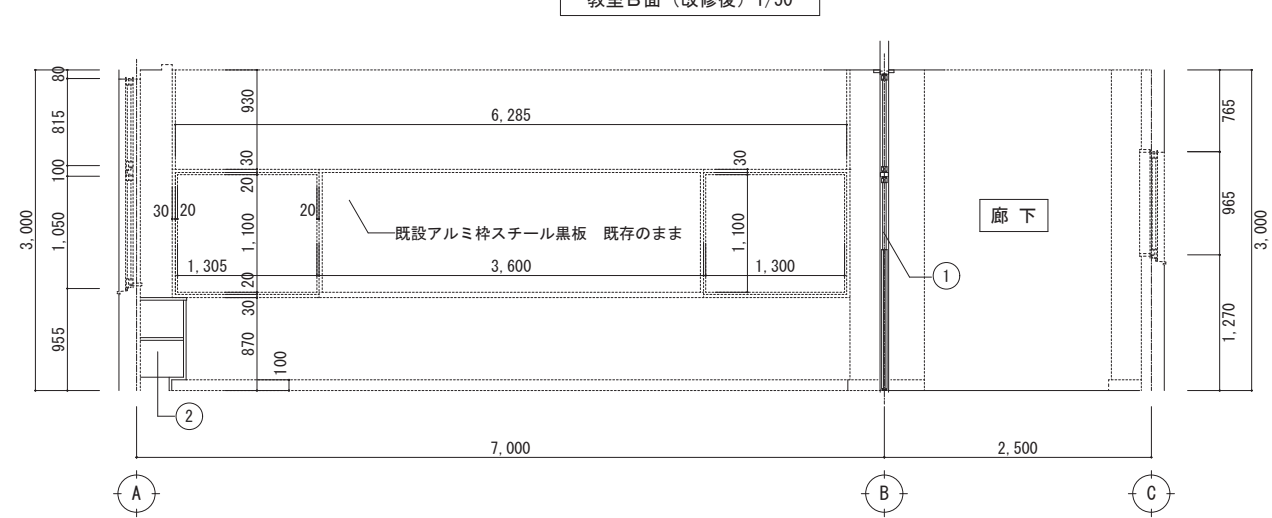
教室A面（改修後）1/50



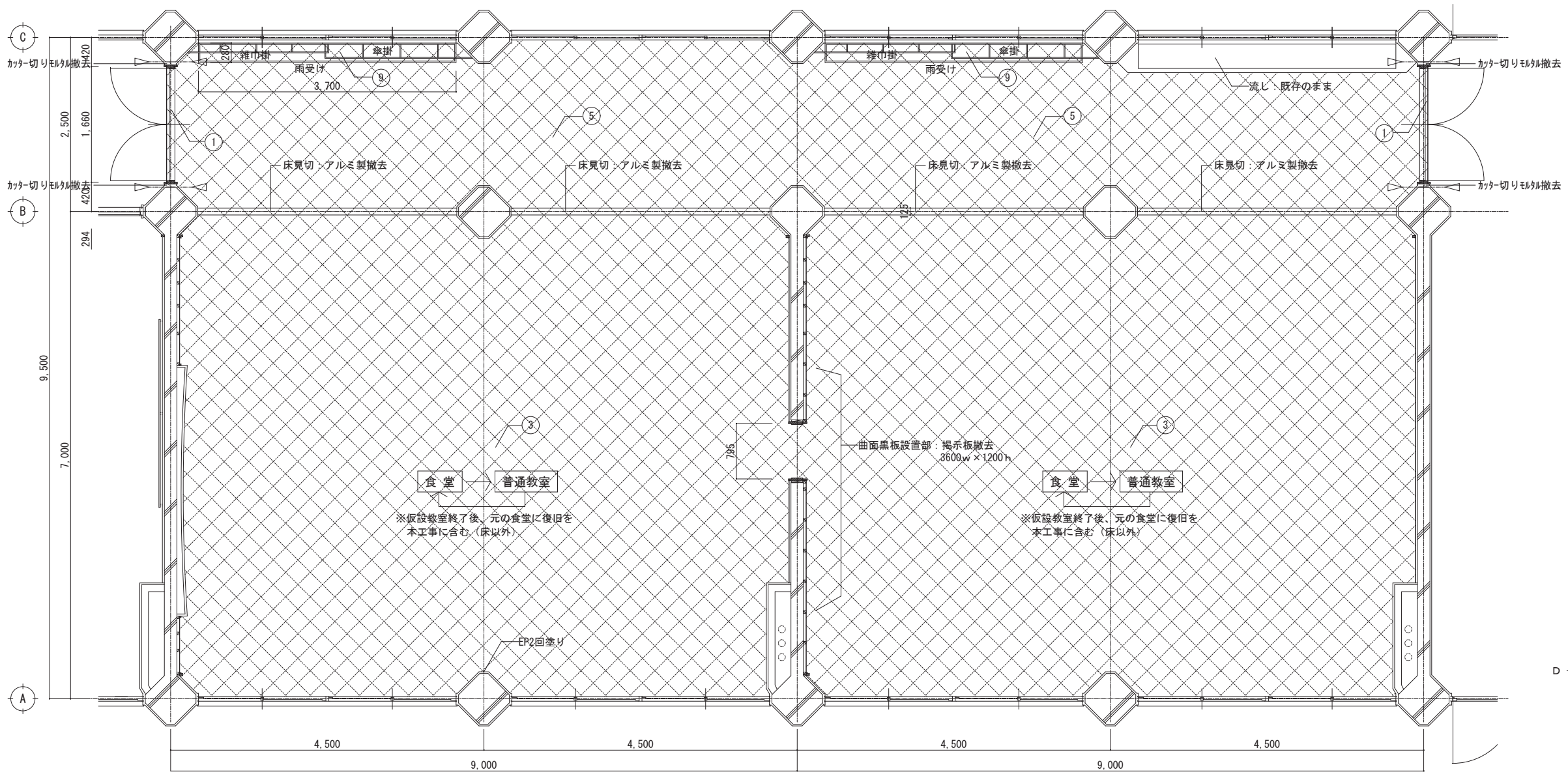
教室B面（改修後）1/50



教室C面（改修前・後）1/50

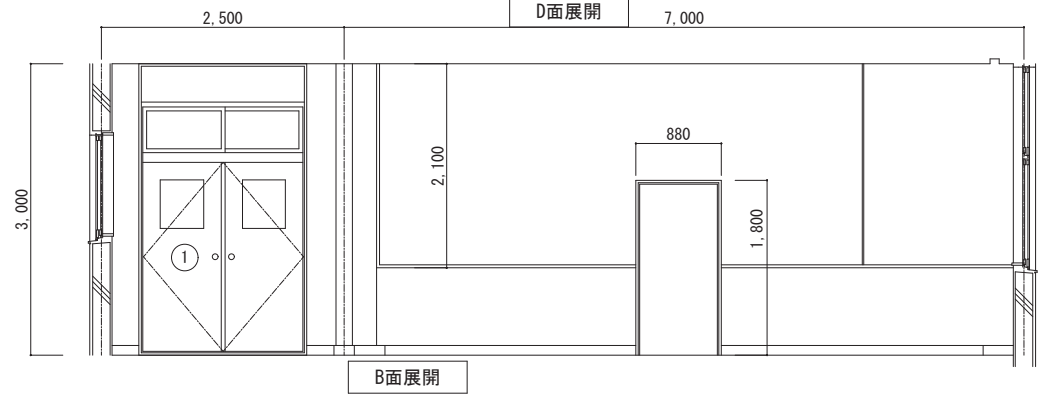
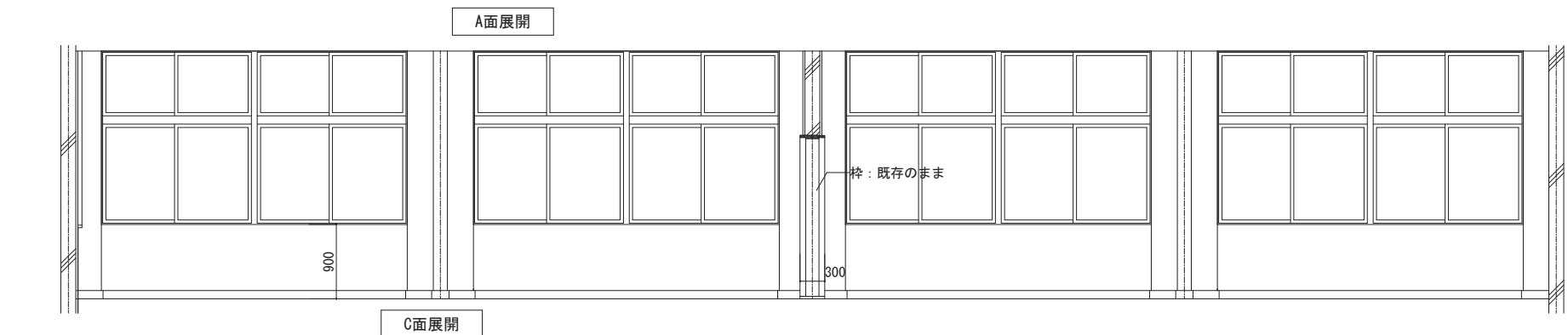
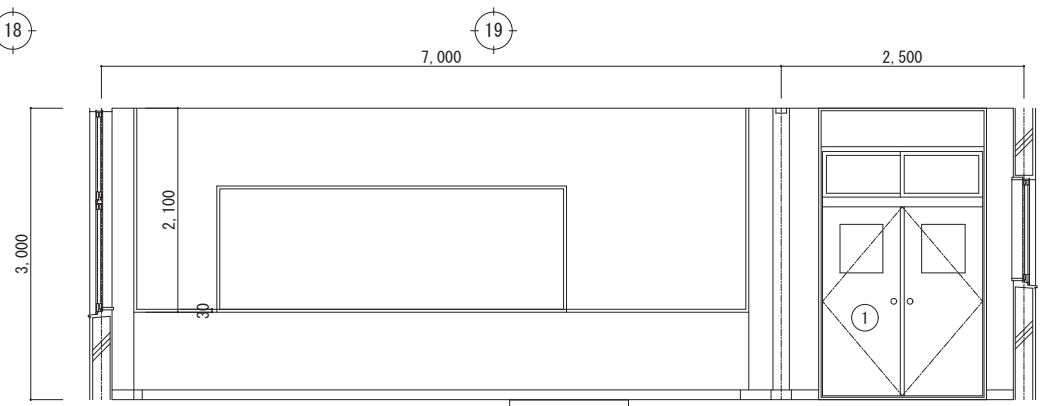
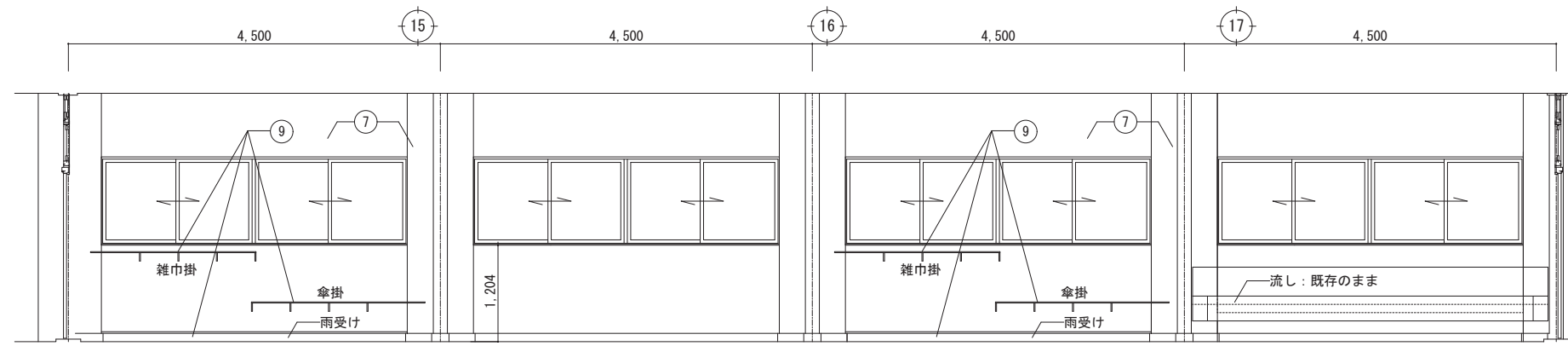
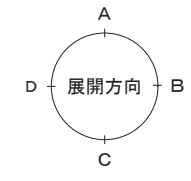
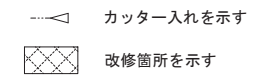


教室D面（改修前・後）1/50

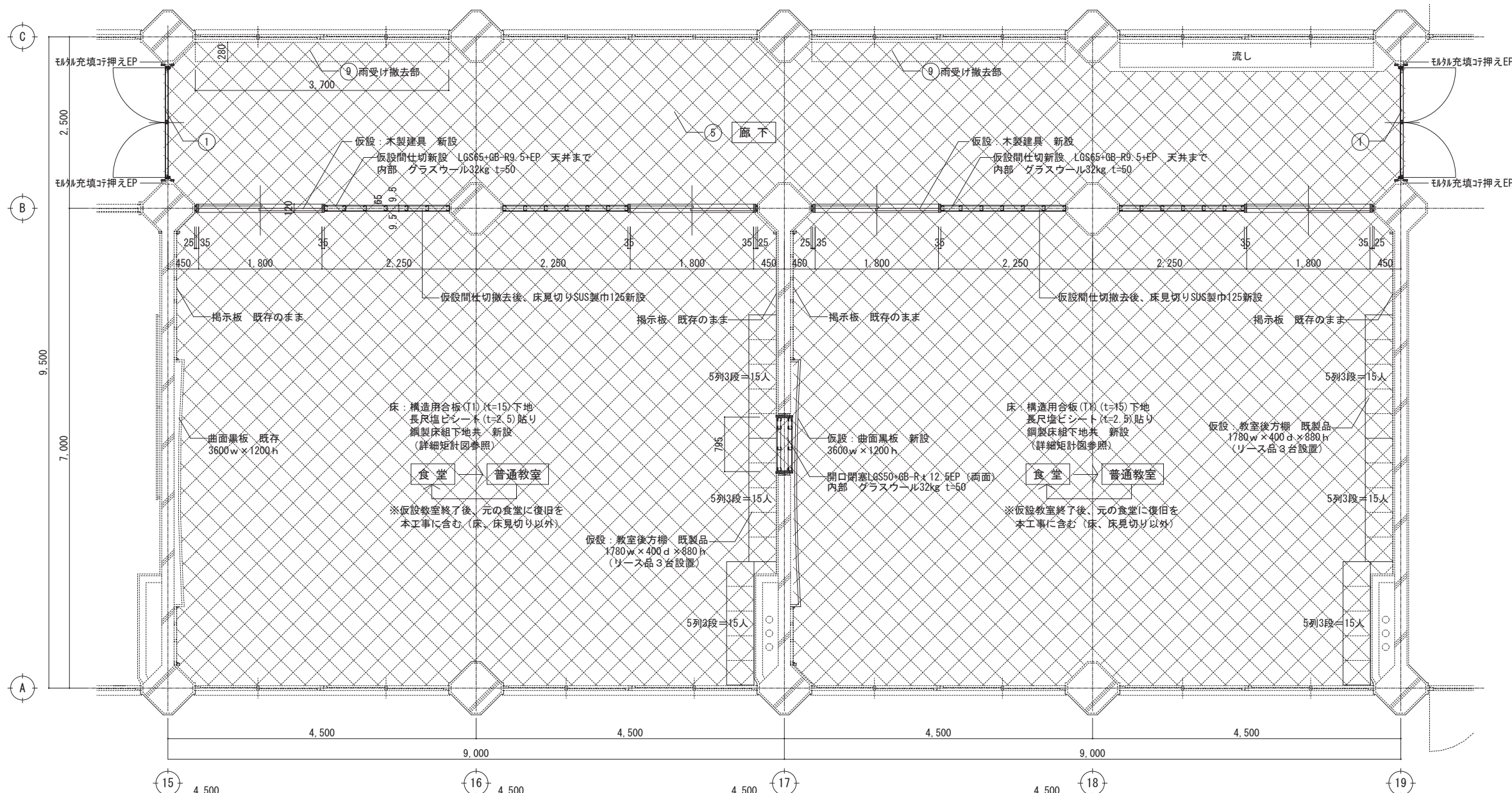


記号	部位	仕上材(下地)	(改修前)
【内装改修工事】			
①	建具	木製間仕切り撤去	【木製枠共撤去】
②	柵	教室後方柵、窓下柵	【撤去】
③	床	合板(T1)(t=15)下地、長尺塩ビシート(t=2.5)貼り	【床組下地共撤去】
④	土間	土	
⑤	床	長尺塩ビシート(t=2.5)貼り	【一部撤去(教室)・撤去(廊下)】
⑥	天井	GB-D(t=9.5)	【一部撤去】
⑦	壁	モルタル下地EP	【塗装改修】
⑧	梁型	外壁側梁型、モルタル下地EP	【塗装改修】
⑨	雨受け	鋼板SOP	【撤去】

建具周囲シーリング打替え 変成シリコン系(MS-2、10×10)

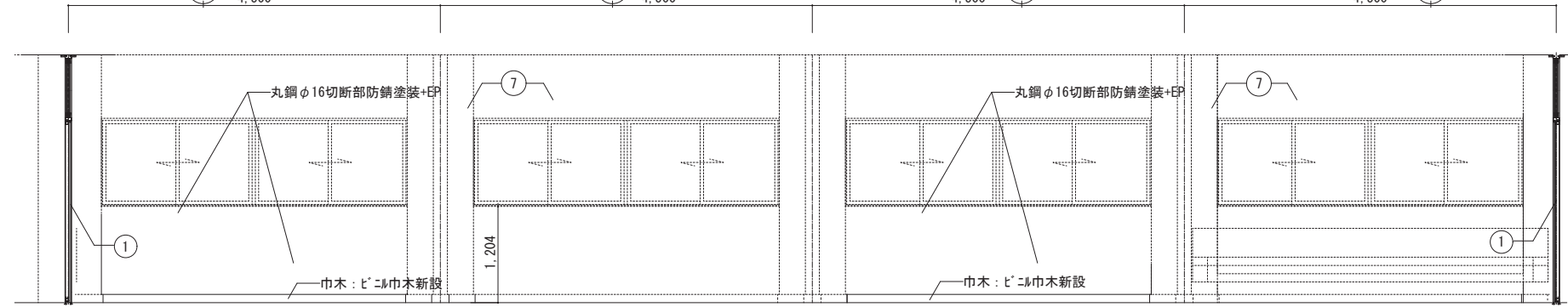
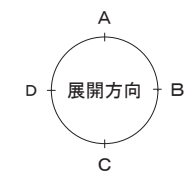
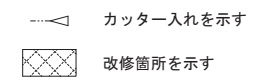




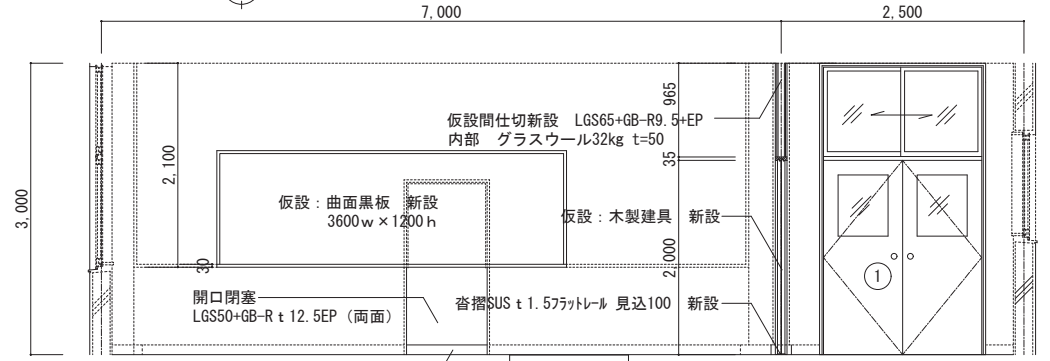


記号	部位	仕様	備考
【内装改修工事】			
①	建具	鋼製学校間仕切	[新設]
②	棚	教室後方棚、窓下棚 (木製)	[新設]
	巾木	棚撤去部; ビニル巾木	[新設]
③	床	構造用合板 (T1) (t=15) 下地	[床組下地共新設]
		複合フローリング 張り (t=15) (表層加 t=3)	
④	土間	コンクリート土間+防湿シート	[新設]
⑤	床	長尺塩ビシート (t=2.5) 貼り	[一部新設(教室)・新設(廊下)]
⑥	天井	GB-D (t=9.5)	[一部新設]
⑦	壁	EP	[下地調整のうえ新設]
⑧	梁型	EP	[劣化部下地調整のうえ新設]
⑨	床	長尺塩ビシート (t=2.5) 貼り	[既存下地調整の上、新設]

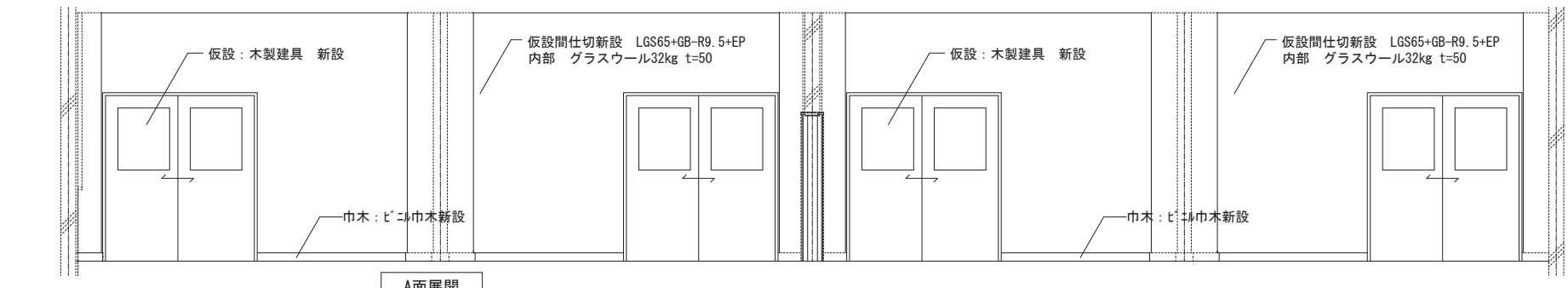
建具周囲シーリング打替え 変成シリコン系 (MS-2、10×10)



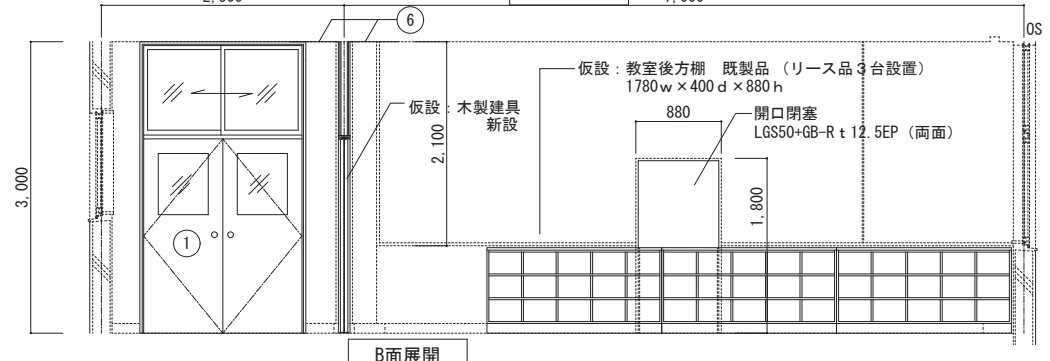
A面展開



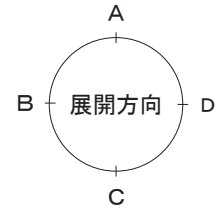
D面展開



A面展開

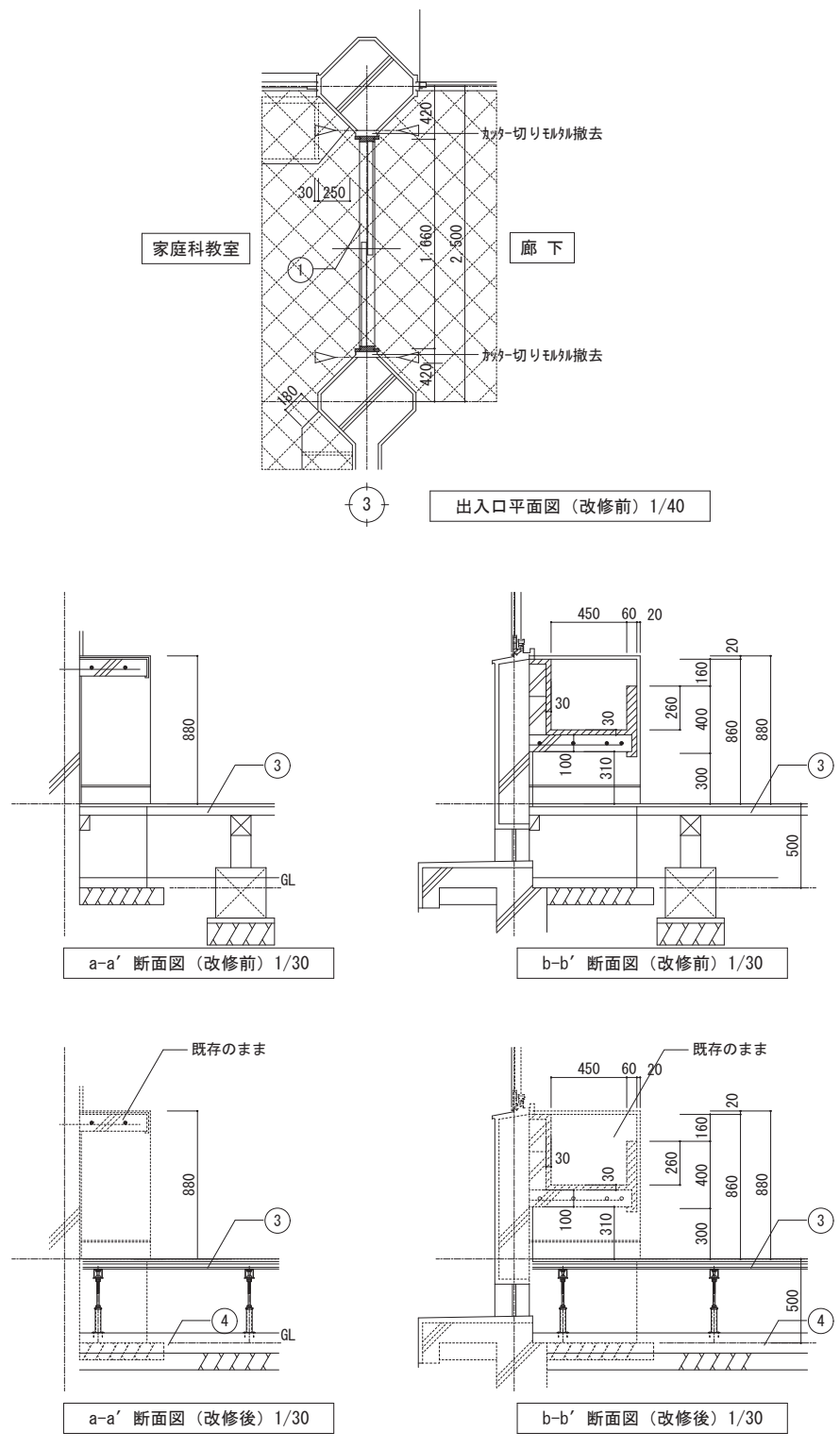
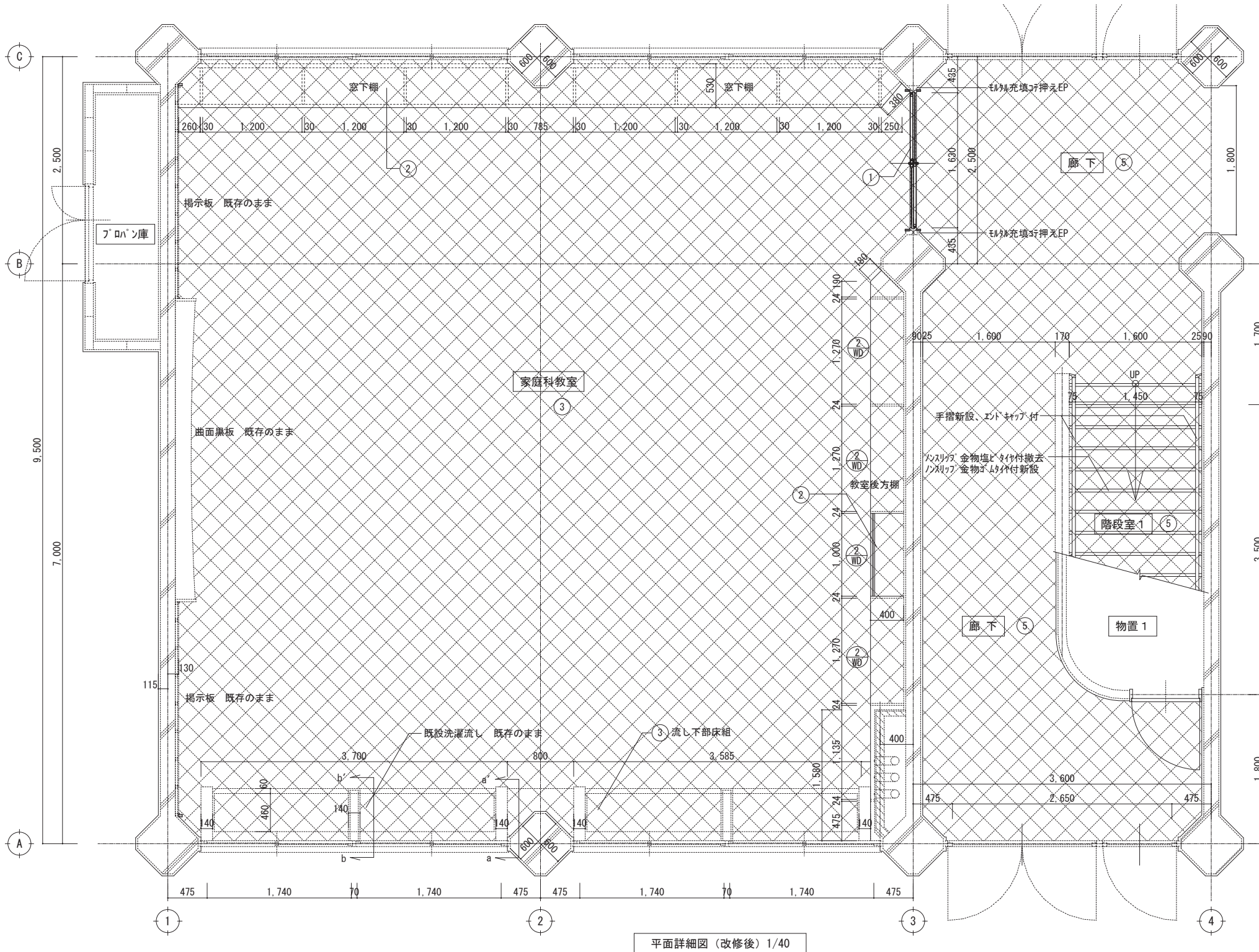


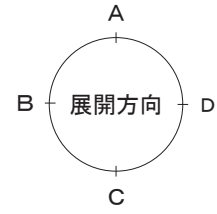
B面展開



記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）	記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）
【内装改修工事】			【内装改修工事】		
①	建具：木製間仕切り撤去 [木製枠共撤去]	建具：鋼製学校間仕切 [新設]	⑥	天井：GB-D(t=9.5) [一部撤去]	天井：GB-D(t=9.5) [一部新設]
②	棚：教室後方棚、窓下棚 [撤去]	棚：教室後方棚、窓下棚（木製） [新設]	⑦	壁：モルタル下地EP [塗装改修]	壁：EP [下地調整のうえ新設]
③	床：合板(T1)(t=15)下地、長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [床組下地共撤去]	床：構造用合板(T1)(t=15)下地 [床組下地共新設]	⑧	梁型：外壁側梁型、モルタル下地EP [塗装改修]	梁型：EP [劣化部下地調整のうえ新設]
④	土間：土	土間：コンクリート土間+防湿シート [新設]	⑨	雨受け：鋼板SOP [撤去]	床：長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [モルタル下地調整の上、新設]
⑤	床：長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [撤去]	床：長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [新設]			

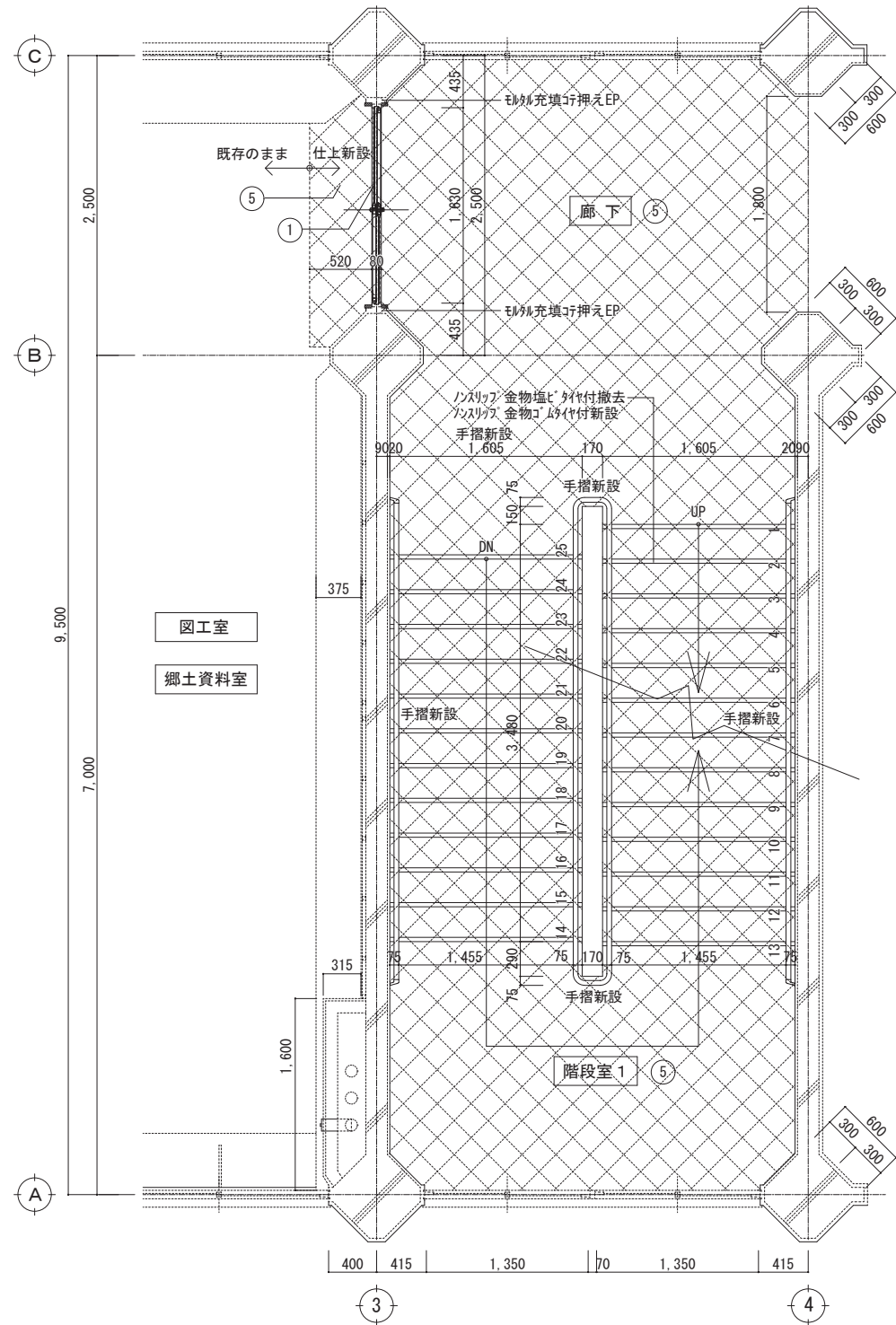
建具周囲シーリング打替え 変成シリコン系(MS-2、10×10)    ◁ カッター入れを示す    ◻ 改修箇所を示す



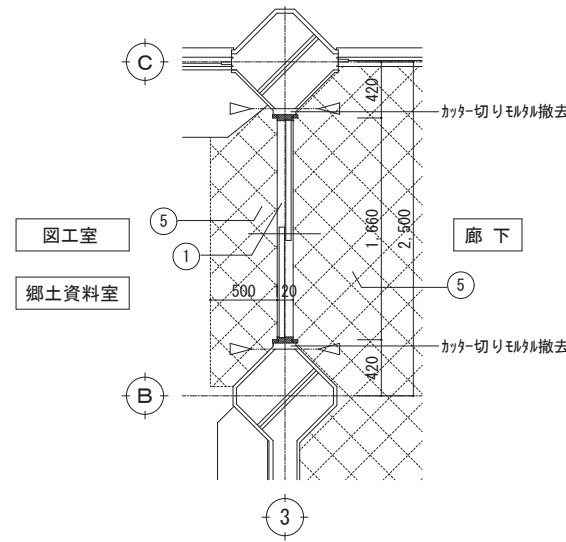


記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）	記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）
【内装改修工事】			【内装改修工事】		
①	建具：木製間仕切り撤去 [木製枠共撤去]	建具：鋼製学校間仕切 [新設]	⑥	天井：GB-D(t=9.5) [一部撤去]	天井：GB-D(t=9.5) [一部新設]
②	棚：教室後方棚、窓下棚 [撤去]	棚：教室後方棚、窓下棚（木製） [新設]	⑦	壁：モルタル下地E P [塗装改修]	壁：E P [下地調整のうえ新設]
③	床：合板(T1)(t=15)下地、長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [床組下地共撤去]	床：構造用合板(T1)(t=15)下地 [床組下地共新設]	⑧	梁型：外壁側梁型、モルタル下地E P [塗装改修]	梁型：E P [劣化部下地調整のうえ新設]
④	土間：土	土間：複合フローリング張り(t=15)(表層加 <sup>1</sup> t=3) [新設]	⑨	雨受け：鋼板S O P [撤去]	床：長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [モルタル下地調整の上、新設]
⑤	床：長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部撤去(教室)・撤去(廊下)]	床：長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部新設(教室)・新設(廊下)]			

建具周囲シーリング打替え 変成シリコン系(MS-2、10×10)    〓 〓 〓 カッター入れを示す    〓 〓 〓 改修箇所を示す



平面詳細図（改修後）1/40



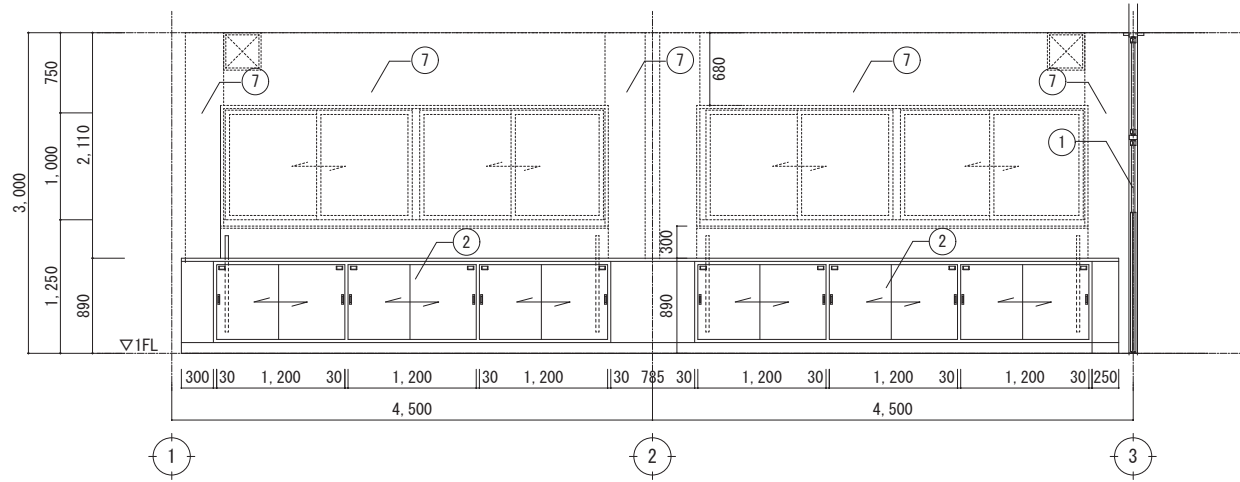
出入口平面図（改修前）1/40

内装工事に支障となる移動家具リスト（改修後復旧）

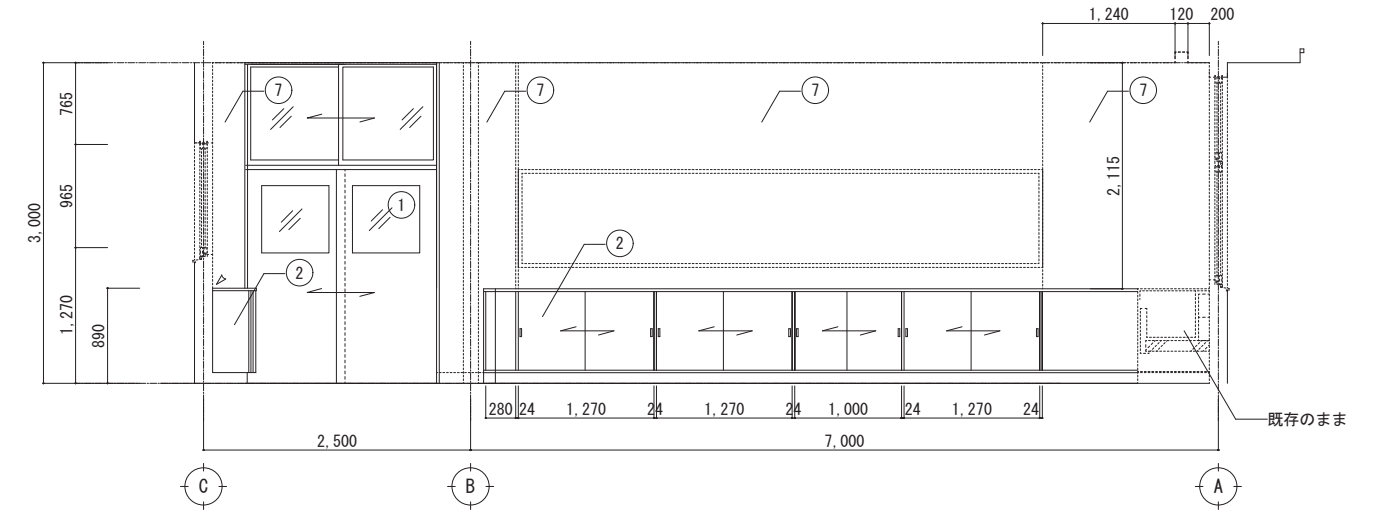
移動家具	寸法	各階数量		
		1階	2階	3階
木製ロッカー	1700w × 300d × 1050h	2		
木製棚	1650w × 330d × 760h		4	4
木製棚	1200w × 290d × 600h		1	
木製棚	1000w × 360d × 640h		1	
木製棚	1040w × 400d × 1400h		2	
木製棚	720w × 310d × 1700h		1	
木製棚	950w × 400d × 1800h			1
木製棚	1700w × 300d × 1050h			1
木製棚	470w × 440d × 1780h			1
木製棚	850w × 450d × 990h			1
木製本棚	600w × 290d × 1200h			1
木製掃除具入れ	600w × 470d × 1830h		1	3
鋼製棚	900w × 400d × 1260h		2	
鋼製棚	900w × 450d × 1110h		3	2
鋼製棚	880w × 400d × 880h		1	
鋼製棚	900w × 330d × 1270h			1
鋼製棚	1200w × 400d × 880h			1
鋼製棚	890w × 510d × 400h			1
鋼製掃除具入れ	450w × 510d × 1790h		2	1

記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）	記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）				
【内装改修工事】		【内装改修工事】		【内装改修工事】					
①	建具：木製間仕切り撤去	【木製枠共撤去】	建具：鋼製学校間仕切	【新設】	⑥	天井：GB-D(t=9.5)	【一部撤去】	天井：GB-D(t=9.5)	【一部新設】
②	棚：教室後方棚、窓下棚	【撤去】	棚：教室後方棚、窓下棚（木製）	【新設】	⑦	壁：モルタル下地EP	【塗装改修】	壁：EP	【下地調整のうえ新設】
③	床：合板(T1)(t=15)下地、長尺塩ビシート(t=2.5)貼り	【床組下地共撤去】	巾木：棚撤去部；ビニル巾木	【新設】	⑧	梁型：外壁側梁型、モルタル下地EP	【塗装改修】	梁型：EP	【劣化部下地調整のうえ新設】
④	土間：土		床：構造用合板(T1)(t=15)下地	【床組下地共新設】	⑨	雨受け：鋼板SOP	【撤去】	床：長尺塩ビシート(t=2.5)貼り	【モルタル下地調整の上、新設】
⑤	床：長尺塩ビシート(t=2.5)貼り	【一部撤去(教室)・撤去(廊下)】	複合フローリング張り(t=15)(表層が t=3)						
			土間：コンクリート土間+防湿シート	【新設】					
			床：長尺塩ビシート(t=2.5)貼り	【一部新設(教室)・新設(廊下)】					

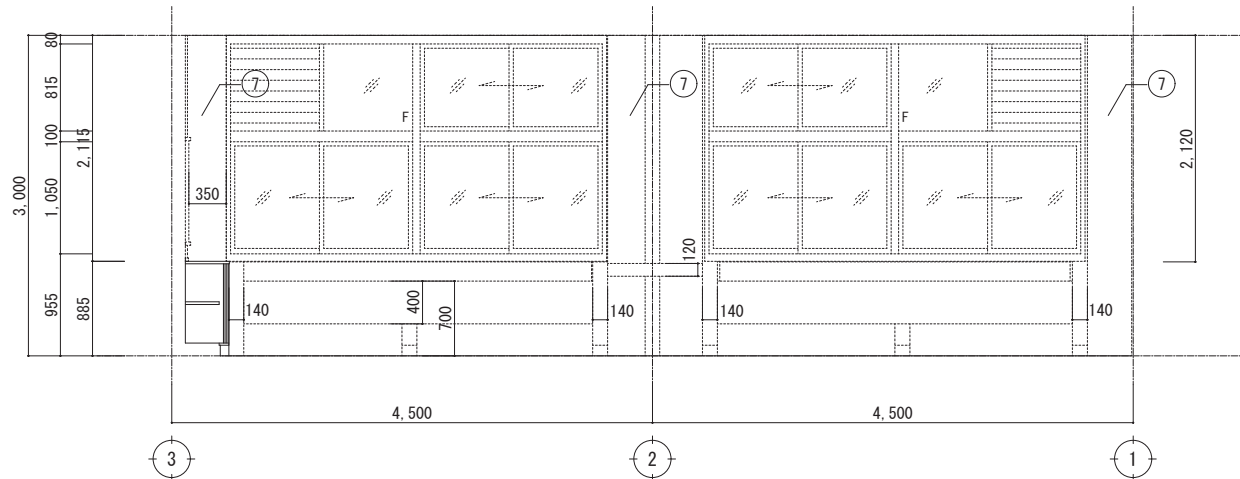
建具周囲シーリング打替え 変成シリコン系(MS-2、10×10)    ◁    カッター入れを示す



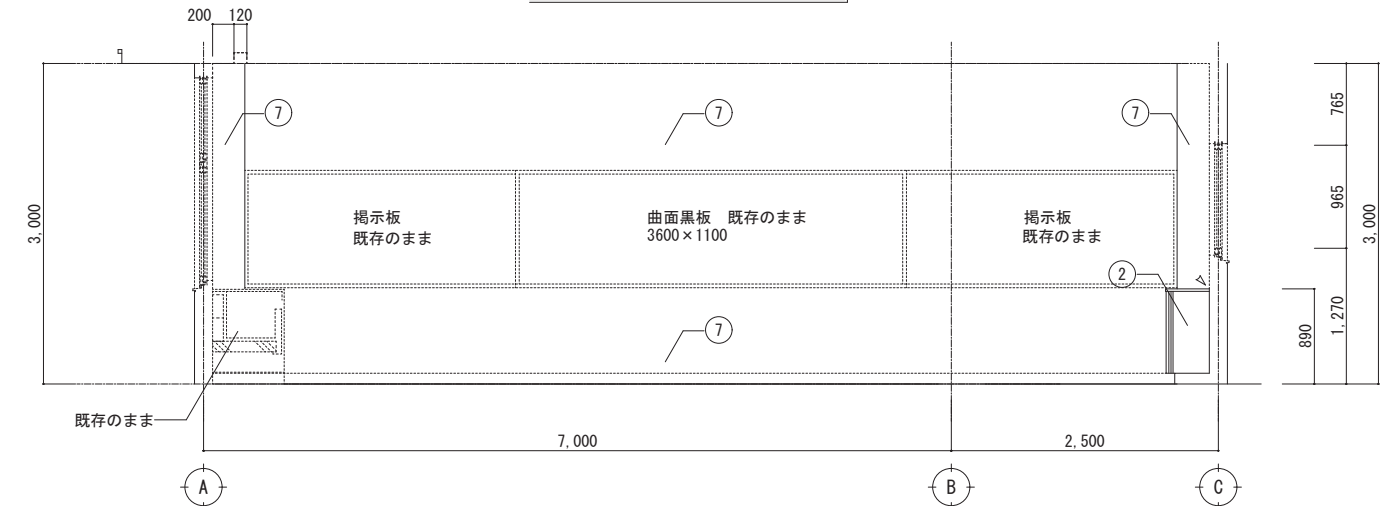
家庭科室 A面 1/50



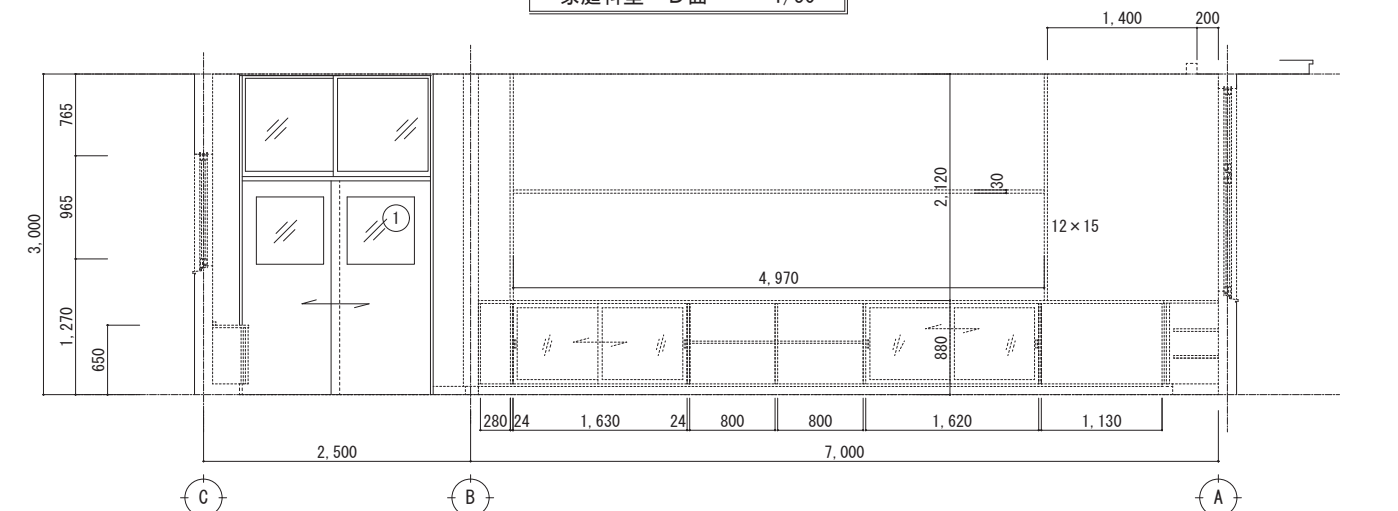
家庭科室 B面 1/50



家庭科室 C面 1/50





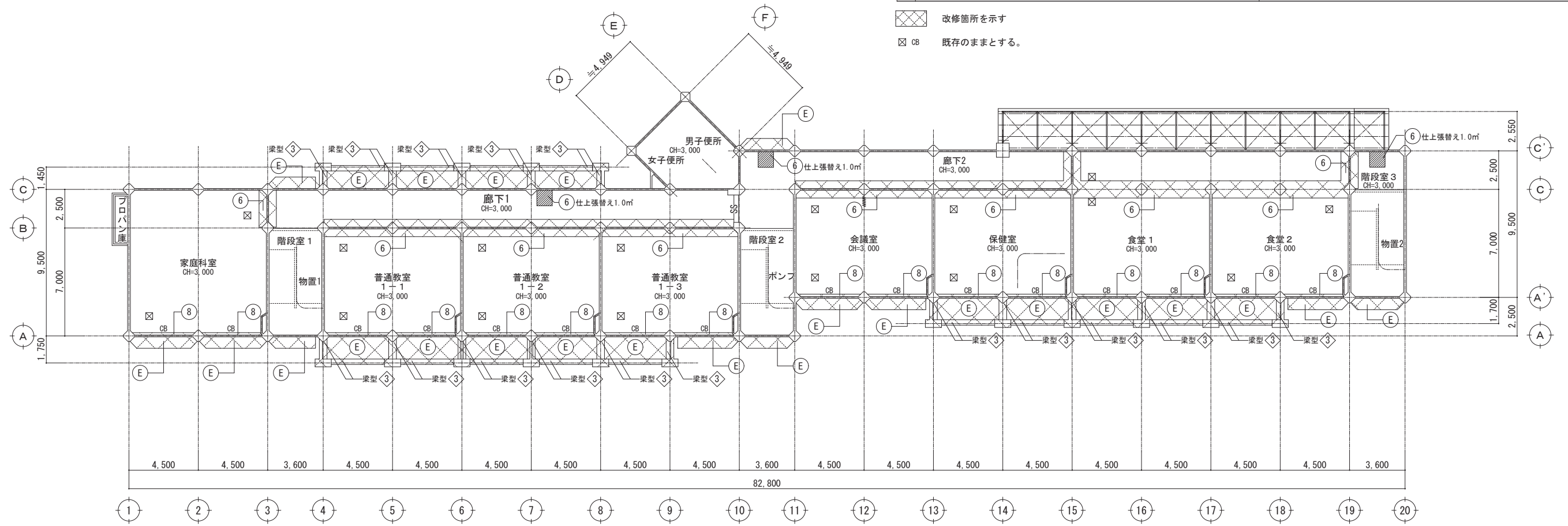
家庭科室 D面 1/50



図工室・郷土資料室 B面 1/50



記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）
<b>【防水改修工事】</b>		
A	屋根：保護モルタル下地 加硫ゴム系L-フィンゲシート防水(t=1.5)立上り共 [撤去]	屋根：塗膜防水、平場X-1、立上りX-2 [下地処理のうえ新設]
B	パラペット：コンクリート下地 珪酸塩防水(X-2) [重ね塗り]	パラペット：塗膜防水 X-2 [下地処理のうえ新設]
C	手摺：アルミ製（縦格子、アルミ笠木付） [既存のまま]	
D	庇天端・鼻：モルタル下地 ウレタン塗膜防水(X-2) [水洗い]	庇天端：塗膜防水 X-2 [下地処理のうえ新設]
E	庇裏：モルタル刷毛引(t=25)下地 外装薄塗材E [高压洗浄]	庇裏：防水形複層塗材RE [下地調整のうえ新設]
F	RD：鑄鉄製75φ [塗装改修]	RD：ターレエボキシ樹脂塗装 [下地調整のうえ新設]
G	竖樋：カラーVP管φ75、φ100 [高压洗浄のみ]	
<b>【外壁改修工事】</b>		
1	根廻り：モルタル刷毛引(t=25)下地 [既存仕上撤去+高压水洗] セメント系下地調整材コテ塗り(C-2)	根回り：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
2	壁・柱型：モルタル刷毛引(t=25)下地 複層仕上塗材E [既存仕上撤去+高压水洗]	壁・柱型：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
3	外フレーム：コンクリート打放し下地 複層仕上塗材E [既存仕上撤去+高压水洗]	外フレーム：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
4	ホーチ・犬走：コンクリート下地 モルタルコテ押え [高压洗浄のみ]	
5	床下換気口：鋼製格子SOP [塗装改修]	床下換気口：DP 19か所 [下地調整のうえ新設]
<b>【内装改修工事】</b>		
1	建具：木製間仕切り撤去 [木製枠共撤去]	建具：鋼製学校間仕切 [新設]
2	棚：教室後方棚、窓下棚 [撤去]	棚：教室後方棚、窓下棚（木製） [新設]
		巾木：棚撤去部：ビニル巾木 [新設]
3	床：合板(T1)(t=15)下地、長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [床組下地共撤去]	床：構造用合板(T1)(t=15)下地 [床組下地共新設] 複合フローリング張り(t=15)(表層加 <sup>1</sup> t=3)
4	土間：土	土間：コンクリート土間+防湿シート [新設]
5	床：長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部撤去(教室)・撤去(廊下)]	床：長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部新設(教室)・新設(廊下)]
6	天井：GB-D(t=9.5) [一部撤去]	天井：GB-D(t=9.5) [一部新設]
7	壁：モルタル下地EP [塗装改修]	壁：EP [下地調整のうえ新設]
8	梁型：外壁側梁型、モルタル下地EP [塗装改修]	梁型：EP [劣化部下地調整のうえ新設]
9	雨受け：鋼板SOP [撤去]	床：長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [モルタル下地調整の上、新設]

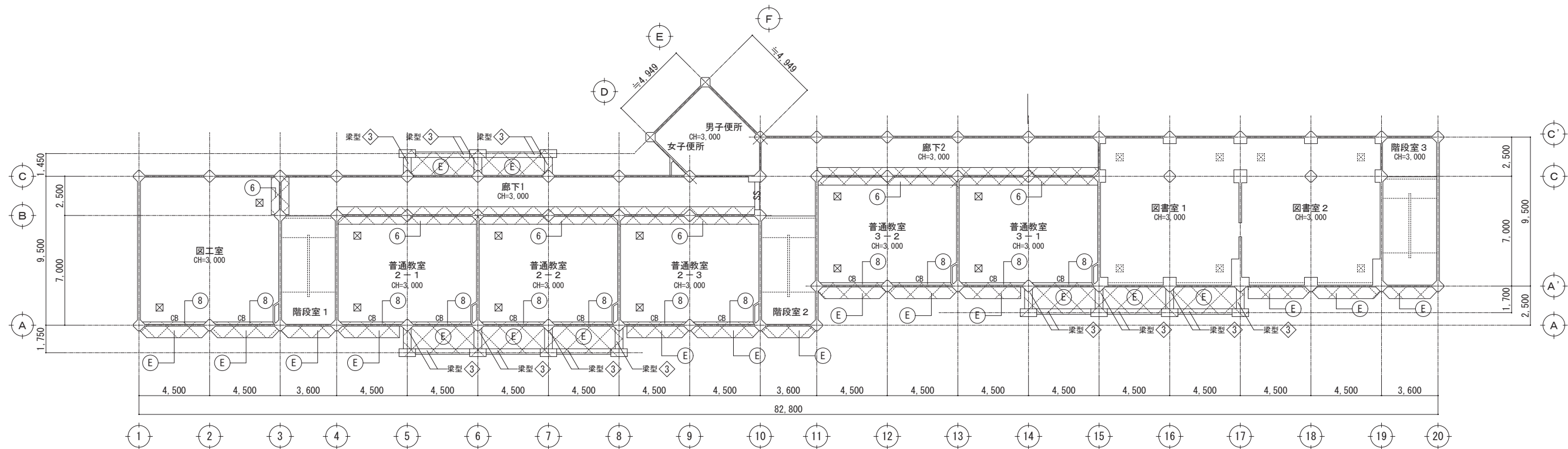
 改修箇所を示す  
 CB 既存のままとする。



1階天井伏図 1/200



記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）
<b>【防水改修工事】</b>		
A	屋根：保護モルタル下地 加硫ゴム系ルーフイングシート防水(t=1.5)立上り共 [撤去]	屋根：塗膜防水、平場X-1、立上りX-2 [下地処理のうえ新設]
B	パラペット：コンクリート下地 珪酸セメント系防水(X-2) [重ね塗り]	パラペット：塗膜防水 X-2 [下地処理のうえ新設]
C	手摺：アルミ製（縦格子、アルミ笠木付） [既存のまま]	
D	庇天端・鼻：モルタル下地 ウレタン塗膜防水(X-2) [水洗い]	庇天端：塗膜防水 X-2 [下地処理のうえ新設]
E	庇裏：モルタル刷毛引(t=25)下地 外装薄塗材E [高圧洗浄]	庇裏：防水形複層塗材RE [下地調整のうえ新設]
F	RD：鑄鉄製75φ [塗装改修]	RD：タールエポキシ樹脂塗装 [下地調整のうえ新設]
G	縦樋：カラーVP管φ75、φ100 [高圧洗浄のみ]	
<b>【外壁改修工事】</b>		
①	根廻り：モルタル刷毛引(t=25)下地 [既存仕上撤去+高圧水洗]	根回り：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
	セメント系下地調整材コテ塗り(C-2)	
②	壁・柱型：モルタル刷毛引(t=25)下地 複層仕上塗材E [既存仕上撤去+高圧水洗]	壁・柱型：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
③	外フレーム：コンクリート打放下地 複層仕上塗材E [既存仕上撤去+高圧水洗]	外フレーム：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
④	ホーチ・犬走：コンクリート下地 モルタルコテ押え [高圧洗浄のみ]	
⑤	床下換気口：鋼製格子SOP [塗装改修]	床下換気口：DP 19か所 [下地調整のうえ新設]
<b>【内装改修工事】</b>		
①	建具：木製間仕切り撤去 [木製枠共撤去]	建具：鋼製学校間仕切 [新設]
②	棚：教室後方棚、窓下棚 [撤去]	棚：教室後方棚、窓下棚（木製） [新設]
		巾木：棚撤去部：ビニル巾木 [新設]
③	床：合板(T1)(t=15)下地、長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [床組下地共撤去]	床：構造用合板(T1)(t=15)下地 [床組下地共新設]
		複合フローリング張り(t=15)(表層加 <sup>1</sup> t=3)
④	土間：土	土間：コンクリート土間+防湿シート [新設]
⑤	床：長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部撤去(教室)・撤去(廊下)]	床：長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部新設(教室)・新設(廊下)]
⑥	天井：GB-D(t=9.5) [一部撤去]	天井：GB-D(t=9.5) [一部新設]
⑦	壁：モルタル下地EP [塗装改修]	壁：EP [下地調整のうえ新設]
⑧	梁型：外壁側梁型、モルタル下地EP [塗装改修]	梁型：EP [劣化部下地調整のうえ新設]
⑨	雨受け：鋼板SOP [撤去]	床：長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [モルタル下地調整の上、新設]

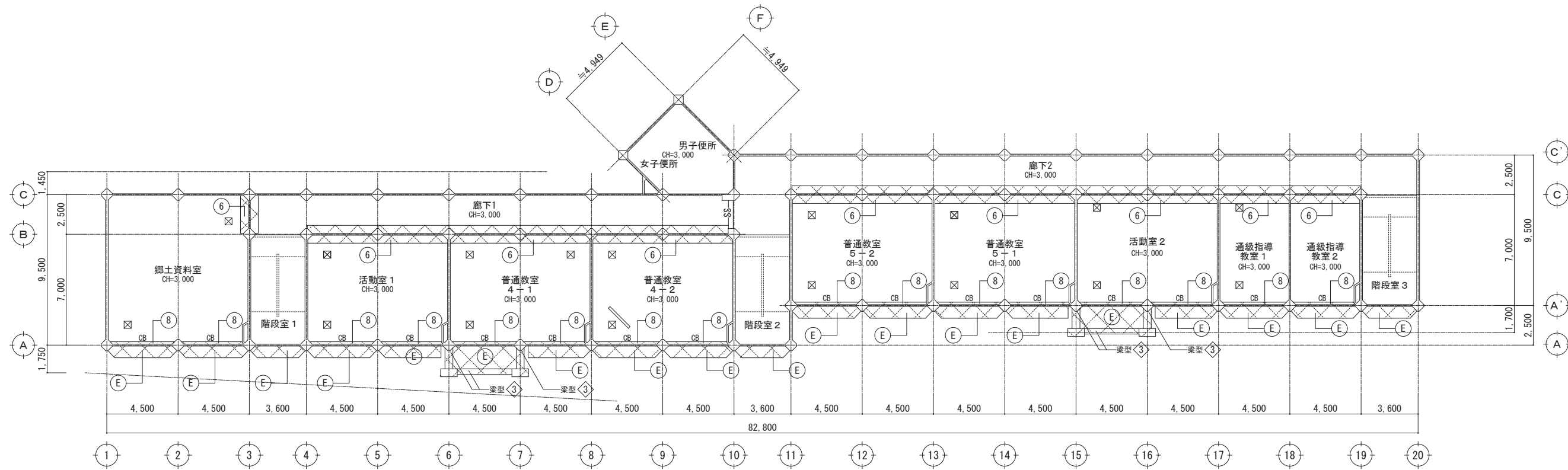
-  改修箇所を示す
-  CB 既存のままとする。



2階天井伏図 1/200

記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）
<b>【防水改修工事】</b>		
A	屋根：保護モルタル下地 加硫ゴム系ルーフイングシート防水(t=1.5)立上り共 [撤去]	屋根：塗膜防水、平場X-1、立上りX-2 [下地処理のうえ新設]
B	パラペット：コンクリート下地 珪酸塩系防水(X-2) [重ね塗り]	パラペット：塗膜防水 X-2 [下地処理のうえ新設]
C	手摺：アルミ製（縦格子、アルミ笠木付） [既存のまま]	
D	庇天端・鼻：モルタル下地 ウレタン塗膜防水(X-2) [水洗い]	庇天端：塗膜防水 X-2 [下地処理のうえ新設]
E	庇裏：モルタル刷毛引(t=25)下地 外装薄塗材E [高圧洗浄]	庇裏：防水形複層塗材RE [下地調整のうえ新設]
F	RD：鑄鉄製75φ [塗装改修]	RD：タールエポキシ樹脂塗装 [下地調整のうえ新設]
G	縦樋：カラーVP管φ75、φ100 [高圧洗浄のみ]	
<b>【外壁改修工事】</b>		
①	根廻り：モルタル刷毛引(t=25)下地 [既存仕上撤去+高圧水洗] セメント系下地調整材コテ塗り(C-2)	根回り：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
②	壁・柱型：モルタル刷毛引(t=25)下地 複層仕上塗材E [既存仕上撤去+高圧水洗]	壁・柱型：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
③	外フレーム：コンクリート打放し下地 複層仕上塗材E [既存仕上撤去+高圧水洗]	外フレーム：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
④	ホーチク式走：コンクリート下地 モルタルコテ押え [高圧洗浄のみ]	
⑤	床下換気口：鋼製格子SOP [塗装改修]	床下換気口：DP 19か所 [下地調整のうえ新設]
<b>【内装改修工事】</b>		
①	建具：木製間仕切り撤去 [木製枠共撤去]	建具：鋼製学校間仕切 [新設]
②	棚：教室後方棚、窓下棚 [撤去]	棚：教室後方棚、窓下棚（木製） [新設] 巾木：棚撤去部：ビニル巾木 [新設]
③	床：合板(T1)(t=15)下地、長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [床組下地共撤去]	床：構造用合板(T1)(t=15)下地 [床組下地共新設] 複合フローリング張り(t=15)(表層加 t=3)
④	土間：土	土間：コンクリート土間+防湿シート [新設]
⑤	床：長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部撤去(教室)・撤去(廊下)]	床：長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部新設(教室)・新設(廊下)]
⑥	天井：GB-D(t=9.5) [一部撤去]	天井：GB-D(t=9.5) [一部新設]
⑦	壁：モルタル下地EP [塗装改修]	壁：EP [下地調整のうえ新設]
⑧	梁型：外壁側梁型、モルタル下地EP [塗装改修]	梁型：EP [劣化部下地調整のうえ新設]
⑨	雨受け：鋼板SOP [撤去]	床：長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [モルタル下地調整の上、新設]

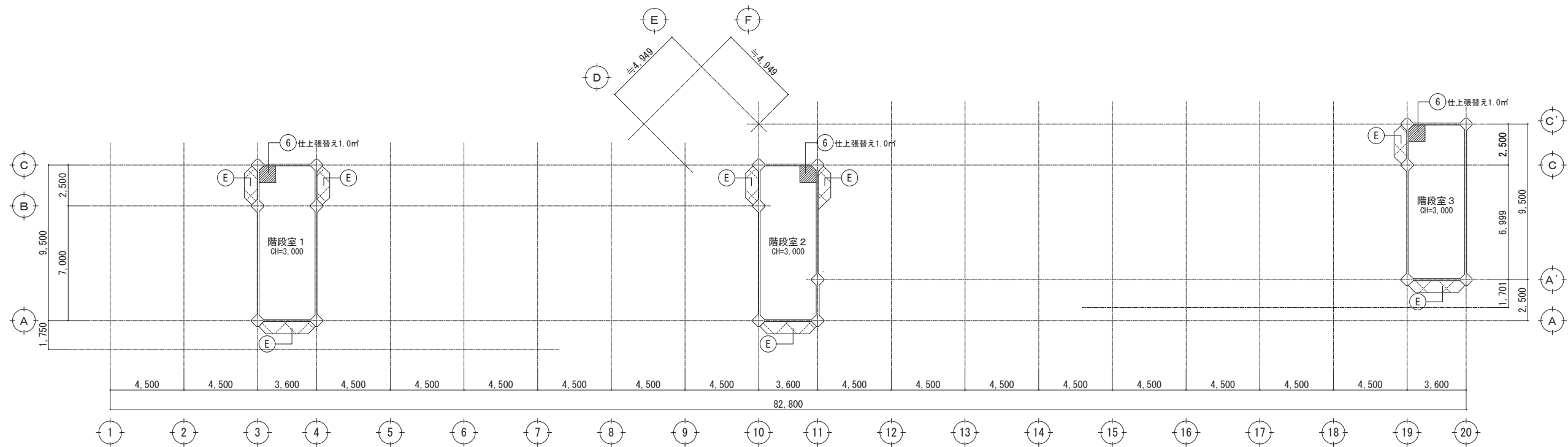
 改修箇所を示す  
 CB 既存のままとする。



3階天井伏図 1/200

記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）
<b>【防水改修工事】</b>		
A	屋根：保護モルタル下地 加硫ゴム系ルフィングシート防水(t=1.5)立上り共 [撤去]	屋根：塗膜防水、平場X-1、立上りX-2 [下地処理のうえ新設]
B	パラペット：コンクリート下地 珪酸塩塗膜防水(X-2) [重ね塗り]	パラペット：塗膜防水 X-2 [下地処理のうえ新設]
C	手摺：アルミ製（縦格子、アルミ笠木付） [既存のまま]	
D	庇先端・鼻：モルタル下地 ウレタン塗膜防水(X-2) [水洗い]	庇先端：塗膜防水 X-2 [下地処理のうえ新設]
E	庇裏：モルタル刷毛引(t=25)下地 外装薄塗材E [高圧洗浄]	庇裏：防水形複層塗材RE [下地調整のうえ新設]
F	RD：鑄鉄製75φ [塗装改修]	RD：タールエポキシ樹脂塗装 [下地調整のうえ新設]
G	縦樋：カラーVP管φ75、φ100 [高圧洗浄のみ]	
<b>【外壁改修工事】</b>		
①	根廻り：モルタル刷毛引(t=25)下地 [既存仕上撤去+高圧水洗] セメント系下地調整材コテ塗り(C-2)	根回り：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
②	壁・柱型：モルタル刷毛引(t=25)下地 複層仕上塗材E [既存仕上撤去+高圧水洗]	壁・柱型：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
③	外フレーム：コンクリート打放下地 複層仕上塗材E [既存仕上撤去+高圧水洗]	外フレーム：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
④	ホーチ・犬走：コンクリート下地 モルタルコテ押え [高圧洗浄のみ]	
⑤	床下換気口：鋼製格子SOP [塗装改修]	床下換気口：DP 19か所 [下地調整のうえ新設]
<b>【内装改修工事】</b>		
①	建具：木製間仕切り撤去 [木製枠共撤去]	建具：鋼製学校間仕切 [新設]
②	棚：教室後方棚、窓下棚 [撤去]	棚：教室後方棚、窓下棚（木製） [新設] 巾木：棚撤去部：ビニル巾木 [新設]
③	床：合板(T1)(t=15)下地、長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [床組下地共撤去]	床：構造用合板(T1)(t=15)下地 [床組下地共新設] 複合フローリング張り(t=15)(表層加 <sup>1</sup> t=3)
④	土間：土	土間：コンクリート土間+防湿シート [新設]
⑤	床：長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部撤去(教室)・撤去(廊下)]	床：長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [一部新設(教室)・新設(廊下)]
⑥	天井：GB-D(t=9.5) [一部撤去]	天井：GB-D(t=9.5) [一部新設]
⑦	壁：モルタル下地EP [塗装改修]	壁：EP [下地調整のうえ新設]
⑧	梁型：外壁側梁型、モルタル下地EP [塗装改修]	梁型：EP [劣化部下地調整のうえ新設]
⑨	雨受け：鋼板SOP [撤去]	床：長尺塩ビシート(t=2.5)貼り [モルタル下地調整の上、新設]

 改修箇所を示す



R階段天井伏図 1/200



符号・名称	AD 1 アルミ製 ランマ付 片開き戸+両開き戸 [周囲シーリング打替え]	AD 2 アルミ製 親子開き戸 [周囲シーリング打替え]	AD 1 アルミ製 引違い窓+ランマ付引違い戸 [周囲シーリング打替え]	AM 1 アルミ製 2段2連引違い窓 [周囲シーリング打替え]	AM 1-A アルミ製 2段2連引違い窓 [周囲シーリング打替え]	AM 1-B アルミ製 2段2連引違い窓 [周囲シーリング打替え]
位置・数量	玄関 6	階段室 5	廊下 1	図示 45	-	保健室 2
姿図						
ΔFL	1,700 70 900 2,670	1,100	1,700 70 1,800 3,570	1,750 70 1,750 3,570	1,750 70 1,750 3,570	1,750 70 1,750 3,570
扉仕上・扉厚	-	-	-	-	-	-
枠仕上・枠見込	アルミ 100	アルミ 100	アルミ 100	アルミ 100	アルミ 100	アルミ 100
番番・水切	-	-	-	-	-	-
硝子	FL t 3, FWL t 6.8	FL t 3	FL t 3	FL t 3	FL t 3	FL t 3
金物	引手、錠、フタ隠し、フタ隠し、戸当り、押棒、附属金物一式	丁番、把手、ドアストッパー、箱錠、附属金物一式	引手、引付、附属金物一式	引手、引付、附属金物一式	引手、引付、附属金物一式	引手、引付、附属金物一式
備考	周囲シーリング：変成シリコン系 (MS-2, 10×10)	周囲シーリング：変成シリコン系 (MS-2, 10×10)	周囲シーリング：変成シリコン系 (MS-2, 10×10)	周囲シーリング：変成シリコン系 (MS-2, 10×10)	周囲シーリング：変成シリコン系 (MS-2, 10×10)	周囲シーリング：変成シリコン系 (MS-2, 10×10)

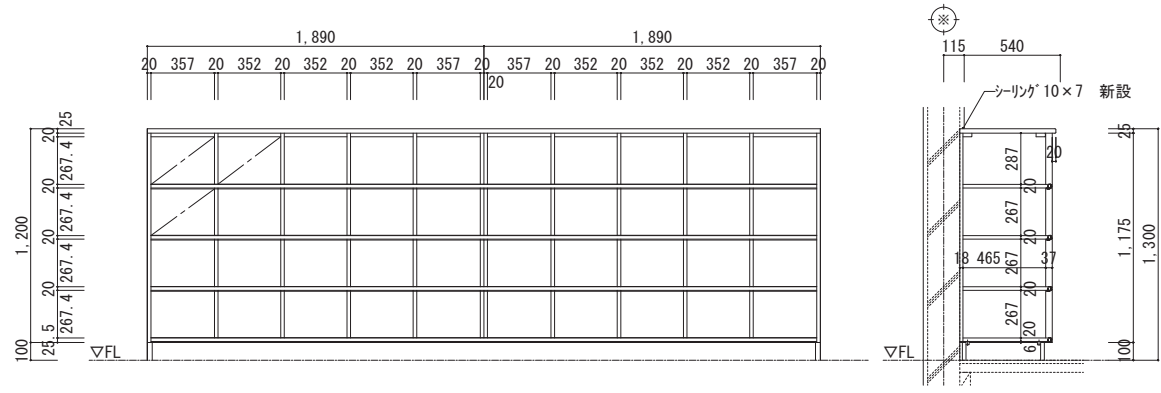
符号・名称	AM 2 アルミ製 2段引違い窓 [周囲シーリング打替え]	AM 3 アルミ製 2連引違い窓 [周囲シーリング打替え]	AM 3-A アルミ製 Fix枠引違い窓 [周囲シーリング打替え]	AM 4 アルミ製 引違い窓 [周囲シーリング打替え]	AM 5 アルミ製 ガラリ付2連引違い窓 [周囲シーリング打替え]	AM 6 アルミ製 ガラリ付引違い窓 [周囲シーリング打替え]
位置・数量	階段室 6	家庭科室、図工室、郷土資料室、廊下、階段室 41	廊下 3	階段室 6	男子便所、女子便所 6	女子便所 3
姿図						
ΔFL	2,870	1,750 70 1,750 3,570	1,750 70 850 2,670	2,870	1,975 70 1,975 4,020	1,240
扉仕上・扉厚	-	-	-	-	-	-
枠仕上・枠見込	アルミ 100	アルミ 100	アルミ 100	アルミ 100	アルミ 100	アルミ 100
番番・水切	-	-	-	-	-	-
硝子	FL t 3	FL t 3	FL t 3	FL t 3	FL t 3	FL t 3
金物	引手、引付、附属金物一式	引手、引付、附属金物一式	引手、引付、附属金物一式	引手、引付、附属金物一式	引手、引付、附属金物一式	引手、引付、附属金物一式
備考	周囲シーリング：変成シリコン系 (MS-2, 10×10)	周囲シーリング：変成シリコン系 (MS-2, 10×10)	周囲シーリング：変成シリコン系 (MS-2, 10×10)	周囲シーリング：変成シリコン系 (MS-2, 10×10)	周囲シーリング：変成シリコン系 (MS-2, 10×10)	周囲シーリング：変成シリコン系 (MS-2, 10×10)

符号・名称	SD 1 鋼製 片開き片面フラッシュ戸 [周囲シーリング打替え]	特記事項
位置・数量	プロハン庫 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姿図は外観図。</li> <li>・建具製作にあたってはよく現地を調査し、施工図作成のうえ監督員の承認を得た後製作すること。</li> <li>・引き違い建具は全て網戸レールを具備してあるものとし、落下防止又はハズレ防止とする。</li> <li>・シリンダー錠は、全て既存マスターキーに合わせる。</li> <li>・ハキ出し部分の既存番番りは撤去し、ステンレス (SUS304) 厚 2.0mm製を取付けるものとし、新り部分は現状仕上に準じ補修すること。(出入口ドア下枠もこれに準ずる。)</li> <li>・床研りは最小限にし、必要に応じてカッターを使用すること。</li> <li>・寸法は既存建具内法寸法を示す</li> <li>・ガラス留め材は、網入り・F I Xはシーリング (SR-1シリコン系) を使用すること。</li> <li>・アルミ水切は建具同材とし、小口はエンドキャップを使用すること。</li> <li>・アルミ製建具には二次電解着色・高耐候性アクリルクリアー電解塗装 (SGコート) をすること。</li> <li>・アルミ製建具のクレセントは、中型以上とする。</li> <li>・クレセントの取付位置は、特記なき場合、FL+800mm以上1,500mm以下とする。</li> <li>・クレセント、レバーハンドルは抗菌仕様とする。</li> <li>・PL-アルミプレート3mmを使用、FIX-ガラス</li> <li>・ステンレス製番番 (t=2.0) を示す。</li> <li>・特記なき場合、AD、AMの場合は7A:縦線 (H=25~350)、LSD、SDの場合は7A:縦線 (H=25~350) 焼付け、STDの場合は7A:縦線 (見付25)、WDの場合は木製縦線 (見付25) を示す。</li> </ul>
姿図		<ul style="list-style-type: none"> <li>□ 建具形式</li> <li>□ 材種</li> <li>□ ガラス</li> <li>□ 閉閉金物</li> <li>□ 鍵金物他</li> </ul>
ΔGL	1,180	<ul style="list-style-type: none"> <li>D ドア</li> <li>W 窓</li> <li>G ガラリ</li> <li>S シャッター</li> <li>F ふすま</li> <li>S J 障子</li> <li>S スチール</li> <li>ST ステンレス</li> <li>A アルミ</li> <li>W 木</li> <li>P 合成樹脂</li> <li>F L フロート板ガラス</li> <li>P 磨き板ガラス</li> <li>F 型板ガラス</li> <li>NP 網入磨き板ガラス</li> <li>NF 網入型板ガラス</li> <li>HAFL 熱線吸収フロート板ガラス</li> <li>A 空気層</li> <li>Ar アルゴン</li> <li>T ( ) 強化 (材料板ガラス)</li> <li>ST ( ) 学校用強化 (材料板ガラス)</li> <li>HR ( ) 熱線反射 (材料板ガラス)</li> <li>IG ( ) 複層 (材料板ガラス)</li> <li>DS ( ) 倍強度 (材料板ガラス)</li> <li>L ( ) 合わせ (材料板ガラス)</li> <li>H 丁番</li> <li>PH ビボットヒンジ</li> <li>FH フロアーヒンジ</li> <li>LH ラバトリーヒンジ</li> <li>GH グレビティヒンジ</li> <li>DCS ドアクローザー (ストップ付)</li> <li>DC ドアクローザー (ストップなし)</li> <li>Lh レバーハンドル</li> <li>Kh カムラッチハンドル</li> <li>Gh グレモンハンドル</li> <li>Oh オペレーターハンドル</li> <li>C シリンダー錠</li> <li>S サムターン錠</li> <li>H 表示錠</li> <li>L 錠錠</li> <li>CU ロック付クレセント</li> <li>NCU ロックなしクレセント</li> <li>KCU キー付クレセント</li> </ul>
扉仕上・扉厚	-	
枠仕上・枠見込	7A-SOP	80
番番・水切	-	
硝子	FL t 3	
金物	SUS丁番、カムロック、シリカゲル本錠錠	
備考	周囲シーリング：変成シリコン系 (MS-2, 10×10)	

符号・名称	引違い扉 2連ランマ+地窓付 [特共撤去]	引違い扉 2連ランマ+窓付 [新設]	引違い扉 ランマ付 [特共撤去]	引違い扉 ランマ付 [新設]	両開き扉 引違いランマ付き [特共撤去]	引違い扉 ランマ付 [新設]
位置・数量	普通教室・会議室・保健室・活動室・通級指導教室間仕切り 34	普通教室・会議室・保健室・活動室・通級指導教室間仕切り 34	家庭科室・図工室・郷土資料室 3	家庭科室・図工室・郷土資料室 3	食堂 2	食堂 2
姿図						
▽FL						
扉仕上・扉厚	ラワンベニヤ 36	化粧鋼板 t0.5 芯材ペーパーコア 30	ラワンベニヤ 36	化粧鋼板 t0.5 芯材ペーパーコア 30	ラワンベニヤ 36	化粧鋼板 t0.5 芯材ペーパーコア 30
枠仕上・枠見込	OP 120	化粧鋼板 t1.2焼付塗装 80	OP 120	化粧鋼板 t1.2焼付塗装 80	OP 120	化粧鋼板 t1.2焼付塗装 80
番番・水切	-	-	-	-	-	-
硝子	透明 t3.0	T (t4.0)	透明 t3.0	T (t4.0)	透明 t3.0	T (t4.0)
金物	埋込丸甲レール、鉄製戸車、彫込み引手、シリンダー差込捻錠	アルミ合金フラットレール、戸車、彫込み引手、引戸錠、床戸当たり、クレセント	埋込丸甲レール、鉄製戸車、彫込み引手、シリンダー差込捻錠	アルミ合金フラットレール、戸車、彫込み引手、引戸錠、床戸当たり、クレセント	丁番、覆り玉、シリンダー錠、フランス落し、	丁番、覆り玉、シリンダー錠、フランス落し、
備考		パネル部化粧鋼板 t0.5 芯材ペーパーコア 木製縦線SOP	木製縦線SOP	木製縦線SOP		木製縦線SOP

符号・名称	引違い中抜きフラッシュ扉 [新設 (仮設)]					
位置・数量	食堂 4					
姿図						
▽FL						
扉仕上・扉厚	シナ合板 t4.0フラッシュ 36					
枠仕上・枠見込	SOP 120					
番番・水切	-					
硝子	T (t4.0)					
金物	SUS t1.5フラットレール、戸車、彫込み引手、引戸錠					
備考						

符号・名称										
位置・数量										
姿図										
▽FL										
扉仕上・扉厚										
枠仕上・枠見込										
番番・水切										
硝子										
金物										
備考										
特記事項	<p>・姿図は外観図。</p> <p>・建具製作にあたってはよく現地を調査し、施工図作成のうえ監督員の承認を得た後製作すること。</p> <p>・引き違い建具は全て網戸レールを具備してあるものとし、落下防止又はハズレ防止付とする。</p> <p>・シリンダー錠は、全て既存マスターキーに合わせる。</p> <p>・ハキ出し部分の既存番指りは撤去し、ステンレス (SUS304) 厚 2.0mm製を取付けるものとし、新り部分は現状仕上に準じ補修すること。(出入口ドア下枠もこれに準ずる。)</p> <p>・床研りは最小限にし、必要に応じてカッターを使用すること。</p> <p>・寸法は既存建具内法寸法を示す</p> <p>・ガラス留め材は、網入り・F I Xはシーリング (S R-Iシリコン系) を使用すること。</p> <p>・アルミ水切は建具同材とし、小口はエンドキャップを使用すること。</p> <p>・アルミ製建具には二次電解着色・高耐候性アクリルクリアー電解塗装 (S Gコート) をすること。</p> <p>・アルミ製建具のクレセントは、中型以上とする。</p> <p>・クレセントの取付位置は、特記なき場合、FL+800mm以上1,500mm以下とする。</p> <p>・クレセント、レバーハンドルは抗菌仕様とする。</p> <p>・PL-アルミプレート3mmを使用、FIX-ガラス</p> <p>・ステンレス製番指 (t=2.0) を示す。</p> <p>・特記なき場合、AD、AHの場合は7A:縦線 (H=25~350)、LSO、SDの場合は7A:縦線 (H=25~350) 焼付け、STDの場合は7A:縦線 (見付25)、WDの場合は木製縦線 (見付25) を示す。</p> <p>□ 建具形式</p> <p>D ドア</p> <p>W 窓</p> <p>G ガラリ</p> <p>S シャッター</p> <p>F ふすま</p> <p>S J 障子</p> <p>□ 材種</p> <p>S スチール</p> <p>ST ステンレス</p> <p>A アルミ</p> <p>W 木</p> <p>P 合成樹脂</p> <p>□ ガラス</p> <p>FL フロート板ガラス</p> <p>P 磨き板ガラス</p> <p>F 型板ガラス</p> <p>NP 網入磨き板ガラス</p> <p>NF 網入型板ガラス</p> <p>H A F L 熱線吸収フロート板ガラス</p> <p>A 空気層</p> <p>A r アルゴン</p> <p>T () 強化 (材料板ガラス)</p> <p>ST () 学校用強化 (材料板ガラス)</p> <p>HR () 熱線反射 (材料板ガラス)</p> <p>IG () 複層 (材料板ガラス)</p> <p>DS () 倍強度 (材料板ガラス)</p> <p>L () 合わせ (材料板ガラス)</p> <p>□ 閉金物</p> <p>H 丁番</p> <p>PH ビボットヒンジ</p> <p>FH フローアヒンジ</p> <p>LH ラバトリーヒンジ</p> <p>GH グレビティヒンジ</p> <p>DCS ドアクローザー (ストップ付)</p> <p>DC ドアクローザー (ストップなし)</p> <p>Lh レバーハンドル</p> <p>Kh カムラッチハンドル</p> <p>Gh グレモンハンドル</p> <p>Oh オペレーターハンドル</p> <p>□ 鍵金物他</p> <p>C シリンダー錠</p> <p>S サムターン錠</p> <p>H 表示錠</p> <p>L 窓錠</p> <p>CU ロック付クレセント</p> <p>NCU ロックなしクレセント</p> <p>KCU キー付クレセント</p> <p>NOTE</p> <p> 撤去建具を示す</p> <p> 新設建具を示す</p> <p> 周囲シーリング打ち替え建具を示す</p> <p>□ 踏指の形状と符号</p> <p>ST-1 </p> <p>ST-2 </p> <p>ST-3 </p> <p>ST-4 </p> <p>ST-5 </p> <p>ST-6 </p>									

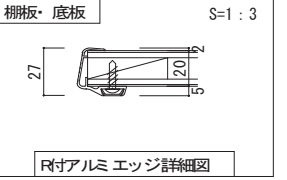


背面棚 姿図  
1~3階：普通教室

一般部 断面図

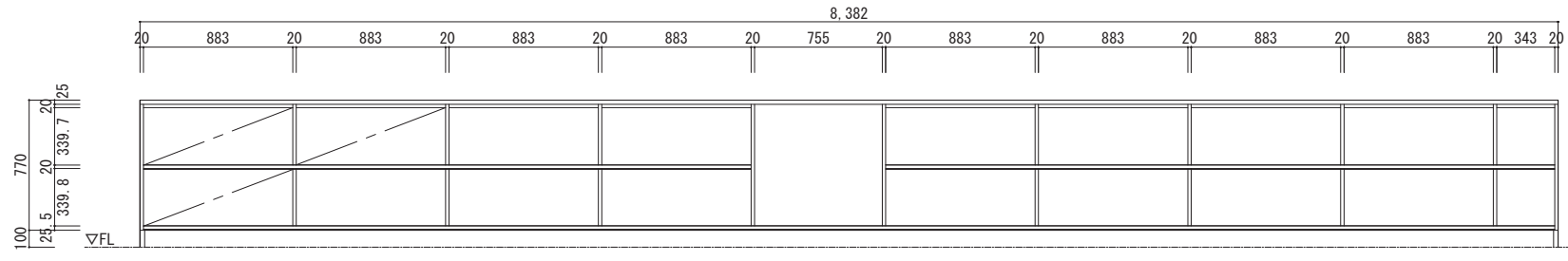
※：各普通教室の背面側通り芯符号とする。

名称	材質・仕様
作業天板	t25 タモ集成材 UC
外装	ポリエステル樹脂合板
内装	ポリエステル樹脂合板
棚板・底板	t20 ポリエステル樹脂合板 木口：R付アルミエッジ (品名ライン付)
見付	t2 セーフティエッジ (ABS樹脂)
台輪	ポリエステル樹脂合板 角部：セーフティカバー-27L (ABS樹脂)

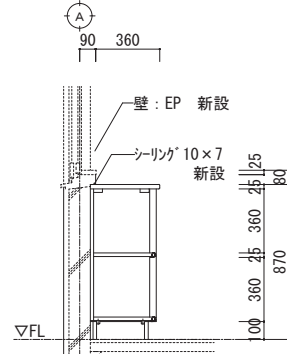


棚板・底板 S=1:3

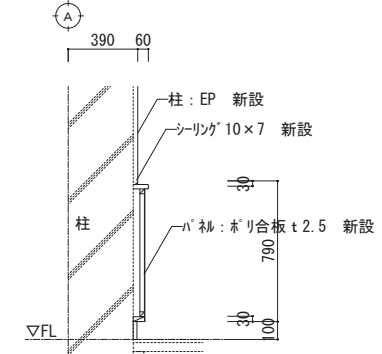
R付アルミエッジ詳細図



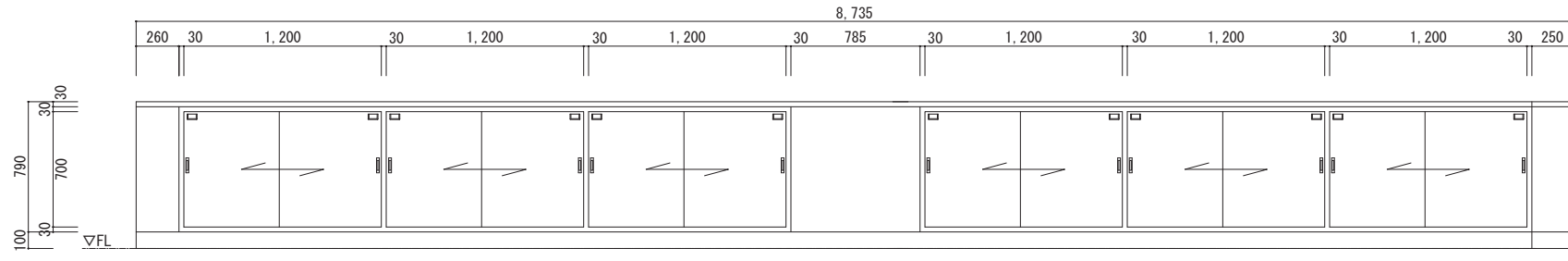
窓面棚 姿図  
1~3階：普通教室



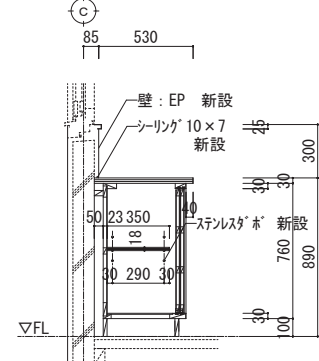
一般部 断面図



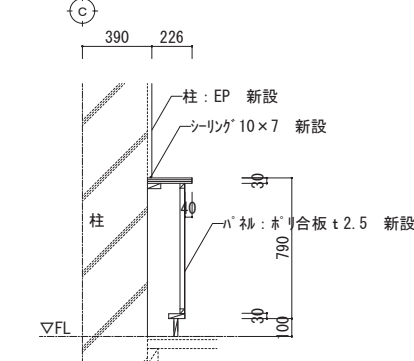
H'材部 断面図



窓面棚 姿図  
1階：家庭科室

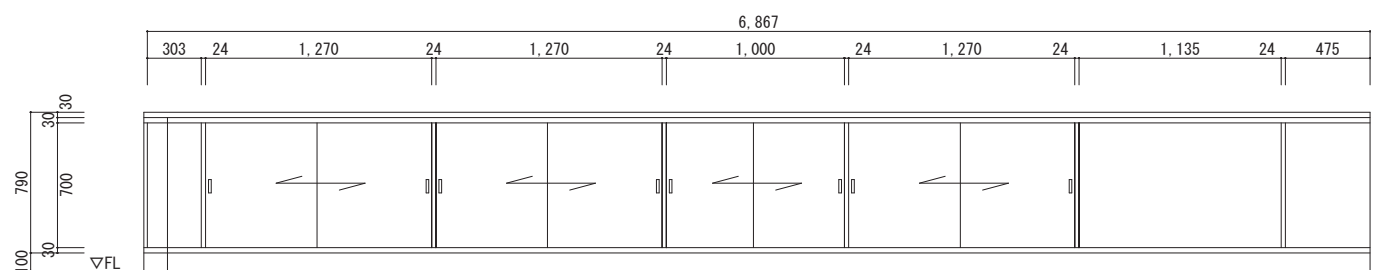


一般部 断面図

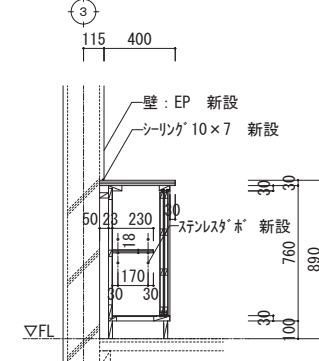


H'材部 断面図

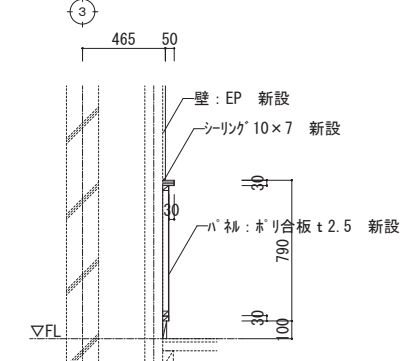
名称	材質・仕様
外装	ポリエステル樹脂合板
内装	耐摩耗紙化粧板
棚板	t24 耐摩耗紙化粧板 木口：樹脂エッジ (ABS樹脂) 全可動面付棚柱・ダボ 棚板ズレ防止棚受け
側板見付	硬質耐候性樹脂エッジ (ABS樹脂)
見付	樹脂エッジ (ABS樹脂)
引違戸	t20 ポリエステル樹脂合板 木口：樹脂エッジ (ABS樹脂) 成形引手 (ABS樹脂) 一体成形ガイドレール (PP樹脂) 成形ソフト縦枠II型 (ABS樹脂) 一体成形Vレール (ABS樹脂)
台輪	t20 ポリエステル樹脂合板 角部：セーフティカバー-27L (ABS樹脂)



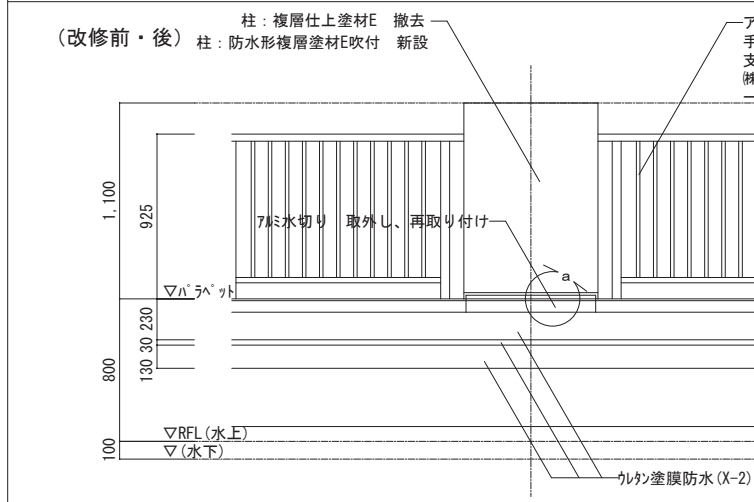
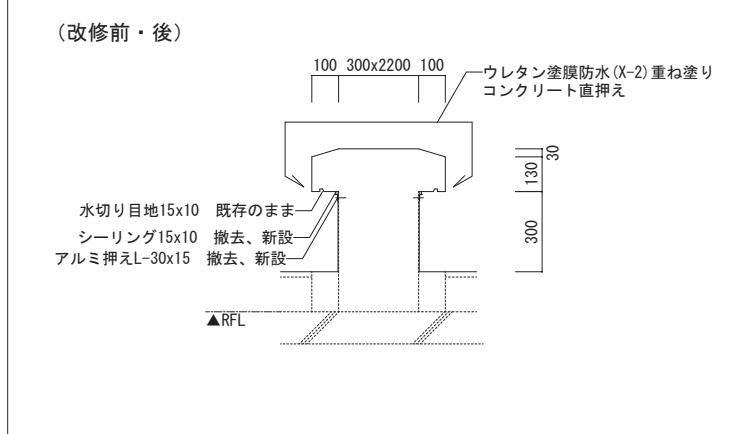
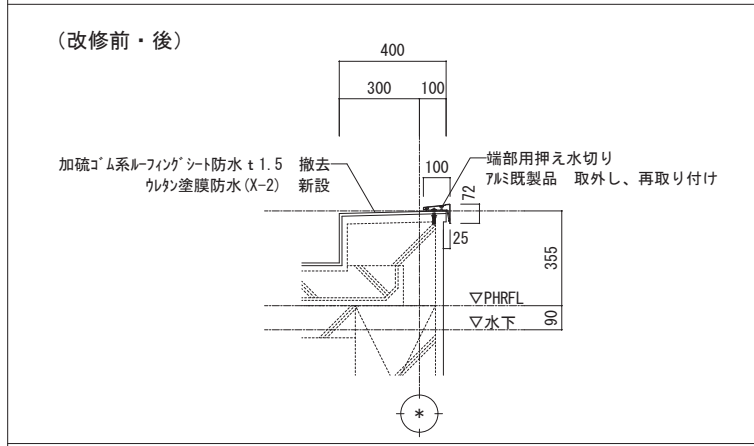
背面棚 姿図  
1階：家庭科室



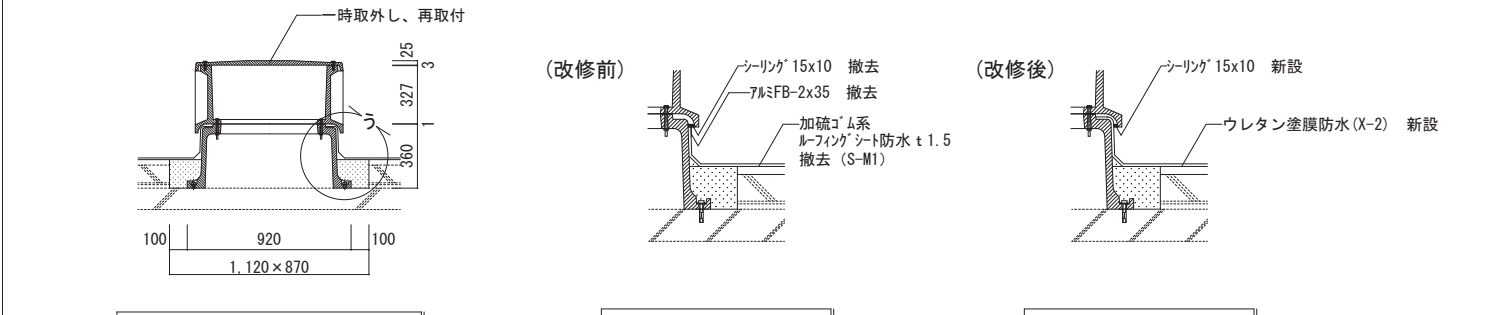
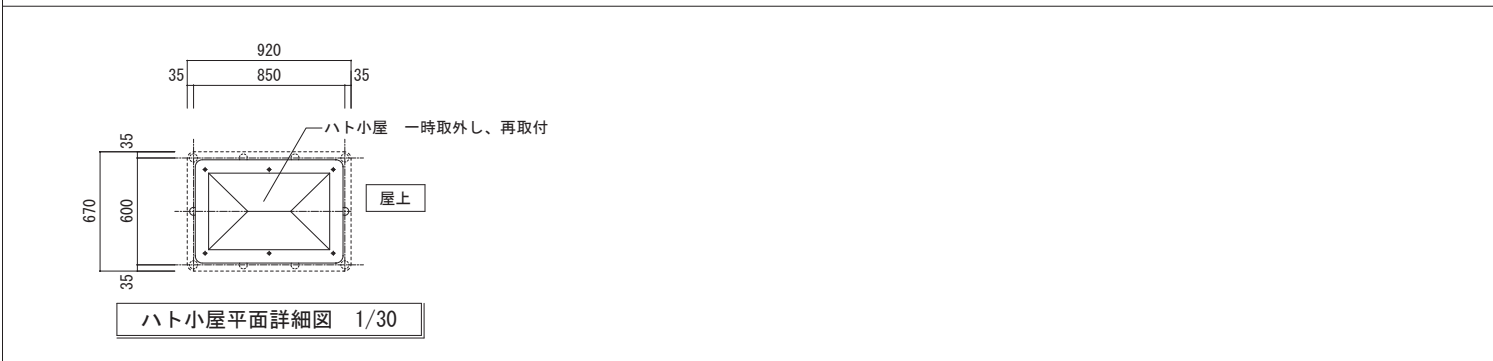
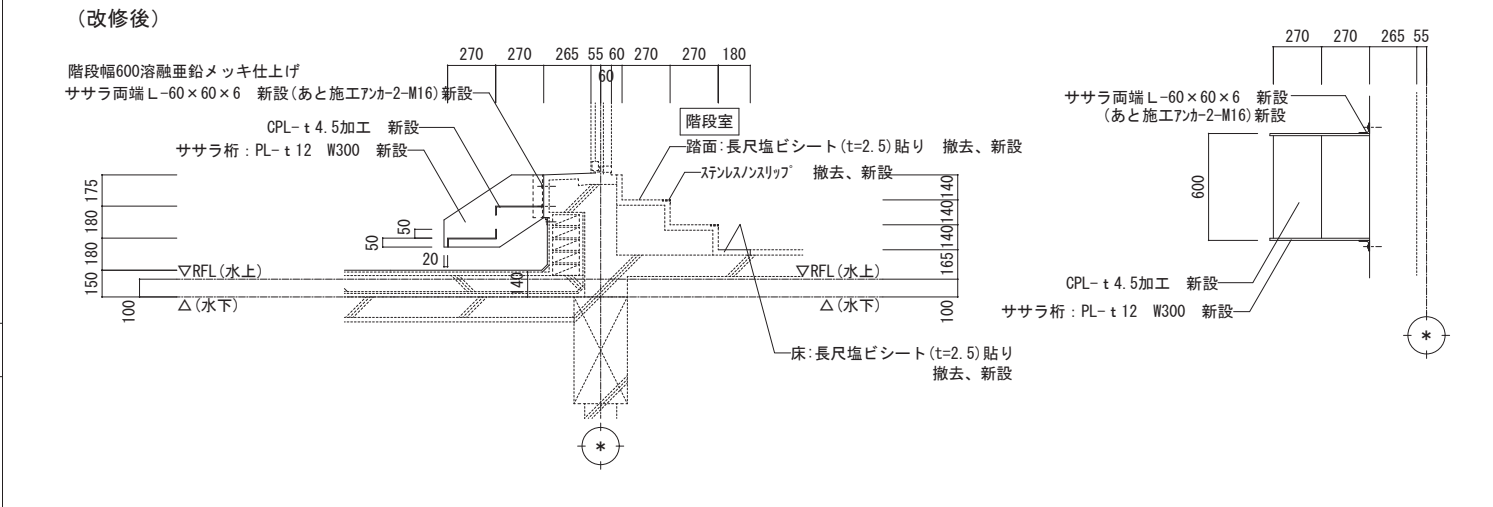
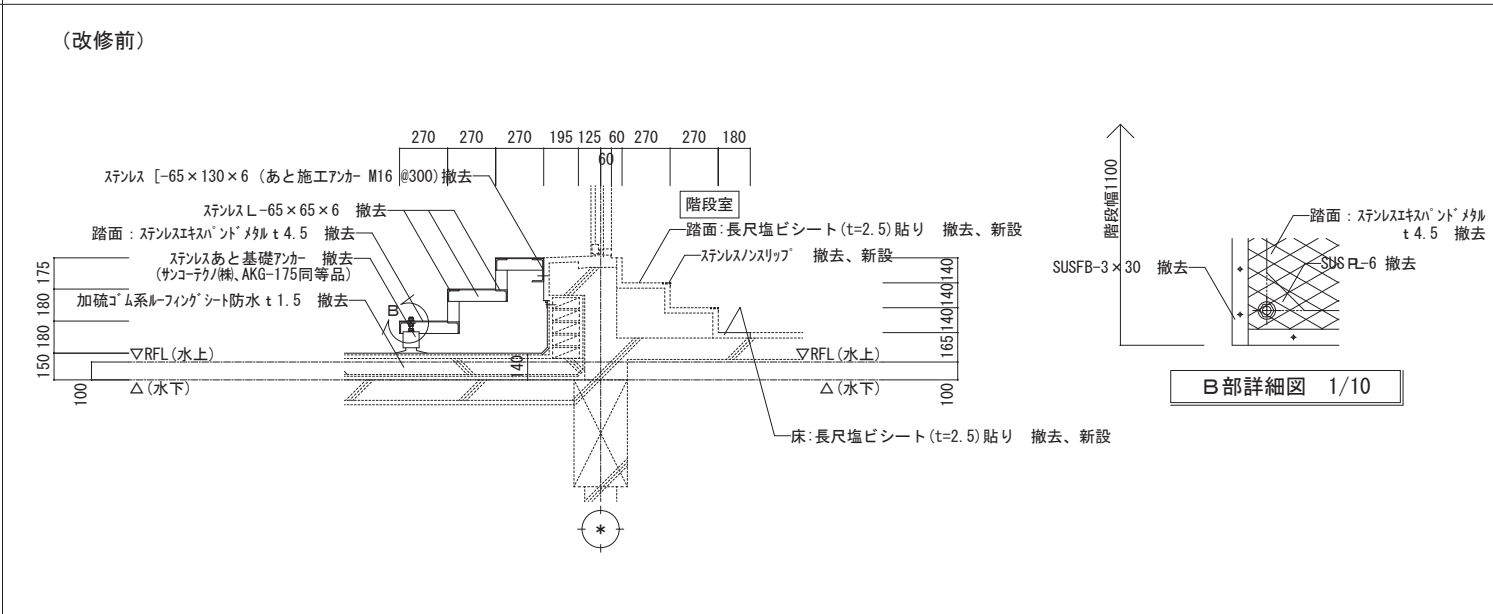
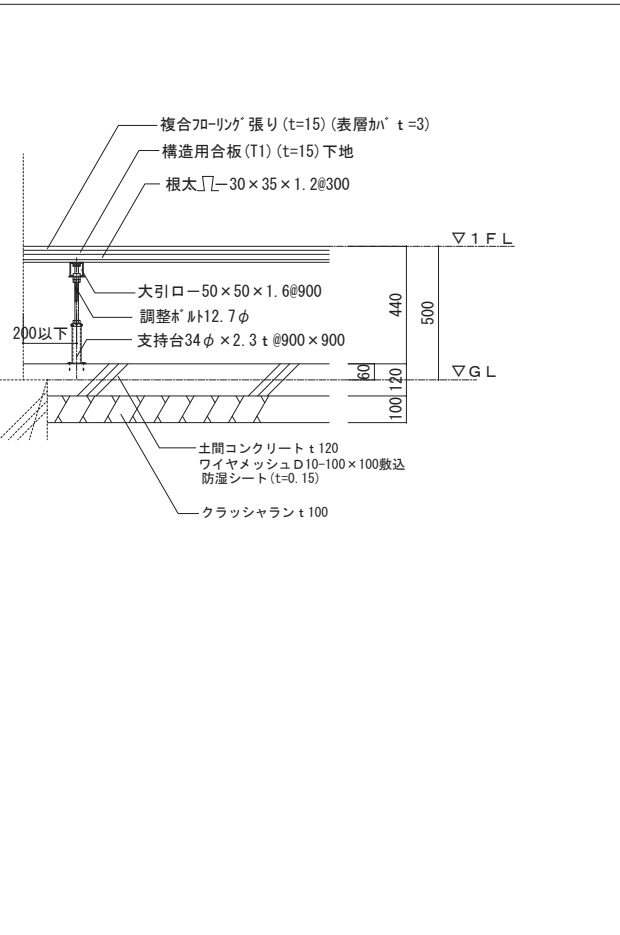
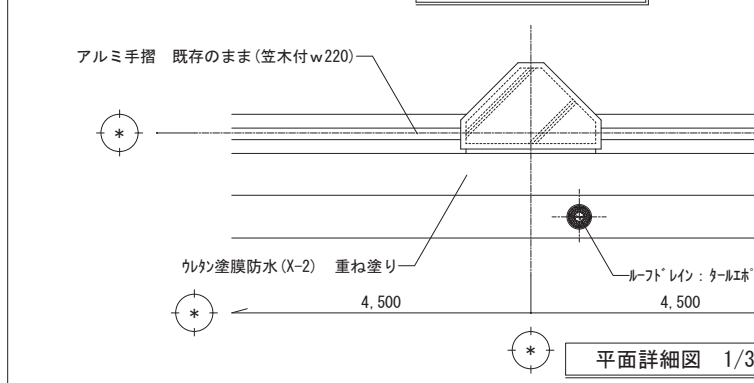
一般部 断面図



H'材部 断面図



立面詳細図 1/30



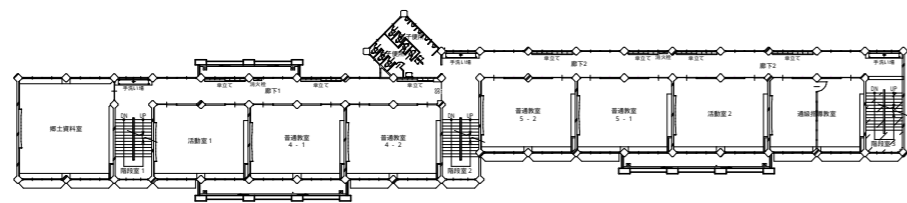
STEP 1

工期：2.5か月

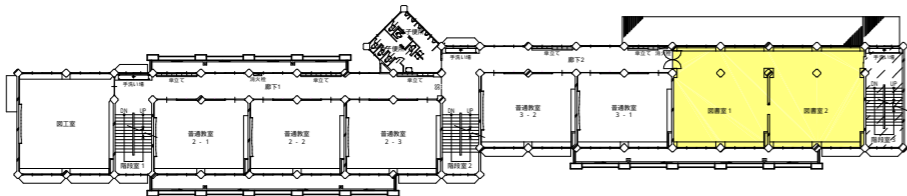
1階 食堂1・2、階段室3の内装改修



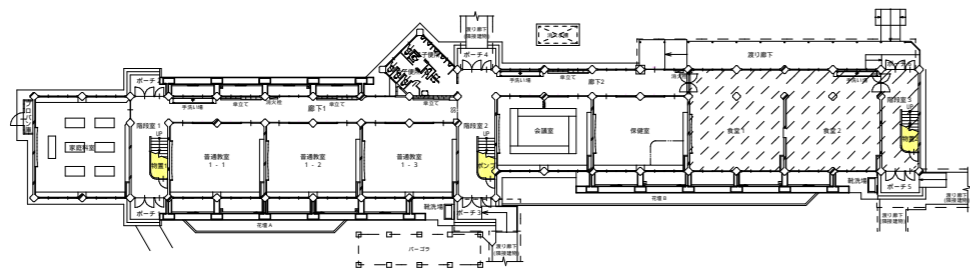
3階平面図



2階平面図



1階平面図



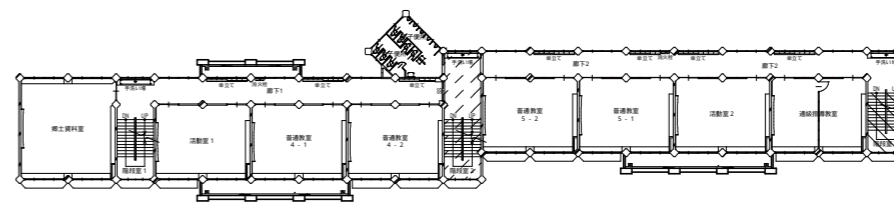
STEP 2

工期：4か月

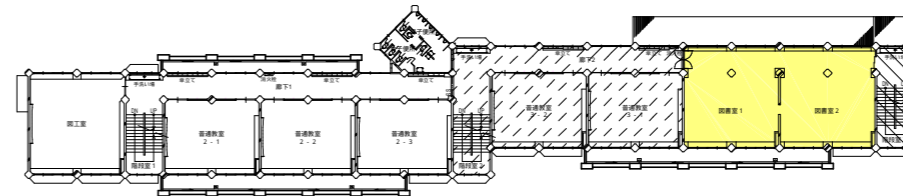
1階 家庭科室、会議室、保健室、廊下2 2階 普通教室3-1・3-2、階段室2、廊下2の内装改修  
普通教室3-1・3-2は食堂1・2を仮教室として利用  
1階 家庭科室、保健室、階段室2は夏季休暇中の工事とすること。



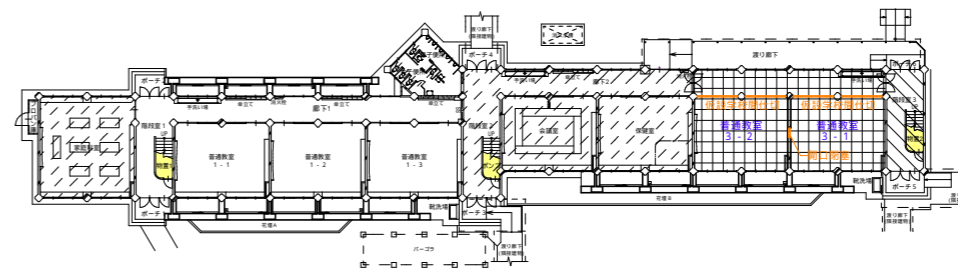
3階平面図



2階平面図



1階平面図



凡例

	工事範囲対象外
	撤去
	新設(改修済)
	仮設間仕切
	仮教室名
	仮教室利用(改修済)

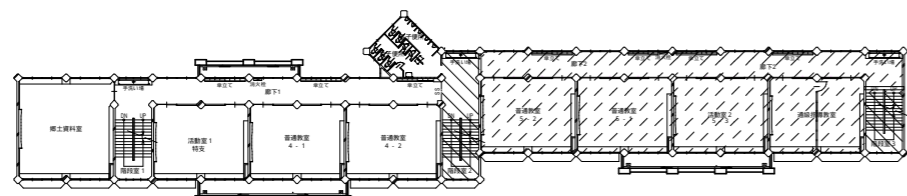
STEP 3

工期：3か月

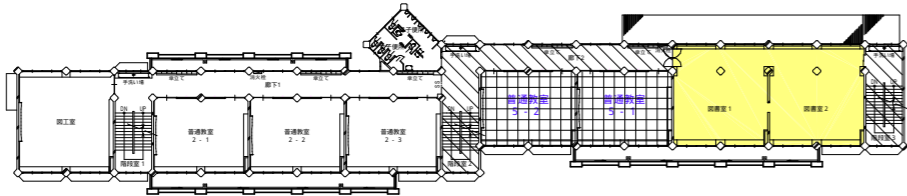
3階 普通教室5-1・5-2、活動室2、通級指導教室、廊下2の内装改修  
普通教室5-1・5-2は2階 普通教室3-1・3-2を仮教室として利用、活動室2(5-3)は1階会議室を仮教室として利用



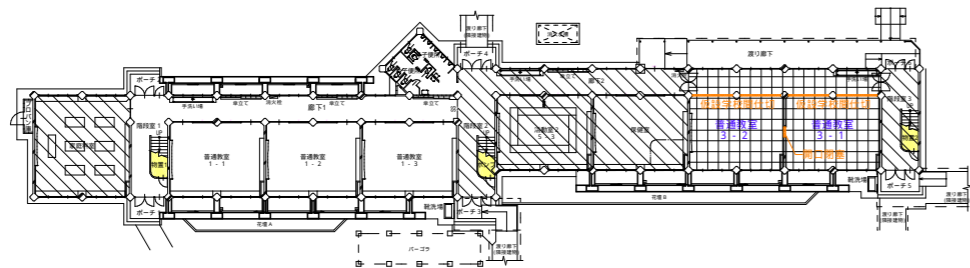
3階平面図



2階平面図



1階平面図



STEP 4

工期：3か月

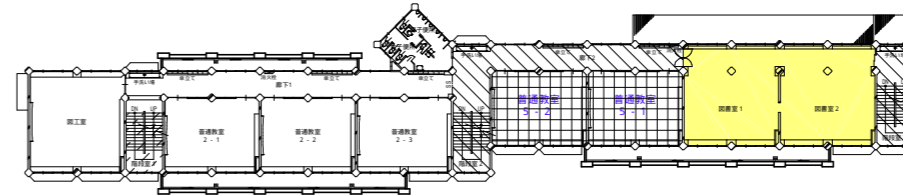
3階 普通教室4-1・4-2、活動室1、郷土資料室、階段室1、廊下1の内装改修  
普通教室4-1・4-2、活動室1(特支)は普通教室5-1・5-2、活動室2を仮教室として利用、郷土資料室の大型備品を2階図工室に移設



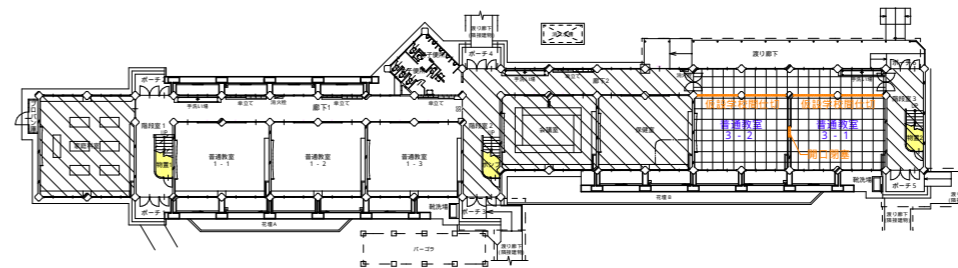
3階平面図



2階平面図



1階平面図



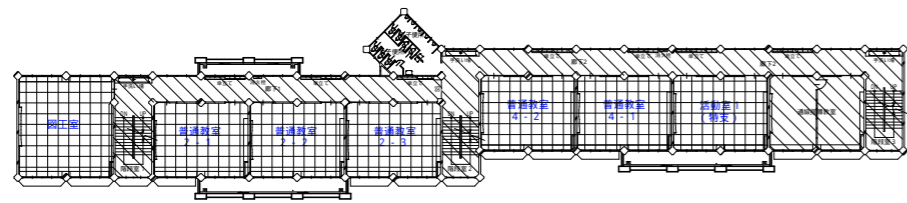
STEP 5

工期：3か月

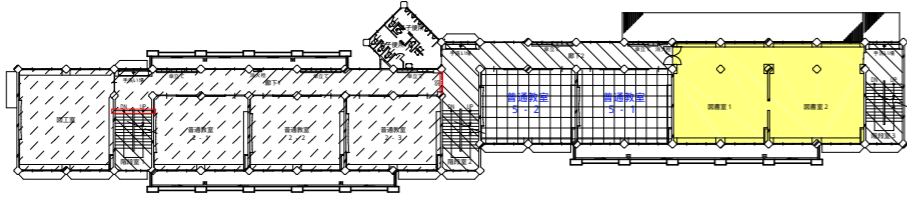
2階 普通教室 2-1・2-2・2-2-3、図工室、廊下1の内装改修  
 普通教室 2-1・2-2・2-2-3は 普通教室 4-1・4-2、郷土資料室、活動室1を仮教室として利用、図工室内の大型備品を全て3階郷土資料室に移設



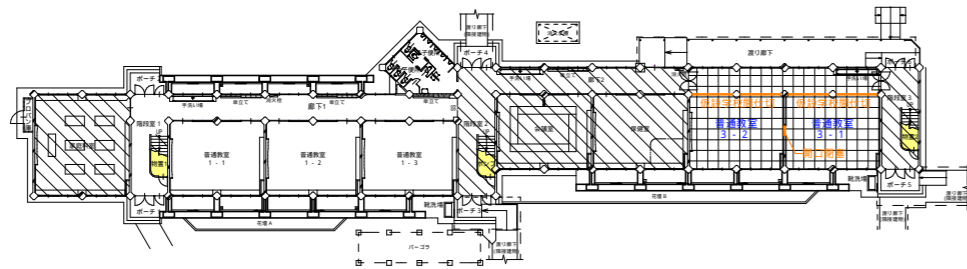
3階平面図



2階平面図



1階平面図



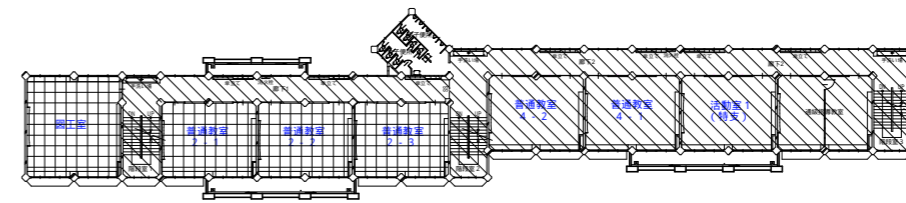
STEP 6

工期：3か月

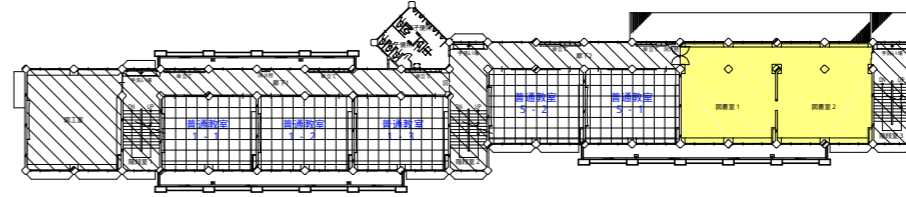
1階 普通教室 1-1・1-1-2・1-1-3、廊下1の内装改修  
 普通教室 1-1・1-1-2・1-1-3は2階 普通教室 2-1・2-2・2-2-3を仮教室として利用、3階郷土資料室の図工室分の大型備品を図工室に戻す



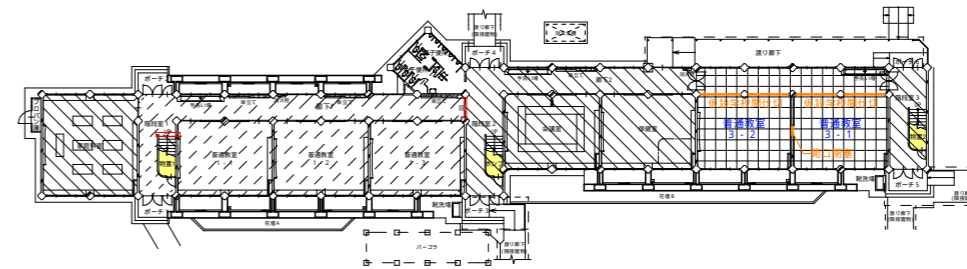
3階平面図



2階平面図



1階平面図



凡例	
	工事範囲対象外
	撤去
	新設(改修済)
	仮設間仕切
	仮教室名
	仮教室利用(改修済)

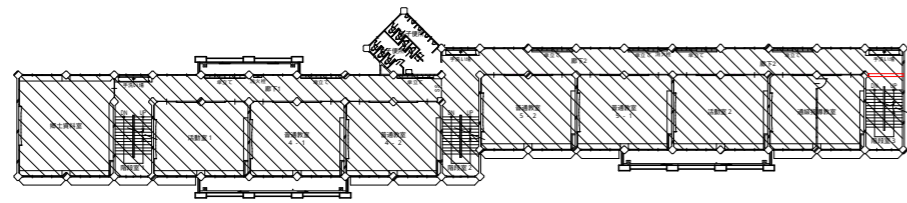
STEP 7

工期：1か月

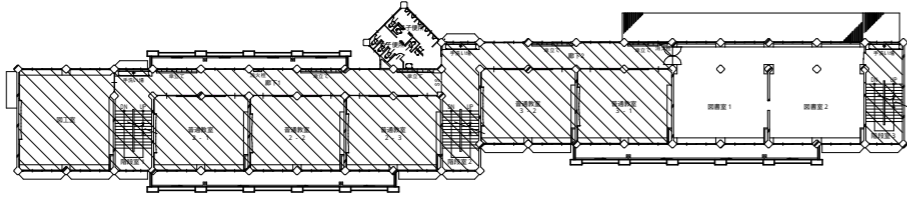
各教室をSTEP1の配置に移動  
 1階 仮教室の仮設学校間仕切・開口閉塞撤去



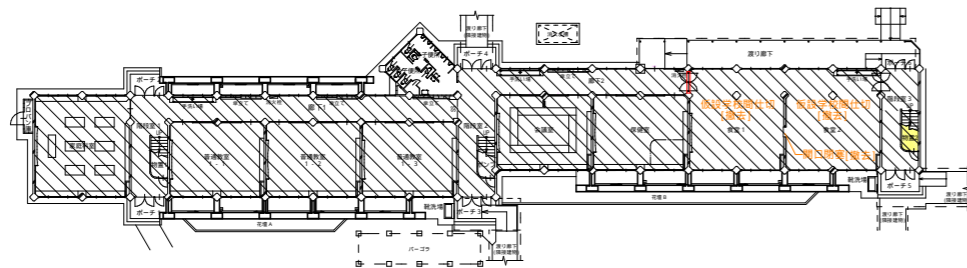
3階平面図

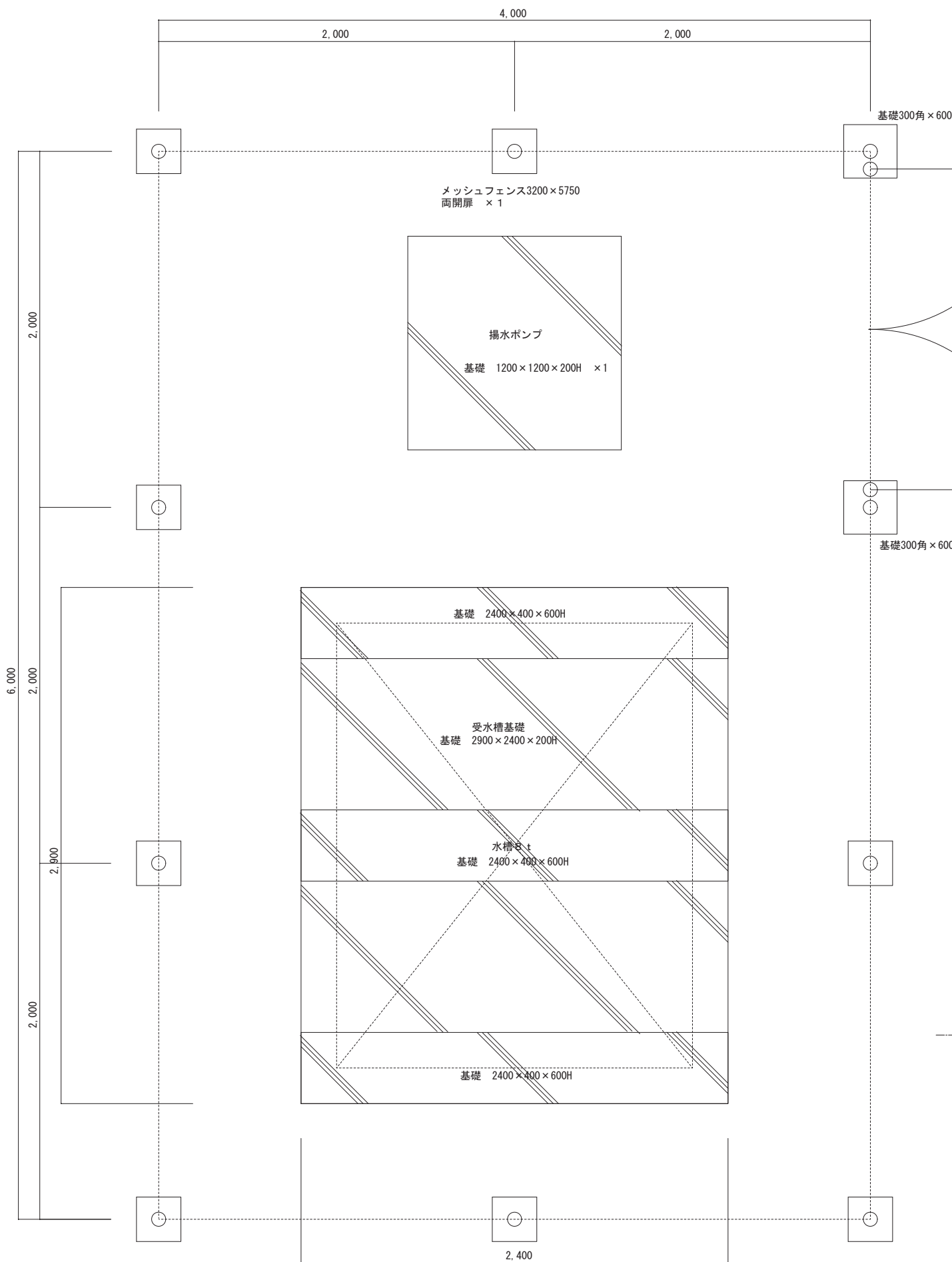


2階平面図

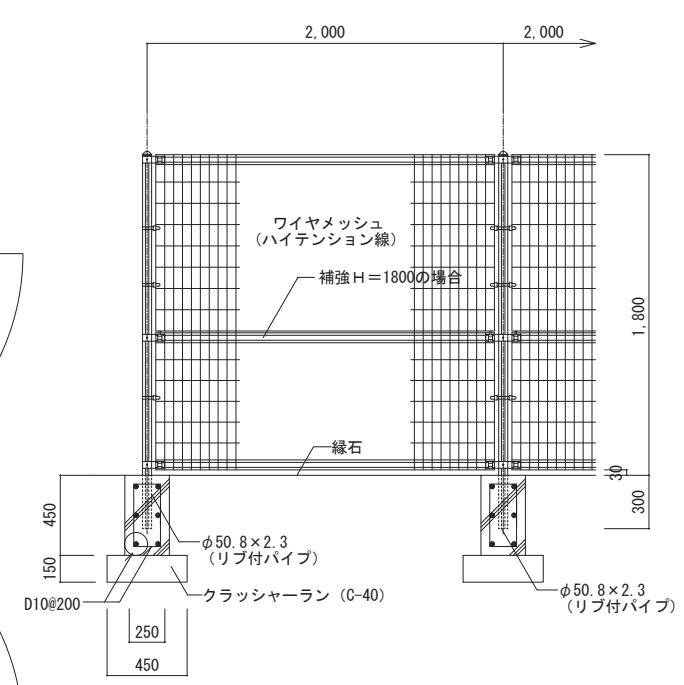


1階平面図

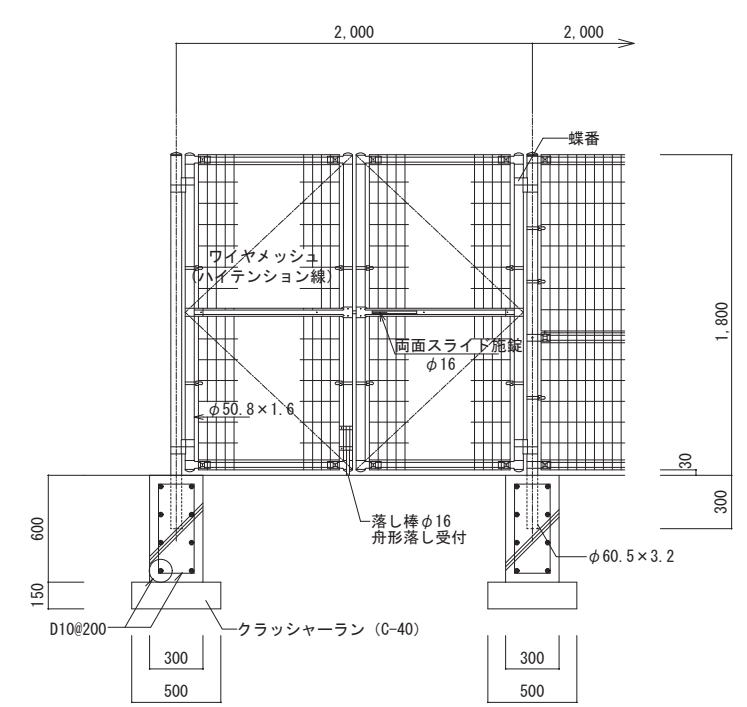




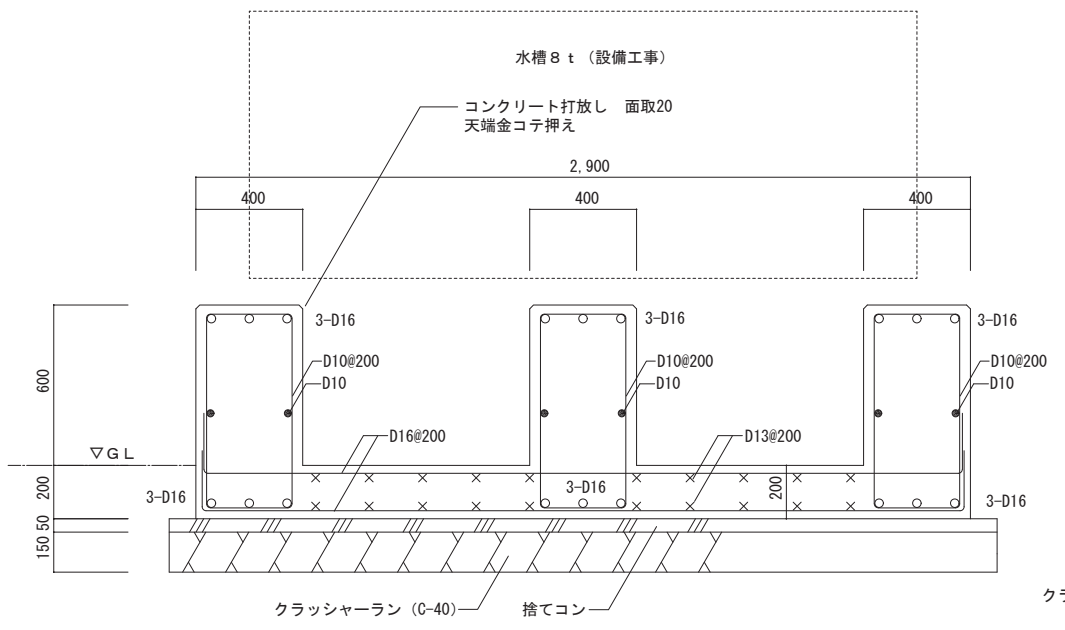
受水槽基礎 平面詳細図 1/20



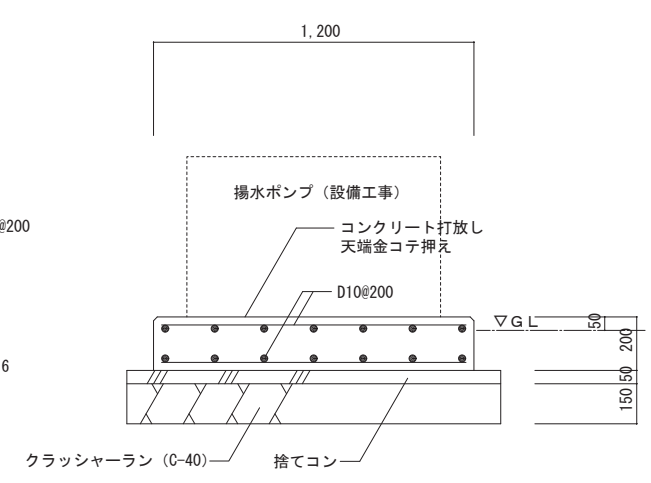
メッシュフェンス詳細図 1/30



両開戸詳細図 1/30



受水槽基礎 断面詳細図 1/20



揚水ポンプ基礎 断面詳細図 1/20



凡例

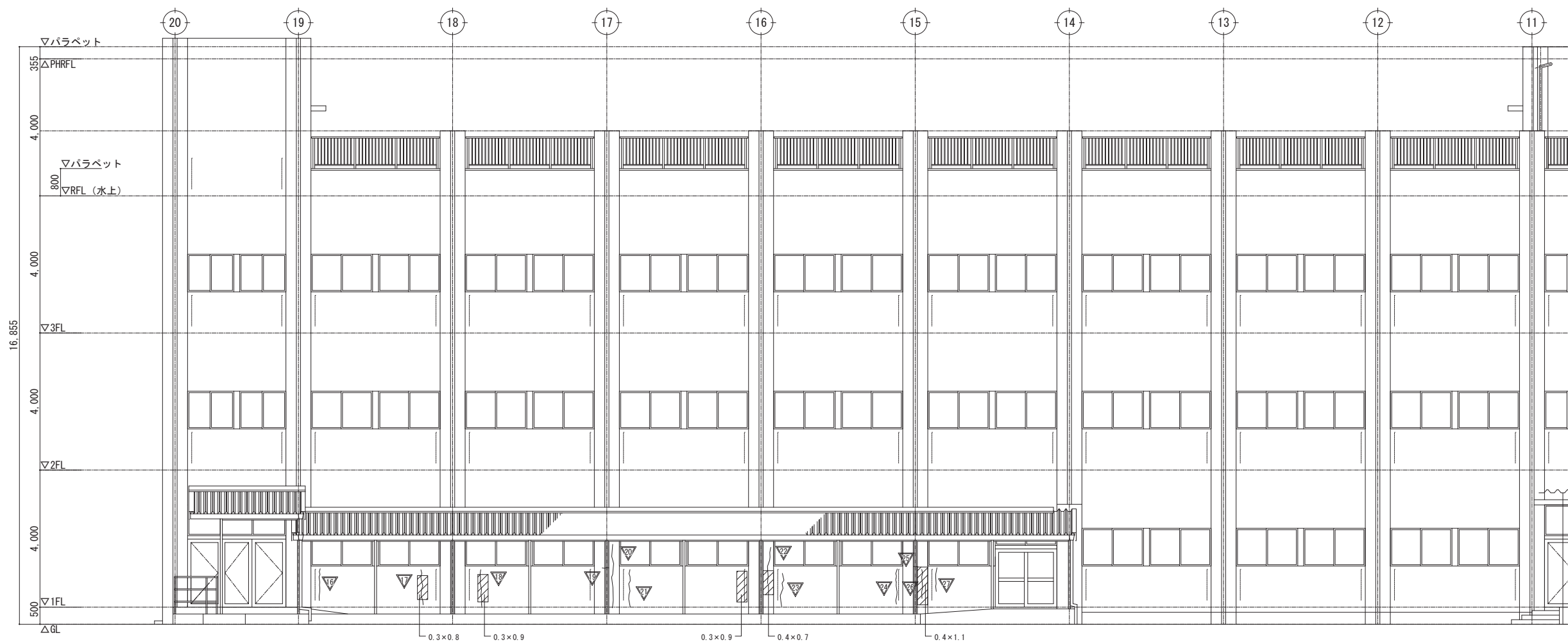
	塗膜劣化
	B-2 ひび割れ (打放し面)
	B-6 ひび割れ (モルタル面)
	C-1 錆鉄筋
	D-2 モルタル浮き
	E-1 欠損部
	木跡部

南側立面図 (1) 1/100



南側立面図 (2) 1/100





凡例

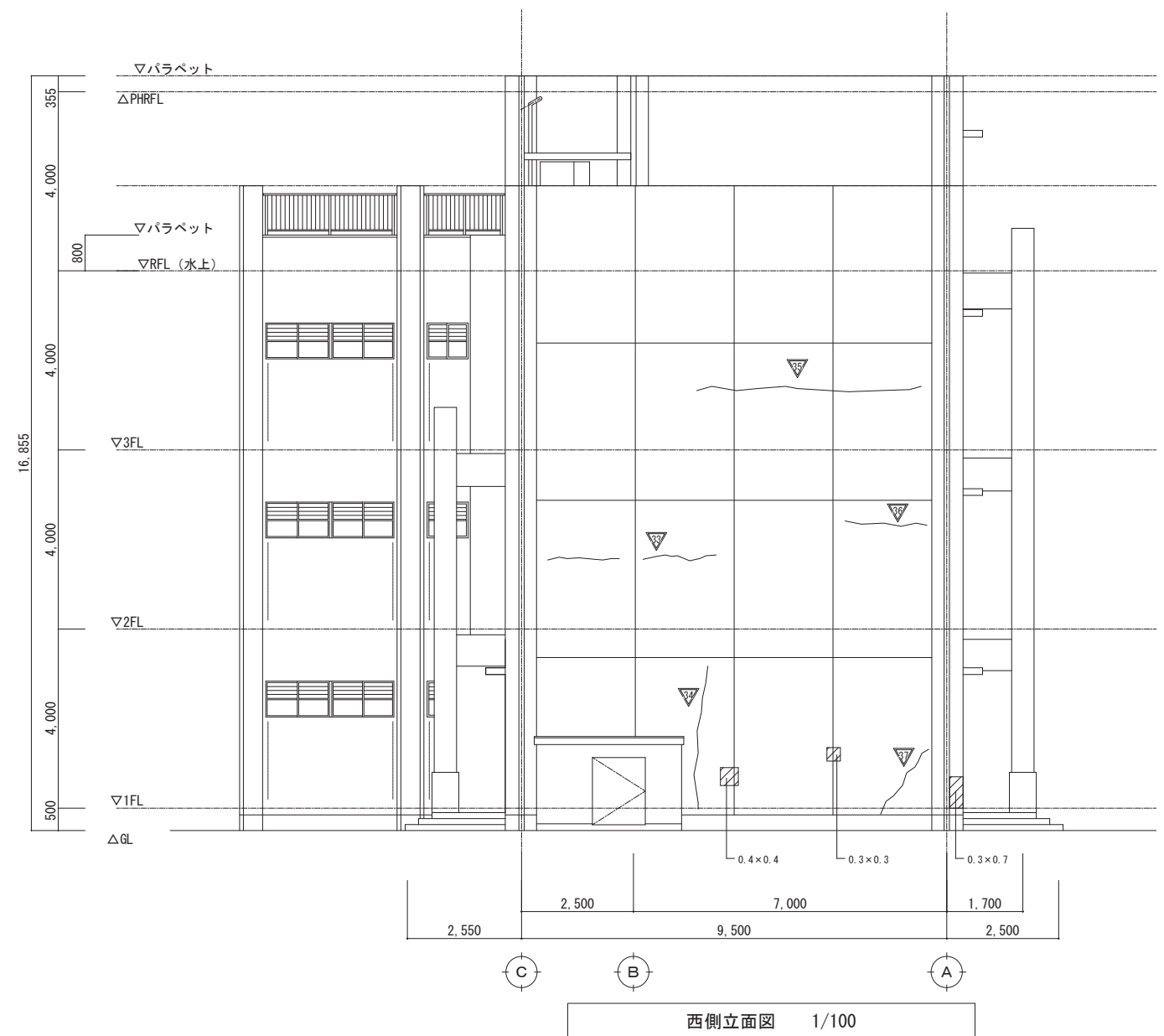
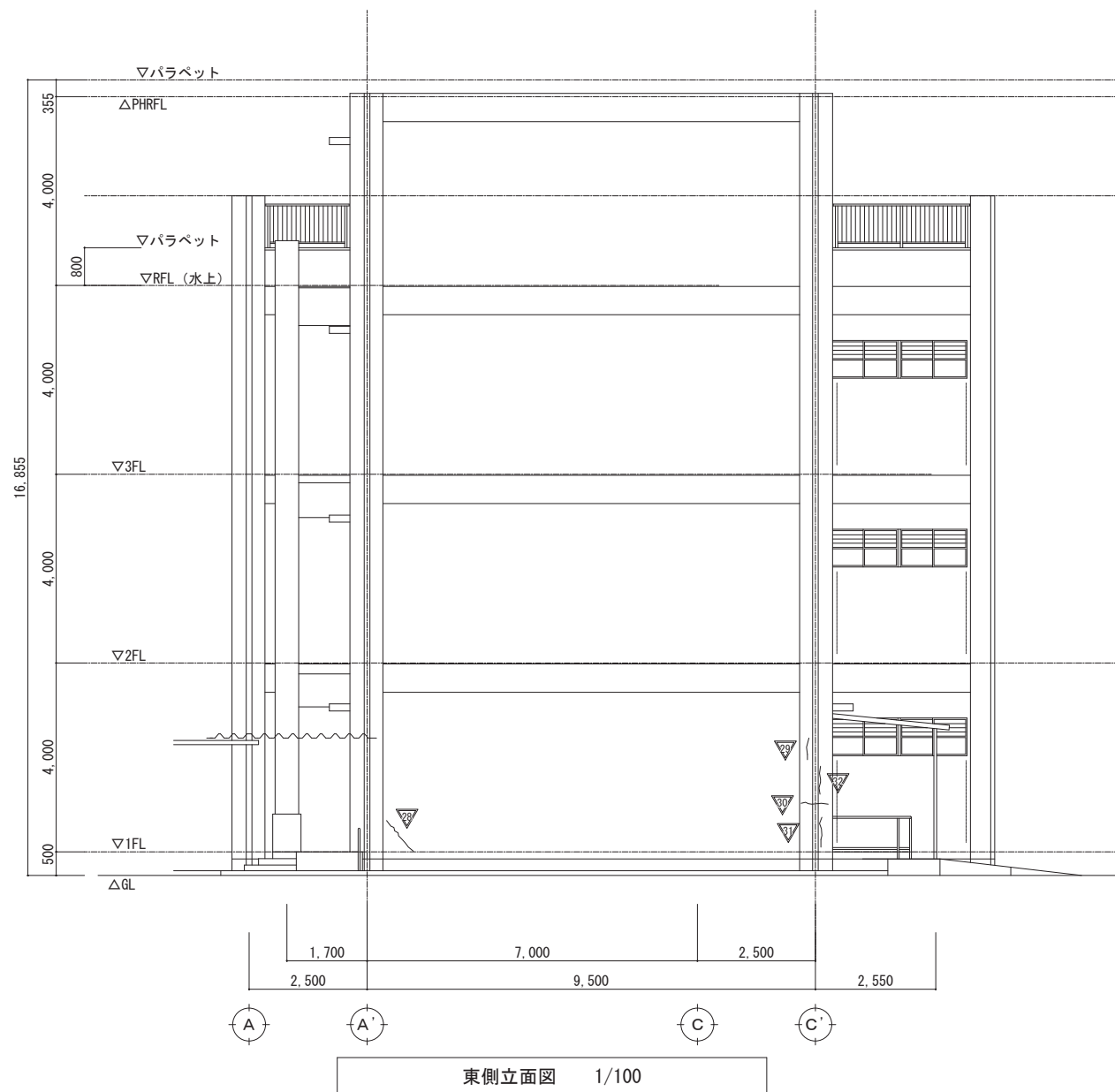
	塗膜劣化
	B-2 ひび割れ (打放し面)
	B-6 ひび割れ (モルタル面)
	C-1 錆鉄筋
	D-2 モルタル浮き
	E-1 欠損部
	木跡部

北側立面図 (1) 1/100



北側立面図 (2) 1/100

凡例	
	塗膜劣化
	B-2 ひび割れ（打放し面）
	B-6 ひび割れ（モルタル面）
	C-1 錆鉄筋
	D-2 モルタル浮き
	E-1 欠損部
	木跡部



名称	A 表面劣化部処理		B ひび割れ部処理		C 錆鉄筋部処理	
記号・仕様	A-1 打放し面表面劣化部処理 [サンダー工法]		A-2 モルタル面表面劣化部処理 [サンダー工法]		B-1 打放し面樹脂注入工法 [標仕4.3.4] ひび割れ幅 0.2~1.0mm	
改修前						
改修後						
工程	<p>①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (*全面・部分)</p> <p>②高圧水洗浄 (150~200kg/cm<sup>2</sup>)</p> <p>③セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>参考数量: 200m<sup>2</sup></p> <p>アスベスト含有部の施工は下記3点の工法同等とする。</p> <p>①泡噴出・集じん装置付き湿式ディスクグラインダーケレン工法</p> <p>②剥離剤併用手工具ケレン工法</p> <p>③負圧隔離養生+集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法</p>		<p>①既存仕上げ材及び脆弱層サンダーケレン (*全面・部分)</p> <p>②高圧水洗浄 (150~200kg/cm<sup>2</sup>)</p> <p>③セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>参考数量:</p>		<p>①ひび割れ部Uカット</p> <p>②高圧水洗浄 (150~200kg/cm<sup>2</sup>)</p> <p>③シーリング材打設</p> <p>④Uカット部埋戻し (ポリマーセメントモルタル)</p> <p>⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-1工法を行う場合は、②⑤の工程はA-1工法に含む。</p> <p>参考数量: 322m</p>	
名称	B ひび割れ部処理		B-5 モルタル面樹脂注入工法 [標仕4.4.5] ひび割れ幅 0.2~1.0mm		B-6 モルタル面Uカット樹脂注入工法 [標仕4.4.5] ひび割れ幅 0.2~1.0mm	
記号・仕様	B-4 モルタル面樹脂注入工法 [共仕4.4.5] ひび割れ幅 0.2~1.0mm		B-5 モルタル面樹脂注入工法 [標仕4.4.5] ひび割れ幅 0.2~1.0mm		B-6 モルタル面Uカット樹脂注入工法 [標仕4.4.5] ひび割れ幅 0.2~1.0mm	
改修前						
改修後						
工程	<p>①サンダーケレン</p> <p>②ひび割れ部シール</p> <p>③エポキシ樹脂注入</p> <p>④セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、①、④の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量: ひび割れ幅 0.2~0.5mm ( ) ひび割れ幅 0.5~1.0mm ( ) ( )内は挙動ひび割れ数量を示す</p>		<p>①ひび割れ周囲モルタルカッター切り</p> <p>②モルタル除去</p> <p>③ひび割れ部シール</p> <p>④エポキシ樹脂注入</p> <p>⑤埋戻し</p> <p>⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、⑥の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量:</p>		<p>①ひび割れ部Uカット</p> <p>②高圧水洗浄 (150~200kg/cm<sup>2</sup>)</p> <p>③シーリング材打設</p> <p>④Uカット部埋戻し (ポリマーセメントモルタル)</p> <p>⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、②⑤の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量:</p>	
名称	C 錆鉄筋部処理		D 浮き部処理		D-2 モルタル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.10] D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.5.9]	
記号・仕様	C-2 モルタル面錆鉄筋部処理		D-1 モルタル面はつり		D-2 モルタル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.10] D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.5.9]	
改修前						
改修後						
工程	<p>①カッター縁切り</p> <p>②浮き部はつり</p> <p>③錆落とし</p> <p>④高圧水洗浄 (150~200kg/cm<sup>2</sup>)</p> <p>⑤防錆処理</p> <p>⑥はつり部埋戻し整形</p> <p>⑦セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、④⑦の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量:</p>		<p>①カッター縁切り</p> <p>②浮き部はつり</p> <p>③高圧水洗浄 (150~200kg/cm<sup>2</sup>)</p> <p>④はつり部埋戻し整形</p> <p>⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、③⑤の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量:</p>		<p>①穿孔</p> <p>②孔内エアークリーニング</p> <p>③エポキシ樹脂注入</p> <p>④ステンレスピン挿入</p> <p>⑤穿孔跡埋戻し [パテ状エポキシ樹脂]</p> <p>⑥サンダーケレン</p> <p>⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm<sup>2</sup>)</p> <p>⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、⑥⑦⑧の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量: ①一般部分: 16ヶ所 ②指定部分: 25ヶ所 ③狭幅部: 16ヶ所 ④指定部分: 25ヶ所</p>	
名称	C 錆鉄筋部処理		D 浮き部処理		D-2 モルタル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.10] D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.5.9]	
記号・仕様	C-2 モルタル面錆鉄筋部処理		D-1 モルタル面はつり		D-2 モルタル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.10] D-2' タイル面アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.5.9]	
改修前						
改修後						
工程	<p>①カッター縁切り</p> <p>②浮き部はつり</p> <p>③錆落とし</p> <p>④高圧水洗浄 (150~200kg/cm<sup>2</sup>)</p> <p>⑤防錆処理</p> <p>⑥はつり部埋戻し整形</p> <p>⑦セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、④⑦の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量:</p>		<p>①カッター縁切り</p> <p>②浮き部はつり</p> <p>③高圧水洗浄 (150~200kg/cm<sup>2</sup>)</p> <p>④はつり部埋戻し整形</p> <p>⑤セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、③⑤の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量:</p>		<p>①穿孔</p> <p>②孔内エアークリーニング</p> <p>③エポキシ樹脂注入</p> <p>④ステンレスピン挿入</p> <p>⑤穿孔跡埋戻し [パテ状エポキシ樹脂]</p> <p>⑥サンダーケレン</p> <p>⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm<sup>2</sup>)</p> <p>⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、⑥⑦⑧の工程はA-2工法に含む。</p> <p>参考数量: ①一般部分: 16ヶ所 ②指定部分: 25ヶ所 ③狭幅部: 16ヶ所 ④指定部分: 25ヶ所</p>	

名称		D 浮き部処理																																																							
記号・仕様		D-3 モルタル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.11] D-3' タイル面アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.5.10]																																																							
改修前	改修後																																																								
工程	<table border="0"> <tr> <td>①ピン固定部穿孔</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑥注入口穿孔</td> <td>一般部 12ヶ所</td> <td>⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</td> </tr> <tr> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑦孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 12ヶ所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③エポキシ樹脂注入</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑧エポキシ樹脂注入</td> <td>一般部 12ヶ所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④ステンレスピン挿入</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td> <td>一般部 12ヶ所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑩サンダーケレン</td> <td>一般部 12ヶ所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm<sup>2</sup>)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	①ピン固定部穿孔	一般部 13ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 12ヶ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)	指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所			②孔内エアークリーニング	一般部 13ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 12ヶ所		指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所			③エポキシ樹脂注入	一般部 13ヶ所	⑧エポキシ樹脂注入	一般部 12ヶ所		指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所			④ステンレスピン挿入	一般部 13ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 12ヶ所		指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所			⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 13ヶ所	⑩サンダーケレン	一般部 12ヶ所		指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所					⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> )			<p>①一般部分標準グリッド (200×200) (指定部以外の部分)</p> <p>②指定部分標準グリッド (110×110) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等)</p> <p>③狭幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③狭幅部：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンカーピン固定部</li> <li>注入口</li> </ul>
①ピン固定部穿孔	一般部 13ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 12ヶ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)																																																					
指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																																							
②孔内エアークリーニング	一般部 13ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 12ヶ所																																																						
指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																																							
③エポキシ樹脂注入	一般部 13ヶ所	⑧エポキシ樹脂注入	一般部 12ヶ所																																																						
指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																																							
④ステンレスピン挿入	一般部 13ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 12ヶ所																																																						
指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																																							
⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 13ヶ所	⑩サンダーケレン	一般部 12ヶ所																																																						
指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																																							
		⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> )																																																							

名称		D 浮き部処理																																																							
記号・仕様		D-4 モルタル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4.4.12] D-4' タイル面アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4.5.11]																																																							
改修前	改修後																																																								
工程	<table border="0"> <tr> <td>①ピン固定部穿孔</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑥注入口穿孔</td> <td>一般部 12ヶ所</td> <td>⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</td> </tr> <tr> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑦孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 12ヶ所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ポリマーセメントスラリー注入</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑧ポリマーセメントスラリー注入</td> <td>一般部 12ヶ所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④ステンレスピン挿入</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑨穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]</td> <td>一般部 12ヶ所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]</td> <td>一般部 13ヶ所</td> <td>⑩サンダーケレン</td> <td>一般部 12ヶ所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 20ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm<sup>2</sup>)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	①ピン固定部穿孔	一般部 13ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 12ヶ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)	指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所			②孔内エアークリーニング	一般部 13ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 12ヶ所		指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所			③ポリマーセメントスラリー注入	一般部 13ヶ所	⑧ポリマーセメントスラリー注入	一般部 12ヶ所		指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所			④ステンレスピン挿入	一般部 13ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]	一般部 12ヶ所		指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所			⑤穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]	一般部 13ヶ所	⑩サンダーケレン	一般部 12ヶ所		指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所					⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> )			<p>①一般部分標準グリッド (200×200) (指定部以外の部分)</p> <p>②指定部分標準グリッド (110×110) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等)</p> <p>③狭幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所)</p> <p>※A-2工法を行う場合は、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む。 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③狭幅部：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンカーピン固定部</li> <li>注入口</li> </ul>
①ピン固定部穿孔	一般部 13ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 12ヶ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)																																																					
指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																																							
②孔内エアークリーニング	一般部 13ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 12ヶ所																																																						
指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																																							
③ポリマーセメントスラリー注入	一般部 13ヶ所	⑧ポリマーセメントスラリー注入	一般部 12ヶ所																																																						
指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																																							
④ステンレスピン挿入	一般部 13ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]	一般部 12ヶ所																																																						
指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																																							
⑤穿孔跡埋戻し [ポリマーセメントスラリー]	一般部 13ヶ所	⑩サンダーケレン	一般部 12ヶ所																																																						
指定部 20ヶ所		指定部 20ヶ所																																																							
		⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> )																																																							

名称		D 浮き部処理																																
記号・仕様		D-5 モルタル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.4.13] D-5' タイル面注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [標仕4.5.12]																																
改修前	改修後																																	
工程	<table border="0"> <tr> <td>①穿孔</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td> <td>一般部 9ヶ所</td> </tr> <tr> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑥サンダーケレン</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td>⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm<sup>2</sup>)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ステンレスピン (注入口付) 挿入</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④エポキシ樹脂注入</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※A-2工法を行う場合は、⑥、⑦、⑧の工程はA-2工法に含む。 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③狭幅部：</p>	①穿孔	一般部 9ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 9ヶ所	指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所		②孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所	⑥サンダーケレン		指定部 16ヶ所		⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> )		③ステンレスピン (注入口付) 挿入	一般部 9ヶ所	⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)		指定部 16ヶ所				④エポキシ樹脂注入	一般部 9ヶ所			指定部 16ヶ所				<p>①一般部分標準グリッド (330×330) (指定部以外の部分)</p> <p>②指定部分標準グリッド (250×250) (見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等)</p> <p>③狭幅部 (幅200mm以下で帯状に剥離している幅の狭い箇所)</p> <p>● 注入口付アンカーピン固定部</p>
①穿孔	一般部 9ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 9ヶ所																															
指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所																																
②孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所	⑥サンダーケレン																																
指定部 16ヶ所		⑦高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> )																																
③ステンレスピン (注入口付) 挿入	一般部 9ヶ所	⑧セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)																																
指定部 16ヶ所																																		
④エポキシ樹脂注入	一般部 9ヶ所																																	
指定部 16ヶ所																																		

<b>名称</b> <b>D 浮き部処理</b>		<b>記号・仕様</b> D-6 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 4. 14] D-6' タイル面注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 [標仕4. 5. 13]																																																													
改修前	改修後																																																														
工 程	<table border="0"> <tr> <td>①ピン固定部穿孔</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]</td> <td>一般部 9ヶ所</td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> </tr> <tr> <td>②孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑥注入口穿孔</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑩サンダーケレン</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td>⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm<sup>2</sup>)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ステンレスピン (注入口付) 挿入</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑦孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④エポキシ樹脂注入</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑧エポキシ樹脂注入</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td colspan="2"> ※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む  参考数量：①一般部分：  ②指定部分：  ③狭幅部： </td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>			①ピン固定部穿孔	一般部 9ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 9ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 9ヶ所		指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所	②孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 9ヶ所	⑩サンダーケレン			指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所	⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> )		③ステンレスピン (注入口付) 挿入	一般部 9ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)			指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所			④エポキシ樹脂注入	一般部 9ヶ所	⑧エポキシ樹脂注入	一般部 9ヶ所	※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③狭幅部：			指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所														
①ピン固定部穿孔	一般部 9ヶ所	⑤穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 9ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [エポキシパテ]	一般部 9ヶ所																																																										
	指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所																																																										
②孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 9ヶ所	⑩サンダーケレン																																																											
	指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所	⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> )																																																											
③ステンレスピン (注入口付) 挿入	一般部 9ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)																																																											
	指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所																																																												
④エポキシ樹脂注入	一般部 9ヶ所	⑧エポキシ樹脂注入	一般部 9ヶ所	※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③狭幅部：																																																											
	指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所																																																												
<b>名称</b> <b>D 浮き部処理</b>		<b>記号・仕様</b> D-7 モルタル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 4. 15] D-7' タイル面注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法 [標仕4. 5. 14] ※標準グリッド等は、D-6、D-6'と同じ																																																													
改修前	改修後																																																														
工 程	<table border="0"> <tr> <td>①ピン固定部穿孔</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑥注入口穿孔</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>②孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑦孔内エアークリーニング</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td colspan="2"> ※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む  参考数量：①一般部分：  ②指定部分：  ③狭幅部： </td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>③ステンレスピン (注入口付) 挿入</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑧ポリマーセメントスラリー注入</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>④ポリマーセメントスラリー注入</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑨穿孔跡埋戻し [※リペアメントパテ]</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>⑤穿孔跡埋戻し [※リペアメントパテ]</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td>⑩サンダーケレン</td> <td>一般部 9ヶ所</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td>⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm<sup>2</sup>)</td> <td>指定部 16ヶ所</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>			①ピン固定部穿孔	一般部 9ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 9ヶ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)			指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所			②孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所	※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③狭幅部：			指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所			③ステンレスピン (注入口付) 挿入	一般部 9ヶ所	⑧ポリマーセメントスラリー注入	一般部 9ヶ所				指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所			④ポリマーセメントスラリー注入	一般部 9ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [※リペアメントパテ]	一般部 9ヶ所				指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所			⑤穿孔跡埋戻し [※リペアメントパテ]	一般部 9ヶ所	⑩サンダーケレン	一般部 9ヶ所				指定部 16ヶ所	⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> )	指定部 16ヶ所		
①ピン固定部穿孔	一般部 9ヶ所	⑥注入口穿孔	一般部 9ヶ所	⑫セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)																																																											
	指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所																																																												
②孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所	⑦孔内エアークリーニング	一般部 9ヶ所	※A-2工法を行う場合、⑩、⑪、⑫の工程はA-2工法に含む 参考数量：①一般部分： ②指定部分： ③狭幅部：																																																											
	指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所																																																												
③ステンレスピン (注入口付) 挿入	一般部 9ヶ所	⑧ポリマーセメントスラリー注入	一般部 9ヶ所																																																												
	指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所																																																												
④ポリマーセメントスラリー注入	一般部 9ヶ所	⑨穿孔跡埋戻し [※リペアメントパテ]	一般部 9ヶ所																																																												
	指定部 16ヶ所		指定部 16ヶ所																																																												
⑤穿孔跡埋戻し [※リペアメントパテ]	一般部 9ヶ所	⑩サンダーケレン	一般部 9ヶ所																																																												
	指定部 16ヶ所	⑪高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> )	指定部 16ヶ所																																																												
<b>名称</b> <b>D-8 タイル面注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法 (小口タイル以上) [標仕4. 5. 15]</b>																																																															
工 程	<table border="0"> <tr> <td>①穿孔</td> <td></td> <td>④エポキシ樹脂注入</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②孔内エアークリーニング</td> <td></td> <td>⑤穿孔跡埋戻し [化粧キャップもしくは調色樹脂パテ]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ステンレスピン (注入口付) 挿入</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			①穿孔		④エポキシ樹脂注入		②孔内エアークリーニング		⑤穿孔跡埋戻し [化粧キャップもしくは調色樹脂パテ]		③ステンレスピン (注入口付) 挿入																																																			
①穿孔		④エポキシ樹脂注入																																																													
②孔内エアークリーニング		⑤穿孔跡埋戻し [化粧キャップもしくは調色樹脂パテ]																																																													
③ステンレスピン (注入口付) 挿入																																																															
<b>名称</b> <b>E 欠損部処理</b>		<b>F 外壁複合改修工法</b>																																																													
改修前	改修後																																																														
工 程	<table border="0"> <tr> <td>①欠損部はつり等での整形</td> <td></td> <td>④防錆処理</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②高圧水洗浄 (150~200kg/cm<sup>2</sup>)</td> <td></td> <td>⑤欠損はつり部埋戻し [※リペアメントパテ・エポキシ樹脂モルタル]</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③欠損はつり部埋戻し [※リペアメントパテ・エポキシ樹脂モルタル]</td> <td></td> <td>⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			①欠損部はつり等での整形		④防錆処理		②高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> )		⑤欠損はつり部埋戻し [※リペアメントパテ・エポキシ樹脂モルタル]		③欠損はつり部埋戻し [※リペアメントパテ・エポキシ樹脂モルタル]		⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)		④セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)																																															
①欠損部はつり等での整形		④防錆処理																																																													
②高圧水洗浄 (150~200kg/cm <sup>2</sup> )		⑤欠損はつり部埋戻し [※リペアメントパテ・エポキシ樹脂モルタル]																																																													
③欠損はつり部埋戻し [※リペアメントパテ・エポキシ樹脂モルタル]		⑥セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)																																																													
④セメント系下地調整材コテ塗り (1~2mm程度)																																																															
<b>名称</b> <b>E-1 打放し面充填工法 [標仕4. 3. 7]</b>		<b>E-2 打放し面欠損部処理 [標仕4. 3. 3]</b>																																																													
<b>名称</b> <b>E-3 モルタル面欠損部処理 [標仕4. 4. 3]</b>		<b>F 外壁複合改修工法</b>																																																													
<b>名称</b> <b>F 外壁複合改修工法</b>		<b>参考数量</b>																																																													
<b>参考数量</b>		ネット張り	m <sup>2</sup>																																																												
<b>参考数量</b>		水切	m																																																												

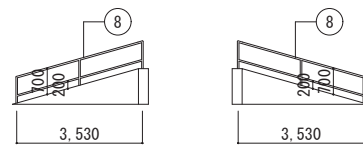
外部仕上表														
部位	部分	改修前仕上	改修工法	改修内容	改修後仕上	備考	部位	部分	改修前仕上	改修工法	改修内容	改修後仕上	備考	
屋根	屋根	塩ビ鋼板 (t=0.4) 瓦葺葺 アスファルト-フィング 22kg	塗装改修	下地調整のうえ新設	遮熱塗装		ポーチ塀	壁:コンクリート打放し アクリルリシン吹付 笠木:防水モルタル金ごて (t30) 巾木:モルタル金ごて (t30)H=400	A-1	劣化部処理、下地調整のうえ新設	防水形複層塗材 E			
		着色木毛マグネシウム板 (t25) 下地 (R第0065号30分耐火) (T型ジョイナー使用)				洗浄			高圧水洗浄	既存のまま				
					洗浄	高圧水洗浄			既存のまま					
	大屋根谷樋	シート防水 (t=1.5) シルバ-仕上 均しモルタル (t=30)	撤去	劣化部処理、下地処理のうえ新設	塗膜防水 X-2			犬走り	床:モルタル金ごて (t30) 段鼻:ノンスリップ磁器タイル貼	洗浄	高圧水洗浄	既存のまま		
	器具庫屋根	シート防水 (t=1.5) シルバ-仕上 均しモルタル (t=30) スラブコンクリート (t130~190)	撤去	劣化部処理、下地処理のうえ新設	塗膜防水 X-2				犬走階段	床:モルタル金ごて (t=30) 段鼻:ノンスリップ 磁器タイル貼 壁:コンクリート打放し アクリルリシン吹付 笠木 巾木:モルタル金ごて (t30) 手摺:スチール 50φOP 手摺柱:スチール 50φOP 手摺子:丸鋼13φOP@150	洗浄	高圧水洗浄	既存のまま	
	犬走り 庇	シート防水 (t=1.5) シルバ-仕上 均しモルタル (t=30) スラブコンクリート (t130~190)	撤去	劣化部処理、下地処理のうえ新設	塗膜防水 X-2			洗浄		高圧水洗浄	劣化部処理、下地調整のうえ新設	防水形複層塗材 E		
		出入口スロープ	床:織鋼板 手摺:スチール 50φOP 手摺柱:スチール 50φOP	塗装改修	下地調整のうえ新設	DP								
(F) 通庇	防水モルタル金ごて (t=30) 軒裏:コンクリート素面アクリルリシン吹付	洗浄	劣化部処理、下地処理のうえ新設	塗膜防水 X-2										
軒裏	コンクリート素面アクリルリシン吹付 (アスベスト含有)	A-1	劣化部処理、下地調整のうえ新設	外装薄塗材 E										
笠木	塩ビ鋼板 (t0.4) 曲げ加工 補強金物:FB40×4@450	塗装改修	下地調整のうえ新設	DP										
下屋	屋根	折板屋根 カラー折板 (t=0.8、H=87 @200)	塗装塗替え 部分取替	下地調整のうえ新設 劣化部撤去、新設	DP アルミ亜鉛合板めっき鋼板 (t0.8、H=85 働き巾W=600)									
	柱・梁	柱:H-125×125×5×7 OP 梁:H-200×100×5.5×8 OP	塗装塗替え	下地調整のうえ新設	DP									
	樋	縦樋:VUφ75 軒樋:硬質塩ビ120×90×1.5	撤去	新設	縦樋:VPφ75 カラー SUS製埋み金物共 軒樋:箱樋 支持金物共									
外壁	外壁	コンクリート打放し アクリルリシン吹付 (アスベスト含有)	A-1	劣化部処理、下地調整のうえ新設	防水形複層塗材 E									
	柱型	コンクリート打放し アクリルリシン吹付	A-1	劣化部処理、下地調整のうえ新設	防水形複層塗材 E									
	梁型	コンクリート打放し アクリルリシン吹付 梁天端:防水モルタル金ごて (t30)	A-1 洗浄	劣化部処理、下地調整のうえ新設 劣化部処理、下地処理のうえ新設	防水形複層塗材 E 塗膜防水 X-2									
	根廻	モルタル金ごて (t30) H=650	洗浄	高圧水洗浄	既存のまま									
雨樋	雨樋	縦樋:VU100φ 保護パイプ 125φOP H=1,500 RD: 鋳鉄製100φ (シート防水用)	撤去	支持金物共新設	縦樋:カテVP100φ 保護管125φSOP H=1,500 改修用ドレン:100φ (塗膜防水用)									
	換気口	床下: 鋳鉄製180×440×30ヶ所 (内部ステンレス 防虫鋼付) 妻壁:7mmガリ400×800×4ヶ所 (内部ステンレス防虫鋼付)	清掃		既存のまま									
	ポーチ	床:モルタル金ごて (t30) 段鼻:ノンスリップ 磁器タイル貼 下駄箱:ラワンOP W1,920×D300×H1,090 8ヶ	洗浄	高圧水洗浄	既存のまま									
	出入口踏み台	床:ノンスリップシート貼 モルタル金ごて (t30) 下地 段鼻:7mmノンスリップ 珪藻土製450×900×12ヶ 枠:ステンレス見切縁10×18	洗浄	高圧水洗浄	既存のまま									
略号凡例										特記事項				
塗 装					そ の 他									
SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	SUS	ステンレス											
EP-G	つや有り合成樹脂エマルジョンペイント塗り	≡	シーリング											
EP	合成樹脂エマルジョンペイント塗り	RD	ルーフトレン											
DP	耐候性塗料塗り	FD	フロアドレン											
AE	アクリル樹脂エナメル塗り	G.P	配管用炭素鋼鋼管											

内部仕上表

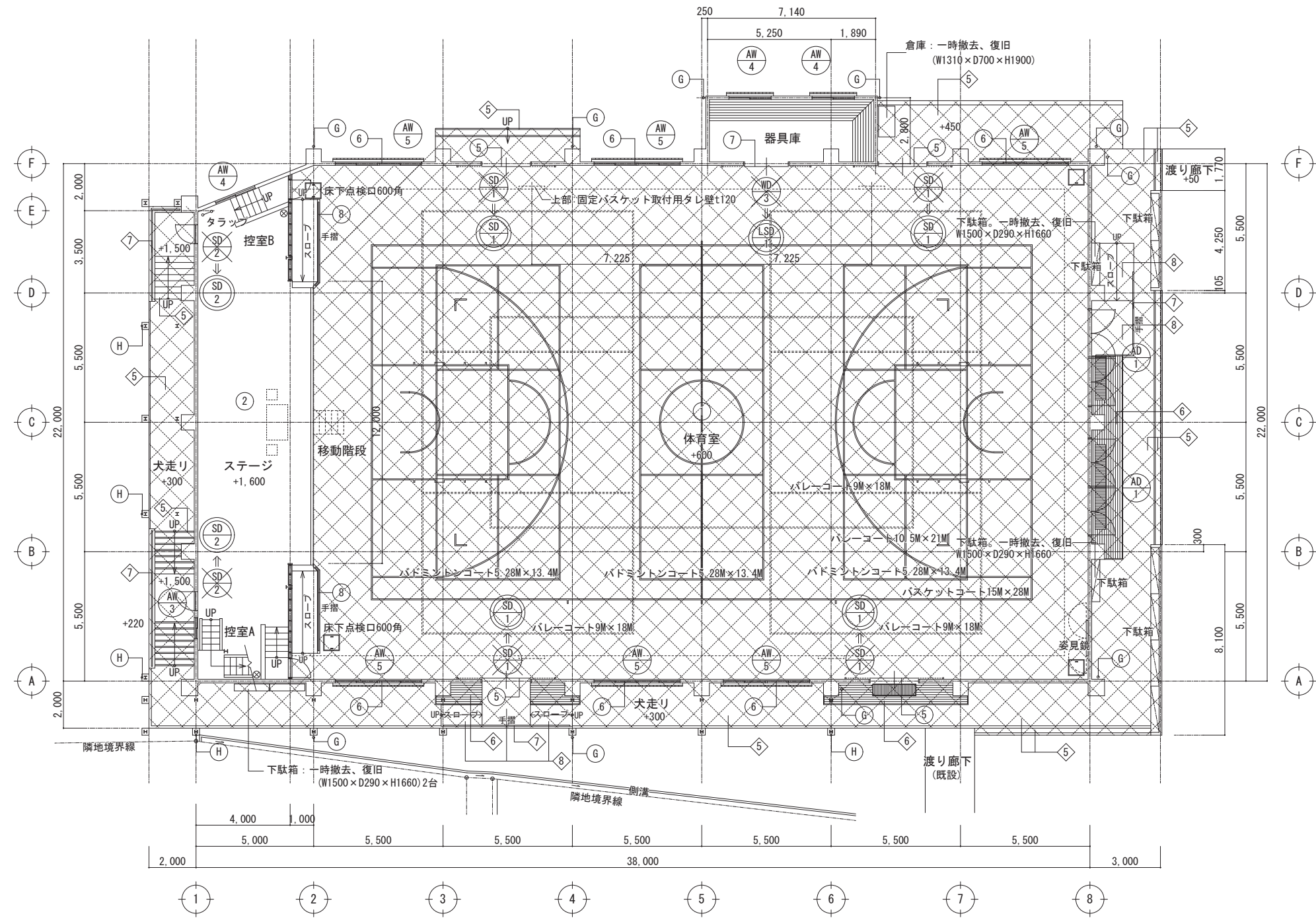
階	室名	床		巾木		腰壁		壁		天井		梁型		廻縁	天井高	カーテンボックス カーテン取付板	環境測定 (特記1-14)	備考	
		下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上						
1	体育室	改修前	S	ブナ化粧複合フローリング(t=15) [劣化部撤去(40枚)] ラワン耐水合板(t=15)下地 鋼製床下地(ゴムクッション付)	C	米桐(t=25)OP H=100	-	-	C	松化粧複合フローリング(t=8.5)縦張 ステージ側上部:ラワン合板(t=5.5)下地 クロス貼	S	屋根下地:着色木毛マグネシウム板(t=25)現わし ギャラリー下部:コンクリート素面アクリルリシン吹付 放送室下部:シナ合板(t=6)目スカシOP	-	-	-	-	O	-	体育器具 防球ネット 移動式階段 姿見鏡:W1,500×H1,200×1ヶ所 床下点検口:600×600×4ヶ所 カーテンレール 暗幕 鋼製引分戸:扉4ヶ所 [原のみ撤去]
			改修後	S	研磨、コートライン引き [新設] 1液湿気型ウレタン塗料3回塗り 複合フローリング(t=15)、表層カバ(t=6) [新設(40枚)]	C	SOP [塗装改修]	-	-	C	[既存のまま]	S	[既存のまま]	-	-	-	-	-	-
	ステージ	改修前	W	ブナ化粧複合フローリング(t=15) ラワン耐水合板(t=15)下地	C-W	米桐(t=25)OP H=100	-	-	C	モルタル金ごて(t=20)VP (コンクリート部分) シナ合板(t=6)目スカシOP (木軸部分)	S	屋根下地:着色木毛マグネシウム板(t=25)現わし	-	-	-	-	-	-	演台(既成品)W1,200×D460×H1,000×1ヶ 花台(既成品)W450×D450×H600×2ヶ ステージ幕一式 上部ブドウ棚:チッカーE-4.5FP 手摺:スチールパイプ50φFP
			改修後	W	[既存のまま]	C-W	[既存のまま]	-	-	C	[既存のまま] W [既存のまま]	S	[既存のまま]	-	-	-	-	-	-
	控室A	改修前	W	ブナ化粧複合フローリング(t=15) ラワン耐水合板(t=15)下地	C-W	米桐(t=25)OP H=100	-	-	C	モルタル金ごて(t=20)VP (コンクリート部分) シナ合板(t=6)目スカシOP (木軸部分)	S	放送室床材現わし	-	-	-	2.540	O	-	カーテンレール 暗幕
			改修後	W	[既存のまま]	C-W	[既存のまま]	-	-	C	[既存のまま] W [既存のまま]	S	[既存のまま]	-	-	-	-	-	-
	控室B	改修前	W	ブナ化粧複合フローリング(t=15) ラワン耐水合板(t=15)下地	C-W	米桐(t=25)OP H=100	-	-	C	モルタル金ごて(t=20)VP (コンクリート部分) シナ合板(t=6)目スカシOP (木軸部分)	C	ギャラリー下部:コンクリート素面 アクリルリシン吹付	-	-	-	-	O	-	カーテンレール 暗幕 タラップ:スチールパイプ50φFP 踏棒:丸鋼13φFPφ300
			改修後	W	[既存のまま]	C-W	[既存のまま]	-	-	C	[既存のまま] W [既存のまま]	C	[既存のまま]	-	-	-	-	-	-
	ステージ下部収納庫	改修前	C	モルタル金ごて(t=30)	C-W	米桐(t=25)OP H=100	-	-			S-W	ステージ下部現わし	-	-	-	-	-	-	椅子庫(台車式)5列
			改修後	C	[既存のまま]	C-W	[既存のまま]	-	-			S-W	[既存のまま]	-	-	-	-	-	-
	器具庫	改修前	C	モルタル金ごて(t=30)	C	米桐(t=25)OP H=100	-	-	C	モルタル金ごて(t=20)VP	C	着色木毛マグネシウム板(t=25)打込	-	-	-	3.045	-	-	棚:ラワン合板(t=4) 室名札 木製建具1か所 [撤去]
			改修後	C	[既存のまま]	C	[既存のまま]	-	-	C	戸袋部のみ:下地調整のうえEP [塗装改修]	C	[既存のまま]	-	-	-	-	-	-
放送室	改修前	W	ブナ化粧複合フローリング(t=15)	W	米桐(t=25)OP H=100	-	-	W	有孔シナ合板(t=6)目スカシOP グラスウール(t=25)	S	屋根下地:着色木毛マグネシウム板(t=25)現わし	-	-	-	-	O	-	タラップ:スチールパイプ50φFP 踏棒:丸鋼13φFPφ300 カーテンレール 暗幕	
		改修後	W	[既存のまま]	W	[既存のまま]	-	-	W	[既存のまま]	S	[既存のまま]	-	-	-	-	-	-	
2	ギャラリー	改修前	C	モルタル金ごて(t=30)目地切	W	米桐(t=25)OP H=100	-	-	W	有孔シナ合板(t=6)目スカシOP	S	屋根下地:着色木毛マグネシウム板(t=25)現わし	-	-	-	-	O	-	カーテンレール 暗幕
			改修後	C	[既存のまま]	W	[既存のまま]	-	-	W	[既存のまま]	S	[既存のまま]	-	-	-	-	-	-

略号凡例										防火材料認定番号			特記事項		
下地		塗装		U C		L E		O S		W P		その他			
C	コンクリート	GB-R	石こうボード	S O P	合成樹脂調合ペイント	U C	ウレタン樹脂ワニス								
CB	コンクリートブロック	GB-D	化粧石こうボード	C L	クリヤラッカー	L E	ラッカーエナメル								
M	モルタル金ゴテ押え	GB-S	シーリング石こうボード	N A D	アクリル樹脂系非水分散系塗料	O S	オイルステイン								
M'	モルタル刷毛引き	GB-F	強化石こうボード	D P	耐候性塗料	W P	木材保護塗料								
W	木造	DR	ロックウール化粧吸音板	EP-G	つや有り合成樹脂エマルジョンペイント		その他								
LGS	軽量鉄骨下地	AB	吸音板	E P	合成樹脂エマルジョンペイント		シーリング(種別は特記仕様書による)								
LGS'	薄型軽量鉄骨下地	FK	けい酸カルシウム板	EP-T	合成樹脂エマルジョン模様塗料	GW	グラスウール								

記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）	記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）	記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）
【防水改修工事】			【外壁改修工事】			【内装改修工事】		
A	屋根：塩ビ鋼板(t=0.4)瓦棒葺 757アルミ-フィン22kg [塗装改修] 着色木毛マグネシウム板(t25)下地	屋根：遮熱塗装 [下地調整のうえ新設]	①	根回り：モルタル金ごて(t=30) H=650 [高圧洗浄のみ]	根回り：高圧水洗 既存のまま	①	体育室床：フナ化粒複合フローリング(t=15)	体育室床：研磨、コートライン引き
B	下屋根根：M-75'φ(t=0.8) [塗装改修]	下屋根根：D P [下地調整のうえ新設]	②	壁：コンクリート打放し アクリルリシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]	壁：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]		ラワン耐水合板 (t=15) 下地	、1液湿気型ウレタン塗料3階塗り [新設]
C	屋根・樋・庇：シート防水(t=1.5) シルバ-仕上 均しモルタル(t=30) [撤去]	屋根・樋・庇：塗膜防水 X-2 [劣化部処理、下地処理のうえ新設]	③	梁天端：防水モルタル金ごて(t=30) [洗浄]	梁天端：塗膜防水 X-2 [劣化部処理、下地処理のうえ新設]		[劣化部撤去(40枚)]	複合フローリング(t=15)、表層カバ(t=6) [新設(40枚)]
D	F通り庇：防水モルタル金ごて(t=30) [高圧洗浄のみ]	F通り庇：塗膜防水 X-2 [劣化部処理、下地処理のうえ新設]	④	床下換気口：鉄製180×440×30ヶ所(内部スリッパ防虫鋼付) [清掃]	床下換気口：既存のまま	②	ステージ・控室床：フナ化粒複合フローリング(t=15)	ステージ・控室床：既存のまま
E	軒裏：コンクリート素面アクリルリシン吹付 [吹付材撤去]	軒裏：外装薄塗材E [劣化部処理、下地調整のうえ新設]	⑤	ポーチ床：モルタル金ごて(t=30) 段鼻：ノスリッパ磁器タイル貼 [洗浄]	ポーチ床：高圧水洗 既存のまま	③	器具庫壁：モルタル金ごて(t=20) V P [塗装改修]	器具庫壁：戸袋部、E P [下地処理のうえ新設]
F	笠木：塩ビ鋼板(t0.4)曲げ加工 補強金物：FB40×4@450 [塗装改修]	笠木：D P [下地調整のうえ新設]	⑥	出入口踏み台床：ノスリッパシート貼 均し金ごて(t=30)下地 段鼻：75ノスリッパ [洗浄]	出入口踏み台：高圧水洗 既存のまま	④	体育室巾木：米桐(t=25) O P H=100 [塗装改修]	体育室巾木：S O P [下地処理のうえ新設]
G	縦樋：VU100φ 保護パイプ125φOP H=1,500 [撤去]	縦樋：VU100φ 保護管125φSOP H=1,500 [新設(支持金物共)]	⑦	手摺：75'φ 50φOP 支柱：75'φ 50φOP 手摺子：丸鋼13φOP@150 [塗装改修]	手摺：D P	⑤	体育室建具：鋼製引分戸 扉のみ撤去 [扉のみ撤去]	体育室建具：鋼製引分戸 扉 [新設]
H	縦樋：VU75φ [撤去]	縦樋：VU75φ [新設(支持金物共)]	⑧	出入口スロープ床：編鋼板 [塗装改修]	出入口スロープ床：D P	⑥	体育室地窓	体育室地窓：網戸 [新設]
I	R D：鉄製100φ(シート防水用) [撤去]	改修用Dレン：100φ75φ(塗膜防水用) [新設]				⑦	器具庫建具：木製引分戸 撤去 [撤去]	器具庫建具：鋼製軽量建具 [新設]
J	軒樋：硬質塩ビ120×90×1.5 [撤去]	軒樋：箱樋 [新設(支持金物共)]				⑧	手摺：スチールパイプ45φSOP [塗装改修]	手摺：S O P [新設]
K	柱：H-125×125×5×7 OP、梁：H-200×100×5.5×8 OP [塗装改修]	柱・梁：D P [下地調整のうえ新設]						



内部スロープ手摺 立面図

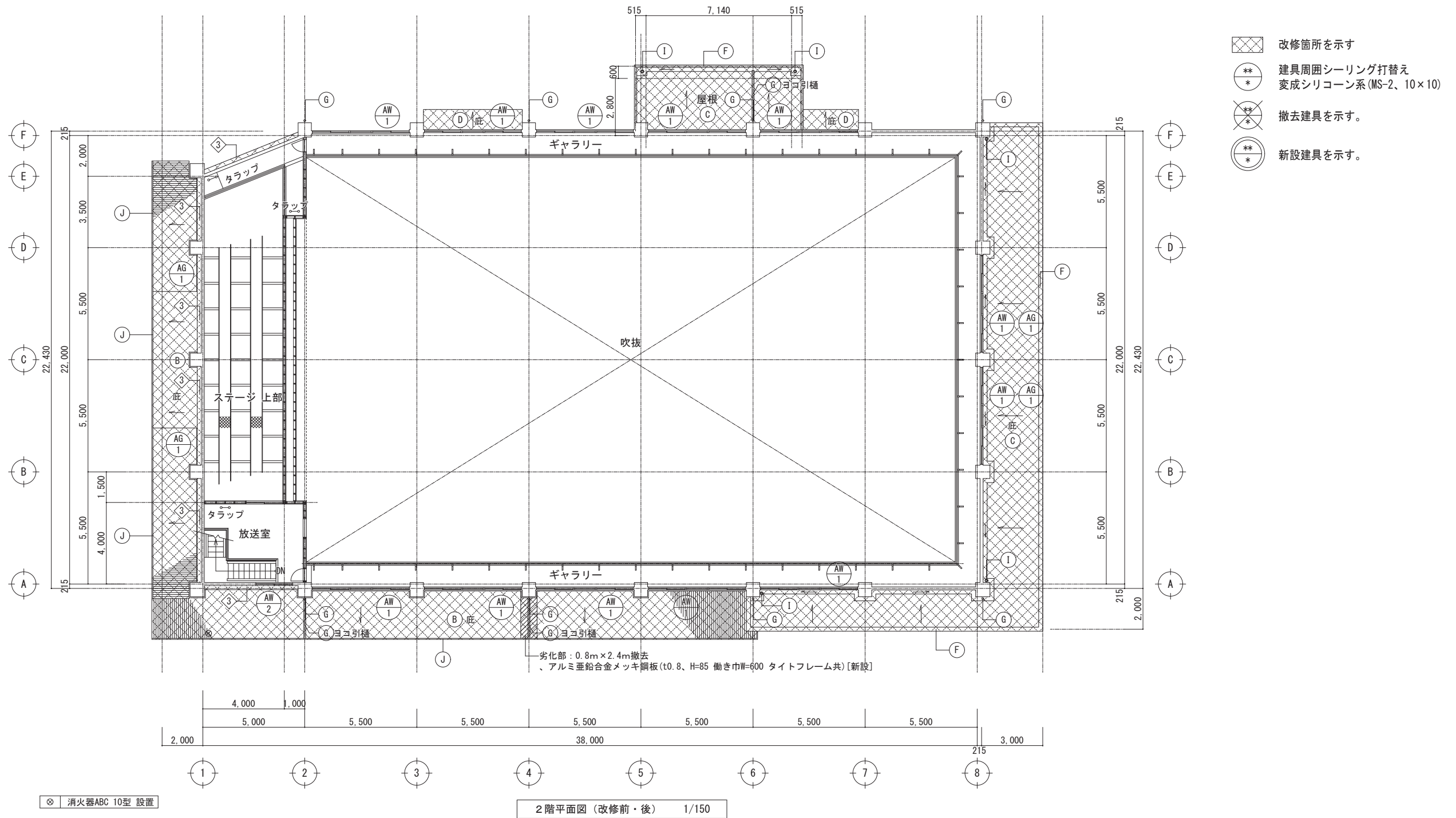


- 改修箇所を示す
- 建具周囲シーリング打替え  
変成シリコン系(MS-2、10×10)
- 撤去建具を示す。
- 新設建具を示す。

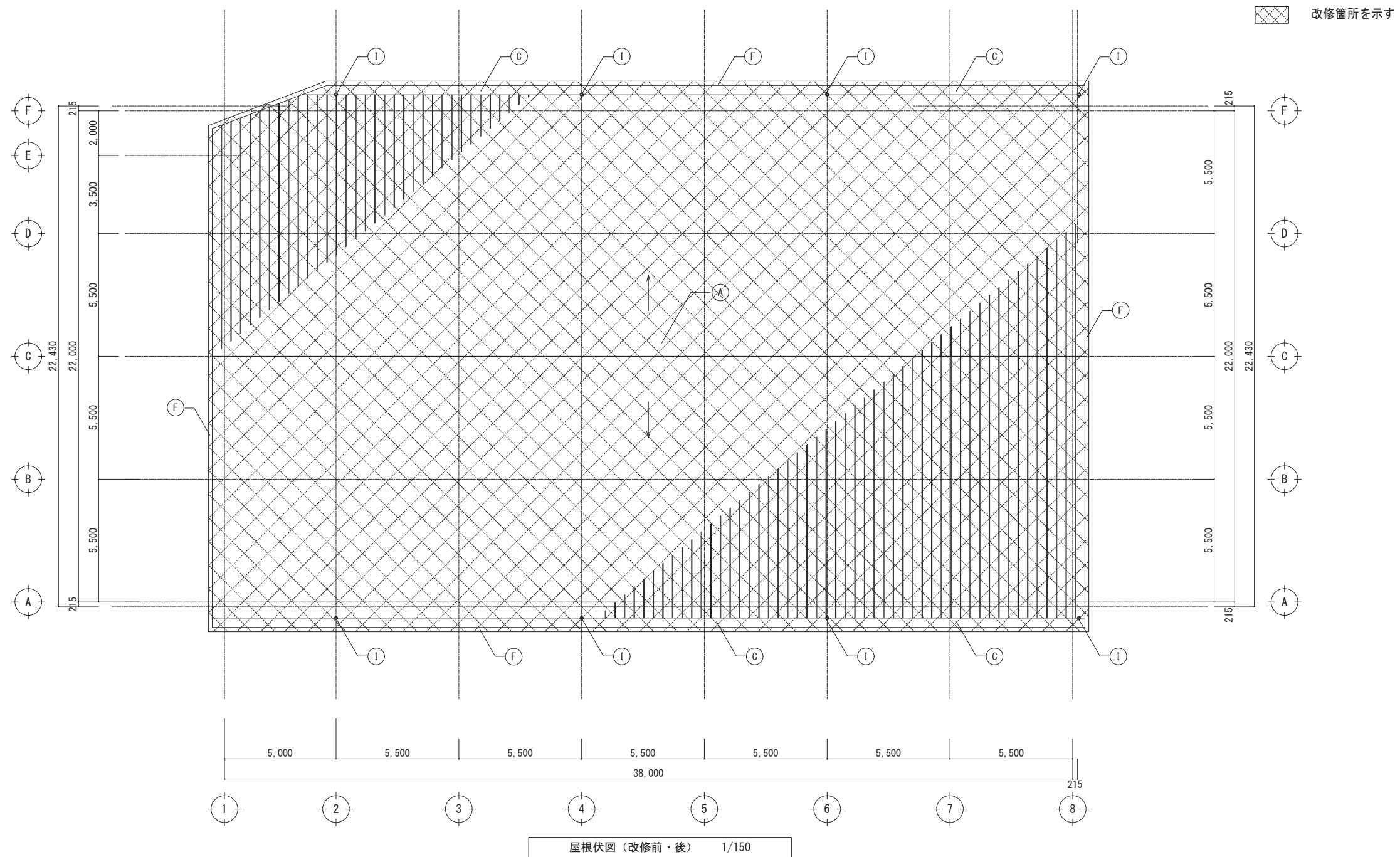
1階平面図(改修前・後) 1/150



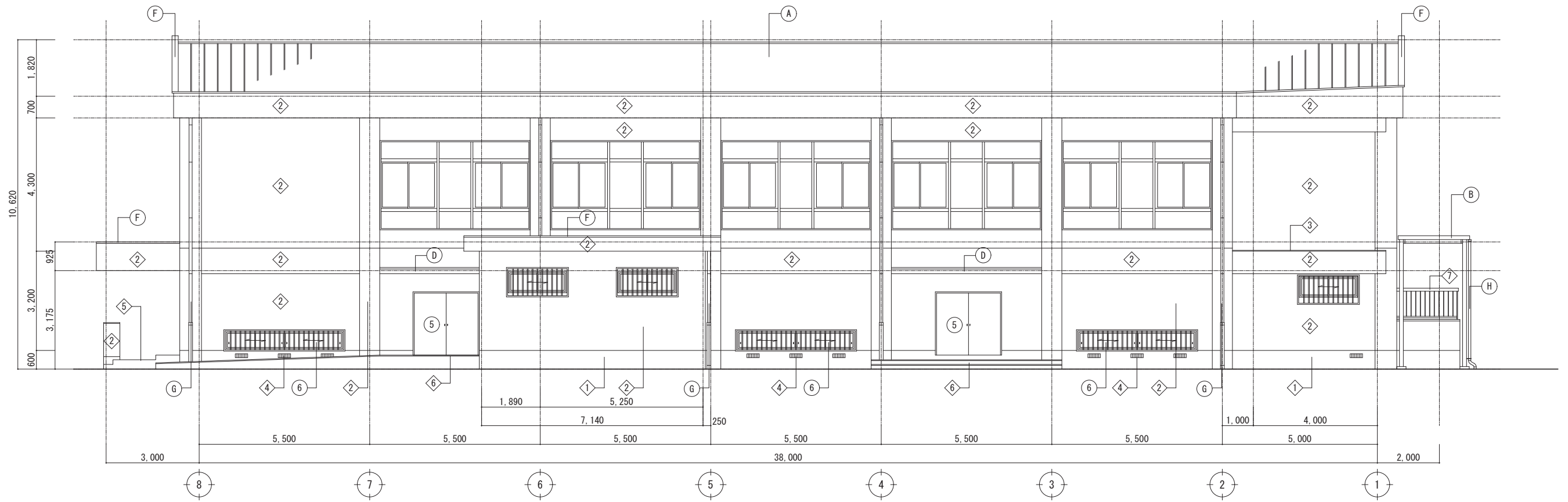
記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）	記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）
【防水改修工事】		【防水改修工事】		【外壁改修工事】	
A	屋根：塩ビ鋼板(t=0.4)瓦棒葺 7スラブM-フィング 22kg [塗装改修] 着色木毛マグネシウム板(t25)下地	屋根：遮熱塗装 [下地調整のうえ新設]	1	根回り：モルタル金ごて(t=30) H=650 [高圧洗浄のみ]	根回り：高圧水洗 既存のまま
B	下屋根：M-フィング(t=0.8) [塗装改修]	下屋根：DP [下地調整のうえ新設]	2	壁：コンクリート打放し アクリルリシン吹付 [既存仕上げ撤去+高圧水洗]	壁：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
C	屋根・樋・庇：シート防水(t=1.5) シルバ仕上げ 均しモルタル(t=30) [撤去]	屋根・樋・庇：塗膜防水 X-2 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]	3	梁天端：防水モルタル金ごて(t=30) [洗浄]	梁天端：塗膜防水 X-2 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
D	F通り庇：防水モルタル金ごて(t=30) [高圧洗浄のみ]	F通り庇：塗膜防水 X-2 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]	4	床下換気口：錆鉄製180×440×30ヶ所(内部スチール防虫鋼付) [清掃]	床下換気口：既存のまま
E	軒裏：コンクリート素面アクリルリシン吹付 [吹付材撤去]	軒裏：外装薄塗材E [劣化部処理、下地調整のうえ新設]	5	妻壁：7Mミガリ400×800×4ヶ所	
F	笠木：塩ビ鋼板(t0.4)曲げ加工 補強金物:FB40×40450 [塗装改修]	笠木：DP [下地調整のうえ新設]	6	ポーチ床：モルタル金ごて(t=30) 段鼻:ノスリッ 磁器タイル貼 [洗浄]	ポーチ床：高圧水洗 既存のまま
G	縦樋：VU100φ 保護パイプ 125φOP H=1,500 [撤去]	縦樋：カテVP100φ 保護管125φSOP H=1,500 [新設(支持金物共)]	7	出入口踏み台床:ノスリッシート貼 珪藻土金ごて(t=30)下地 段鼻:7Mノスリッ [洗浄]	出入口踏み台：高圧水洗 既存のまま
H	縦樋：VU75φ [撤去]	縦樋：カテVP75φ [新設(支持金物共)]	8	手摺:75×100φOP 支柱:75×100φOP 手摺子:丸鋼13φOP150 [塗装改修]	手摺：DP
I	R D：錆鉄製100φ(シート防水用) [撤去]	改修用ドレン:100φ75φ(塗膜防水用) [新設]		出入口スロープ床：錆鋼板 [塗装改修]	出入口スロープ床：DP
J	軒樋：硬質塩ビ120×90×1.5 [撤去]	軒樋：箱樋 [新設(支持金物共)]			
K	柱:H-125×125×5×7 OP、梁:H-200×100×5.5×8 OP [塗装改修]	柱・梁：DP [下地調整のうえ新設]			



記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）
【防水改修工事】		【防水改修工事】
A	屋根：塩ビ鋼板(t=0.4)瓦棒葺 777アルミ-フィンク 22kg [塗装改修] 着色木毛マグネシウム板(t25)下地	屋根：遮熱塗装 [下地調整のうえ新設]
B	下屋根根：AL-777(φt=0.8) [塗装改修]	下屋根根：DP [下地調整のうえ新設]
C	屋根・樋・庇：シート防水(t=1.5) シルバ-仕上 均しモルタル(t=30) [撤去]	屋根・樋・庇：塗膜防水 X-2 [劣化部処理、下地処理のうえ新設]
D	F通り庇：防水モルタル金ごて(t=30) [高圧洗浄のみ]	F通り庇：塗膜防水 X-2 [劣化部処理、下地処理のうえ新設]
E	軒裏：コンクリート素面アクリルリシン吹付 [吹付材撤去]	軒裏：外装薄塗材E [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
F	笠木：塩ビ鋼板(t0.4)曲げ加工 補強金物：FB40×4@450 [塗装改修]	笠木：DP [下地調整のうえ新設]
G	縦樋：VU100φ 保護パイプ 125φOP H=1,500 [撤去]	縦樋：VPI100φ 保護管125φSOP H=1,500 [新設（支持金物共）]
H	縦樋：VU75φ [撤去]	縦樋：VPI75φ [新設（支持金物共）]
I	RD：鑄鉄製100φ（シート防水用） [撤去]	改修用トレ：100φ75φ（塗膜防水用） [新設]
J	軒樋：硬質塩ビ120×90×1.5 [撤去]	軒樋：箱樋 [新設（支持金物共）]
K	柱：H-125×125×5×7 OP、梁：H-200×100×5.5×8 OP [塗装改修]	柱・梁：DP [下地調整のうえ新設]

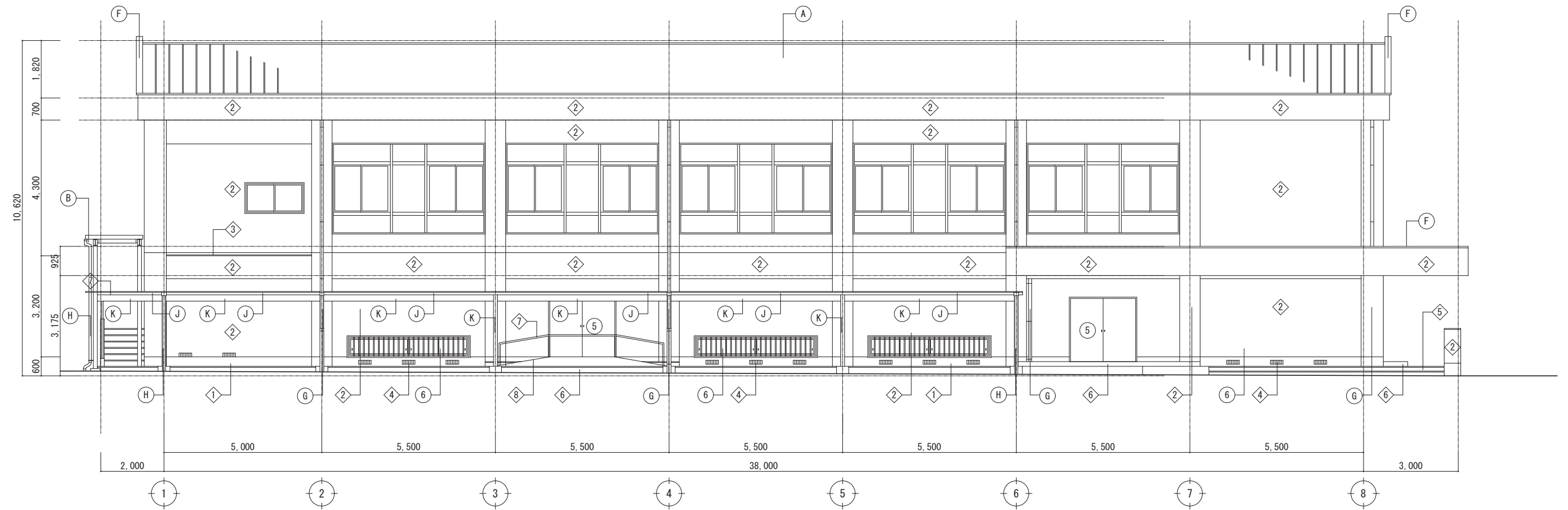


記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）	記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）	記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）
	<b>【防水改修工事】</b>	<b>【防水改修工事】</b>		<b>【外壁改修工事】</b>	<b>【外壁改修工事】</b>		<b>【内装改修工事】</b>	<b>【内装改修工事】</b>
A	屋根：塩ビ鋼板(t=0.4)瓦棒葺 777mm×777mm 22kg [塗装改修] 着色木毛マグネシウム板(t25)下地	屋根：遮熱塗装 [下地調整のうえ新設]	①	根回り：モルタル金ごて(t=30) H=650 [高圧洗浄のみ]	根回り：高圧水洗 既存のまま	①	体育室床：フナ化粒複合フローリング(t=15)	体育室床：研磨、コートライン引き
B	下屋根：M-777(t=0.8) [塗装改修]	下屋根：D P [下地調整のうえ新設]	②	壁：コンクリート打放し アクリルリシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]	壁：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]		ラワン耐水合板(t=15)下地	、1液湿気型ウレタン塗料3階塗り [新設]
C	屋根・樋・庇：シート防水(t=1.5) シルバ-仕上 均しモルタル(t=30) [撤去]	屋根・樋・庇：塗膜防水 X-2 [劣化部処理、下地処理のうえ新設]	③	梁天端：防水モルタル金ごて(t=30) [洗浄]	梁天端：塗膜防水 X-2 [劣化部処理、下地処理のうえ新設]		[劣化部撤去(40枚)]	複合フローリング(t=15)、表層カバ(t=6) [新設(40枚)]
D	F通り庇：防水モルタル金ごて(t=30) [高圧洗浄のみ]	F通り庇：塗膜防水 X-2 [劣化部処理、下地処理のうえ新設]	④	床下換気口：鋳鉄製180×440×30ヶ所(内部スリス防虫鋼付) [清掃]	床下換気口：既存のまま	②	ステージ・控室床：フナ化粒複合フローリング(t=15)	ステージ・控室床：既存のまま
E	軒裏：コンクリート素面アクリルリシン吹付 [吹付材撤去]	軒裏：外装薄塗材E [劣化部処理、下地調整のうえ新設]		妻壁：777mm×777mm×4ヶ所			ラワン耐水合板(t=15)下地	
F	笠木：塩ビ鋼板(t0.4)曲げ加工 補強金物：FB40×4@450 [塗装改修]	笠木：D P [下地調整のうえ新設]	⑤	ポーチ床：モルタル金ごて(t=30) 段鼻：ノスリッ 磁器タイル貼 [洗浄]	ポーチ床：高圧水洗 既存のまま	③	器具庫壁：モルタル金ごて(t=20) V P [塗装改修]	器具庫壁：戸袋部、E P [下地処理のうえ新設]
G	縦樋：VU100φ 保護パイプ125φOP H=1,500 [撤去]	縦樋：V-VP100φ 保護管125φSOP H=1,500 [新設(支持金物共)]	⑥	出入口踏み台床：ノスリッシート貼 均しモルタル(t=30)下地 段鼻：777mmノスリッ [洗浄]	出入口踏み台：高圧水洗 既存のまま	④	体育室巾木：米桐(t=25)OP H=100 [塗装改修]	体育室巾木：SOP [下地処理のうえ新設]
H	縦樋：VU75φ [撤去]	縦樋：V-VP75φ [新設(支持金物共)]	⑦	手摺：777mm×777mmφOP 支柱：777mm×777mmφOP 手摺子：丸鋼13φOP@150 [塗装改修]	手摺：D P	⑤	体育室建具：鋼製引分戸 扉のみ撤去 [扉のみ撤去]	体育室建具：鋼製引分戸 扉 [新設]
I	R D：鋳鉄製100φ(シート防水用) [撤去]	改修用D R：100φ75φ(塗膜防水用) [新設]	⑧	出入口スロープ床：縞鋼板 [塗装改修]	出入口スロープ床：D P	⑥	体育室地窓	体育室地窓：網戸 [新設]
J	軒樋：硬質塩ビ120×90×1.5 [撤去]	軒樋：箱樋 [新設(支持金物共)]				⑦	器具庫建具：木製引分戸 撤去 [撤去]	器具庫建具：鋼製軽量建具 [新設]
K	柱：H-125×125×5×7 OP、梁：H-200×100×5.5×8 OP [塗装改修]	柱・梁：D P [下地調整のうえ新設]				⑧	手摺：スチールパイプφ45φSOP [塗装改修]	手摺：SOP [新設]

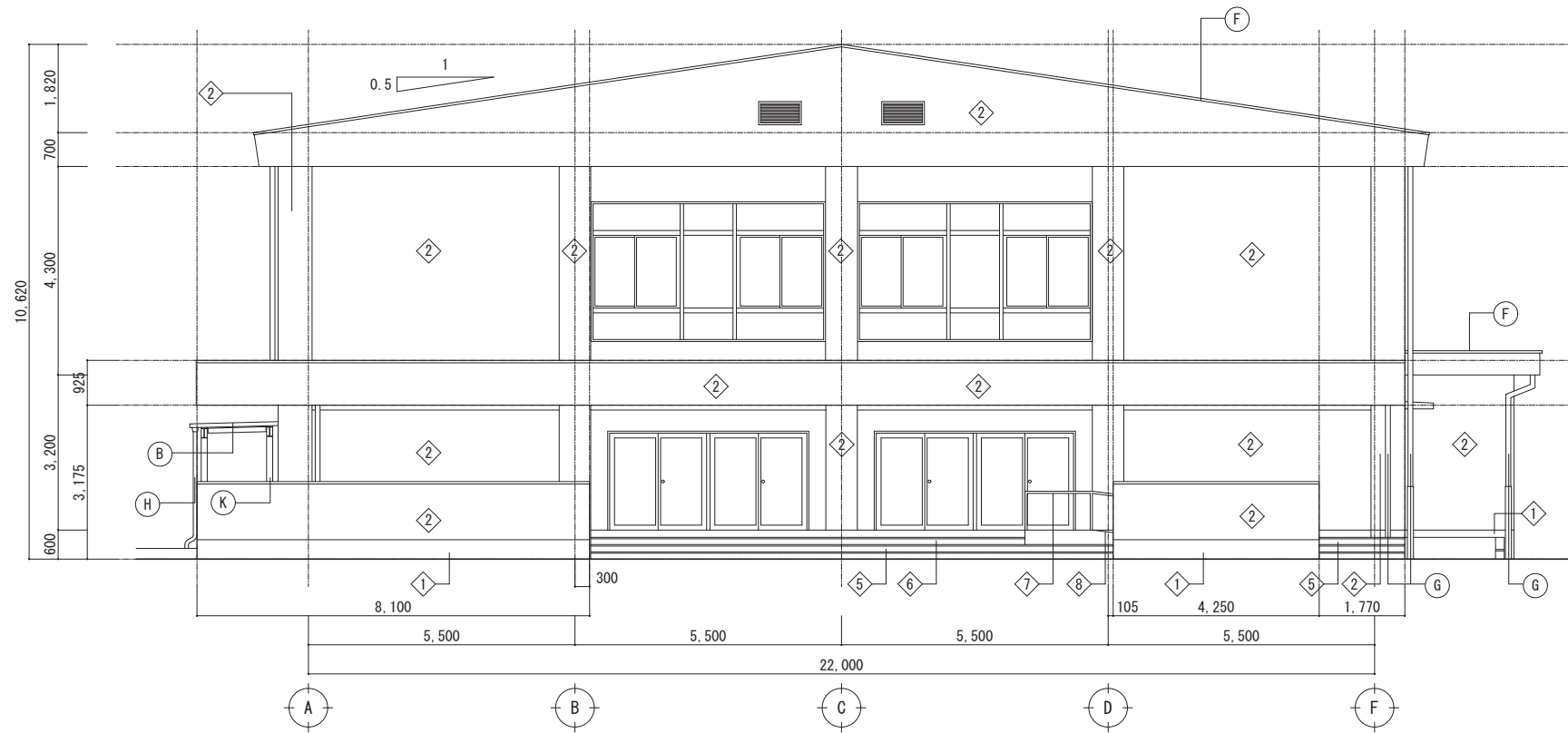


東側立面図 1/100

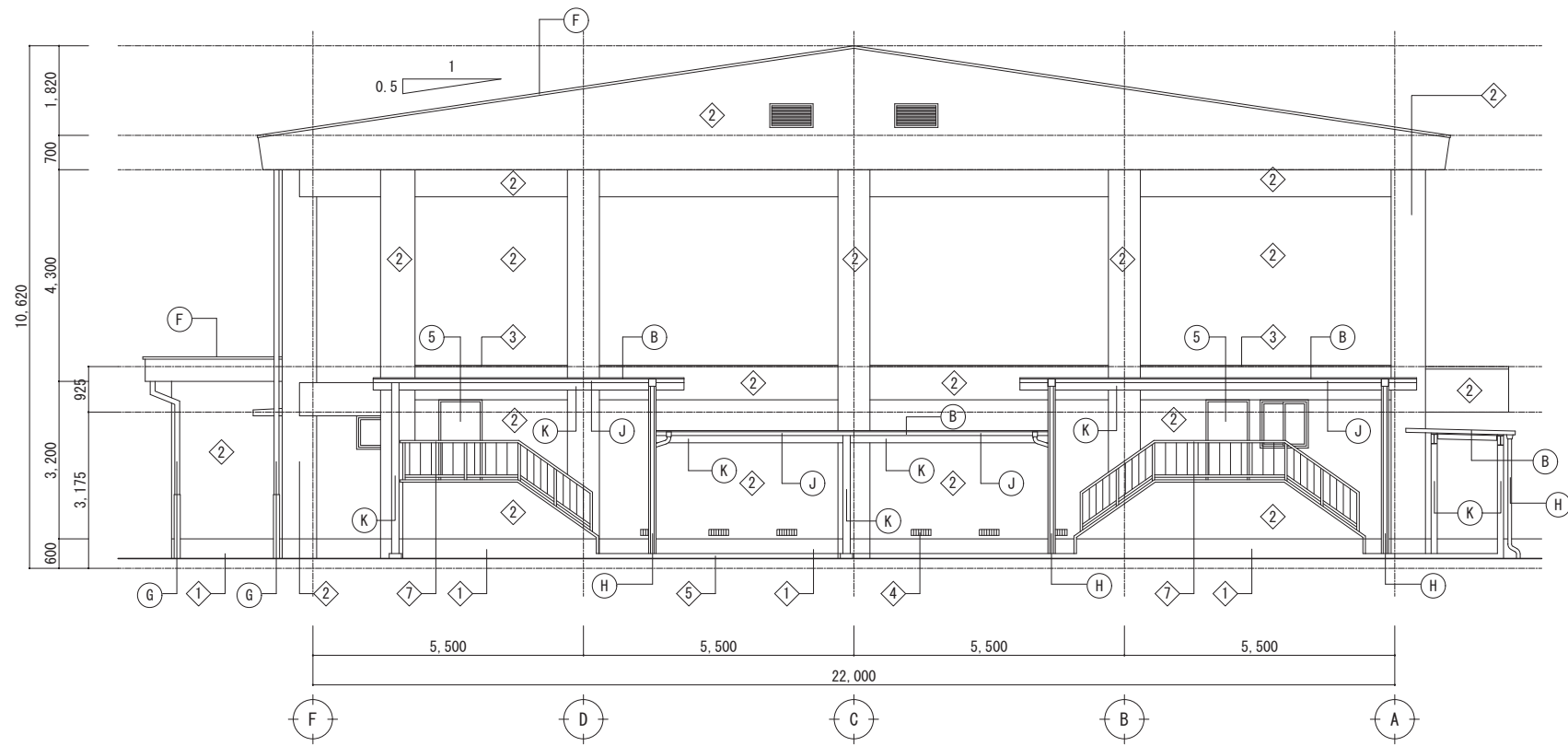
記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）	記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）	記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）
	【防水改修工事】	【防水改修工事】		【外壁改修工事】	【外壁改修工事】		【内装改修工事】	【内装改修工事】
A	屋根：塩ビ鋼板(t=0.4)瓦棒葺 777mm×777mm 22kg [塗装改修] 着色木毛マグネシウム板(t25)下地	屋根：遮熱塗装 [下地調整のうえ新設]	①	根回り：モルタル金ごて(t=30) H=650 [高圧洗浄のみ]	根回り：高圧水洗 既存のまま	①	体育室床：フナ化粒複合フローリング(t=15)	体育室床：研磨、コートライン引き
B	下屋根根：M-777 (t=0.8) [塗装改修]	下屋根根：D P [下地調整のうえ新設]	②	壁：コンクリート打放し アクリルリシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]	壁：防水形複層塗材E吹付[劣化部処理、下地調整のうえ新設]		ラワン耐水合板 (t=15) 下地	、1液湿気型ウレタン塗料3階塗り [新設]
C	屋根・樋・庇：シート防水(t=1.5) シルバ-仕上 均しモルタル(t=30) [撤去]	屋根・樋・庇：塗膜防水 X-2 [劣化部処理、下地処理のうえ新設]	③	梁天端：防水モルタル金ごて(t=30) [洗浄]	梁天端：塗膜防水 X-2 [劣化部処理、下地処理のうえ新設]		[劣化部撤去(40枚)]	複合フローリング(t=15)、表層カバ(t=6) [新設(40枚)]
D	F通り庇：防水モルタル金ごて(t=30) [高圧洗浄のみ]	F通り庇：塗膜防水 X-2 [劣化部処理、下地処理のうえ新設]	④	床下換気口：鋼鉄製180×440×30ヶ所(内部スリスリ防虫鋼付) [清掃]	床下換気口：既存のまま	②	ステージ・控室床：フナ化粒複合フローリング(t=15)	ステージ・控室床：既存のまま
E	軒裏：コンクリート素面アクリルリシン吹付 [吹付材撤去]	軒裏：外装薄塗材E [劣化部処理、下地調整のうえ新設]		妻壁：777mm×777mm 4ヶ所			ラワン耐水合板 (t=15) 下地	
F	笠木：塩ビ鋼板(t0.4)曲げ加工 補強金物:FB40×4@450 [塗装改修]	笠木：D P [下地調整のうえ新設]	⑤	ポーチ床：モルタル金ごて(t=30) 段鼻：ノスリッパ 磁器タイル貼 [洗浄]	ポーチ床：高圧水洗 既存のまま	③	器具庫壁：モルタル金ごて(t=20) V P [塗装改修]	器具庫壁：戸袋部、E P [下地処理のうえ新設]
G	縦樋：VU100φ 保護パイプ 125φOP H=1,500 [撤去]	縦樋：VU100φ 保護管125φSOP H=1,500 [新設(支持金物共)]	⑥	出入口踏み台床：ノスリッパシート貼 均しモルタル(t=30)下地 段鼻：777mmノスリッパ [洗浄]	出入口踏み台：高圧水洗 既存のまま	④	体育室巾木：米桐(t=25)OP H=100 [塗装改修]	体育室巾木：SOP [下地処理のうえ新設]
H	縦樋：VU75φ [撤去]	縦樋：VU75φ [新設(支持金物共)]	⑦	手摺：777mm×777mm 50φOP 支柱：777mm×777mm 50φOP 手摺子：丸鋼13φOP@150 [塗装改修]	手摺：D P	⑤	体育室建具：鋼製引分戸 扉のみ撤去 [扉のみ撤去]	体育室建具：鋼製引分戸 扉 [新設]
I	R D：鋼鉄製100φ(シート防水用) [撤去]	改修用D P：100φ75φ(塗膜防水用) [新設]	⑧	出入口スロープ床：鋼鋼板 [塗装改修]	出入口スロープ床：D P	⑥	体育室地窓	体育室地窓：網戸 [新設]
J	軒樋：硬質塩ビ120×90×1.5 [撤去]	軒樋：箱樋 [新設(支持金物共)]				⑦	器具庫建具：木製引分戸 撤去 [撤去]	器具庫建具：鋼製軽量建具 [新設]
K	柱：H-125×125×5×7 OP、梁：H-200×100×5.5×8 OP [塗装改修]	柱・梁：D P [下地調整のうえ新設]				⑧	手摺：スチールパイプ45φSOP [塗装改修]	手摺：SOP [新設]



西側立面図 1/100



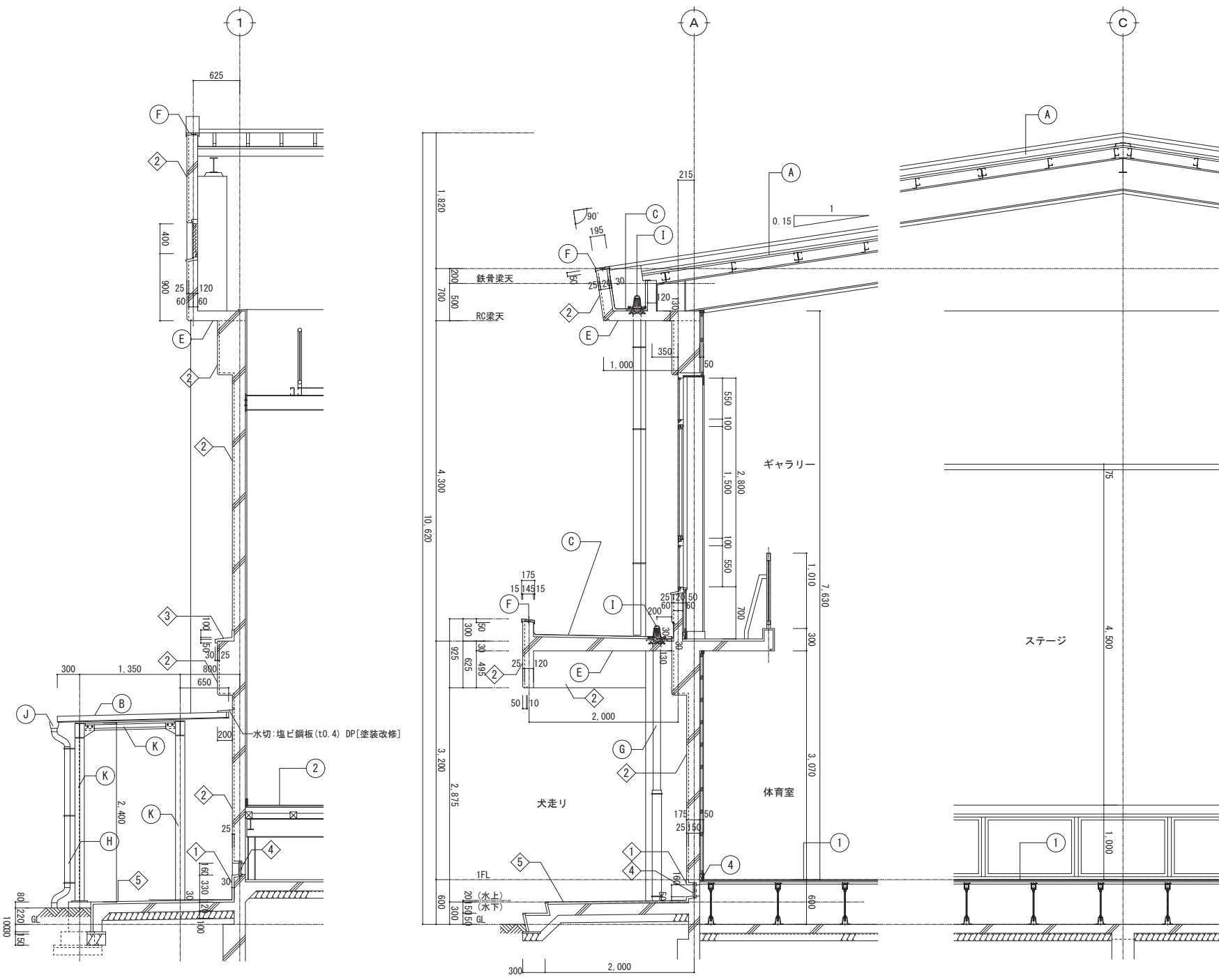
南側立面図 1/100



北側立面図 1/100

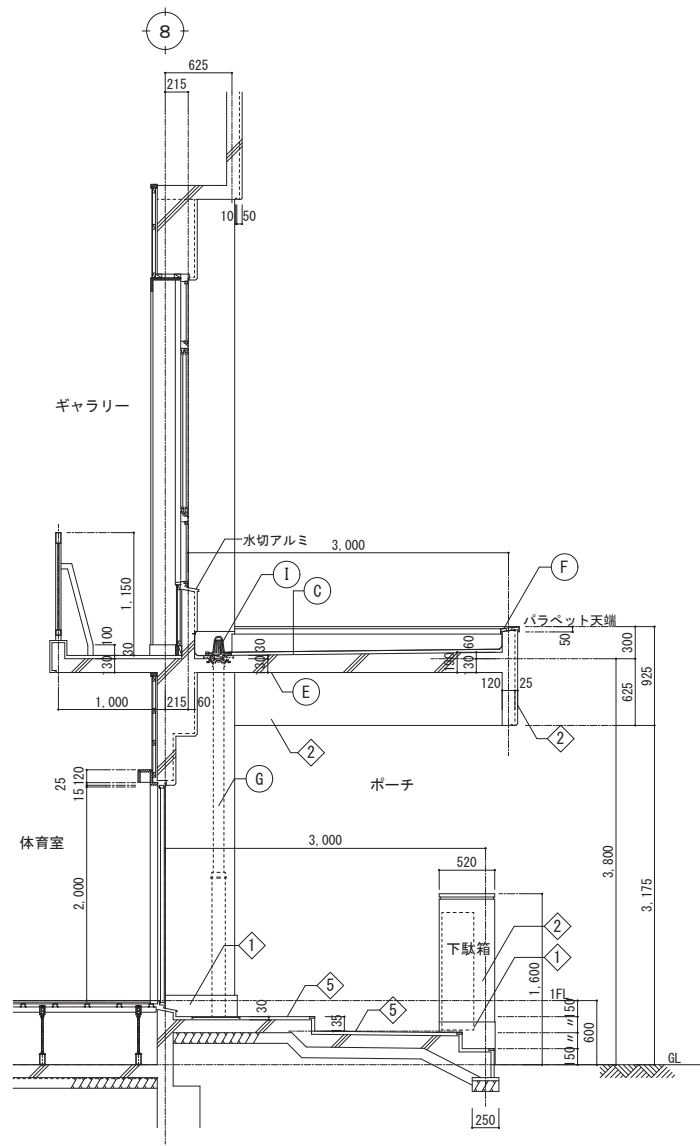
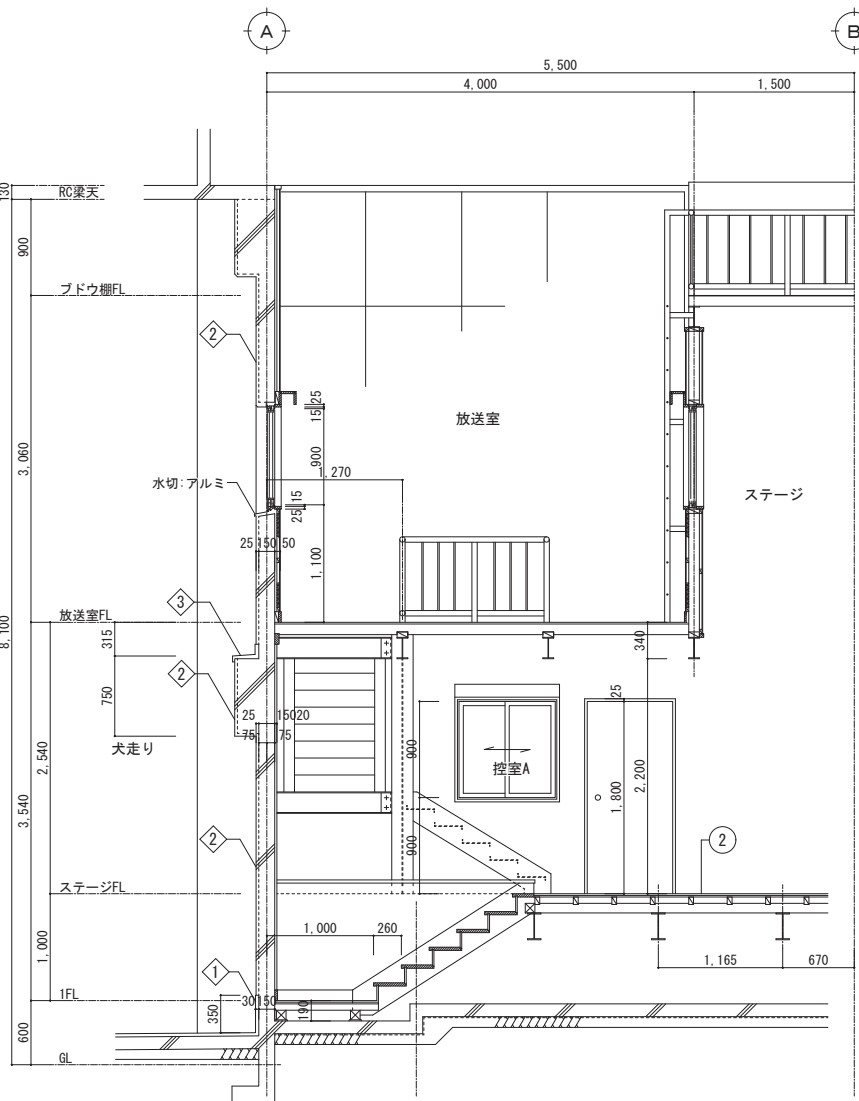
記号	部位：仕上げ材（下地）（改修前）	部位：仕上げ材（下地）（改修後）
<b>【防水改修工事】</b>		
A	屋根：塩ビ鋼板(t=0.4)瓦棒葺 757アルミフィンク 22kg [塗装改修] 着色木モマグネシウム板(t25)下地	屋根：遮熱塗装 [下地調整のうえ新設]
B	下屋根根：R-77 珞(t=0.8) [塗装改修]	下屋根根：DP [下地調整のうえ新設]
C	屋根・樋・庇：シート防水(t=1.5) シパル-仕上 均しモルタル(t=30) [撤去]	屋根・樋・庇：塗膜防水 X-2 [劣化部処理、下地処理のうえ新設]
D	F通り庇：防水モルタル金ごて(t=30) [高圧洗浄のみ]	F通り庇：塗膜防水 X-2 [劣化部処理、下地処理のうえ新設]
E	軒裏：コンクリート素面アクリルリシン吹付 [吹付材撤去]	軒裏：外装薄塗材E [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
F	笠木：塩ビ鋼板(t0.4)曲げ加工 補強金物：FB40×4@450 [塗装改修]	笠木：DP [下地調整のうえ新設]
G	壁樋：VU100φ 保護パイプ 125φOP H=1,500 [撤去]	壁樋：防VP100φ 保護管125φSOP H=1,500 [新設(支持金物共)]
H	壁樋：VU75φ [撤去]	壁樋：防VP75φ [新設(支持金物共)]
I	R D：鋳鉄製100φ(シート防水用) [撤去]	改修用Dレン：100φ75φ(塗膜防水用) [新設]
J	軒樋：硬質塩ビ120×90×1.5 [撤去]	軒樋：箱樋 [新設(支持金物共)]
K	柱：H-125×125×5×7 OP、梁：H-200×100×5.5×8 OP [塗装改修]	柱・梁：DP [下地調整のうえ新設]
<b>【外装改修工事】</b>		
①	根回り：モルタル金ごて(t=30) H=650 [高圧洗浄のみ]	根回り：高圧水洗 既存のまま
②	壁：コンクリート打放し アクリルリシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]	壁：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
③	梁天端：防水モルタル金ごて(t=30) [洗浄]	梁天端：塗膜防水 X-2 [劣化部処理、下地処理のうえ新設]
④	床下換気口：鋳鉄製180×440×30ヶ所(内部スチルス防虫鋼付) [清掃] 妻壁：75mm 珞400×800×4ヶ所	床下換気口：既存のまま
⑤	ポーチ床：モルタル金ごて(t=30) 段鼻：ノスリッパ 磁器タイル貼 [洗浄]	ポーチ床：高圧水洗浄 既存のまま
⑥	出入口踏み台床：ノスリッパシート貼 磁器タイル金ごて(t=30)下地 段鼻：75mmノスリッパ [洗浄]	出入口踏み台：高圧水洗浄 既存のまま
⑦	手摺：防錆パイプ50φOP 支柱：防錆パイプ50φOP 手摺子：丸鋼13φOP@150 [塗装改修]	手摺：DP
⑧	出入口スロープ床：縞鋼板 [塗装改修]	出入口スロープ床：DP
<b>【内装改修工事】</b>		
①	体育室床：フナ化粧複合フローリング(t=15) ラワン耐水合板(t=15)下地 [劣化部撤去(40枚)]	体育室床：研磨、コートライン引き 、1液湿気型ウレタン塗料3階塗り [新設] 複合フローリング(t=15)、表層カバ(t=6) [新設(40枚)]
②	ステージ・控室床：フナ化粧複合フローリング(t=15) ラワン耐水合板(t=15)下地	ステージ・控室床：既存のまま
③	器具庫壁：モルタル金ごて(t=20)VP [塗装改修]	器具庫壁：戸袋部、EP [下地処理のうえ新設]
④	体育室巾木：米桐(t=25)OP H=100 [塗装改修]	体育室巾木：SOP [下地処理のうえ新設]
⑤	体育室建具：鋼製引分戸 扉のみ撤去 [扉のみ撤去]	体育室建具：鋼製引分戸 扉 [新設]
⑥	体育室地窓	体育室地窓：網戸 [新設]
⑦	器具庫建具：木製引分戸 撤去 [撤去]	器具庫建具：鋼製軽量建具 [新設]
⑧	手摺：スチールパイプ45φSOP [塗装改修]	手摺：SOP [新設]





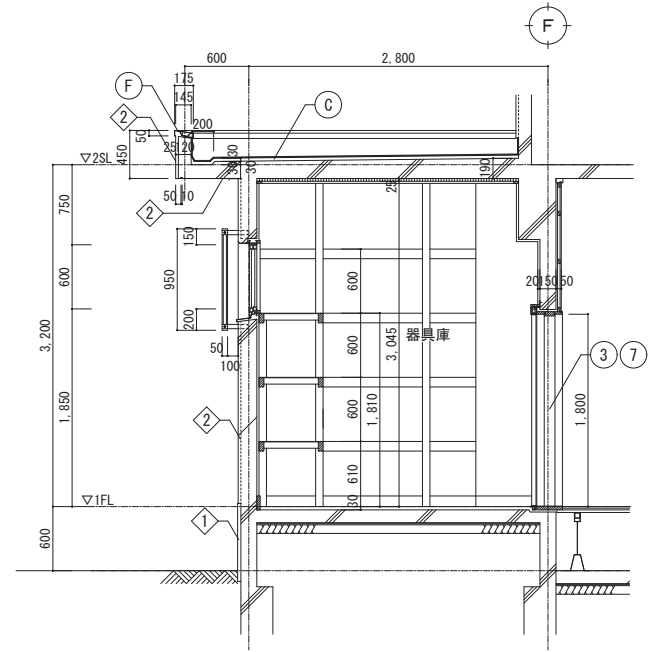
矩計図 (改修前・後) 1/50

記号	部位：仕上材 (下地) (改修前)	部位：仕上材 (下地) (改修後)
<b>【防水改修工事】</b>		
A	屋根：塩ビ鋼板(t=0.4)瓦棒葺 777マルチフィング 22kg [塗装改修] 着色木毛マグネシウム板(t25)下地	屋根：遮熱塗装 [下地調整のうえ新設]
B	下屋根：塩ビ鋼板(t=0.8) [塗装改修]	下屋根：DP [下地調整のうえ新設]
C	屋根・樋・庇：シート防水(t=1.5) シム工仕上げ 均しモルタル(t=30) [撤去]	屋根・樋・庇：塗膜防水 X-2 [劣化部処理、下地処理のうえ新設]
D	F通り庇：防水モルタル金ごて(t=30) [高圧洗浄のみ]	F通り庇：塗膜防水 X-2 [劣化部処理、下地処理のうえ新設]
E	軒裏：コンクリート素面アクリルリシン吹付 [吹付材撤去]	軒裏：外装薄塗材E [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
F	笠木：塩ビ鋼板(t0.4) 曲げ加工 補強金物:FB40×4@450 [塗装改修]	笠木：DP [下地調整のうえ新設]
G	縦樋：VU100φ 保護パイプ 125φOP H=1,500 [撤去]	縦樋：VU100φ 保護管125φSOP H=1,500 [新設(支持金物共)]
H	縦樋：VU75φ [撤去]	縦樋：VU75φ [新設(支持金物共)]
I	R D：鑄鉄製100φ(シート防水用) [撤去]	改修用D:100φ75φ(塗膜防水用) [新設]
J	軒樋：硬質塩ビ120×90×1.5 [撤去]	軒樋：箱樋 [新設(支持金物共)]
K	柱：H-125×125×5×7 OP、梁：H-200×100×5.5×8 OP [塗装改修]	柱・梁：DP [下地調整のうえ新設]
<b>【外壁改修工事】</b>		
1	根回り：モルタル金ごて(t=30) H=650 [高圧洗浄のみ]	根回り：高圧水洗 既存のまま
2	壁：コンクリート打放し アクリルリシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]	壁：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
3	梁天端：防水モルタル金ごて(t=30) [洗浄]	梁天端：塗膜防水 X-2 [劣化部処理、下地処理のうえ新設]
4	床下換気口：鑄鉄製180×440×30ヶ所(内部スチルスチール付) [清掃]	床下換気口：既存のまま
妻壁：777マルチ400×800×4ヶ所		
5	ポーチ床：モルタル金ごて(t=30) 段鼻:ノスリアップ 磁器タイル貼 [洗浄]	ポーチ床：高圧水洗 既存のまま
6	出入口踏み台：ノスリアップ貼 磁器タイル貼(t=30)下地 段鼻:777マルチ [洗浄]	出入口踏み台：高圧水洗 既存のまま
7	手摺：H-100φ 50φOP 支柱:H-100φ 50φOP 手摺子:丸鋼13φOP@150 [塗装改修]	手摺：DP
8	出入口スロープ床：縞鋼板 [塗装改修]	出入口スロープ床：DP
<b>【内装改修工事】</b>		
1	体育室床：フナ化粧複合フローリング(t=15) ラワン耐水合板(t=15)下地 [劣化部撤去(40枚)]	体育室床：研磨、コートライン引き 、1液湿気型ウレタン塗料3階塗り [新設] 複合フローリング(t=15)、表層カバ(t=6) [新設(40枚)]
2	ステージ・控室床：フナ化粧複合フローリング(t=15) ラワン耐水合板(t=15)下地	ステージ・控室床：既存のまま
3	器具庫壁：モルタル金ごて(t=20)VP [塗装改修]	器具庫壁：戸袋部、EP [下地処理のうえ新設]
4	体育室巾木：米桐(t=25)OP H=100 [塗装改修]	体育室巾木：SOP [下地処理のうえ新設]
5	体育室建具：鋼製引分戸 扉のみ撤去 [扉のみ撤去]	体育室建具：鋼製引分戸 扉 [新設]
6	体育室地窓	体育室地窓：網戸 [新設]
7	器具庫建具：木製引分戸 撤去 [撤去]	器具庫建具：鋼製軽量建具 [新設]
8	手摺：スチールパイプ45φSOP [塗装改修]	手摺：SOP [新設]



矩計図 (改修前・後) 1/50

記号	部位：仕上げ材 (下地) (改修前)	部位：仕上げ材 (下地) (改修後)
<b>【防水改修工事】</b>		
A	屋根：塩ビ鋼板(t=0.4)瓦棒葺 アスファルト・フィング'22kg [塗装改修] 着色木毛マグネシウム板(t25)下地	屋根：遮熱塗装 [下地調整のうえ新設]
B	下屋根：塩ビ鋼板(t=0.8) [塗装改修]	下屋根：D P [下地調整のうえ新設]
C	屋根・樋・庇：シート防水(t=1.5) シルバ-仕上 均しモルタル(t=30) [撤去]	屋根・樋・庇：塗膜防水 X-2 [劣化部処理、下地処理のうえ新設]
D	F通り庇：防水モルタル金ごて(t=30) [高圧洗浄のみ]	F通り庇：塗膜防水 X-2 [劣化部処理、下地処理のうえ新設]
E	軒裏：コンクリート素面アクリルリシン吹付 [吹付材撤去]	軒裏：外装薄塗材E [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
F	笠木：塩ビ鋼板(t0.4)曲げ加工 補強金物:FB40×4#450 [塗装改修]	笠木：D P [下地調整のうえ新設]
G	縦樋：VU100φ 保護パイプ125φOP H=1,500 [撤去]	縦樋：VU100φ 保護管125φSOP H=1,500 [新設(支持金物共)]
H	縦樋：VU75φ [撤去]	縦樋：VU75φ [新設(支持金物共)]
I	R D：錆鉄製100φ(シート防水用) [撤去]	改修用Dレン:100φ75φ(塗膜防水用) [新設]
J	軒樋：硬質塩ビ120×90×1.5 [撤去]	軒樋：箱樋 [新設(支持金物共)]
K	柱:H=125×125×5×7 OP、梁:H=200×100×5.5×8 OP [塗装改修]	柱・梁：D P [下地調整のうえ新設]
<b>【外壁改修工事】</b>		
1	根回り：モルタル金ごて(t=30) H=650 [高圧洗浄のみ]	根回り：高圧水洗 既存のまま
2	壁：コンクリート打放し アクリルリシン吹付 [既存仕上撤去+高圧水洗]	壁：防水形複層塗材E吹付 [劣化部処理、下地調整のうえ新設]
3	梁天端：防水モルタル金ごて(t=30) [洗浄]	梁天端：塗膜防水 X-2 [劣化部処理、下地処理のうえ新設]
4	床下換気口：錆鉄製180×440×30ヶ所(内部ステンレス防虫鋼付) [清掃] 妻壁：アルミガラ400×800×4ヶ所	床下換気口：既存のまま
5	ポーチ床：モルタル金ごて(t=30) 段鼻：ノスリク 磁器タイル貼 [洗浄]	ポーチ床：高圧水洗浄 既存のまま
6	出入口踏み台床：ノスリクシート貼 モルタル金ごて(t=30)下地 段鼻：アルミノスリク [洗浄]	出入口踏み台：高圧水洗浄 既存のまま
7	手摺：ステンレス175φOP 支柱：ステンレス175φOP 手摺子：丸鋼13φOP#150 [塗装改修]	手摺：D P
8	出入口スロープ床：綿鋼板 [塗装改修]	出入口スロープ床：D P
<b>【内装改修工事】</b>		
1	体育室床：ブナ化粧複合フローリング(t=15) ラワン耐水合板(t=15)下地 [劣化部撤去(40枚)]	体育室床：研磨、コートライン引き 、1液湿気型ウレタン塗料3階塗り [新設] 複合フローリング(t=15)、表層カバ(t=6) [新設(40枚)]
2	ステージ・控室床：ブナ化粧複合フローリング(t=15) ラワン耐水合板(t=15)下地	ステージ・控室床：既存のまま
3	器具庫壁：モルタル金ごて(t=20) V P [塗装改修]	器具庫壁：戸袋部、E P [下地処理のうえ新設]
4	体育室巾木：米桐(t=25)OP H=100 [塗装改修]	体育室巾木：S O P [下地処理のうえ新設]
5	体育室建具：鋼製引分戸 扉のみ撤去 [扉のみ撤去]	体育室建具：鋼製引分戸 扉 [新設]
6	体育室地窓	体育室地窓：網戸 [新設]
7	器具庫建具：木製引分戸 撤去 [撤去]	器具庫建具：鋼製軽量建具 [新設]
8	手摺：スチールパイプ45φS O P [塗装改修]	手摺：S O P [新設]

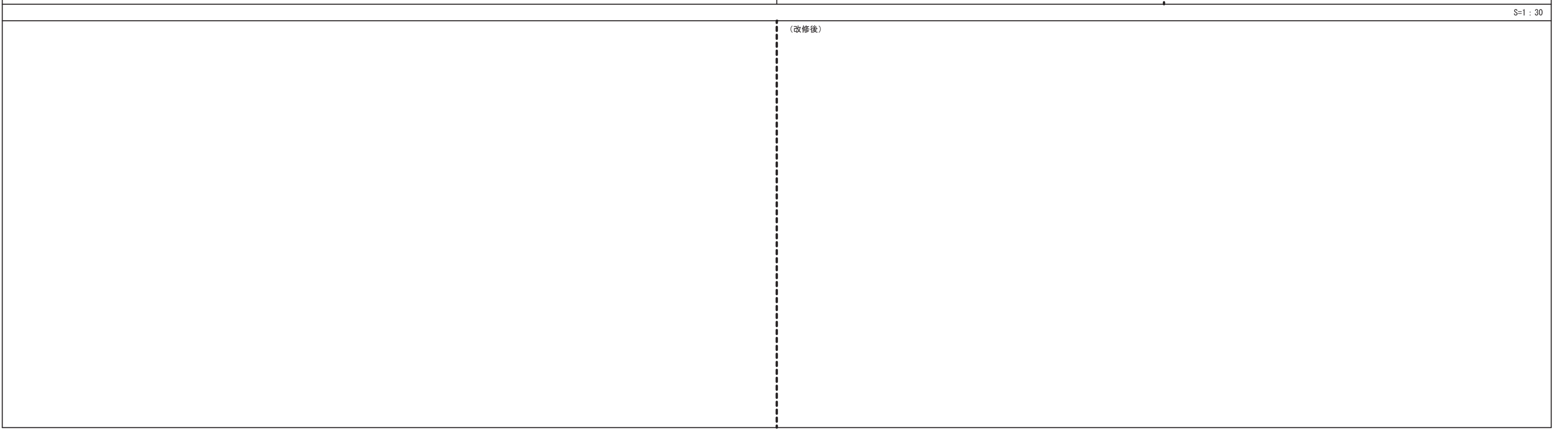
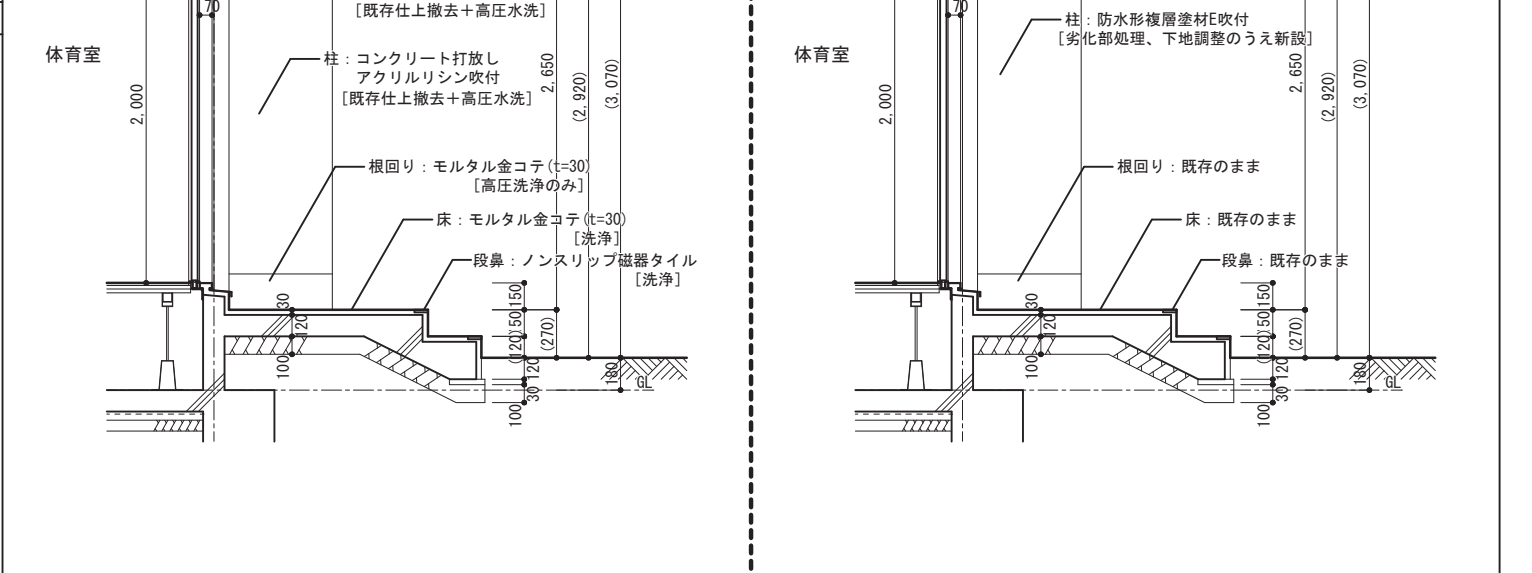
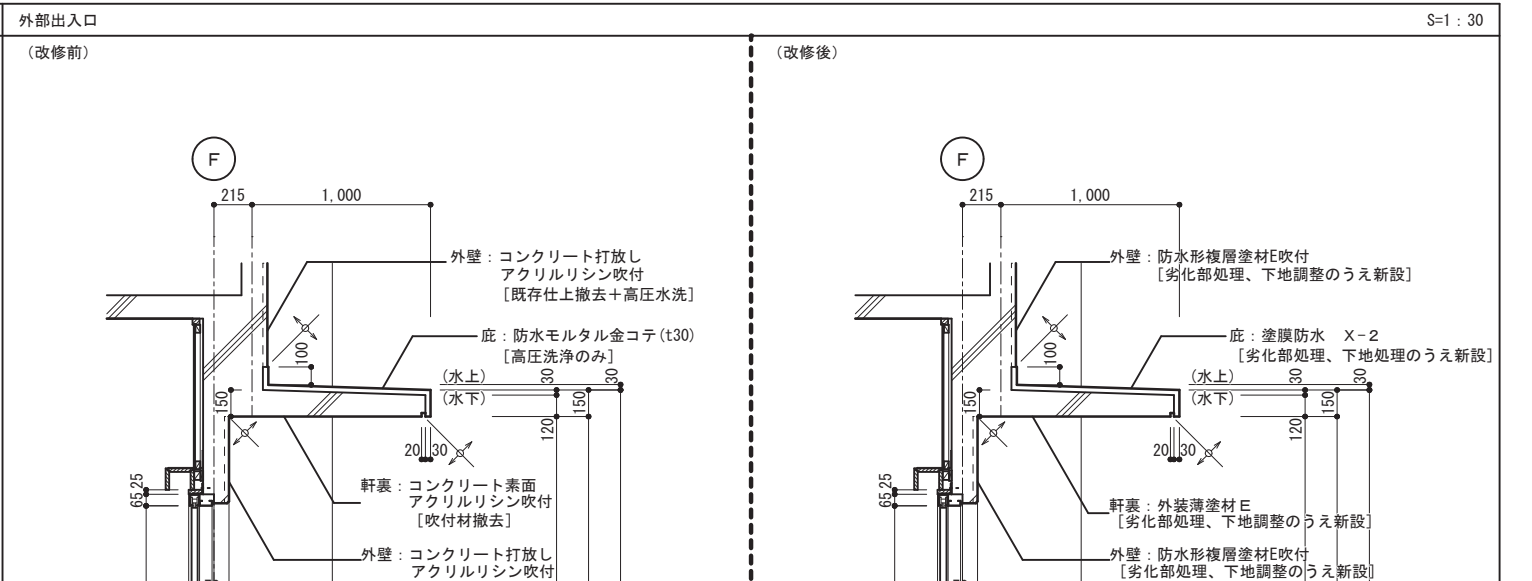
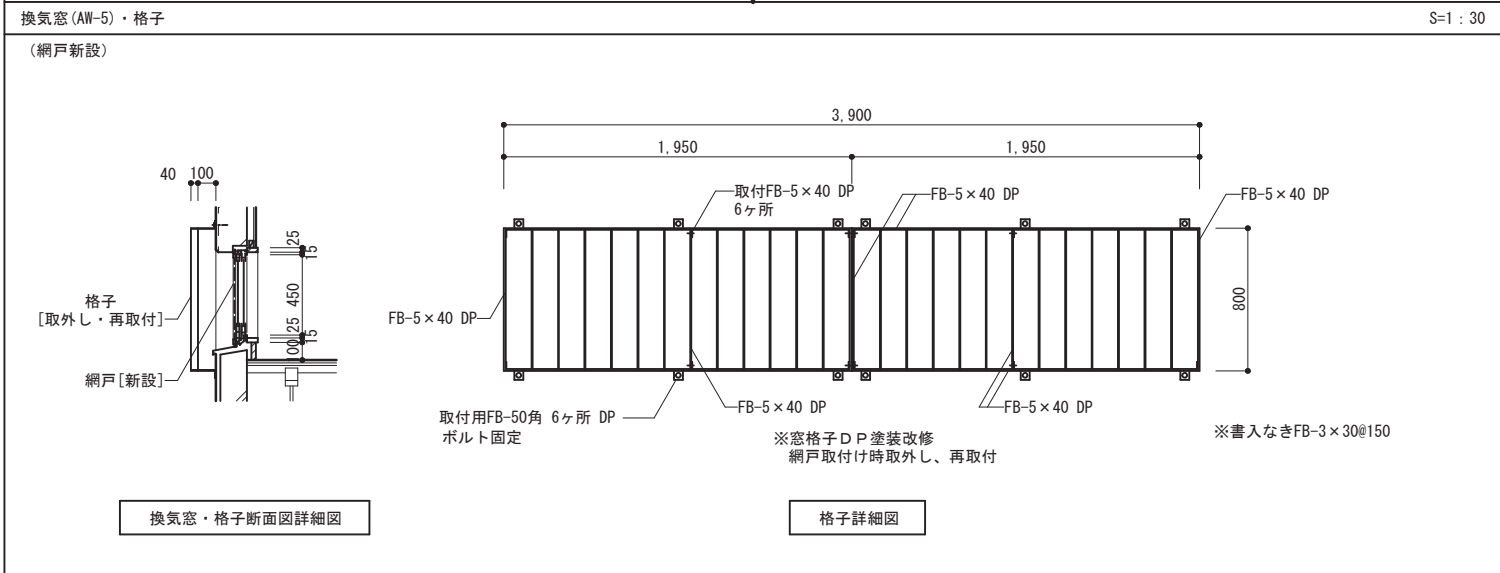
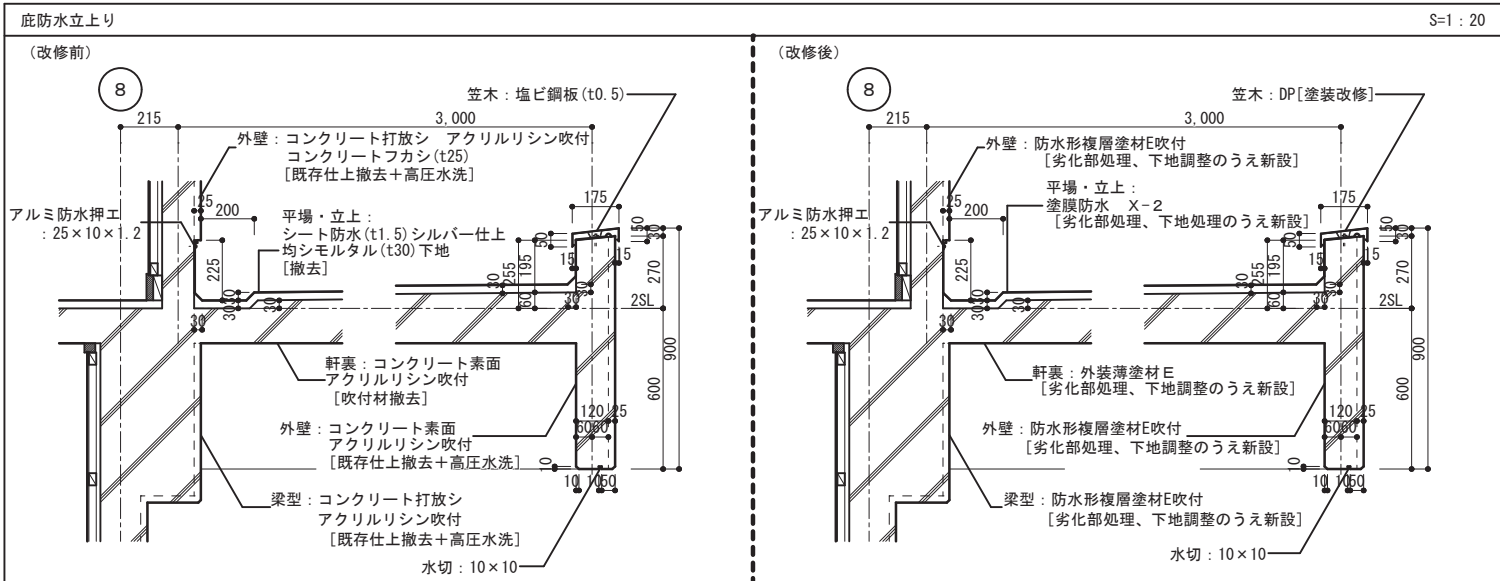


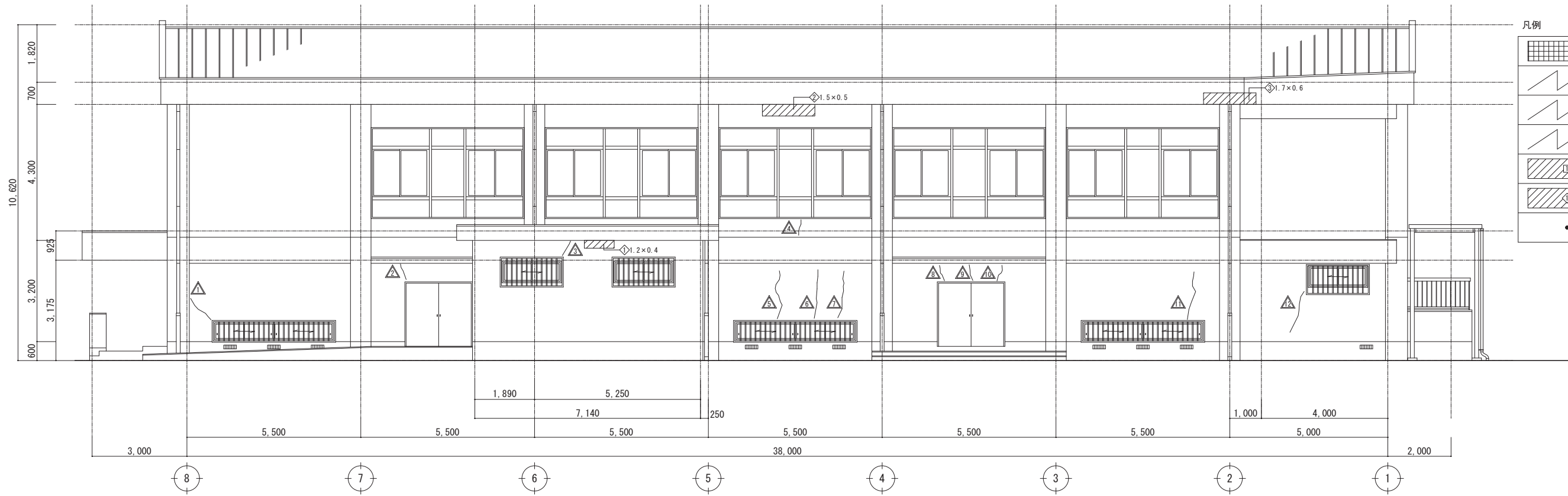
符号・名称	AM1 引違いアルミサッシュ+fix [周囲シーリング打替え]	AM2 引違いアルミサッシュ [周囲シーリング打替え]	AM3 引違いアルミサッシュ [周囲シーリング打替え]	AM4 引違いアルミサッシュ [周囲シーリング打替え]	AM5 引違いアルミフラッシュ窓 [周囲シーリング打替え] [格子:DP塗装] [網戸新設]	AG1 固定アルミガラリ [周囲シーリング打替え]	
位置・数量	ギャラリー 12	放送室 1	控室A 1	控室B、器具庫 3	体育室 6	屋根裏 4	
姿図							
▽FL					格子 40	格子 12 格子 40	
扉仕上・扉厚	-	-	-	-	-	-	
枠仕上・枠見込	アルミ、アルマイト仕上	アルミ、アルマイト仕上	アルミ、アルマイト仕上	アルミ、アルマイト仕上	サッシュ 70	サッシュ 70	
番番・水切	-	-	-	-	-	-	
硝子	透明ガラス15	透明ガラス15	透明ガラス15	透明ガラス13	-	-	
金物	クレセント、アルミ水切、アングルピース、付属金物一式	クレセント、アルミ水切、アングルピース、付属金物一式	クレセント、アルミ水切、アングルピース、付属金物一式	クレセント、アルミ水切、アングルピース、付属金物一式	クレセント、アルミ水切、アングルピース、ステンレス影込引手、付属金物一式	ステンレス防虫網800×400 アルミ水切、付属金物一式	
備考	周囲シーリング: 変成シリコン系 (MS-2, 10×10)	周囲シーリング: 変成シリコン系 (MS-2, 10×10)	周囲シーリング: 変成シリコン系 (MS-2, 10×10)	周囲シーリング: 変成シリコン系 (MS-2, 10×10)	周囲シーリング: 変成シリコン系 (MS-2, 10×10)	周囲シーリング: 変成シリコン系 (MS-2, 10×10)	

符号・名称	AD1 両開きアルミパネルフラッシュドアー [周囲シーリング打替え]	SD1 両引きフラッシュドアー [扉のみ撤去]	SD1 両引きフラッシュドアー [扉のみ新設]	SD2 片開きフラッシュドアー [扉のみ撤去]	SD2 片開きフラッシュドアー [扉のみ新設]
位置・数量	体育室 2	体育室 4	体育室 4	控室 2	控室 2
姿図		(改修前) 	(改修後) 	(改修前) 	(改修後) 
▽FL					
扉仕上・扉厚	アルミパネル、アルマイト仕上	化粧鋼板 (t0.8)	化粧鋼板 (t0.8)	化粧鋼板 (t0.8)	化粧鋼板 (t0.8)
枠仕上・枠見込	アルミ	R-1.6、FP塗	R-1.6、DP塗	R-1.6、FP塗	R-1.6、DP塗
番番・水切	-	-	-	-	-
硝子	-	-	-	-	-
金物	t153丁番2枚吊、シリンダー本締付モノロック錠、戸当り、フランス差し、	ハンガーレール、ガイドレール、ドアハンガー、ガイドローラー、シリンダー錠錠	ハンガーレール、ガイドレール、ドアハンガー、ガイドローラー、シリンダー錠錠	t153丁番2枚吊、シリンダー本締付モノロック錠、戸当り、下枠: ステンレス	t153丁番2枚吊、シリンダー本締付モノロック錠、戸当り、下枠: ステンレス
備考	周囲シーリング: 変成シリコン系 (MS-2, 10×10)	-	-	-	-

符号・名称	WD3 両引きフラッシュドアー [撤去]	LSO1 両引きフラッシュドアー [新設]	特記事項
位置・数量	器具庫 1	器具庫 1	
姿図	(改修前) 	(改修後) 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姿図は外観図。</li> <li>・建具製作にあたってはよく現地を調査し、施工図作成のうえ監督員の承認を得た後製作すること。</li> <li>・引き違い建具は全て網戸レールを具備してあるものとし、落下防止又はハズレ防止付とする。</li> <li>・シリンダー錠は、全て既存マスターキーに合わせる。</li> <li>・ハキ出し部分の既存番番りは撤去し、ステンレス (SUS304) 厚 2.0mm製を取付けるものとし、新り部分は現状仕上に準じ補修すること。(出入口ドア下枠もこれに準ずる。)</li> <li>・床研りは最小限にし、必要に応じてカッターを使用すること。</li> <li>・寸法は既存建具内法寸法を示す</li> <li>・ガラス留め材は、網入り・F1Xはシーリング (SR-1シリコン系) を使用すること。</li> <li>・アルミ水切は建具同材とし、小口はエンドキャップを使用すること。</li> <li>・アルミ製建具には二次電解着色・高耐候性アクリルクリアー電解塗装 (SGコート) をすること。</li> <li>・アルミ製建具のクレセントは、中型以上とする。</li> <li>・クレセントの取付位置は、特記なき場合、FL+800mm以上1,500mm以下とする。</li> <li>・クレセント、レバーハンドルは抗菌仕様とする。</li> <li>・PL-アルミプレート3mmを使用、FIX-ガラス</li> <li>・ステンレス製番番り (t=2.0) を示す。</li> <li>・特記なき場合、AD、AMの場合は7A: 網戸 (W=25~350)、LSO、SDの場合は7A: 網戸 (W=25~350) 焼付け、STDの場合は7A: 網戸 (見付25)、WDの場合は木製網戸 (見付25) を示す。</li> </ul>
▽FL			
扉仕上・扉厚	シナ合板t4、OP	亜鉛めっき鋼板t0.6、焼付塗装仕上	
枠仕上・枠見込	米網 OP、下枠: 米網 OS	亜鉛めっき鋼板t1.6、防錆塗装仕上	
番番・水切	-	-	
硝子	-	-	
金物	ハンガーレール、ガイドレール、ドアハンガー、ガイドローラー、戸当りゴム、フランス差し、ステンレス影込引手	ハンガーレール、ガイドレール、ドアハンガー、ガイドローラー、戸当りゴム、フランス差し、ステンレス影込引手	
備考	-	-	



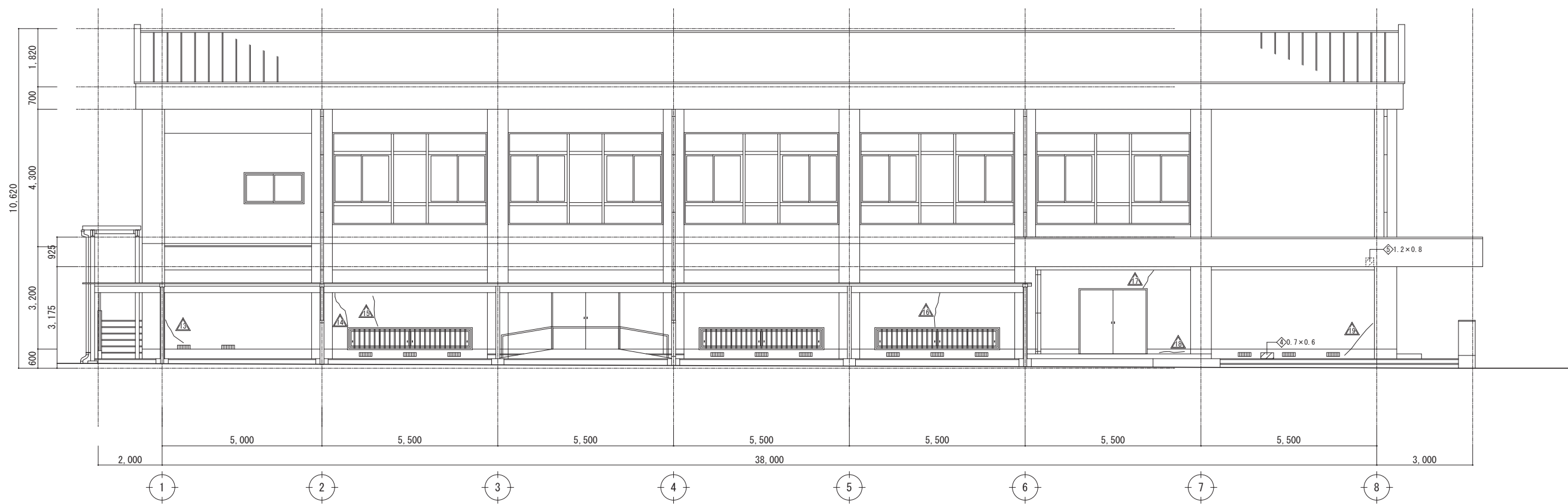




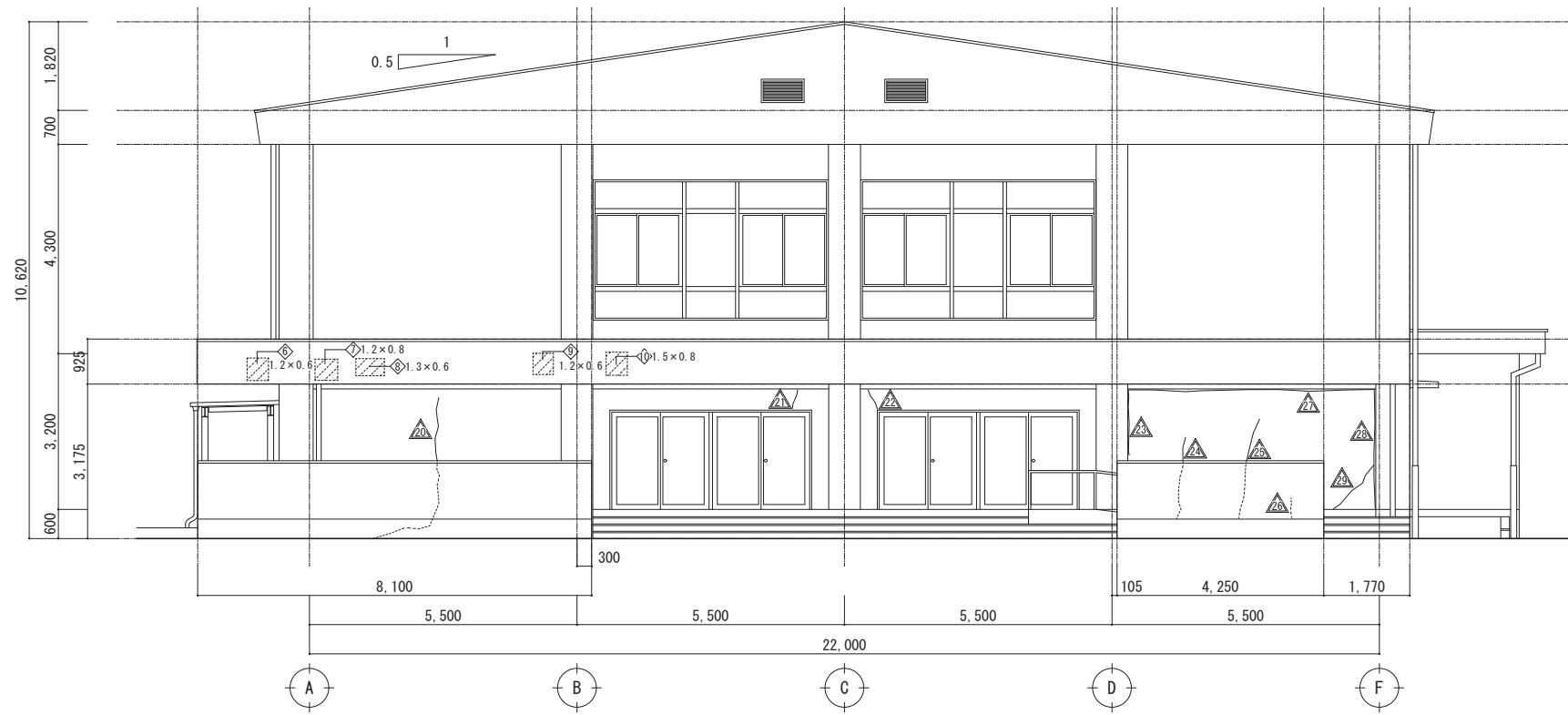
凡例

	塗膜劣化
	B-2 ひび割れ (打放し面)
	B-6 ひび割れ (モルタル面)
	C-1 錆鉄筋
	D-2 モルタル浮き
	E-1 欠損部
	木跡部

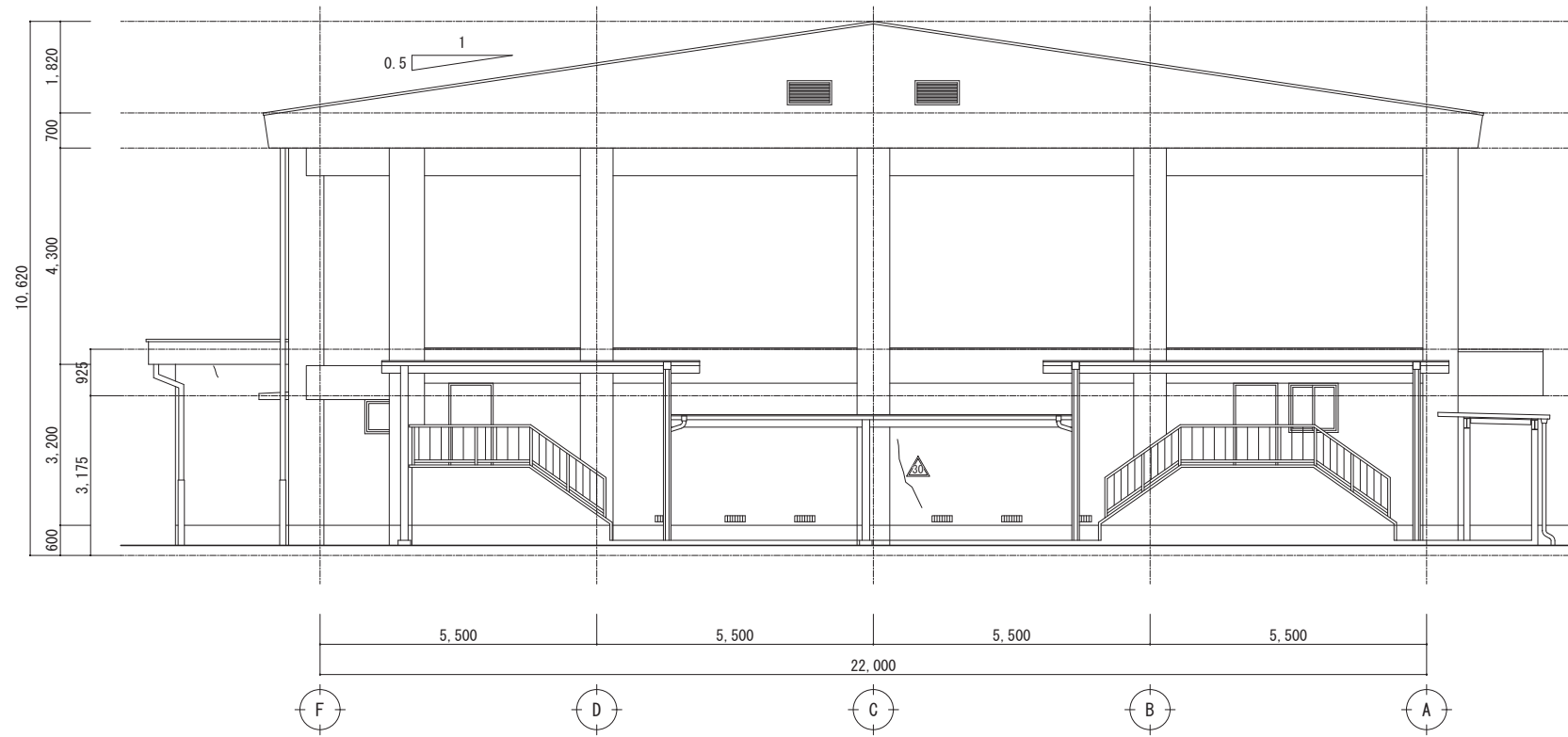
東側立面図 1/100



西側立面図 1/100



南側立面図 1/100



北側立面図 1/100

凡例

	塗膜劣化
	B-2 ひび割れ (打放し面)
	B-6 ひび割れ (モルタル面)
	C-1 錆鉄筋
	D-2 モルタル浮き
	E-1 欠損部
	木跡部



# 参考数量書

工事名称 三原小学校長寿命化改修工事(建築主体工事)

工事場所 三原市館町二丁目

[工事概要]

用途,構造,面積	教室棟 鉄筋コンクリート造3階建 2,564㎡ 屋内運動場 鉄筋コンクリート造2階建 871㎡	
工事範囲	建築主体工事	
別途工事	電気設備工事, 機械設備工事	
工期	契約締結日の翌日 ~ 令和7年3月3日	
一般事項		
《工事予算内訳》	合計金額	
〈内訳〉		
区分	金額	概要
設計金額		
消費税額		
合計金額		

工事費内訳

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
建築工事	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		
工事費	1	式		











建築工事 細目別内訳

校舎棟		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
墨出し		1	式			
養生		1	式			
整理清掃後片付け		1	式			
枠組本足場(手すり先行方式)	W900 22.0m未満	1	式			
安全手すり	枠組本足場用	1	式			
内部仕上足場	脚立足場	1	式			
内部階段仕上足場	脚立足場	1	式			
仮設教室		1	式			
仮設間仕切	B種	1	式			
災害防止		1	式			
仮設材運搬		1	式			
計						



建築工事 細目別内訳

校舎棟		防水改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
施工数量調査	防水面	1,413	m <sup>2</sup>			
レン	床	827	m <sup>2</sup>			
水洗い	デッキブラシ	1,413	m <sup>2</sup>			
高圧洗浄	堅樋	66.9	m			
塗膜防水	X-1 ウレタン系 平面 表面塗装シール	747	m <sup>2</sup>			
塗膜防水	X-2 ウレタン系 立上り 表面塗装シール	79.6	m <sup>2</sup>			
塗膜防水重ね塗り	X-2 平部	432	m <sup>2</sup>			
塗膜防水重ね塗り	X-2 立上り	154	m <sup>2</sup>			
防水押え金物	アルミL-30×15	237	m			
シーリング	MS-2 15×7	237	m			
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 15×10	80.2	m			
屋上階段	W600×D540×H355 溶融垂鉛メッキ仕上	5	か所			
水切取外再取付	L100×72	90.3	m			
水切取外再取付	H100	77.3	m			
ハコヤ取外再取付	W920×D670×H355 既成品	1	か所			



建築工事 細目別内訳

校舎棟		外壁改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
施工数量調査	モルタル面	2,458	m <sup>2</sup>			
施工数量調査	コンクリート面	1,136	m <sup>2</sup>			
B-7 モルタル面Uカットエポキシ 樹脂充填工法	0.2~1.0mm	110	m			
B-3 打放し面Uカットエポキシ 樹脂充填工法	0.2~1.0mm	76	m			
B-6 モルタル面Uカットシール材 注入工法	1.0mm以上 挙動 無し	188	m			
B-2 打放し面Uカットシール 材充填工法	1.0mm以上 挙動 無し	153	m			
浮き部処理	モルタル面注入口付アンカービ ンニングエポキシ 樹脂注入工法 一般部分 9か所/m <sup>2</sup>	540	m <sup>2</sup>			
浮き部処理	モルタル面注入口付アンカービ ンニングエポキシ 樹脂注入工法 指定部分 16か所/m <sup>2</sup>	38.4	m <sup>2</sup>			
既存仕上材サンダー レン		3,593	m <sup>2</sup>			
高圧水洗浄	150~200kg/cm2	3,873	m <sup>2</sup>			
水洗い	デッキブラシ	72.4	m <sup>2</sup>			
下地調整塗材C-1 (基準単価)	- 吹付け	3,593	m <sup>2</sup>			
外装薄塗材E	モルタル面	260	m <sup>2</sup>			
防水形複層塗材E	モルタル面	2,329	m <sup>2</sup>			
防水形 複層塗材 E	コンクリート面 凹凸状 吹付け アクリル系 水系 つやあり 上塗2回 下地調整費別途	1,004	m <sup>2</sup>			

建築工事 細目別内訳

校舎棟		外壁改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(受水槽基礎)						
根切り	小規模土工 -	3.2	m3			
埋戻し(B種)	小規模土工 発生土	0.2	m3			
砂利地業	再生クワッシュラン	1.2	m3			
異形鉄筋	SD295 D10	62.9	kg			
異形鉄筋	SD295 D13	92.7	kg			
異形鉄筋	SD295 D16	209	kg			
スクラップ 控除	鉄 H2	▲9.8	kg			
鉄筋加工組立		351	kg			
鉄筋運搬		351	kg			
普通コンクリート	JIS A5308 呼び強度18 S15 粗骨材20	0.4	m3			
普通コンクリート	JIS A5308 呼び強度21 S15 粗骨材20	3.1	m3			
コンクリート打設手間	捨てコンクリート 人力打設 - S15~S18 - -	0.4	m3			
コンクリート打設手間	小型構造物 人力打設 工作物の基礎等 S15~S18 - -	3.1	m3			
普通型枠	小型構造物	12.2	m <sup>2</sup>			

建築工事 細目別内訳

校舎棟		外壁改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
型枠運搬費	4 t 車 30km程度 往復	12.2	m <sup>2</sup>			
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	7	m <sup>2</sup>			
(揚水ポンプ 基礎)						
根切り	小規模土工 -	0.8	m <sup>3</sup>			
埋戻し(B種)	小規模土工 発生土	0.2	m <sup>3</sup>			
砂利地業	再生クラッシュラン	0.3	m <sup>3</sup>			
異形鉄筋	SD295 D10	4.9	kg			
鉄筋加工組立		4.7	kg			
鉄筋運搬		4.7	kg			
スクラップ 控除	鉄 H2	▲0.1	kg			
普通コンクリート	JIS A5308 呼び強度18 S15 粗骨材20	0.1	m <sup>3</sup>			
普通コンクリート	JIS A5308 呼び強度21 S15 粗骨材20	0.3	m <sup>3</sup>			
コンクリート打設手間	捨てコンクリート 人力打設 - S15~S18 - -	0.1	m <sup>3</sup>			
コンクリート打設手間	小型構造物 人力打設 工作物の基礎等 S15~S18 - -	0.3	m <sup>3</sup>			
普通型枠	小型構造物	1	m <sup>2</sup>			







建築工事 細目別内訳

校舎棟		建具改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
(鋼製建具)						
SP-1	W3630× H2960	34	か所			
SP-1 運搬・取付費		1	式			
SP-2	W1630× H2960	3	か所			
SP-2 運搬・取付費		1	式			
SP-3	W1630× H2960	2	か所			
SP-3 運搬・取付費		1	式			
(その他)						
建具周囲 モルタル充填	内部建具	362	m			
建具廻りシーリング	MS-2 10×10	2,207	m			
計						

建築工事 細目別内訳

校舎棟		内装改修			撤去	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
碎石撤去		13.6	m <sup>3</sup>			
東石撤去		14.3	m <sup>3</sup>			
ビニル床シート撤去	集積共	1,215	m <sup>2</sup>			
階段ビニル床シート撤去		137	m <sup>2</sup>			
床組撤去	つか立て 集積共	503	m <sup>2</sup>			
床下地板撤去	集積共	503	m <sup>2</sup>			
床見切撤去	アルミ製	15.1	m			
ハンズラップ撤去		381	m			
壁合板・ボード撤去	一重張り 一般 集積共	93.8	m <sup>2</sup>			
壁下地撤去	集積共	34	m <sup>2</sup>			
天井合板・ボード撤去	一重張り 一般 集積共	188	m <sup>2</sup>			
階段手摺撤去	φ40	30.7	m			
スポンジシート撤去		190	m <sup>2</sup>			
傘掛撤去	L2130	18	か所			
雨受け撤去	W3700×D280×H140	18	か所			



建築工事 細目別内訳

校舎棟		内装改修			改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
すきとり	積み込み共 H300程度	111	m <sup>3</sup>				
砂利地業	再生クラッシュラン	50.3	m <sup>3</sup>				
床下防湿層敷き	ポリエチレンフィルム 厚0.15	503	m <sup>2</sup>				
異形鉄筋	SD295 D10	6,021	kg				
スクラップ控除	鉄 H2	▲162	kg				
鉄筋加工組立		5,789	kg				
鉄筋運搬費		5,789	kg				
普通コンクリート	JIS A5308 FC=21+6 S15 粗骨材20	60.4	m <sup>3</sup>				
コンクリート打設手間	土間 ポンプ打設 50m <sup>3</sup> /回程度 S15~S18 - 圧送費、基本料別途	60.4	m <sup>3</sup>				
コンクリートポンプ 圧送	50m <sup>3</sup> 以上100m <sup>3</sup> /回未満 基本料金別途加算	60.4	m <sup>3</sup>				
コンクリートポンプ圧送 基本料金	50m <sup>3</sup> 以上100m <sup>3</sup> /回未満	3	回				
床下地調整	モルタル塗り	18.7	m <sup>2</sup>				
床見切	SUS製	15.1	m				
ビニル床シート	無地 厚さ2.5 複層ビニル床シートFS 一般床 熱溶接工法	220	m <sup>2</sup>				
ビニル床シート	無地 厚さ2.5 複層ビニル床シートFS 一般床 熱溶接工法	633	m <sup>2</sup>				

建築工事 細目別内訳

校舎棟		内装改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
階段ビニル床シート	無地 厚さ2.5 複層ビニル床シートFS	137	m <sup>2</sup>			
鋼製床組	H440	503	m <sup>2</sup>			
複合フローリング	t15 表層カバ t3	383	m <sup>2</sup>			
床下地板	構造用合板t15	383	m <sup>2</sup>			
床下地板	構造用合板t15+ラワン合板t15	120	m <sup>2</sup>			
階段ハスリップ	ゴムタイ付	381	m			
床コンクリート直均し仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	503	m <sup>2</sup>			
ビニル幅木	高さ100	90.3	m			
壁ポリ合板張り	t2.5	16	m <sup>2</sup>			
スポンジシート		103	m <sup>2</sup>			
耐火間仕切	LGS90 GB-Ft15.0+15.0 両面張り	34	m <sup>2</sup>			
耐火シーリング		288	m			
天井化粧せっこうボード張り(GB-D)	厚 9.5 準不燃 トラバーチン突付け	195	m <sup>2</sup>			
天井廻縁	塩化ビニル製	377	m			
木製額縁	25×50	362	m			

建築工事 細目別内訳

校舎棟		内装改修			改修	
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
木製額縁	25×60	362	m			
見切	W30	28.7	m			
シーリング	MS-2 10×7	233	m			
階段手摺	壁付 樹脂被膜φ40 芯材アルミ アルミブラケット@900程度	181	m			
普通・会議・保健・ 通級指導 背面棚	W3780×D540×H1300	17	か所			
家庭科室 背面棚	W6867×D400×H890	1	か所			
普通・会議・通級指 導 窓面棚	W8382×D360×H870	16	か所			
家庭科室 窓面棚	W8735×D530×H890	1	か所			
普通・会議・保健・ 通級指導 黒板取外再取付	W2700×H900	17	か所			
家庭科室 調理台取外再取付	1800×900×800	6	台			
家庭科室 調理台取外再取付	2100×700×800	1	台			
保健室 流し台取外再取付	W1800	1	か所			
計						



建築工事 細目別内訳

校舎棟		塗装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
( 外部 )						
D P 塗替え	鉄鋼面 錆止め・下地調整RB種共	4.6	m <sup>2</sup>			
D P 塗替え	細幅物 鉄鋼面 錆止め・下地調整R種共	17	m			
ルーフ <sup>レ</sup> ンφ75 ターエボ <sup>キ</sup> ン樹脂塗装	鉄鋼面	11	か所			
ルーフ <sup>レ</sup> ンφ100 ターエボ <sup>キ</sup> ン樹脂塗装	鉄鋼面	20	か所			
( 内部 )						
S O P 塗り (糸幅300mm以下)	木部 工程B種(屋内) 素地A種	725	m			
E P 塗り	丸鋼φ16切断部 防錆塗装共	180	か所			
E P 塗り	モルタル面 細幅物	462	m			
E P 塗り 改修仕様	モルタル面 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	1,598	m <sup>2</sup>			
E P 塗替え	モルタル面 細幅物 下地調整RB種	175	m			
計						



校舎棟		発生材処理		処分		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
発生材処分	コンクリート類	14.3	m3			
発生材処分	砕石類	13.6	m3			
発生材処分	建設発生土	114	m3			
発生材処分	ガラス類	0.4	m3			
発生材処分	シート防水類	1.7	m3			
発生材処分	廃プラスチック類	5.5	m3			
発生材処分	ボード類	2.4	m3			
発生材処分	木材類	40.6	m3			
スクラップ 控除	鉄 H2	▲250	kg			
スクラップ 控除	鉄 H3	▲148	kg			
スクラップ 控除	アルミ	▲70.6	kg			
スクラップ 控除	ステンレス	▲875	kg			
計						





屋内運動場		防水改修		改修		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
施工数量調査	防水面	237	m <sup>2</sup>			
ケレン	床	237	m <sup>2</sup>			
水洗い	デッキフラシ	237	m <sup>2</sup>			
塗膜防水	X-1 ウレタンゴム系 平面 表面塗装シルバー	164	m <sup>2</sup>			
塗膜防水	X-2 ウレタンゴム系 立上り 表面塗装シルバー	72.5	m <sup>2</sup>			
屋根 アルミ亜鉛合金メッキ鋼板	t0.8 H85 働き巾W600 タイトフレーム共	1.9	m <sup>2</sup>			
ルーフドレン	改修用 φ100	13	か所			
硬質ポリ塩化ビニル管とい(カラー)	径75	24.5	m			
硬質ポリ塩化ビニル管とい(カラー)	径100	82.4	m			
軒樋	箱樋	52.5	m			
堅樋保護管	鋼製 φ125 H1500	9	本			
計						







建築工事 細目別内訳

屋内運動場		建具改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(アルミ製建具)						
AW-5 網戸	W3670×H450	6	か所			
AW-5 運搬・取付費		1	式			
AW-5 格子取外し・再取 付け	W3900×H800	6	か所			
(鋼製建具)						
SD-1	W2060×H2000 カハ <sup>レ</sup> -工法	4	か所			
SD-1 運搬・取付費		1	式			
SD-2	W800×H1800 カハ <sup>レ</sup> -工法	2	か所			
SD-2 運搬・取付費		1	式			
(軽量鋼製建具)						
LSD-1	W1850×H1800	1	か所			
LSD-1 運搬・取付費		1	式			
(その他)						
建具周囲シーリング	MS-2 10×10	288	m			
計						





屋内運動場		塗装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
( 外部 )						
SOP塗り	鉄部 細幅物 錆止め・素地ごしらえ共	13.5	m			
DP塗り	鉄鋼面 錆止め・素地ごしらえ共	1.9	m <sup>2</sup>			
DP塗り	鋼製建具面 錆止め・素地ごしらえ共	51.2	m <sup>2</sup>			
DP塗替え	鉄鋼面 錆止め・下地調整RB種共	272	m <sup>2</sup>			
DP塗替え	鉄部 細幅物 錆止め・下地調整RB種共	456	m			
屋根遮熱塗装	鋼板面 下地調整共	954	m <sup>2</sup>			
( 内部 )						
SOP塗替え	鉄部 細幅物 錆止め・下地調整RB種	18.9	m			
SOP塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様 計	木部 工程B種 下地調整RB種(塗替え面)	71.3	m			







校舎棟		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
墨出し		1	式			
墨出し(内部改修)	複合改修	1,290	m <sup>2</sup>			
計						
養生		1	式			
養生(外壁改修)		518	m <sup>2</sup>			
養生(内部改修)	複合改修	1,978	m <sup>2</sup>			
計						
整理清掃後片付け		1	式			
整理清掃後片付け(外壁改修)		518	m <sup>2</sup>			
整理清掃後片付け(内部改修)	複合改修	1,978	m <sup>2</sup>			
計						



校舎棟		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
枠組本足場(手すり先行方式)	W900 22.0m未満	1	式			
枠組本足場(手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 掛払い手間 22m未満 - -	3,517	m <sup>2</sup>			
枠組本足場(手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 供用1日賃料 修理費含む 22m未満 - -	3,517	m <sup>2</sup>			
枠組本足場(手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 基本料 修理費含む 22m未満 - -	3,517	m <sup>2</sup>			
計						
安全手すり	枠組本足場用	1	式			
安全手すり(手すり先行方式)	枠組本足場用 掛払い手間 -	328	m			
安全手すり(手すり先行方式)	枠組本足場用 供用1日賃料 修理費含む -	328	m			
安全手すり(手すり先行方式)	枠組本足場用 基本料 修理費含む -	328	m			
計						

校舎棟		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
内部仕上足場	脚立足場	1	式			
内部仕上足場	掛払い手間 脚立足場 階高4.0m以下 -	756	m <sup>2</sup>			
内部仕上足場	供用1日賃料 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下 -	756	m <sup>2</sup>			
内部仕上足場	基本料 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下 平家用	756	m <sup>2</sup>			
計						
内部階段仕上足場	脚立足場	1	式			
内部階段仕上足場	掛払い手間	215	m <sup>2</sup>			
内部階段仕上足場	供用1日賃料 修理費含む	215	m <sup>2</sup>			
内部階段仕上足場	基本料 修理費含む	215	m <sup>2</sup>			
計						

校舎棟		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
仮設教室		1	式			
墨出し(内部改修)	複合改修	33.2	m <sup>2</sup>			
養生(内部改修)	複合改修	33.2	m <sup>2</sup>			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	33.2	m <sup>2</sup>			
内部仕上足場	脚立足場	33.2	m <sup>2</sup>			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	平家建	33.2	m <sup>2</sup>			
ビニル幅木	高さ100	17	m			
壁 せっこうボード 張り(GB-R)	厚 9.5 準不燃 鋼製、木、ボード下地 突付け -	60	m <sup>2</sup>			
壁 せっこうボード 張り(GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 突付け -	3.2	m <sup>2</sup>			
壁合板張り	t5.5	3.6	m <sup>2</sup>			
軽量鉄骨壁下地	50形 下地張りあり @450	1.6	m <sup>2</sup>			
軽量鉄骨壁下地	65形 下地張りあり @450	30	m <sup>2</sup>			
グラスウール充填	t50	31.6	m <sup>2</sup>			
スポンジシート		3.6	m <sup>2</sup>			
靴摺り	SUS t1.5 フラットレベル 見込100	7.2	m			

校舎棟		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
仮設教室		1	式			
WD-1	W1800× H2000	4	か所			
学校用強化ガラス	t4.0 1.80㎡以下	3.8	㎡			
ガラスとめ(シーリング)	シリコン 1成分形 SR-1	44.2	m			
木製三方枠	35×120 1800×2000	4	か所			
SOP塗り (糸幅300mm以下)	木部 工程B種(屋内) 素地A種	23.2	m			
EP塗り	ボード面 工程B種(一般) 素地B種	61.5	㎡			
仮設背面棚設置撤去	W1800×D470×H1200 リース品	6	か所			
仮設曲面黒板設置撤去	W3600×H1200	1	か所			
ビニル幅木撤去	集積共	17	m			
壁合板・ボード撤去	一重張り 一般 集積共	63.2	㎡			
壁下地撤去	集積共	31.6	㎡			
杵摺撤去	SUS	7.2	m			
仮設木製建具撤去 WD-1	引違い中抜きフラッシュ扉 W1800×H2000 枠共 集積共	4	か所			
計						





屋内運動場		直接仮設				
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
養生		1	式			
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	156	m <sup>2</sup>			
養生(外壁改修)		247	m <sup>2</sup>			
養生(内部改修)	個別改修	720	m <sup>2</sup>			
計						
整理清掃後片付け		1	式			
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	156	m <sup>2</sup>			
整理清掃後片付け (外壁改修)		247	m <sup>2</sup>			
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	720	m <sup>2</sup>			
計						

屋内運動場		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
枠組本足場(手すり先行方式)	W900 12.0m未満	1	式			
枠組本足場(手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 掛払い手間 12m未満 - -	1,268	m <sup>2</sup>			
枠組本足場(手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 供用1日賃料 修理費含む 12m未満 - -	1,268	m <sup>2</sup>			
枠組本足場(手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 基本料 修理費含む 12m未満 - -	1,268	m <sup>2</sup>			
計						
安全手摺	枠組本足場用	1	式			
安全手すり(手すり先行方式)	枠組本足場用 掛払い手間 -	137	m			
安全手すり(手すり先行方式)	枠組本足場用 供用1日賃料 修理費含む -	137	m			
安全手すり(手すり先行方式)	枠組本足場用 基本料 修理費含む -	137	m			
計						



屋内運動場		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
災害防止		1	式			
養生シート張り	防災Ⅰ類 掛払い手間 -	1,268	m <sup>2</sup>			
養生シート張り	防災Ⅰ類 供用1日賃料 修理費含む -	1,268	m <sup>2</sup>			
養生シート張り	防災Ⅰ類 基本料 修理費含む -	1,268	m <sup>2</sup>			
計						
仮設材運搬		1	式			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅900(二枚布)	1,268	m <sup>2</sup>			
仮設材運搬 (安全てすり)	枠組本足場用(手すり先行方式)	137	m			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		1,268	m <sup>2</sup>			
計						

屋内運動場		環境配慮改修		撤去		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
アスベスト除去		1	式			
(アスベスト除去費)						
床養生	プラスチックシート(厚0.15mm以上)二重+吸水シート	180	m <sup>2</sup>			
床養生	プラスチックシート(厚0.15mm以上)一重	900	m <sup>2</sup>			
壁・開口養生	プラスチックシート(厚0.08mm以上)一重	1,230.3	m <sup>2</sup>			
天井養生	プラスチックシート(厚0.08mm以上)一重	180	m <sup>2</sup>			
外装塗材撤去(下地調整共)	AGハーフシステム	1,305	m <sup>2</sup>			
AGハーフシステム機械設置解体費		1	式			
AGハーフシステム機械運搬費	4tユニット 燃料費共	3	車			
AGハーフシステム設置箇所屋根設置	W5.0×L5.0×H3.0程度(単管・コンパネ)	1	式			
発電機	45KVA 燃料・運搬費共	1	式			
コンプレッサー	7.5馬力 アフタークーラー付き 燃料・運搬費共	1	式			
カバーアップ 剤散布	除去面	1,305	m <sup>2</sup>			
廃石綿密封処理	二重梱包(除去塗材・床養生材共)	1	式			
清掃費	施工区画二回清掃	1,080	m <sup>2</sup>			

屋内運動場		環境配慮改修		撤去		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
アスベスト除去		1	式			
消耗品費	手袋・マスク等	1,305	m <sup>2</sup>			
小計						
(粉塵濃度測定費)						
処理事業中	作業所内の作業員近傍	1	点			
処理事業中	AGバブルシステム装置の排気口近傍	1	点			
処理事業後(養生撤去前)	作業所内の作業員近傍	1	点			
小計						
(産業廃棄物処分費)						
特別管理産業廃棄物運搬費	4t(1車-8m <sup>3</sup> )	2	台			
特別管理産業廃棄物処分費	除去アスベスト・養生材(床養生のみ)共	14	m <sup>3</sup>			
小計						
計						





